CanoScan LiDE 20/LiDE 30 スキャナ操作ガイド

スキャナをもっと活用しよう!

スキャンの手順

スキャナのボタンを使ったスキャン、CanoScan Toolboxのボタンを使ったスキャン、アプリケーションのメニューから行うスキャンのそれぞれの手順を紹介します。

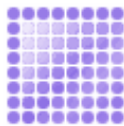
目的別スキャナ活用法

年賀状や写真をプリンタで印刷する、メールで送る、ホームページに貼りこむなど、用途に合わせたスキャンの方法を紹介します。

付属のソフトウェアの使いかた

スキャナに付属するソフトウェア「ScanGear CS」と「CanoScan Toolbox」の使いかたと、その他付属のソフトウェアの機能について紹介します。

もっと上手にスキャンする

もっと美しくスキャンしたい、もっと思いどおりにスキャンしたいと考えている人のために、ScanGear CSを使ったスキャンのヒントや、ノウハウなどを集めました。

困ったときには

スキャナを使っていて動かない、エラーメッセージが表示されるなどのトラブルに対処する方法を紹介します。

マニュアルの使いかた 総目次 索引・用語解説 お問い合わせ先

※キヤノンおよび他社のホームページへアクセスするには、あらかじめインターネットが使用できるようになっている必要があります。また、通信費用はお客様のご負担となります。

(c)2002 Canon Inc. All rights reserved.

※商標についてはこちらをお読み下さい。

スキャンの手順

スキャナのボタンを使ったスキャン、CanoScan Toolboxのボタンを使ったスキャン、アプリケーションのメニューから行うスキャンのそれぞれの手順を紹介します。

スキャナボタンでスキャンする

スキャナ本体のボタンを押すだけで、原稿をスキャンし、アルバムへ保存したり、メールへ添付したり、印刷することができます。

CanoScan Toolboxを使ってスキャンする

印刷、メール添付、文字の読み取り、PDF文書の作成、アプリケーションソフトへの取り込みなど、7つのボタンに設定されているいろいろなスキャン方法がワンタッチで使えます。

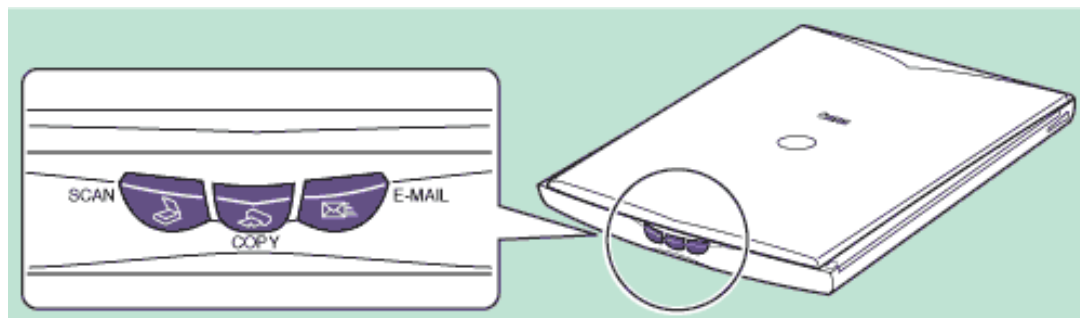
アプリケーションソフトからスキャンする

画像処理やアルバムソフト、OCRソフトなどを起動して、直接スキャンする方法です。

- Windows
  本スキャナをWindowsでご使用の場合、スキャナをさらに活用していただくために、各種体験版ソフトウェアをダウンロードしたり、スキャナの活用に有効な情報が入手できる各社のホームページなどを紹介しているリンク集「お楽しみリンク」が用意されています。
  デスクトップの「お楽しみリンク」アイコンをダブルクリックするか、キヤノスキャン セットアップCD-ROMのメニュー画面で「お楽しみリンク」を選択するとご覧いただけます。（本スキャナをMacintoshでご使用の場合はご覧いただけません。）

- ここでの操作を行うには、キヤノスキャン セットアップCD-ROMから、すべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。
- プリンタで印刷するには、コンピュータにプリンタドライバがインストールされ、プリンタが接続されて、コンピュータ、スキャナ、プリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。
- Eメール機能を使うには、Eメールソフトがコンピュータにインストールされ、使用できる状態になっていることが必要です。
- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、WindowsではOutlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger、MacintoshではOutlook Express、EUDORAです。また、Windowsの場合メールソフトによって、メールソフト側で「MAPI」を有効に設定する必要があります。
- ここでの説明にはWindows XPの画面を使用しています。他のWindowsやMacintoshでも、特に記載がない限り操作方法は同じです。

スキャナボタンでスキャンする

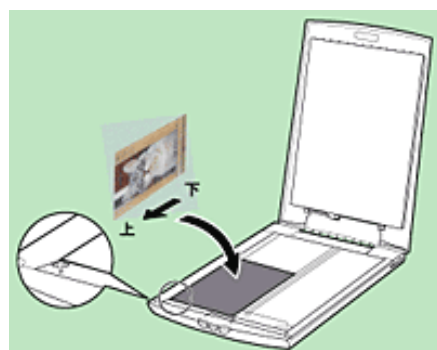
スキャナ本体にあるボタンを押すだけで、印刷やEメール添付、アルバムソフトへの取り込みができる、とても簡単で便利なスキャン方法です。めんどうな設定は一切ありません。

 SCANボタン
スキャンした画像を、アルバムソフトArcSoft PhotoBaseに保存します。

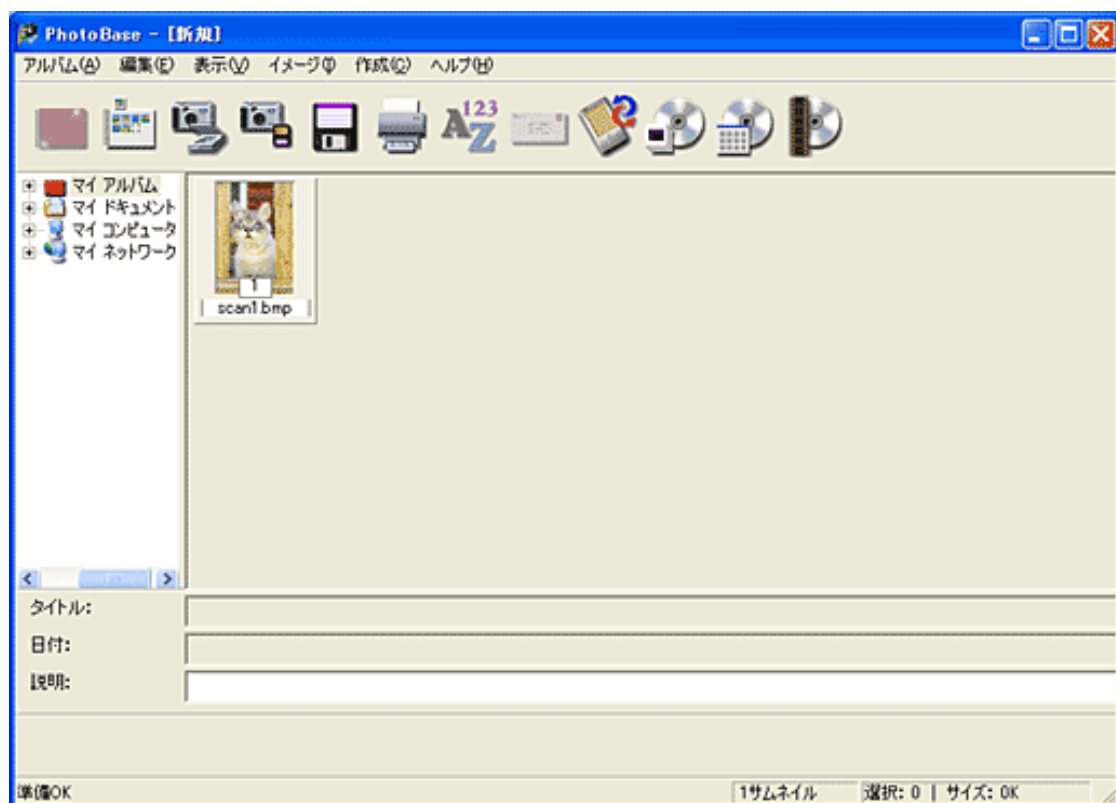
 COPYボタン
スキャンした画像を、プリンタで印刷します。

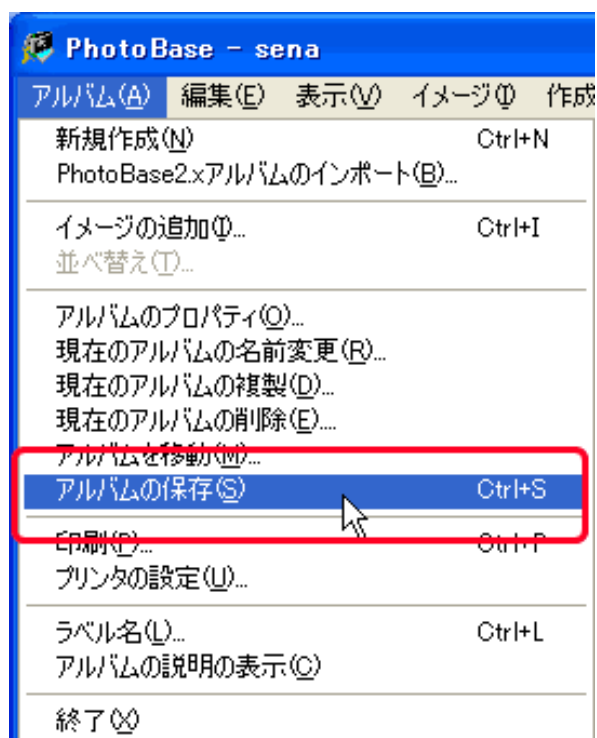
 E-MAILボタン
スキャンした画像を、メールソフトの新規メールに添付します。

- スキャナボタンを使うには、CanoScan Toolbox、ArcSoft PhotoBase、プリンタドライバ、メールソフトがインストールされている必要があります。
- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、WindowsではOutlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger、MacintoshではOutlook Express、EUDORAです。また、Windowsの場合メールソフトによって、メールソフト側で「MAPI」を有効に設定する必要があります。

SCANボタンでアルバムに保存する

1. スキャナに原稿をセットします。

2 SCANボタンを押します。

自動的にスキャンが始まり、スキャンが終わるとアルバムソフトArcSoft PhotoBaseに画像が表示されます。

・アルバムソフトArcSoft PhotoBaseを初めてご使用の場合、PhotoBaseサンプルに画像が追加されます。独自のアルバムにスキャンした画像を取り込むときは、あらかじめ［アルバム］の［新規作成］で新しいアルバムを作成してから操作を行ってください。

3 アルバムを保存します。

4 ArcSoft PhotoBaseを終了します。

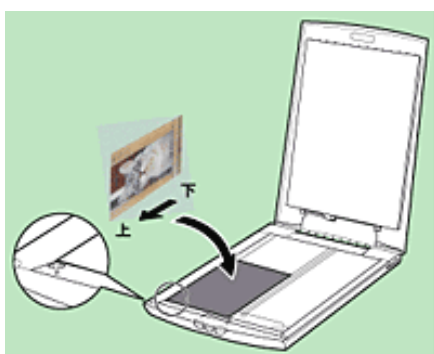
ArcSoft PhotoBaseは、［アルバム］の［終了］を選択するか、クローズボックスをクリックすると終了します。

・「アプリケーションの選択」画面が表示されたときは Windows
・スキャン方法や保存先、プリンタの設定を変更したいときは

先頭へ戻る▲

COPYボタンで印刷する

1 プリンタを準備します。

・この操作をするときは、スキャナとプリンタがコンピュータに接続され、同時に使用できる状態になっていることが必要です。プリンタの準備方法については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

2 スキャナに原稿をセットします。

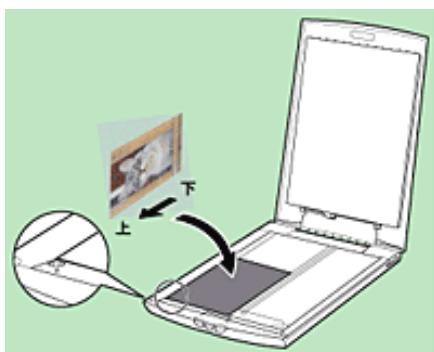
3 COPYボタンを押します。

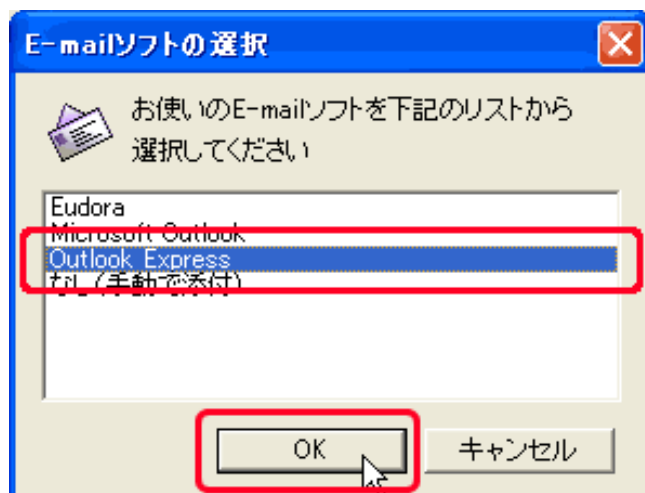
自動的にスキャンが始まり、スキャンが終わるとスキャンした画像がプリンタで印刷されます。

・「アプリケーションの選択」画面が表示されたときは Windows
・スキャン方法や保存先、プリンタの設定を変更したいときは

先頭へ戻る▲

E-MAILボタンでメールに添付する

1 スキャナに原稿をセットします。

2 E-MAILボタンを押します。

3 初めてこの操作を行うときは、次の画面でEメールソフトを選択し、［OK］ボタンをクリックします。
2度目以降は、この画面で選択したEメールソフトが自動的に選択されます。

自動的にスキャンが始まり、スキャンが終わると選択したEメールソフトの新規メッセージ画面が、スキャンした画像が添付された状態で表示されます。

- 使用するEメールソフトが選択画面に表示されないときは、「なし（手動で添付）」を選択し、スキャンが終わったら以下のフォルダに保存されている画像を手動でメールに添付してください。
- スキャンした画像は、Windowsでは［My Documents］フォルダ内の［My Pictures］フォルダ、Macintoshでは［CanoScan Toolbox］フォルダ内の［My Pictures］フォルダに日付を名称にしたフォルダが新たに作成され、その中に保存されています。

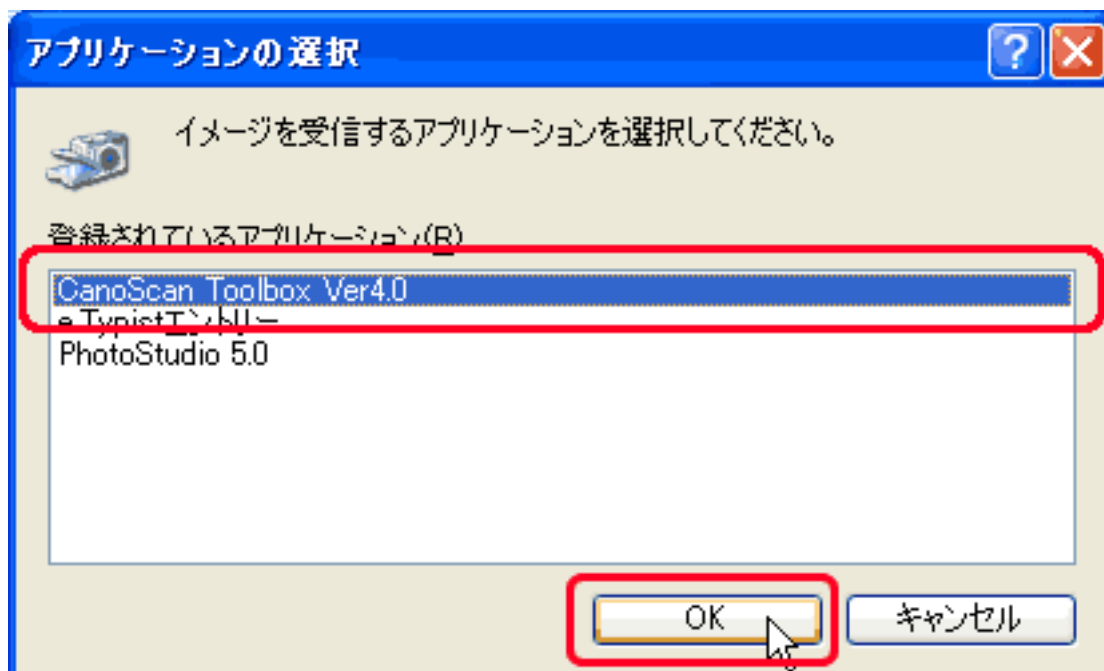
4 宛先や文面を記入して送信します。

- 「アプリケーションの選択」画面が表示されたときは Windows
- スキャン方法や保存先、プリンタの設定を変更したいときは

先頭へ戻る▲

Windows

「アプリケーションの選択」画面が表示されたときは

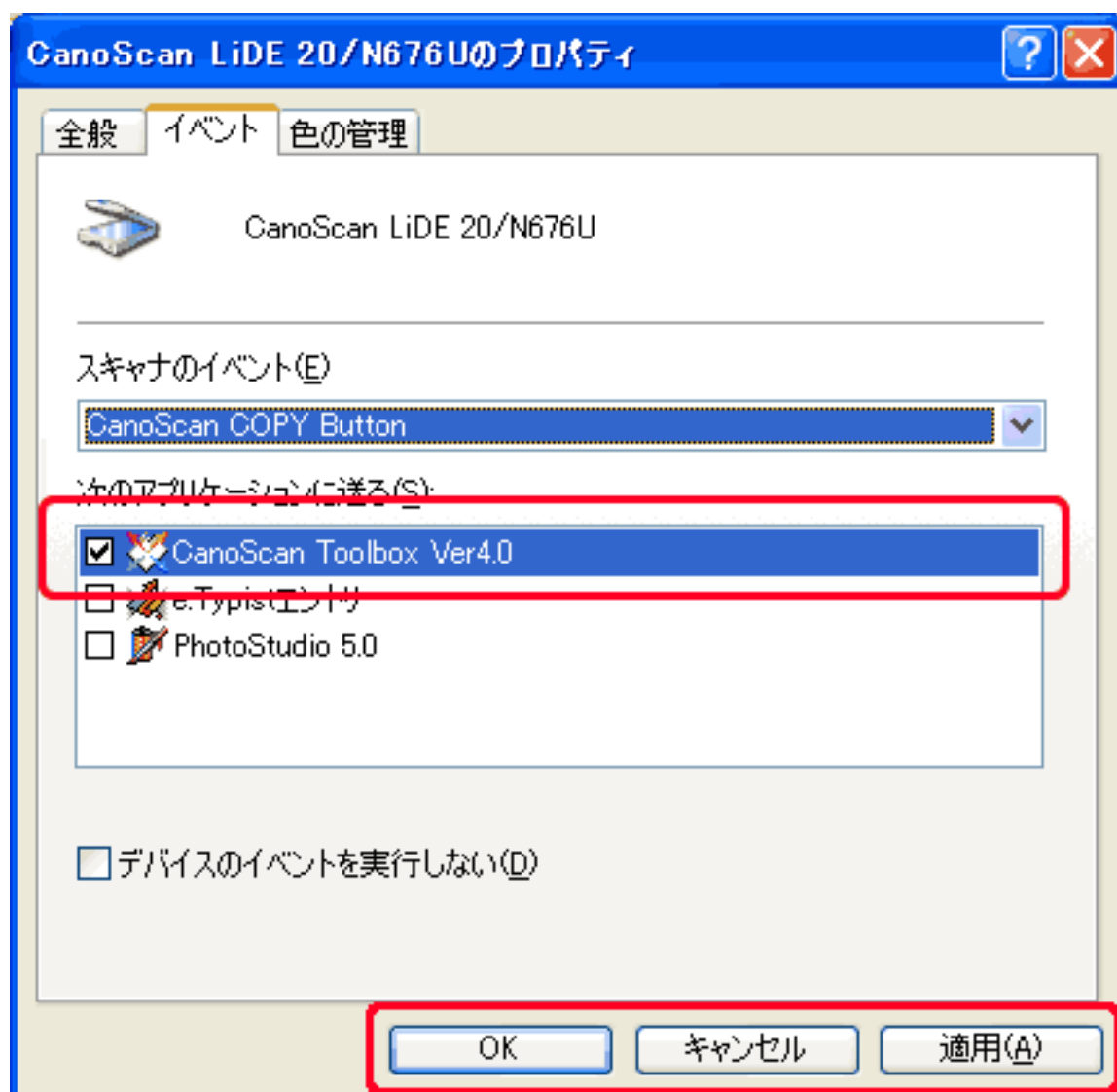
スキャナのボタンを押したときに「アプリケーションの選択」画面が表示されたときは、「CanoScan Toolbox」を選択し、［OK］ボタンをクリックしてください。

「アプリケーションの選択」画面を表示させないようにするには

1 「コントロールパネル」の［スキャナとカメラ］アイコンをダブルクリックして開きます。

2 ［お使いのスキャナ名］アイコンを右クリックして「プロパティ」を選択します。

3 「イベント」タブをクリックします。

4 「スキャナのイベント」でボタン名称（SCAN、COPY、E-MAILのどれか）を選択します。

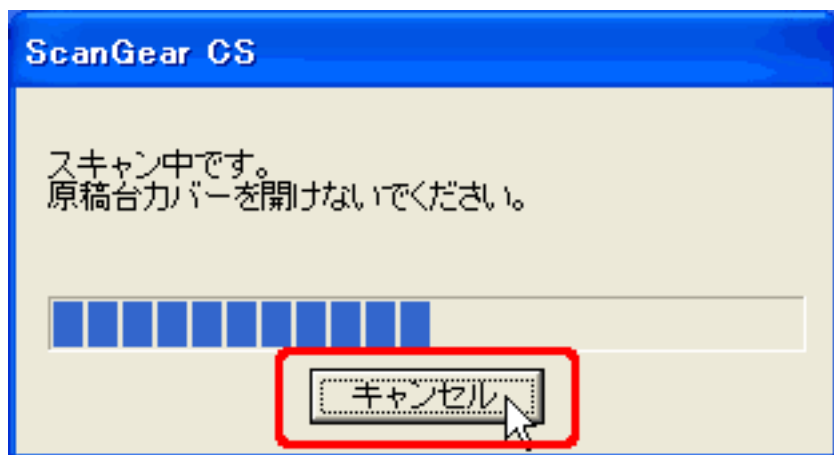
5 「次のアプリケーションに送る」に表示されているアプリケーションのToolbox以外のチェックマークをクリックして消します。

6 ［適用］ボタンをクリックします。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

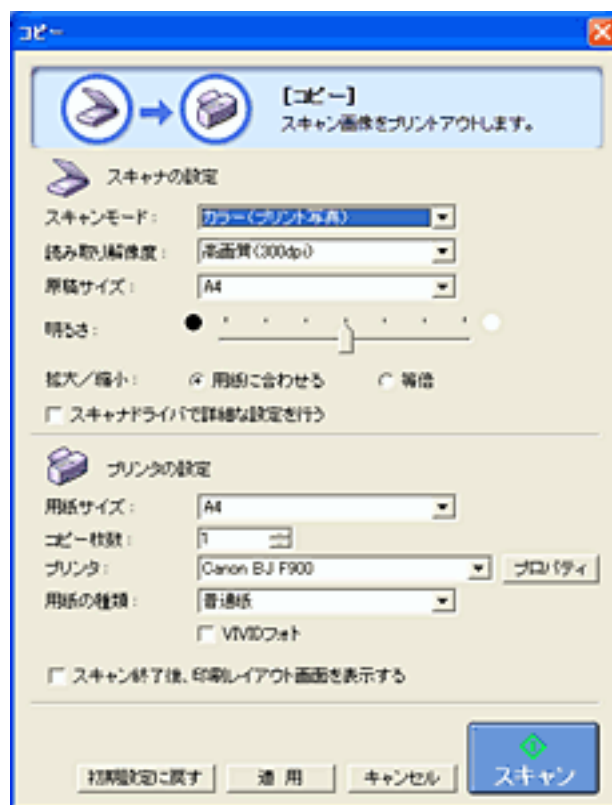
閉じる

スキャン方法や保存先、プリンタの設定を変更したいときは

次の手順でスキャンを中止し、設定を変更した後、［スキャン］ボタンをクリックしてスキャンを再開します。変更した設定は、再度変更するまで有効になります。

1 スキャンが始まり［スキャン中です。］の画面が表示されたら、［キャンセル］ボタンをクリックして中止します。

2 設定画面でスキャン方法や保存先、プリンタの設定などを変更します。

スキャンの設定画面

スキャン方法や保存先、画像の渡し先が設定できます。

コピーの設定画面

スキャン方法やプリンタの設定ができます。プリンタの設定項目はプリンタの種類によって異なります。

詳しい設定方法については、「付属のソフトウェアの使いかた」の「CanoScan Toolboxのことが知りたい」をお読みください。

3 ［スキャン］ボタンをクリックします。

閉じる

CanoScan Toolboxを使ってスキャンする

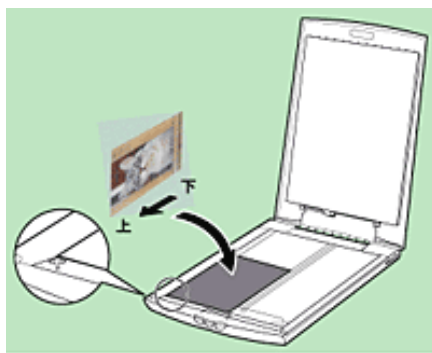
ユーティリティソフトCanoScan Toolboxの画面のボタンをクリックするだけで、印刷、メール添付、文字の読み取り、PDF文書の作成、アプリケーションソフトへの取り込みなどができます。機能に合わせていろいろな設定ができます。

CanoScan Toolboxの操作手順

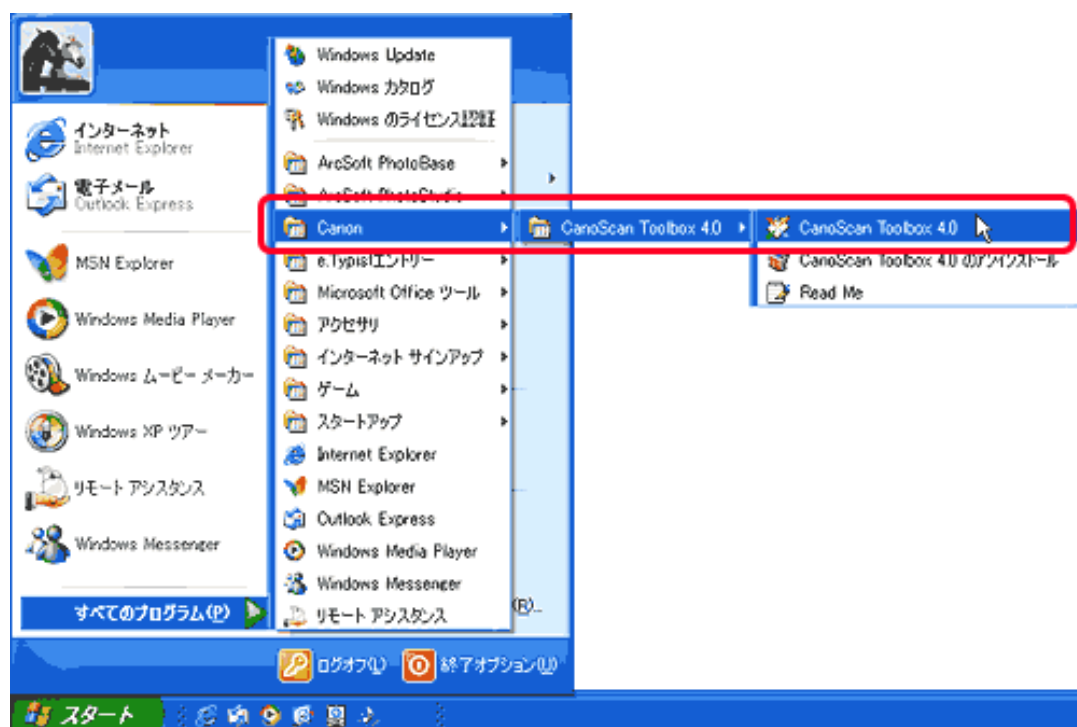
CanoScan Toolboxは、［設定］ボタンを除き、どのボタンもほぼ同様の手順で操作できます。ここでは、［コピー］ボタンを例に説明します。

1 印刷するときは、プリンタを準備します。

・この操作をするときは、スキャナとプリンタがコンピュータに接続され、同時に使用できる状態になっていることが必要です。プリンタの準備方法については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

2 スキャナに原稿をセットします。

3 CanoScan Toolboxを起動します。

Windows

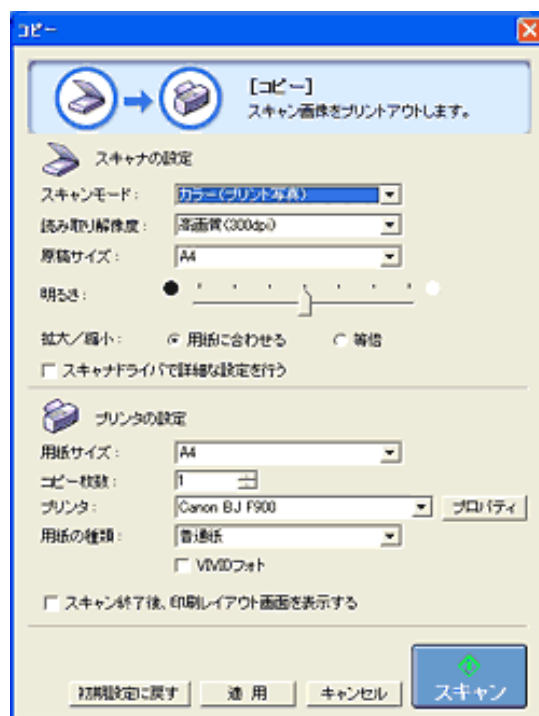
［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Canon］-［CanoScan Toolbox 4.0］-［CanoScan Toolbox 4.0］を選択します。

Macintosh

［CanoScan Toolbox］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox］アイコンをダブルクリックします。

CanoScan Toolboxのメイン画面が表示されます。

4 ボタンをクリックします。

それぞれのボタンに応じた設定画面が表示されます。

5 必要な場合は、スキャン方法やスキャン画像の保存先、プリンタなどの設定をします。

コピーの設定画面

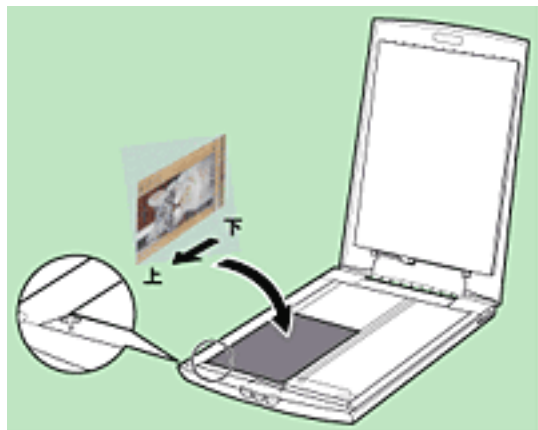
- コピー画面の設定のしかた
- メール画面の設定のしかた
- OCR画面の設定のしかた
- 保存画面の設定のしかた
- ファイル画面の設定のしかた
- スキャン-1、スキャン-2画面の設定のしかた

6 ［スキャン］ボタンをクリックします。

これで指定した設定でスキャンが始まり、スキャンが終わると、それぞれのボタンに応じた機能が実行されます。

先頭へ戻る▲

アプリケーションソフトからスキャンする

フォトレタッチソフトやアルバムソフト、OCRソフトなどから直接スキャナドライバScanGear CSを呼び出してスキャンする方法です。
スキャナドライバScanGear CSは、付属のソフトウェアだけでなく、WindowsであればTWAIN対応のソフトウェア、Macintoshではインストール時に一覧で選択したソフトウェアから呼び出して使えます。

PhotoStudioでスキャンする
PhotoBaseでスキャンする
Windows e.Typistエントリーでスキャンする
Macintosh e.Typistエントリーでスキャンする
その他のアプリケーションでスキャンする

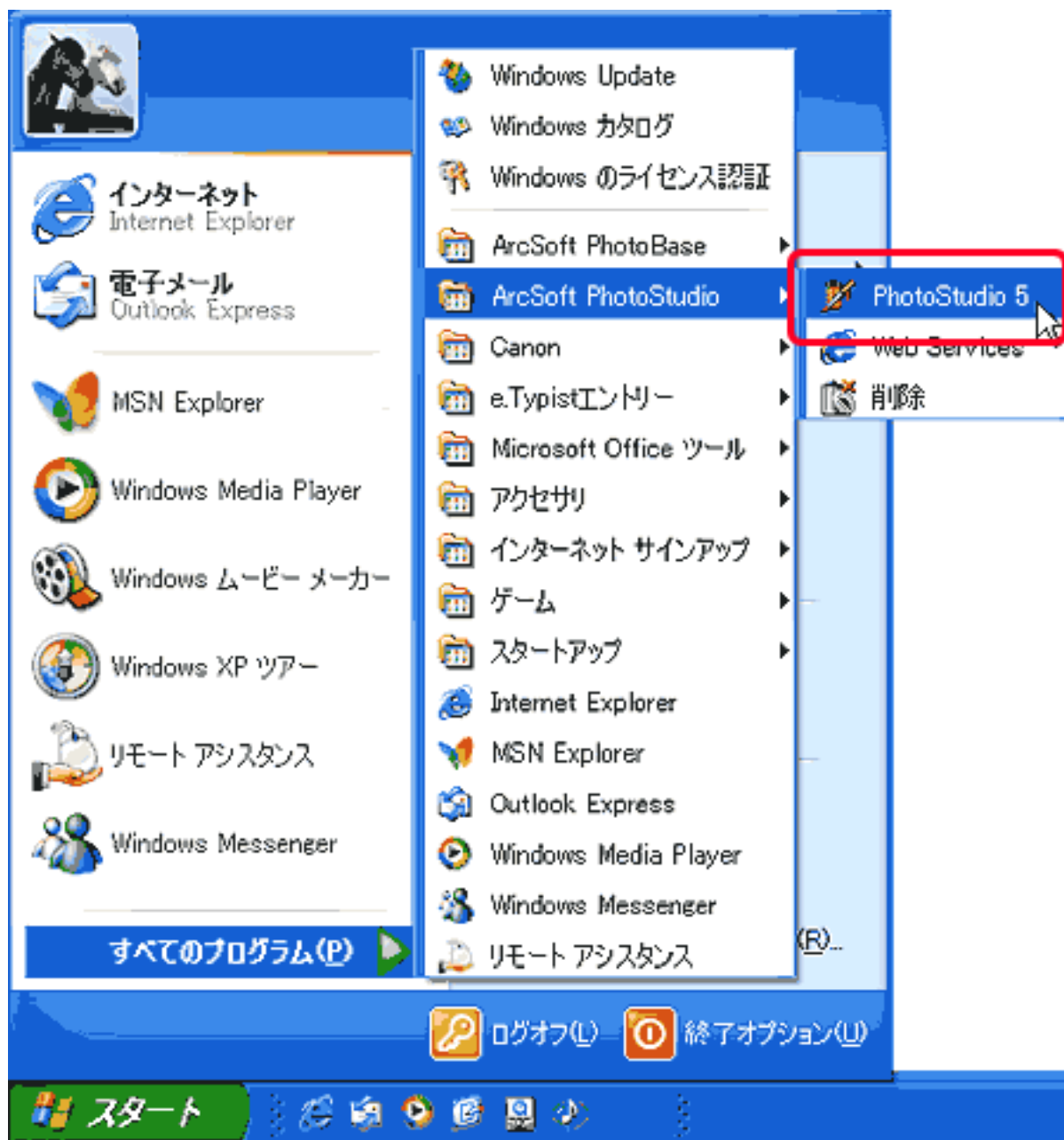
PhotoStudioでスキャンする

スキャナに付属のフォトレタッチソフト「ArcSoft PhotoStudio」からスキャンするときは、次の手順で行います。

1 スキャナに原稿をセットします。

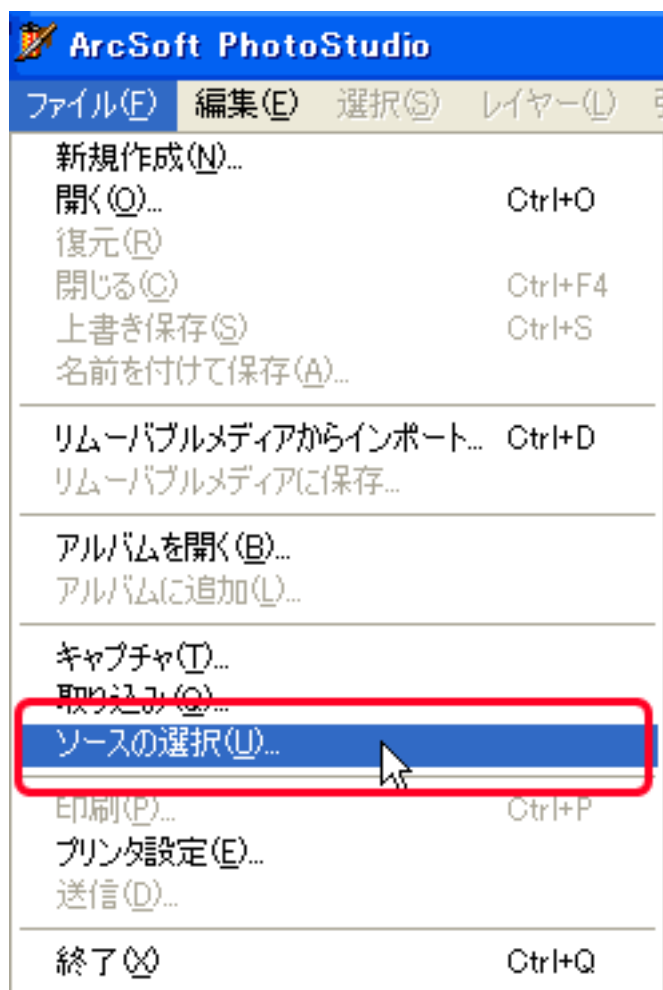
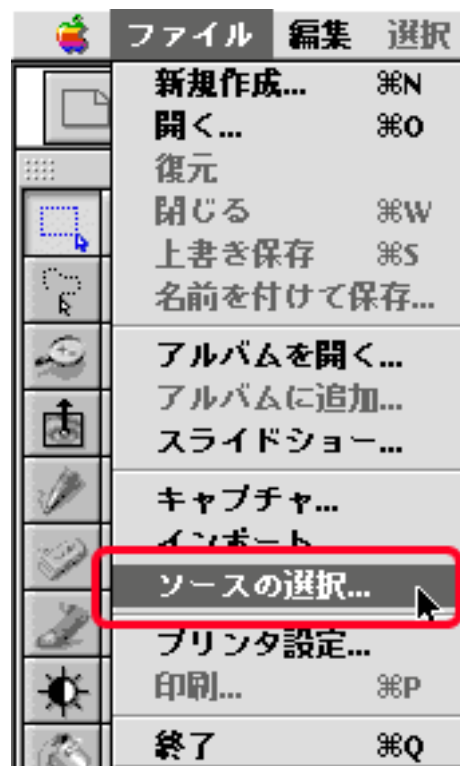
2 PhotoStudioを起動します。

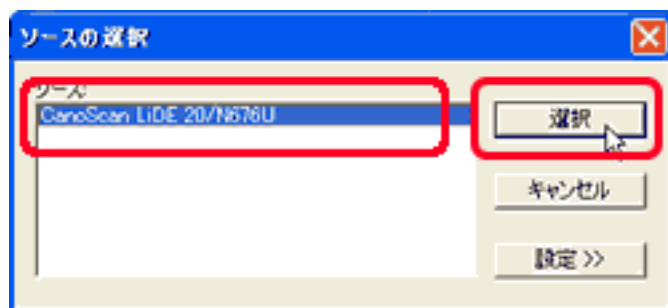
Windows

［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［ArcSoft PhotoStudio］-［PhotoStudio 5］を選択します。

Macintosh

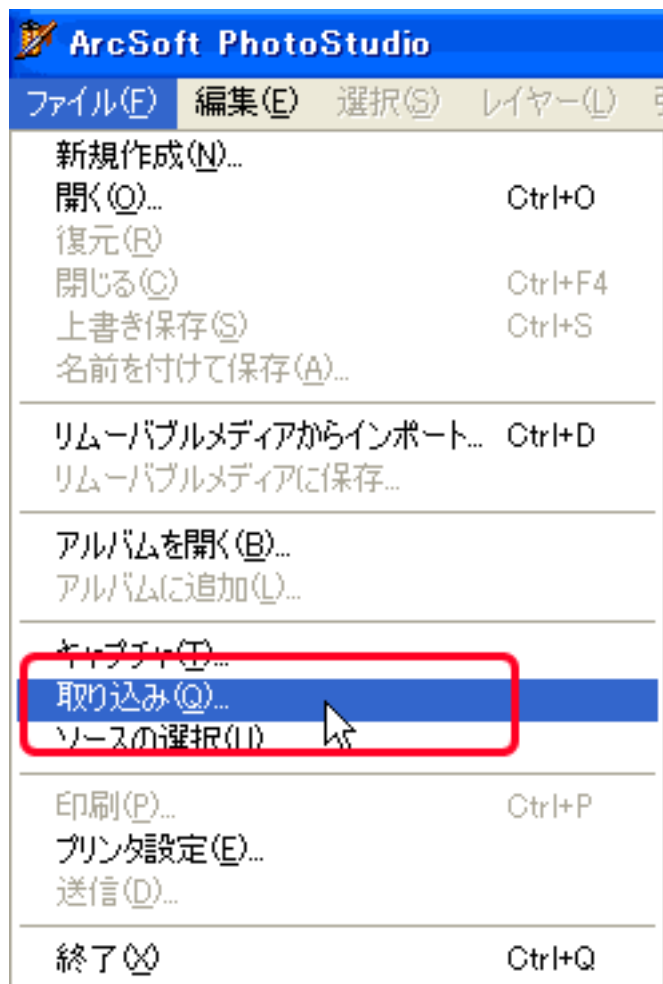
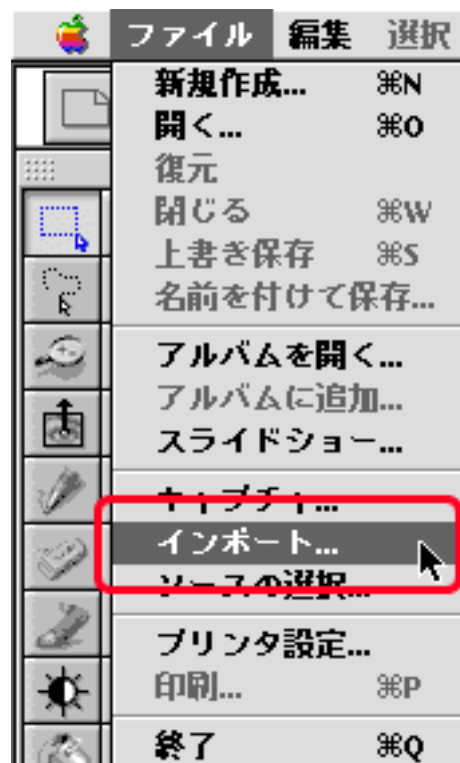
［アプリケーション］または［Applications (Mac OS 9)］フォルダを開き、［PhotoStudio］フォルダ内の［PhotoStudio］アイコンをダブルクリックします。

PhotoStudio

3 ［ファイル］の［ソースの選択］を選択します。

Windows

Macintosh

4 Windows お使いのスキャナ名称を選択し、［選択］ボタンをクリックします。
Macintosh 「ScanGear CS 7.0」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

Windows

Macintosh

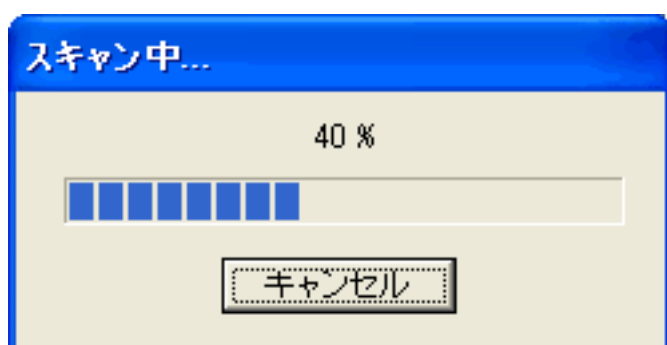
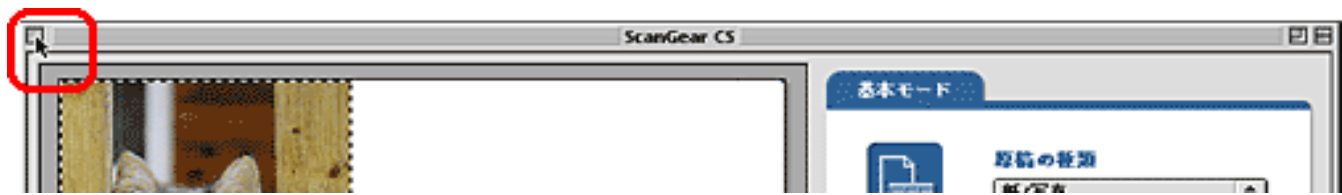
5 Windows ［ファイル］の［取り込み］を選択します。
Macintosh ［ファイル］の［インポート］を選択します。

Windows

Macintosh

ScanGear CSの画面が表示されます。

6 セットした原稿に合わせて「紙／写真のタイプ」を設定します。
「写真（カラー/300dpi）」、「雑誌（カラー/150dpi）」、「新聞（白黒/300dpi）」、「文書（グレー/300dpi）」が選択できます。
ここでは、「写真（カラー/300dpi）」を選択します。

7 ［プレビュー］ボタンをクリックします。

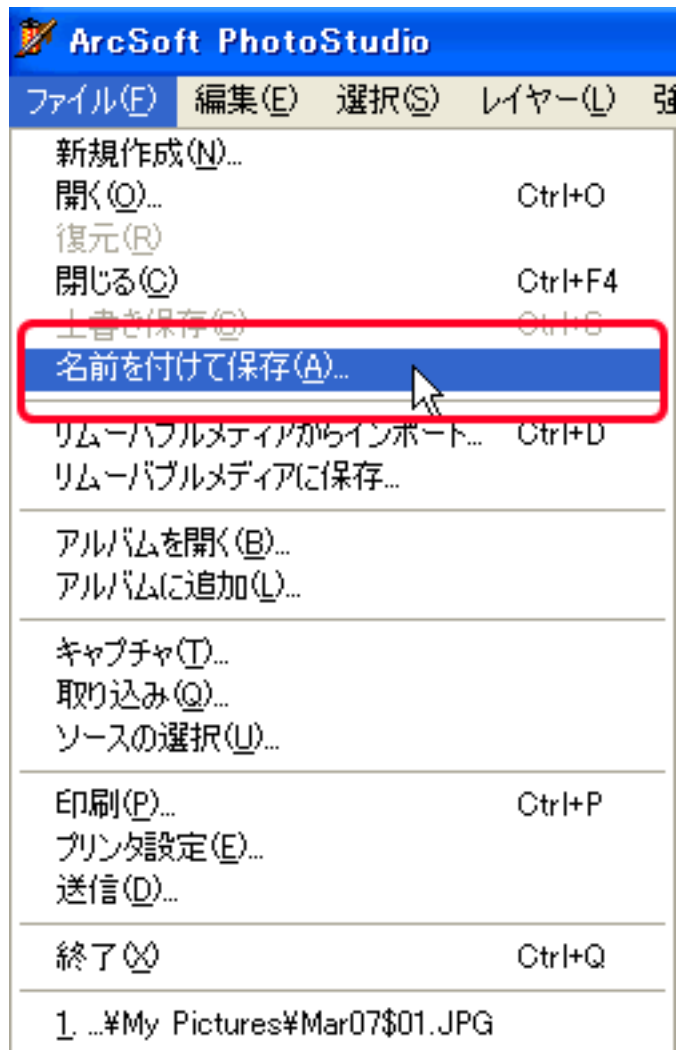
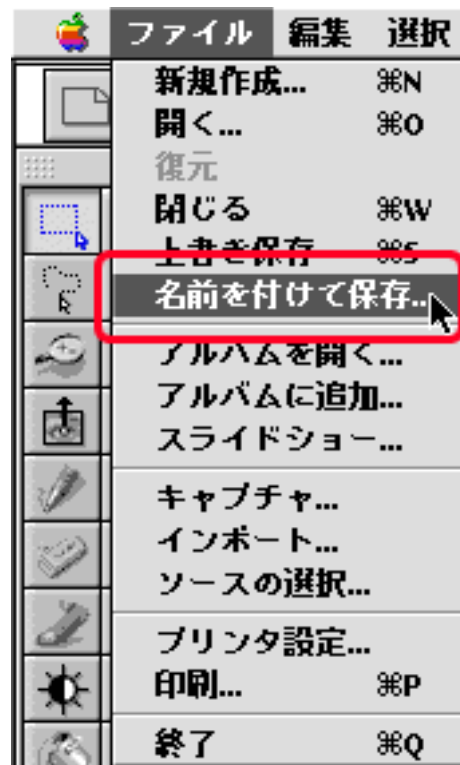
8 ［スキャン］ボタンをクリックします。

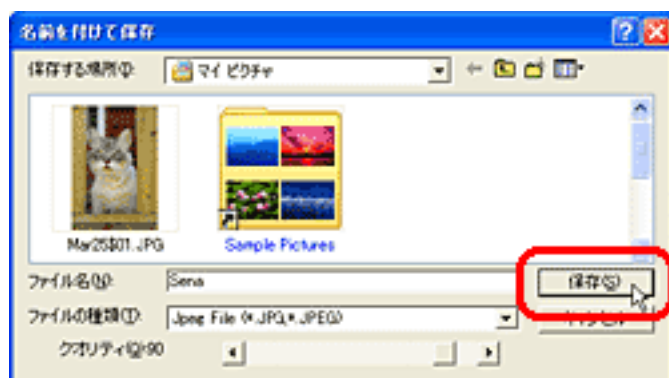
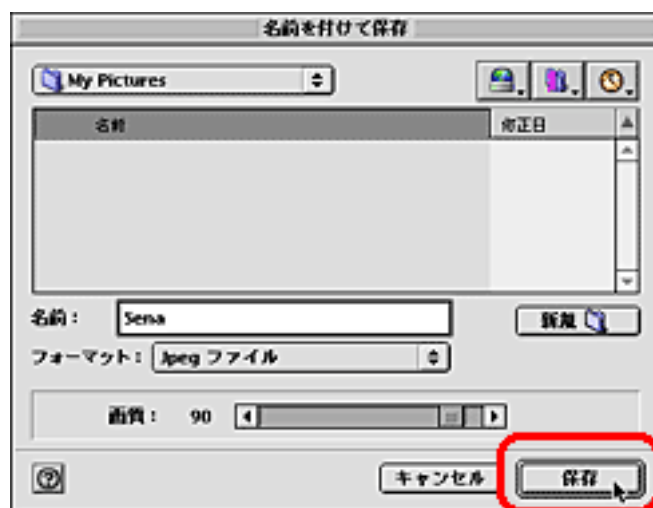
- 写真など、原稿何枚かを一度のスキャンで個別の画像として取り込むときは、［マルチスキャン］ボタンをクリックします。→ 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）

9 クローズボックスをクリックしてScanGear CSを閉じます。

Windows

Macintosh

PhotoStudioにスキャンした画像が表示されます。

Windows　　　　　Macintosh

10 ［ファイル］のプルダウンメニューから［名前を付けて保存］を選択します。

Windows

Macintosh

ファイル形式や保存先を指定し、ファイル名を入力して保存します。

Windows

Macintosh

- ファイルの種類（フォーマット）については、スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）をご覧ください。
- PhotoStudioの詳しい使いかたについては「キヤノスキャン セットアップCD-ROM」内にある電子マニュアル「PhotoStudioユーザーズガイド」をお読みください。

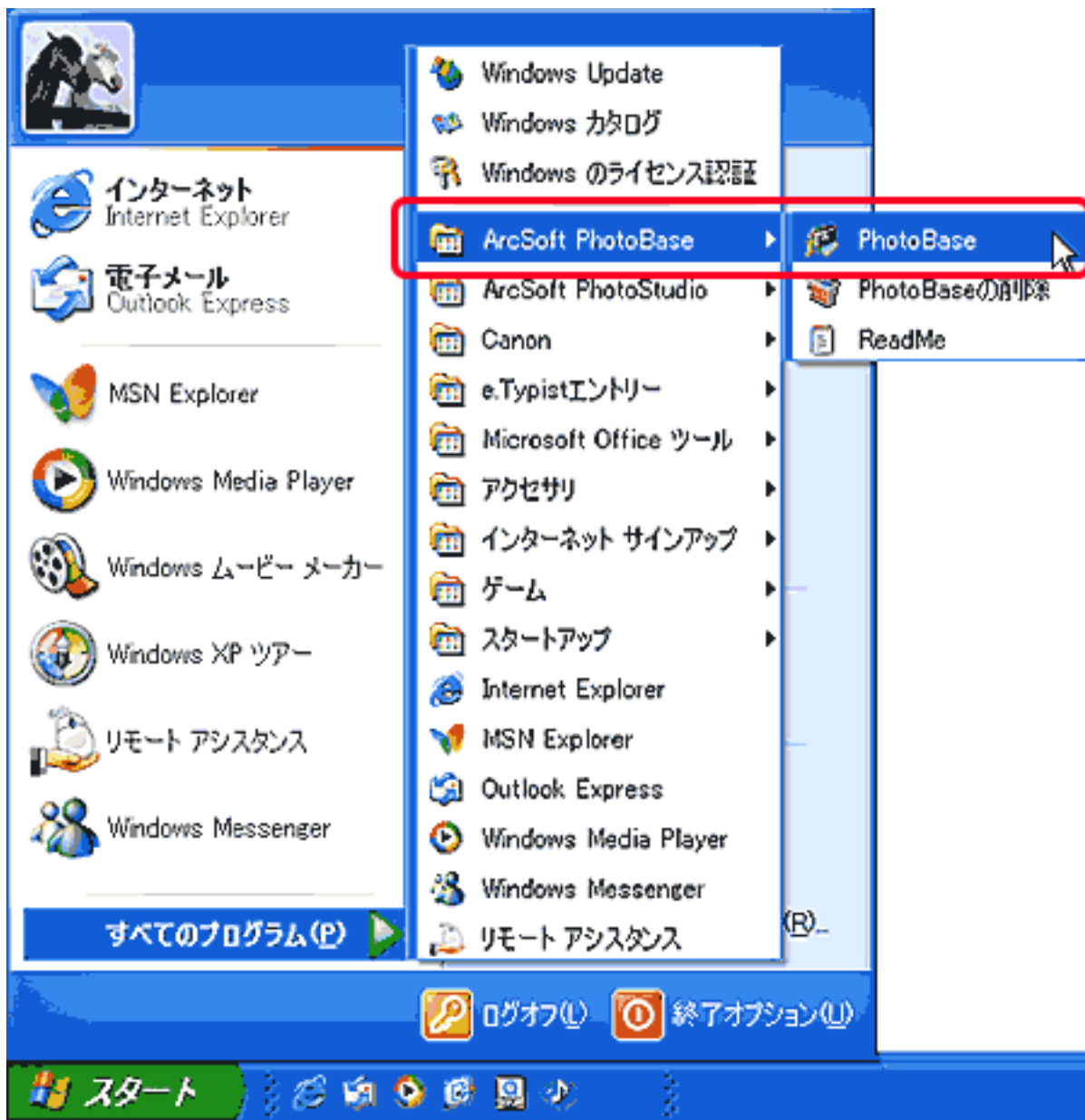
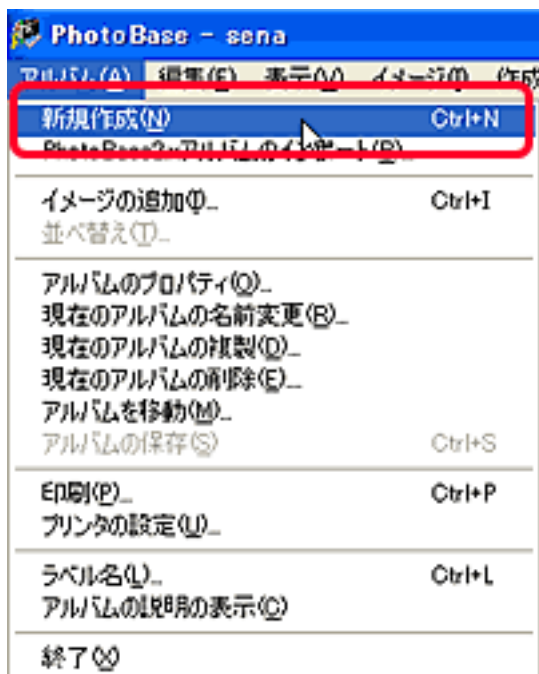
PhotoBaseでスキャンする

スキャナに付属のアルバムソフト「ArcSoft PhotoBase」からスキャンするときは、次の手順で行います。

1 スキャナに原稿をセットします。

2 PhotoBaseを起動します。

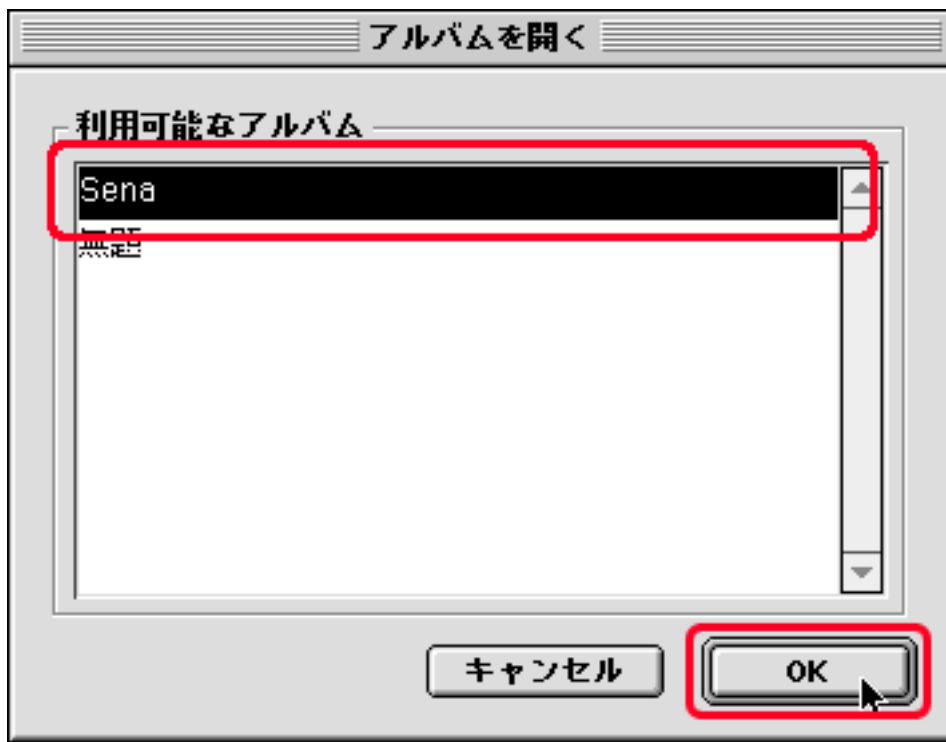
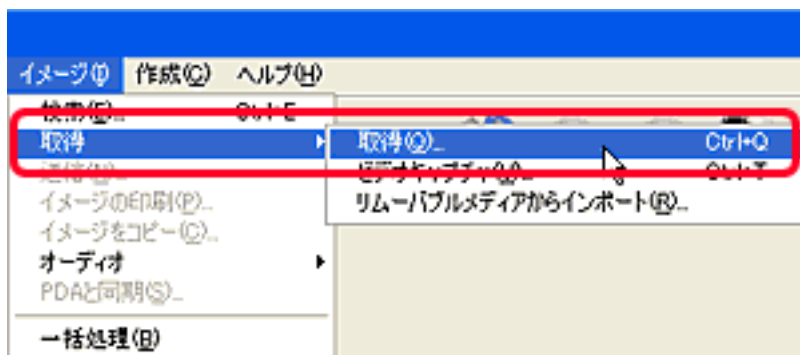
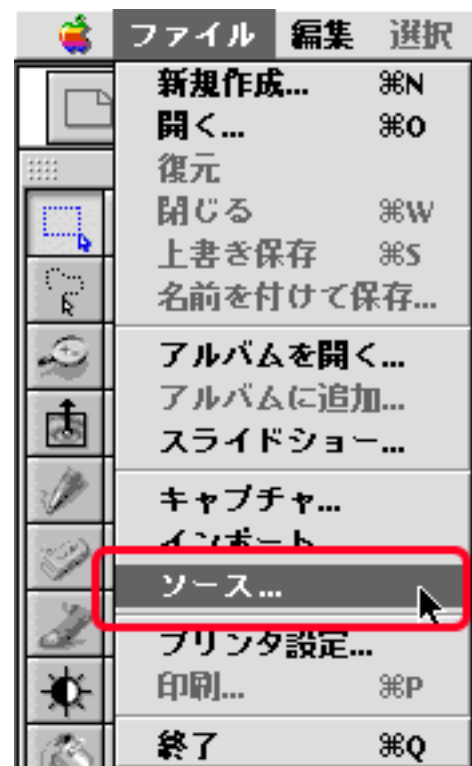
Windows

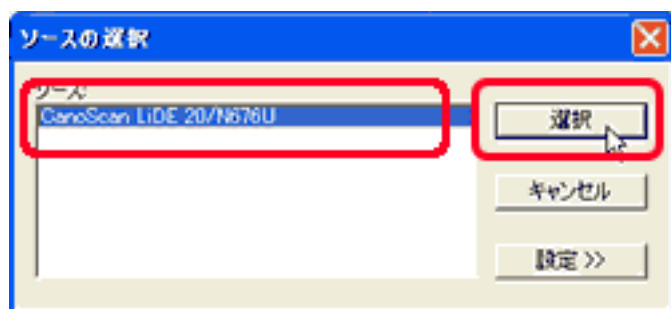
［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［ArcSoft PhotoBase］-［PhotoBase］を選択します。

アルバムソフトArcSoft PhotoBaseを初めてご使用の場合、PhotoBaseサンプルが開きます。独自のアルバムにスキャンした画像を取り込むときは、あらかじめ［アルバム］の［新規作成］で「アルバム名」を入力して新しいアルバムを作成します。

Macintosh

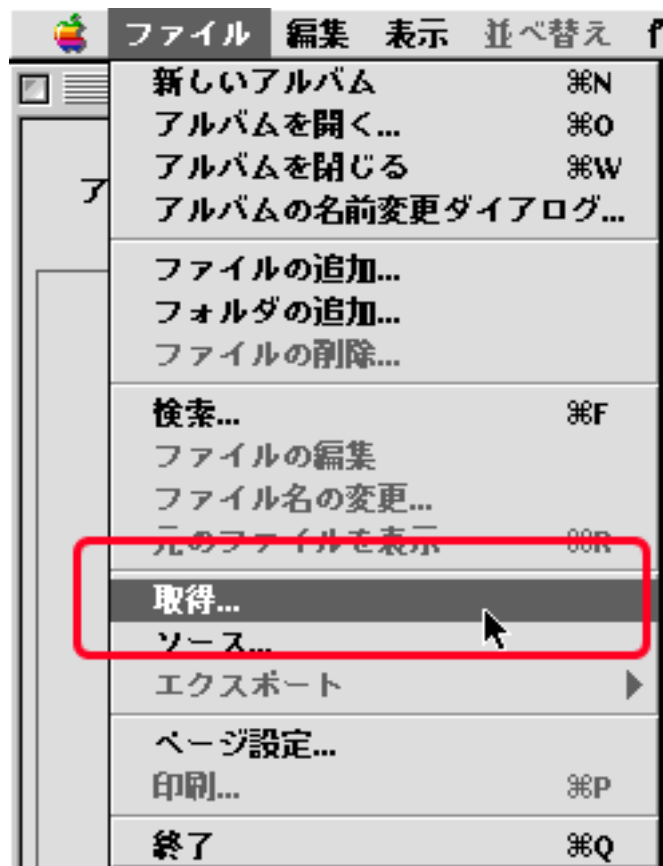
[アプリケーション]または［Applications (Mac OS 9)］フォルダを開き、［PhotoBase2.5］フォルダ内の［PhotoBase2.5］アイコンをダブルクリックします。

PhotoBase2.5

新たにアルバムを作成するときは「アルバム名」を入力して［OK］ボタンをクリックします。

すでに保存されているアルバムを開くときは、開きたいアルバムを選択して［OK］ボタンをクリックします。

3 Windows ［イメージ］の［取得］-［取得］を選択します。
Macintosh ［ファイル］の［ソース］を選択します。

Windows

Macintosh

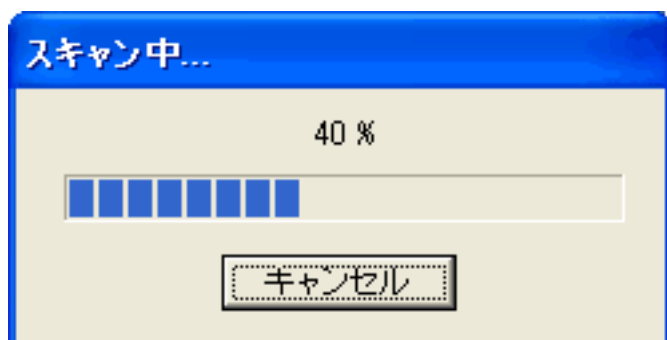
4 Windows お使いのスキャナ名称を選択し、［選択］ボタンをクリックします。

Macintosh 「ScanGear CS 7.0」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

次に［ファイル］の［取得］を選択します。

これで、ScanGear CSの画面が表示されます。

5 セットした原稿に合わせて「紙／写真のタイプ」を設定します。
「写真（カラー/300dpi）」、「雑誌（カラー/150dpi）」、「新聞（白黒/300dpi）」、「文書（グレー/300dpi）」が選択できます。
ここでは、「写真（カラー/300dpi）」を選択します。

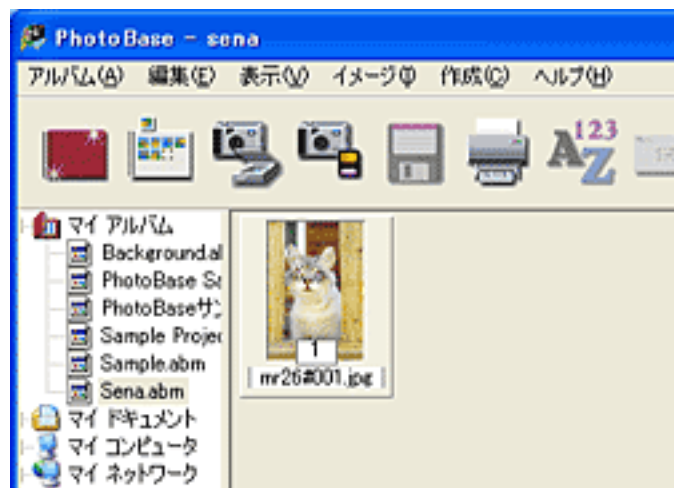
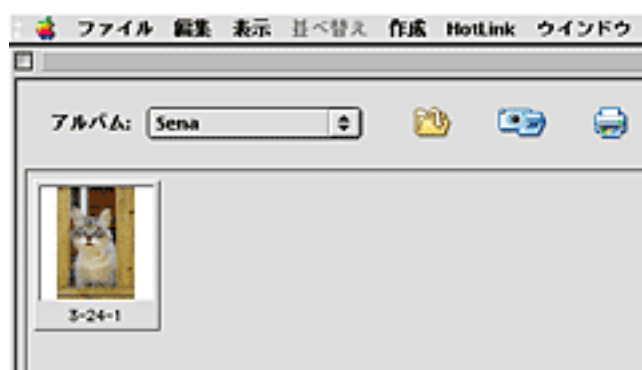
6 ［プレビュー］ボタンをクリックします。

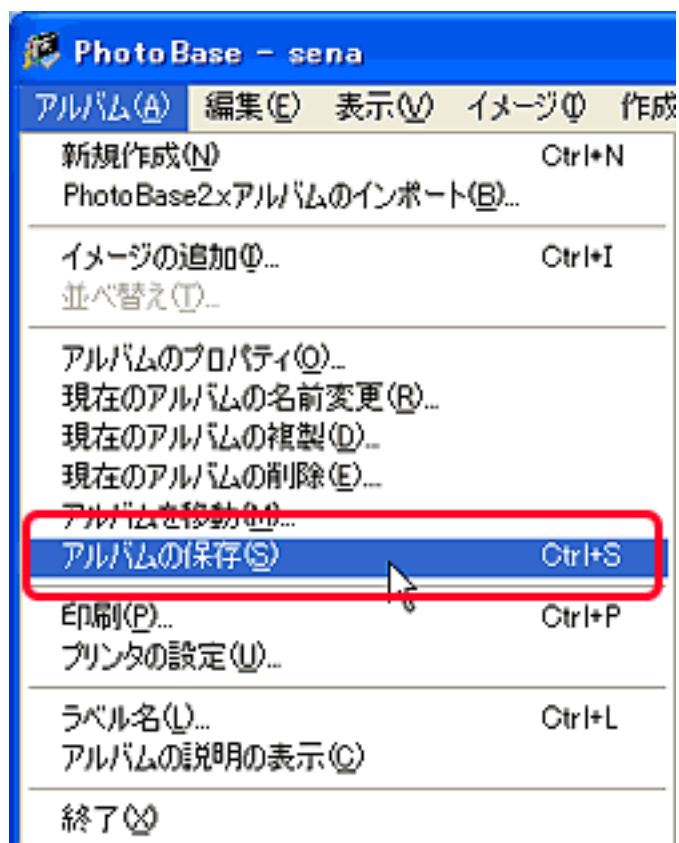
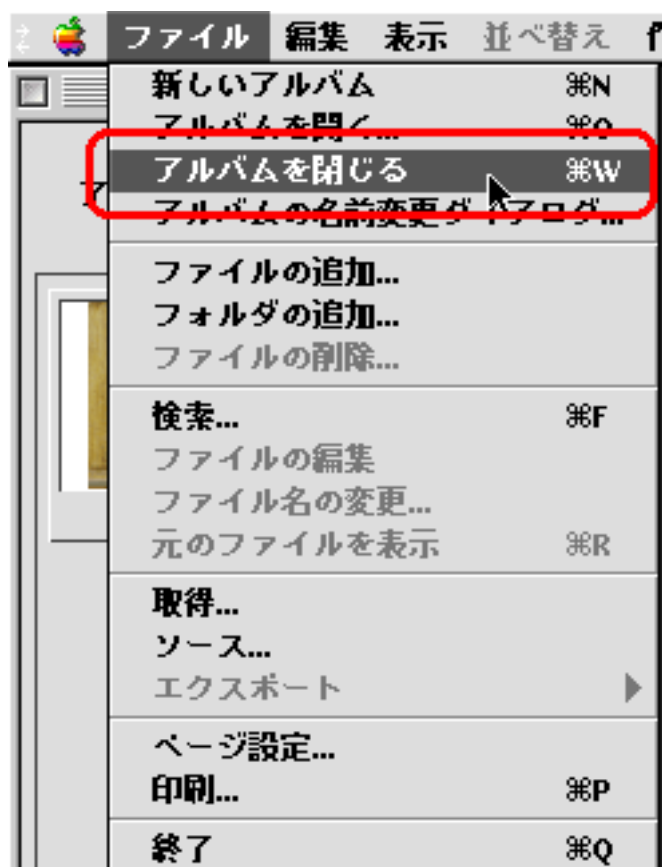
7 ［スキャン］ボタンをクリックします。

- 写真など、原稿何枚かを一度のスキャンで個別の画像として取り込むときは、［マルチスキャン］ボタンをクリックします。→ 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）

8 クローズボックスをクリックしてScanGear CSを閉じます。

Windows

Macintosh

アルバムソフトArcSoft PhotoBaseに画像が表示されます。

Windows　　Macintosh

9 Windows ［アルバム］の［アルバムの保存］を選択します。
Macintosh ［ファイル］の［アルバムを閉じる］を選択します。

Windows

Macintosh

10 Windows ArcSoft PhotoBaseを終了します。

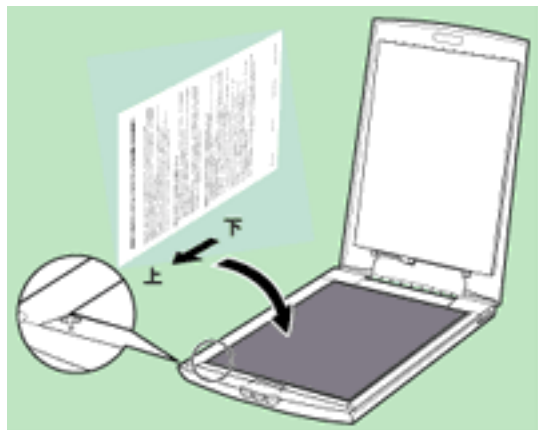
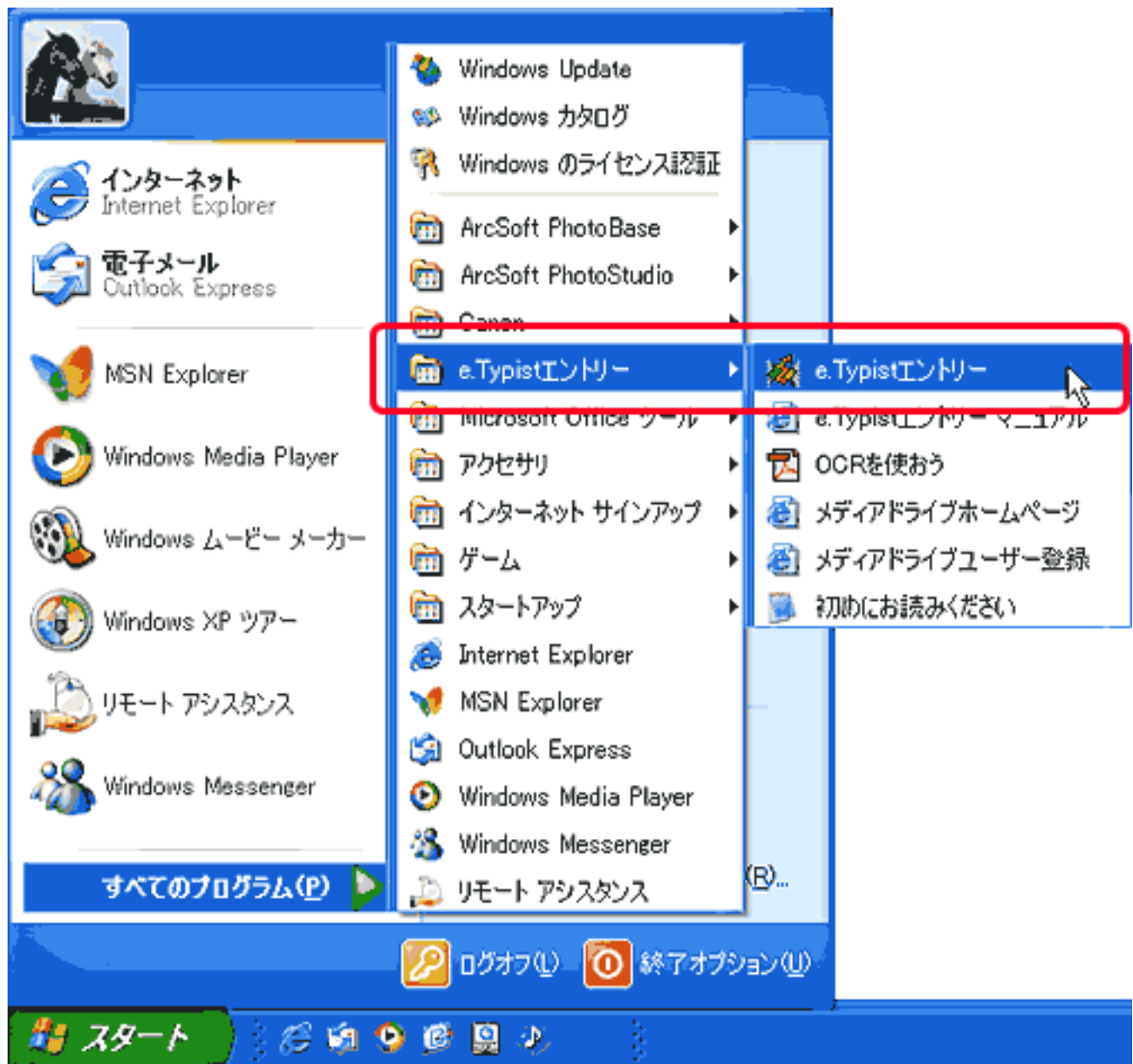
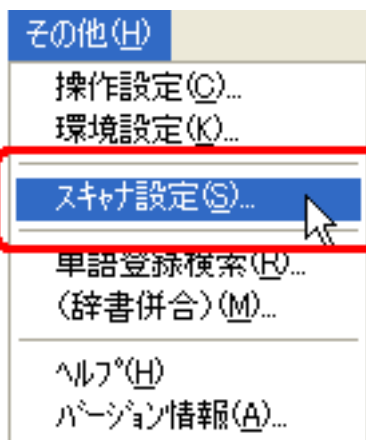
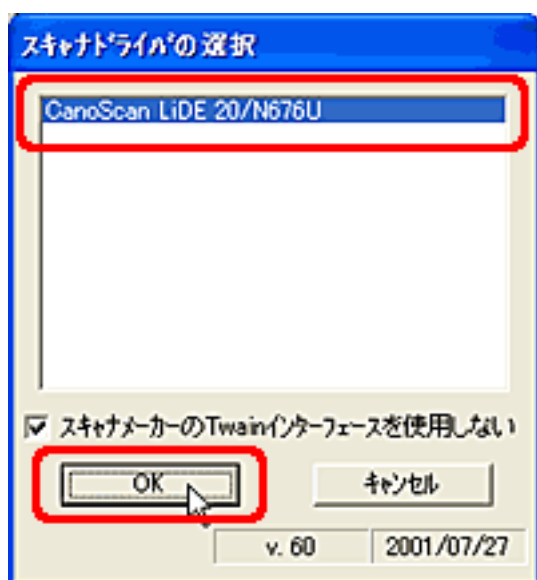
ArcSoft PhotoBaseは、［アルバム］の［終了］を選択するか、クローズボックスをクリックすると終了します。

- PhotoBaseの詳しい使いかたについては、「キヤノスキャン セットアップCD-ROM」内にある電子マニュアル「PhotoBaseユーザーズガイド」をお読みください。

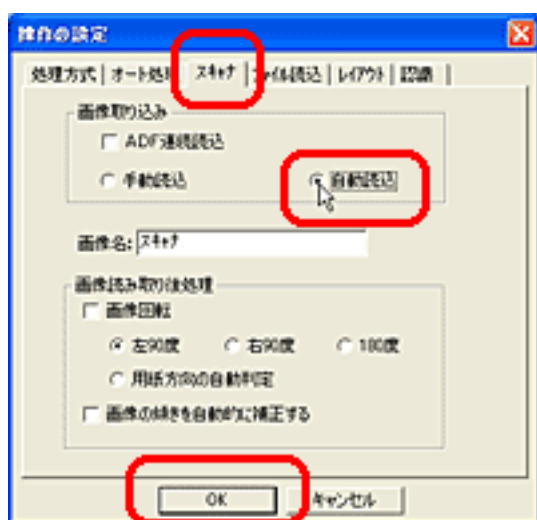
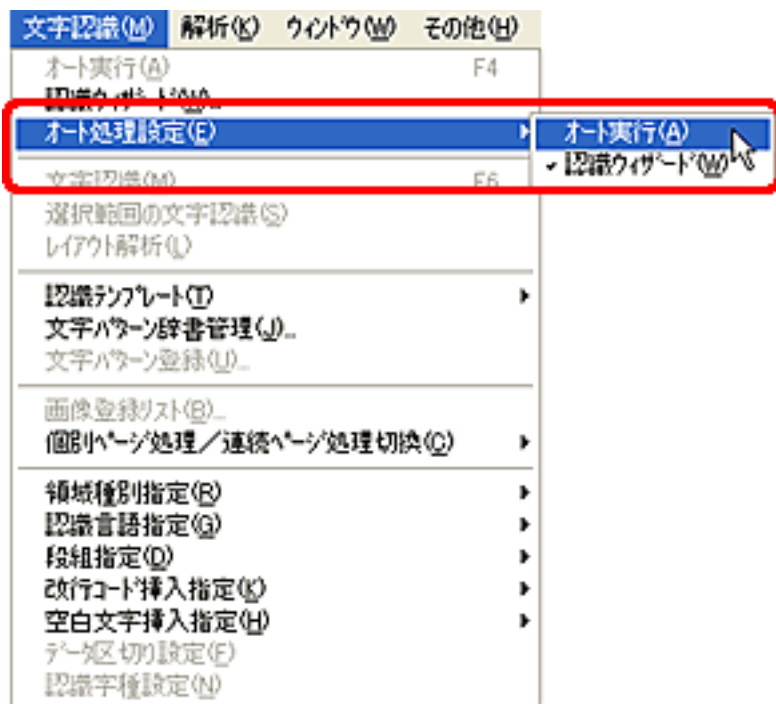
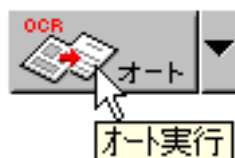
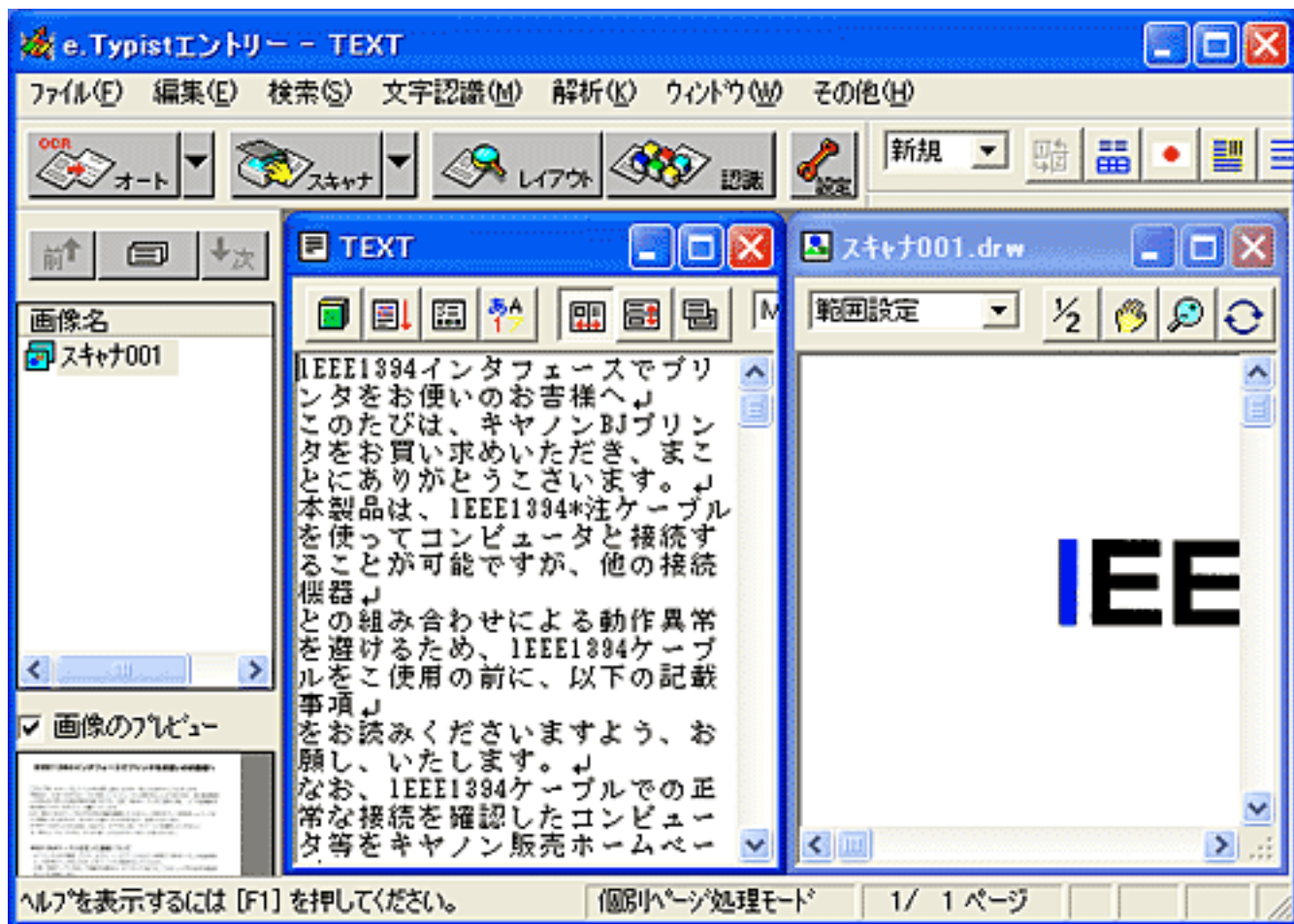
先頭へ戻る▲

Windows e.Typistエントリーでスキャンする

スキャナに付属のWindows版OCRソフト「e.Typistエントリー」からスキャンするときは、次の手順で行います。

1 スキャナに文字原稿をセットします。

2 ［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［e.Typistエントリー］-［e.Typistエントリー］を選択します。

3 ［その他］の［スキャナ設定］を選択します。

4 お使いのスキャナ名称を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

5 ［設定］ボタンをクリックします。
「操作の設定」画面が表示されます。

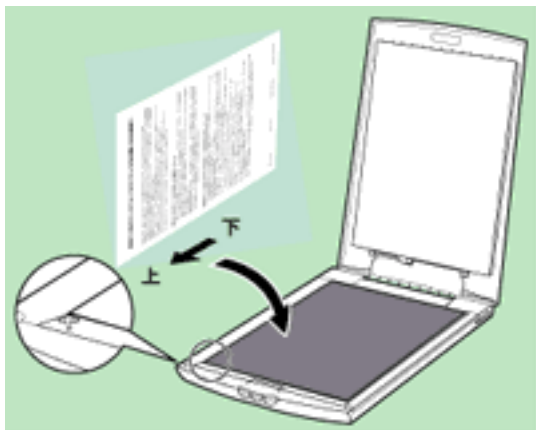
6 ［スキャナ］タブをクリックします。

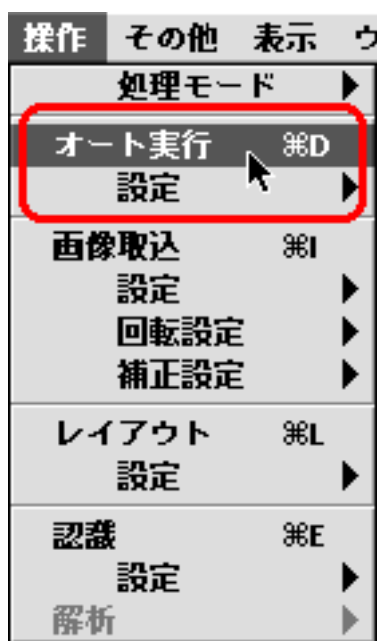
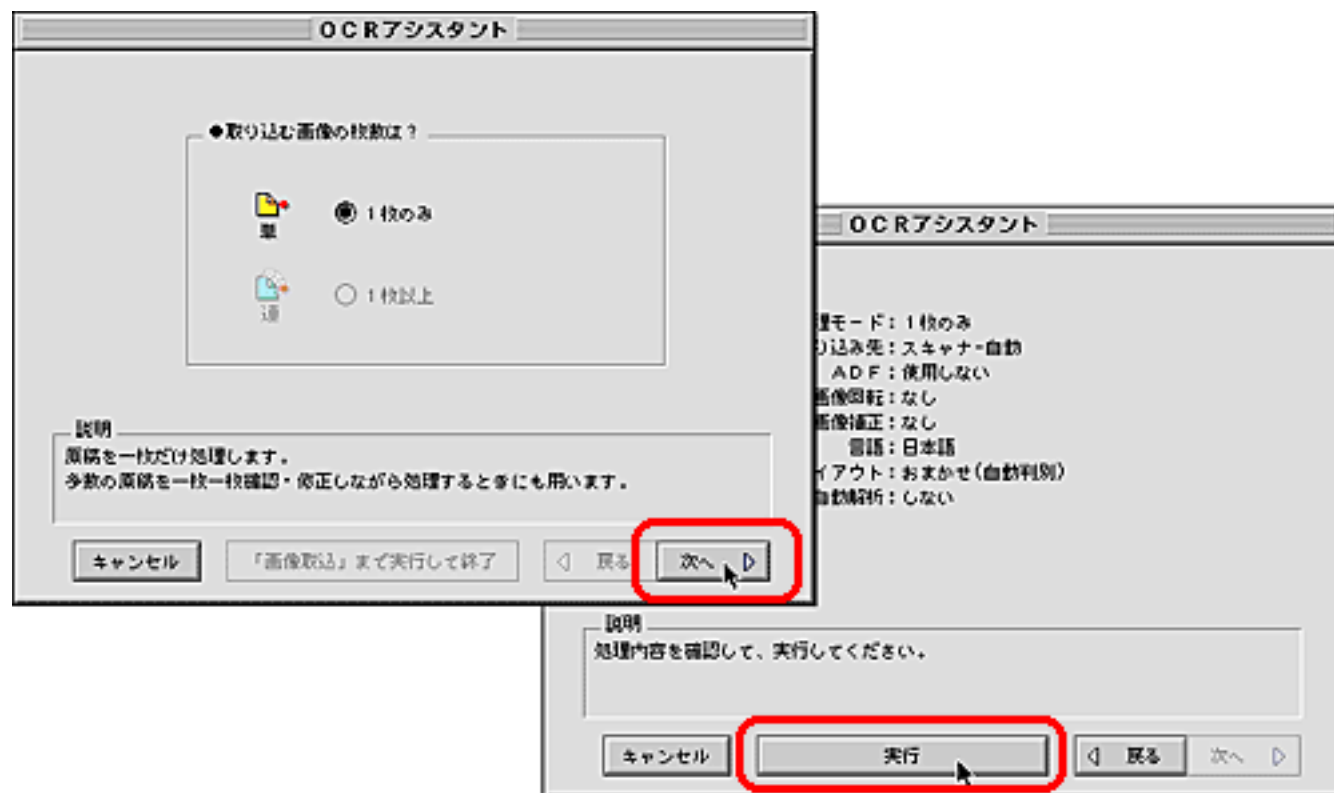
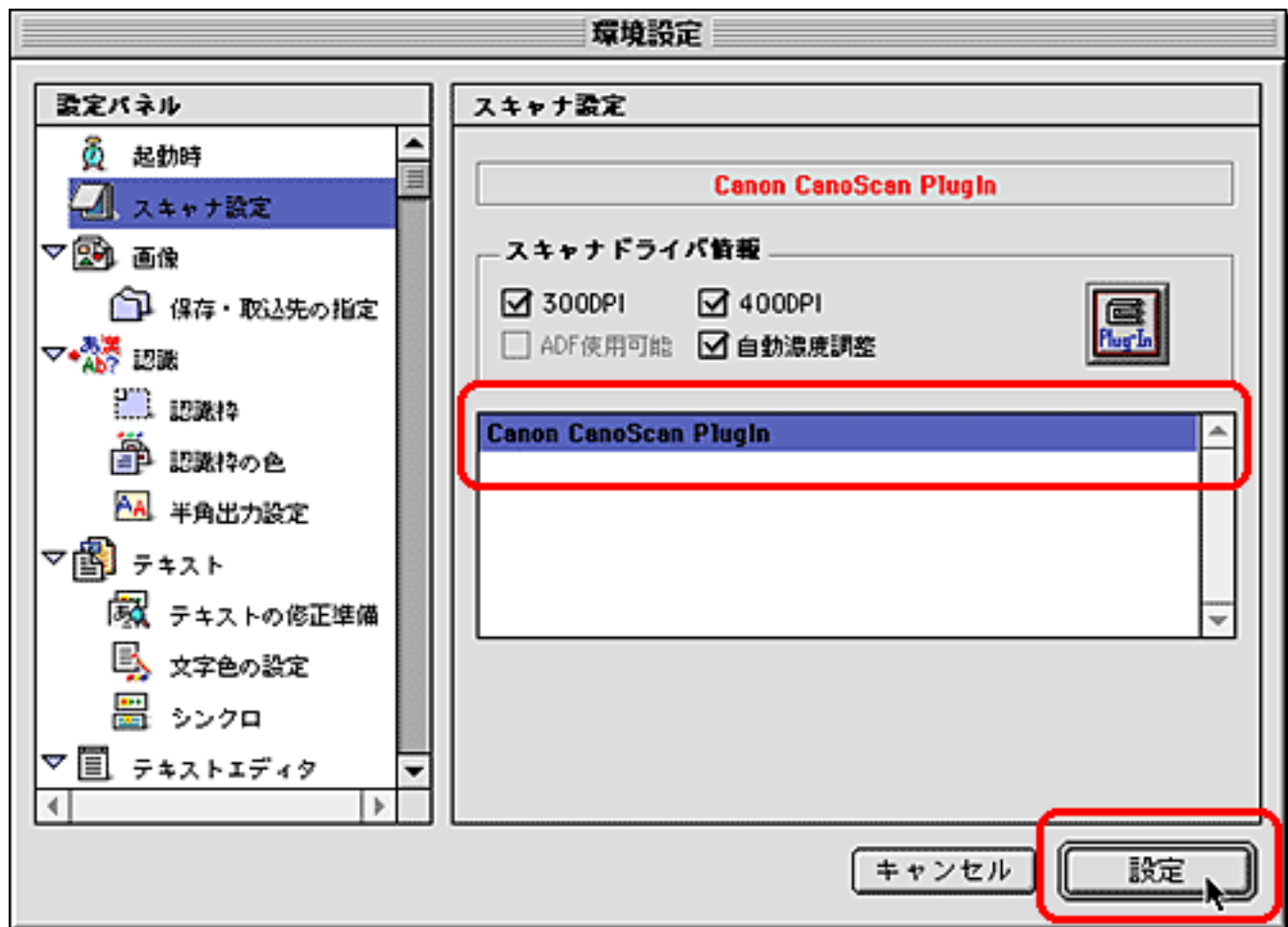
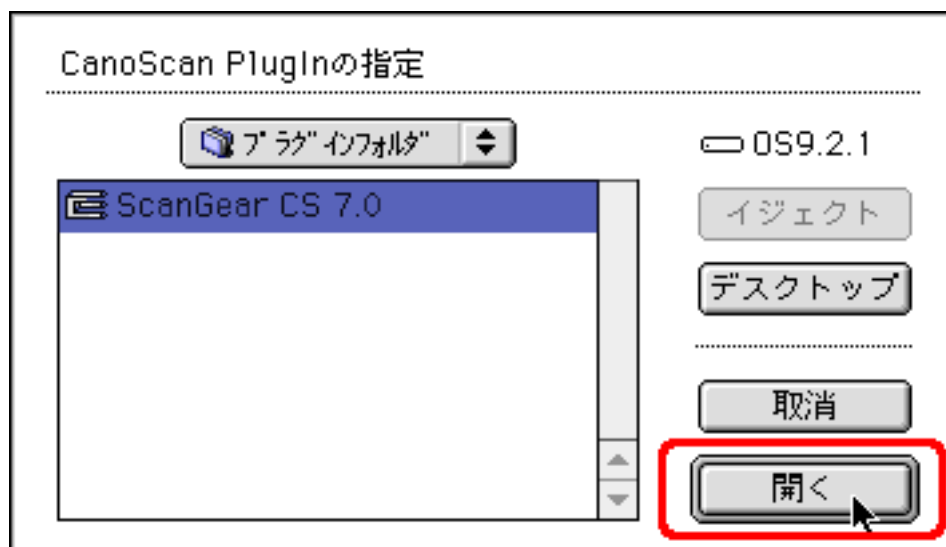
7 「画像取り込み」で［自動読込］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

8 ［文字認識］の［オート処理設定］から［オート実行］を選択します。

9 ［文字認識］の［オート実行］を選択、または［オート実行］ボタンをクリックします。

▼これでスキャンが始まり、認識された文字が表示されます。

- e.Typistエントリーの詳しい使いかたについては、「キヤノスキャン セットアップCD-ROM」内にある電子マニュアル「e.Typistエントリーユーザーズガイド」をお読みください。

先頭へ戻る▲

Macintosh e.Typistエントリーでスキャンする

スキャナに付属のMacintosh版OCRソフト「e.Typistエントリー」からスキャンするときは、次の手順で行います。

1 スキャナに文字原稿をセットします。

2 ［e.Typist Folder］フォルダを開き、［e.Typistエントリー］アイコンをダブルクリックします。

3 ［操作］の［オート実行］を選択、または［アシスタント］ボタンをクリックします。

4 「OCRアシスタント」画面のメッセージに従って必要な設定を行い、［次へ］ボタンをクリックします。
「OCRアシスタント」画面は全部で8枚表示されます。最後の画面では［実行］ボタンをクリックしてください。

5 次のような「環境設定」画面が表示されたときは、「Canon CanoScan PlugIn」が選択されていることを確認し、［設定］ボタンをクリックします。

6 「CanoScan PlugInの指定」画面が表示されたときは、「ScanGear CS」を選択し、［開く］ボタンをクリックします。

- 手順5の「環境設定」画面、手順6の「CanoScan PlugInの指定」画面は、「e.Typistエントリー」を初めて使うときにだけ表示されます。2回目以降、これらの操作はありません。

▼これでスキャンが始まり、認識された文字が表示されます。

- e.Typistエントリーの詳しい使いかたについては、「キヤノスキャン セットアップCD-ROM」内にある電子マニュアル「e.Typistエントリーユーザーズガイド」をお読みください。

先頭へ戻る▲

その他のアプリケーションでスキャンする

Windows

スキャナドライバScanGear CSは、TWAIN規格のスキャナドライバです。このため、アプリケーションソフトがTWAINに対応している場合、そのアプリケーションソフトからScanGear CSを呼び出して使うことができます。

Macintosh

スキャナドライバScanGear CSは、Adobe Photoshop規格のプラグインドライバです。このため、Adobe Photoshop規格のプラグインが使用できるアプリケーションソフトの場合、プラグインフォルダにScanGear CSをインストールすると、そのアプリケーションソフトでScanGear CSが使えるようになります。

- **Macintosh**
  ScanGear CSのインストールについては、「まず使えるようにしよう」の「ソフトウェアのインストール（Macintosh）」を参照してください。

- ご使用のアプリケーションソフトがTWAIN規格またはAdobe Photoshop Plug-in規格に対応しているかは、各アプリケーションソフトの製造元にご確認ください。
- 各アプリケーションソフトからScanGear CSを呼び出す方法やアプリケーションソフトの操作方法については、各アプリケーションソフトの製造元にご確認ください。

目的別スキャナ活用法

年賀状や写真をプリンタで印刷する、メールで送る、ホームページに貼りこむなど、用途に合わせたスキャンの方法を紹介します。

- Windows
本スキャナをWindowsでご使用の場合、スキャナをさらに活用していただくために、各種体験版ソフトウェアをダウンロードしたり、スキャナの活用に有効な情報が入手できる各社のホームページなどを紹介しているリンク集「お楽しみリンク」が用意されています。
デスクトップの「お楽しみリンク」アイコンをダブルクリックするか、キヤノスキャンセットアップCD-ROMのメニュー画面で「お楽しみリンク」を選択するとご覧いただけます。（本スキャナをMacintoshでご使用の場合はご覧いただけません。）

- ここでの操作を行うには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMから、すべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。
- プリンタで印刷するには、コンピュータにプリンタドライバがインストールされ、プリンタが接続されて、コンピュータ、スキャナ、プリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。
- Eメール機能を使うには、Eメールソフトがコンピュータにインストールされ、使用できる状態になっていることが必要です。
- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、WindowsではOutlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger、MacintoshではOutlook Express、EUDORAです。また、Windowsの場合メールソフトによって、メールソフト側で「MAPI」を有効に設定する必要があります。
- ここでの説明にはWindows XPの画面を使用しています。他のWindowsやMacintoshでも、特に記載がない限り操作方法は同じです。

目的別スキャナ活用法

- 写真の焼き増し・引き伸ばしをしたい
- はがきに印刷したい
- デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）
- Eメールに添付して送りたい
- ホームページに貼り付けたい
- WordやExcelに貼り付けたい
- 原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）
- 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）
- 複数の原稿を1つのPDFファイルにまとめたい

写真の焼き増し・引き伸ばしをしたい

写真の焼き増しや引き伸ばしは、CanoScan Toolboxを使うと、印刷イメージを確認しながらとても簡単にできます。

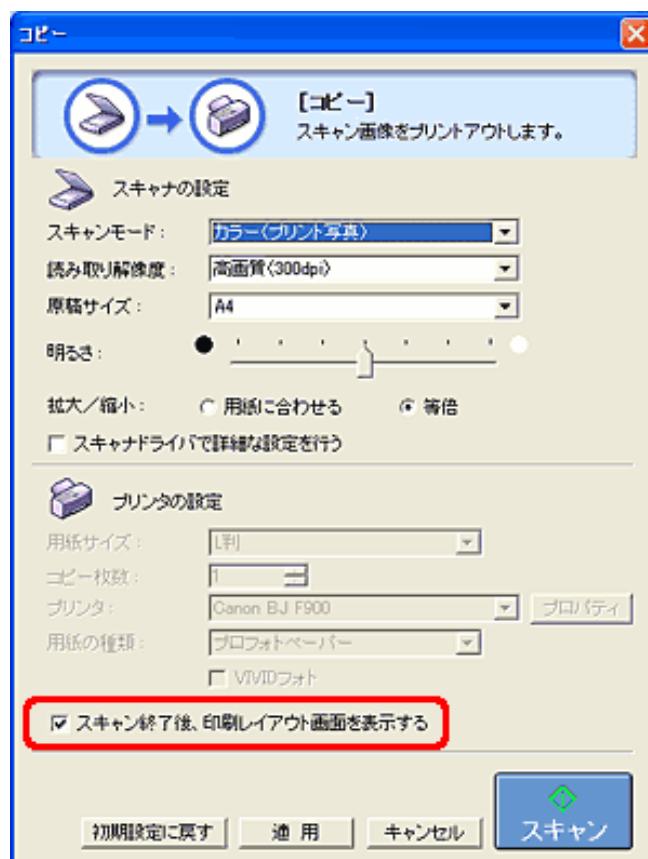
・印刷用紙「プロフォトペーパー」や「光沢紙」など写真の品質に近い印刷ができる用紙を使うと、きれいなプリントができます。

1 プリンタを準備します。
お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

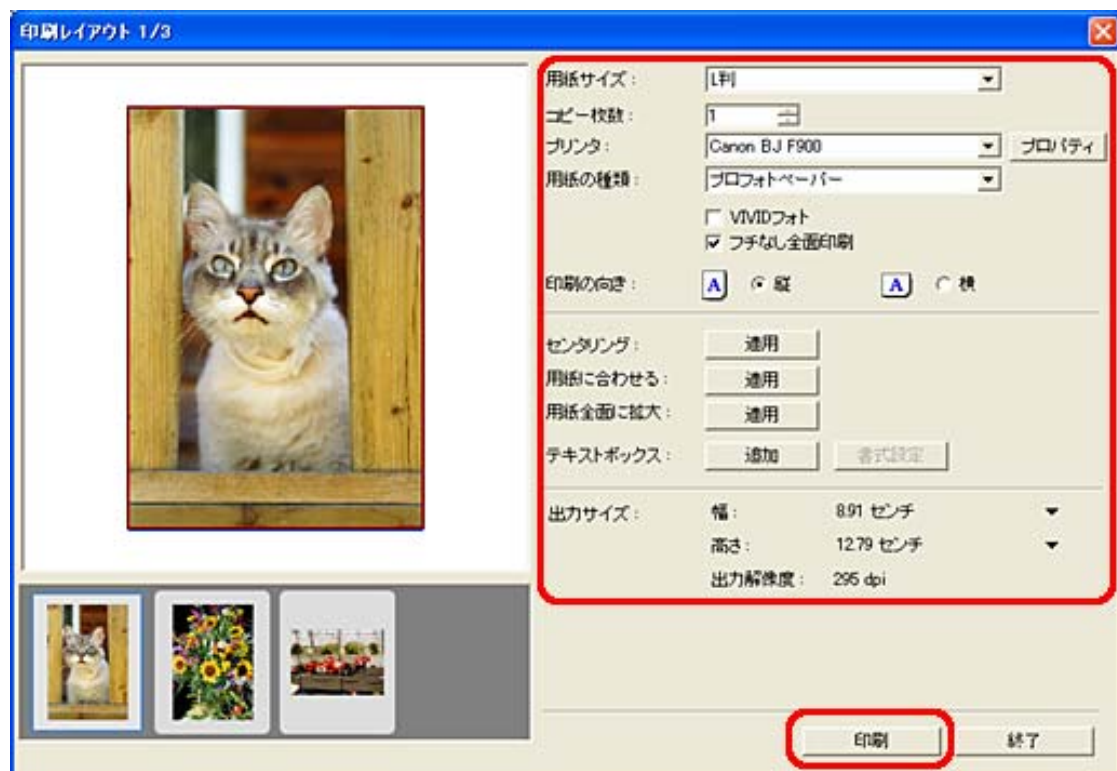
2 スキャナに写真をセットします。
何枚かの写真を同時にセットして、一度のスキャンで個別の画像として取り込むことができます。→ 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）

3 CanoScan Toolboxを起動します。→ Toolboxの起動

4 ［コピー］ボタンをクリックします。

5 スキャナの設定をしたあと、プリンタの設定の「スキャン終了後、印刷レイアウト画面を表示する」をクリックしてチェックマークを付けます。→コピー画面の設定のしかた

・「プリンタの設定」の項目は、お使いのプリンタによって異なります。この画面は、キヤノン製バブルジェットプリンタ「BJ F900」の場合です。

6 ［スキャン］ボタンをクリックします。
スキャンが始まります。
スキャンが終了すると、印刷レイアウト画面が表示されます。

7 用紙サイズや用紙の種類などを設定し、レイアウトを調整します。→印刷レイアウト画面の設定（写真の焼き増し・引き伸ばし）

8 ［印刷］ボタンをクリックします。

先頭へ戻る▲

印刷レイアウト画面の設定（写真の焼き増し・引き伸ばし）

写真の焼き増し・引き伸ばしをするときは、「印刷レイアウト画面」を次のように設定します。

用紙サイズ：　焼き増しのときはスキャンする写真と同じサイズに、引き伸ばしのときはプリンタにセットした用紙のサイズに合わせます。

コピー枚数：　焼き増ししたい枚数を設定します。

用紙の種類：　プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。

VIVIDフォト：　ここをクリックしてチェックマークを付けると、人物は自然な色合いを保ちながら、背景の草木や空、海をより鮮やかに印刷します。

フチなし全面印刷：

用紙のフチまでいっぱいに印刷したいときに、ここをクリックしてチェックマークを付けます。

印刷の向き：　スキャナにセットした原稿の向きに合わせます。

センタリング、用紙に合わせる、用紙全面に拡大：

必要に応じて左側のイメージを見ながら［適用］ボタンをクリックしてください。

- 「VIVIDフォト」「フチなし全面印刷」はキヤノン製バブルジェットプリンタで、これらの機能に対応しているモデルのみ選択できます。

- レイアウト画面左側の画像をマウスでドラッグすると、拡大や縮小、位置の変更ができます。
  - 画像の上下、左右のフチにマウスカーソルを合わせるとマウスカーソルの形状が↕や↔に変わります。この状態でドラッグすると画像を上下、左右に拡大、縮小できます。
  - 画像の4隅の角にマウスカーソルを合わせるとマウスカーソルの形状が↘や↗に変わります。この状態でドラッグすると画像を対角方向に引っ張って拡大、縮小できます。
  - マウスカーソルを画像の上に合わせると、マウスカーソルの形状が✥に変わります。この状態でドラッグすると画像をマウスの方向に移動できます。

- 原稿台に2枚以上の写真を並べ、スキャンモードで「カラー（マルチスキャン）」を選択してスキャンすると、「印刷レイアウト」画面でそれらの写真を同時に設定して印刷できます。

- プリンタ独自の機能を設定したいときは「プリンタ」右側の［プロパティ］ボタンをクリックしてください。

先頭へ戻る▲

目的別スキャナ活用法
- 写真の焼き増し・引き伸ばしをしたい
- はがきに印刷したい
- デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）
- Eメールに添付して送りたい
- ホームページに貼り付けたい
- WordやExcelに貼り付けたい
- 原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）
- 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）
- 複数の原稿を1つのPDFファイルにまとめたい

はがきに印刷したい

写真やイラストをスキャンして絵はがきや年賀状を作るときは、CanoScan Toolboxを使うと、印刷イメージを確認しながらとても簡単にできます。

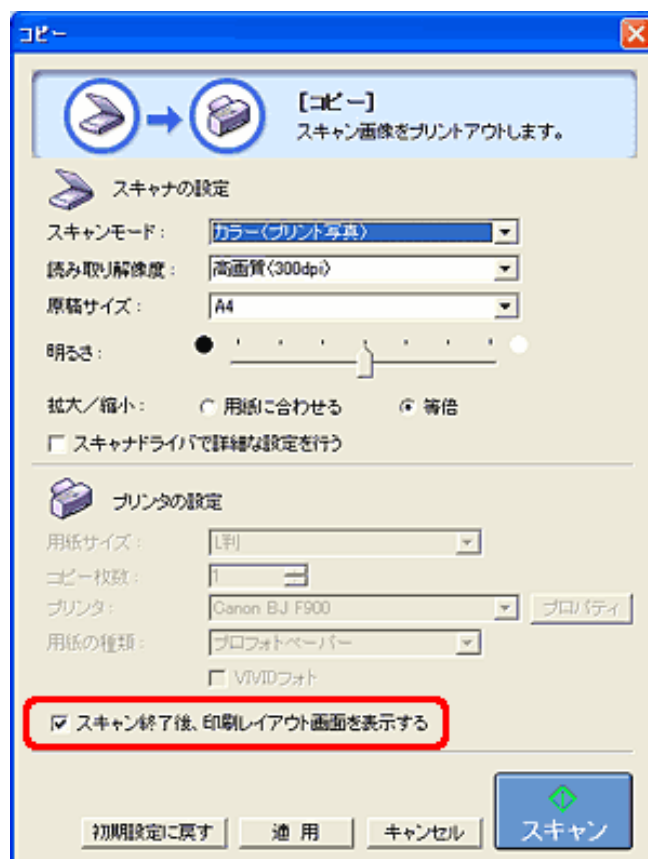
・印刷用紙に「インクジェット官製葉書」や「はがき」、はがきサイズの「光沢紙」を使うときれいに印刷できます。

1 プリンタを準備します。
お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

2 スキャナに原稿をセットします。
何枚かの原稿を同時にセットして、一度のスキャンで個別の画像として取り込むことができます。→ 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）

3 CanoScan Toolboxを起動します。→ Toolboxの起動

4 ［コピー］ボタンをクリックします。

5 スキャナの設定をしたあと、プリンタの設定の「スキャン終了後、印刷レイアウト画面を表示する」をクリックしてチェックマークを付けます。→ コピー画面の設定のしかた

・「プリンタの設定」の項目は、お使いのプリンタによって異なります。この画面は、キヤノン製バブルジェットプリンタ「BJ F900」の場合です。

6 ［スキャン］ボタンをクリックします。
スキャンが始まります。
スキャンが終了すると、印刷レイアウト画面が表示されます。

7 用紙サイズや用紙の種類などを設定し、レイアウトを調整します。→ 印刷レイアウト画面の設定（はがきの印刷）

8 ［印刷］ボタンをクリックします。

先頭へ戻る▲

印刷レイアウト画面の設定（はがきの印刷）

写真やイラストをスキャンして絵はがきや年賀状を作るときは、「印刷レイアウト」画面を次のように設定します。

用紙サイズ： 「はがき」に合わせます。

コピー枚数： 印刷したい枚数を設定します。

用紙の種類： プリンタにセットしたはがきの種類に合わせ、「インクジェット官製葉書」や「はがき」、「光沢紙」などを選択します。

VIVIDフォト： ここをクリックしてチェックマークを付けると、人物は自然な色合いを保ちながら、背景の草木や空、海をより鮮やかに印刷します。

フチなし全面印刷：

用紙のフチまでいっぱいに印刷したいときに、ここをクリックしてチェックマークを付けます。

印刷の向き： スキャナにセットした写真やイラストの向きに合わせます。

センタリング、用紙に合わせる、用紙全面に拡大：

必要に応じて左側のイメージを見ながら［適用］ボタンをクリックしてください。

テキストボックス：

［追加］ボタンをクリックすると、写真やイラストの上に文字を書き込むことができます。［書式設定］ボタンをクリックすると、文字の書体やスタイル、サイズ、色などを設定できます。

- 「VIVIDフォト」「フチなし全面印刷」はキヤノン製バブルジェットプリンタで、これらの機能に対応しているモデルのみ選択できます。

- レイアウト画面左側の画像をマウスでドラッグすると、拡大や縮小、位置の変更ができます。
  - 画像の上下、左右のフチにマウスカーソルを合わせるとマウスカーソルの形状が↕や↔に変わります。この状態でドラッグすると画像を上下、左右に拡大、縮小できます。
  - 画像の4隅の角にマウスカーソルを合わせるとマウスカーソルの形状が↘や↗に変わります。この状態でドラッグすると画像を対角方向に引っ張って拡大、縮小できます。
  - マウスカーソルを画像の上に合わせると、マウスカーソルの形状が✥に変わります。この状態でドラッグすると画像をマウスの方向に移動できます。

- プリンタ独自の機能を設定したいときは「プリンタ」右側の［プロパティ］ボタンをクリックしてください。

デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）

旅行や日常のスナップ写真をスキャンしてデジタルアルバム（写真のスクラップ）を作るには、次のような方法があります。

・ 付属のアルバムソフトArcSoft PhotoBaseを使うと、簡単にデジタルアルバム（写真のスクラップ）を作ることができます。

- スキャナのSCANボタンを使ってアルバムを作る
  スキャナのSCANボタンを押すだけで、画像をスキャンし、ArcSoft PhotoBaseに保存します。
- CanoScan Toolboxを使ってアルバムを作る
  スキャンモードやスキャン画像の保存先、ファイルの種類などを設定したいときはこの方法が最適です。
- ArcSoft PhotoBaseに直接取り込んでアルバムを作る
  アルバムを編集しながら画像を取り込むときは、この方法が便利です。

CanoScan Toolboxを使ってアルバムを作る

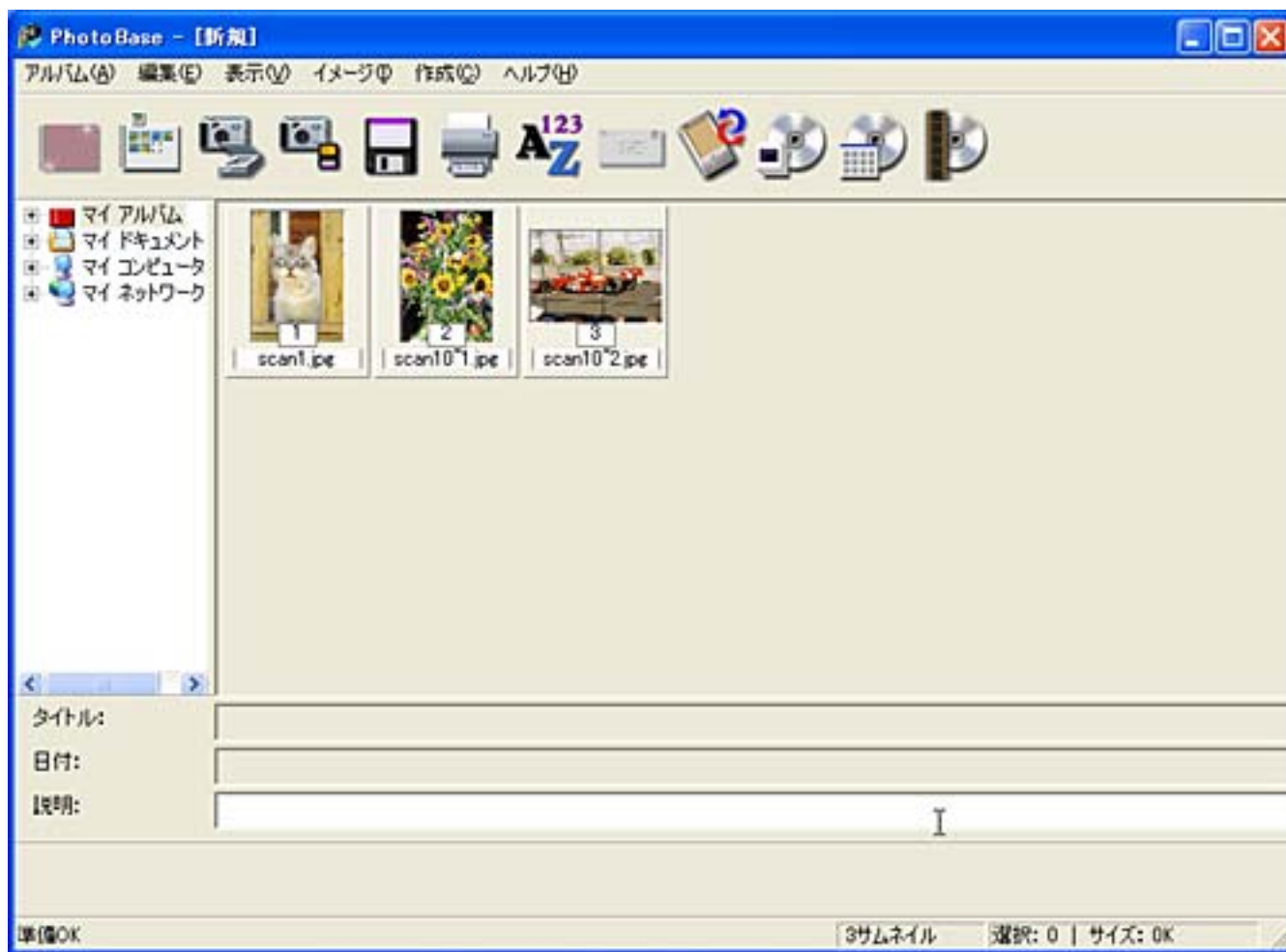
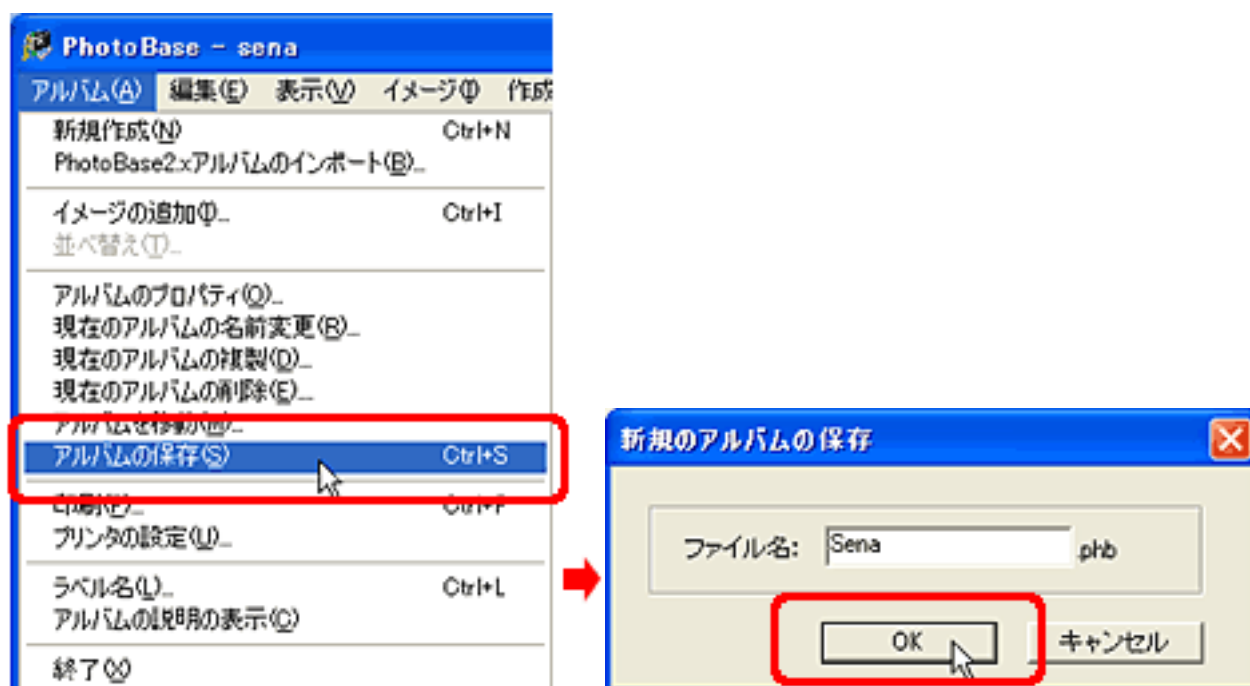
1 スキャナに原稿をセットします。

2 CanoScan Toolboxを起動します。→ Toolboxの起動

3 ［スキャン-1］ボタンをクリックします。

4 必要があれば、スキャンモードやスキャン画像の保存先、ファイルの種類などを設定します。→ スキャン画面の設定のしかた

・何枚かの写真を同時にセットし、「スキャンモード」を「カラー（マルチスキャン）」に設定しておけば、一度のスキャンで個別の画像として取り込むことができます。→ 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）

5 ［スキャン］ボタンをクリックします。
スキャンが始まります。
スキャンが終わると自動的にPhotoBaseが起動し、スキャンした画像が取り込まれます。

6 アルバムを保存します。

先頭へ戻る▲

目的別スキャナ活用法

- 写真の焼き増し・引き伸ばしをしたい
- はがきに印刷したい
- デジタルアルバムを作りたい（写真のスクラップ）
- Eメールに添付して送りたい
- ホームページに貼り付けたい
- WordやExcelに貼り付けたい
- 原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）
- 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）
- 複数の原稿を1つのPDFファイルにまとめたい

Eメールに添付して送りたい

スキャンした画像をEメールに添付する方法には、次の2つがあります。

- スキャナのE-MAILボタンを使ってEメールに添付する
  スキャナのE-MAILボタンを押すだけで、画像をスキャンし、Eメールソフトの新規メールに添付します。
- CanoScan Toolboxを使ってEメールに添付する
  スキャンモードやスキャン画像の保存先、ファイルの種類などを設定したいときはこの方法が最適です。

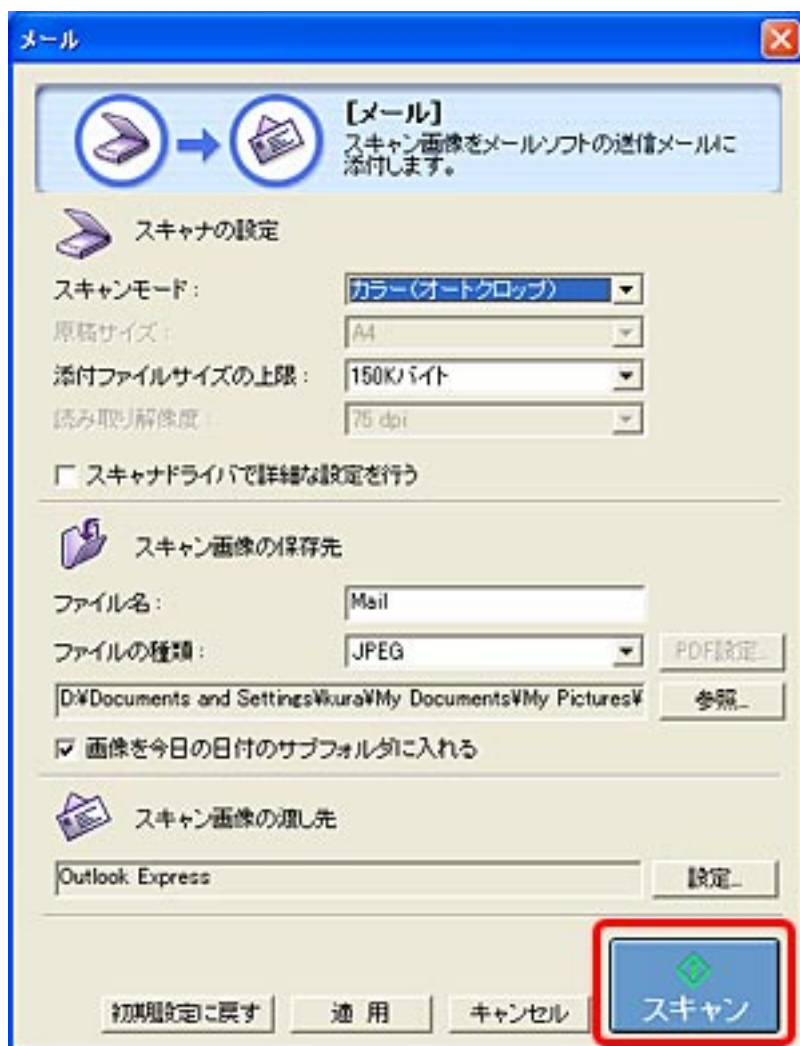
- Eメールに添付する画像は、JPEGやPDFなどのファイル形式にし、できるだけ容量を小さくして送ることがポイントです。大きな容量の画像を添付すると、メールの送受信に時間がかかり、送信相手に迷惑をかけるばかりでなく、送信や受信時のエラーの原因になることがあります。
- 画像のファイルサイズは、一般的には150kバイト以下にすることをお勧めします。スキャナのE-MAILボタンやToolboxのメールボタンでスキャンすると、ファイルサイズの上限が150kバイトになるように解像度が自動で設定されます。

CanoScan Toolboxを使ってEメールに添付する

1 スキャナに原稿をセットします。

2 CanoScan Toolboxを起動します。→ Toolboxの起動

3 ［メール］ボタンをクリックします。

4 必要があれば、スキャンモードやスキャン画像の保存先、ファイルの種類などを設定します。→ メール画面の設定のしかた

- 何枚かの写真を同時にセットし、「スキャンモード」を「カラー（マルチスキャン）」に設定しておけば、一度のスキャンで個別の画像として取り込み、添付することができます。→ 複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）
- ファイルの種類にPDFを選び、［PDF設定］で「マルチページPDFを作成」にチェックマークを付けておくと、複数の原稿を1つのPDFファイルにまとめることができます。複数画像が扱えないメールソフトなどで便利です。

---

5 ［スキャン］ボタンをクリックします。
スキャンが始まります。
スキャンが終わると、スキャンした画像は保存され、自動的にEメールソフトの新規メール（メッセージ）に添付されます。

6 メールに宛先や文面を入力し、送信します。

先頭へ戻る▲

ホームページに貼り付けたい

スキャンした画像をホームページに貼り付けるには、ファイル形式をJPEGまたはGIFで保存します。また、読み取り解像度が75dpiのときに原稿と同じサイズで表示され、読み取り解像度を大きくしてスキャンすると大きく、小さくすると小さくなります。ホームページへ貼り付けるための画像は、次の方法でスキャンして保存します。

- CanoScan Toolboxを使って保存する
  手軽にJPEG形式の画像を作成する方法です。
- AcroSoft PhotoStudioを使って保存する
  スキャンした画像を加工する必要があるときなどに便利です。JPEG形式の画像が作成できます。

・ホームページへ貼り付ける方法については、ご使用のホームページ作成ソフトのマニュアルをご覧ください。

CanoScan Toolboxを使って保存する

1 スキャナに原稿をセットします。

2 CanoScan Toolboxを起動します。→ Toolboxを起動

3 ［保存］ボタンをクリックします。

4 読み取り解像度は「75dpi」、ファイルの種類は「JPEG」に設定します。→ 保存画面の設定のしかた

- 読み取り解像度を設定するときはスキャンモードを「カラー（プリント写真）」に設定します。
- 原稿と同じサイズで貼り付けるときは読み取り解像度を「75dpi」、拡大するときは大きく、縮小するときは小さく設定します。
- オートクロップやマルチスキャンで読み取り解像度を設定したいときは、「スキャナドライバで詳細な設定を行う」をクリックしてチェックマークを付けます。

5 ［スキャン］ボタンをクリックします。

スキャンが始まります。
スキャンが終わると、スキャンした画像は設定されている保存先にJPEG形式で保存されます。

6 保存した画像を、ホームページ作成ソフトで呼び出して貼り付けます。

・ホームページへ貼り付ける方法については、ご使用のホームページ作成ソフトのマニュアルをご覧ください。

先頭へ戻る▲

WordやExcelに貼り付けたい

スキャンした画像を、Microsoft Wordなどのワープロソフトや Microsoft Excelなどの表計算ソフトに貼り付けるには、次のように操作します。

▶ 保存してある画像を貼り付ける
すでにスキャンして保存してある画像を貼り付ける手順です。

▶ スキャンして貼り付ける
文書や表を作りながら、写真などをスキャンして貼り付ける方法です。

・貼り付ける画像のファイル形式は、PDF以外（BMPやPICT、TIFF、JPEG）ならどれでもかまいません。

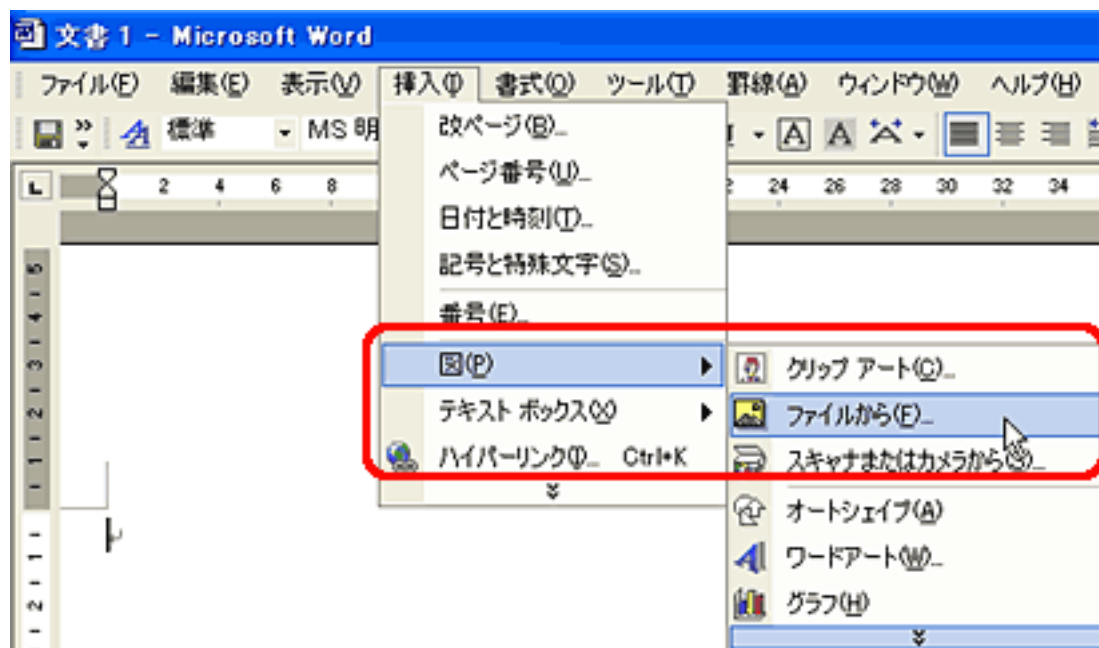
保存してある画像を貼り付ける

1 WordやExcelで画像を貼り付ける（挿入する）文書や表を表示します。

2 貼り付け（挿入し）たい位置を指定します。

- Wordの場合、画像を貼り付ける（挿入する）位置へ文字入力カーソルを移動します。
- Excelの場合、画像を貼り付ける（挿入する）位置の左上のセルを選択します。

3 ［挿入］のプルダウンメニューで、［図］の［ファイルから］を選択します。

<Microsoft Office XP-Word 2002の画面例>

4 「図の挿入（選択）」ダイアログで貼り付ける（挿入する）画像を選択します。

- 貼り付け（挿入し）た画像は、フチや角をドラッグして拡大や縮小、トリミングなどができます。
- WordやExcelの使いかたについては、WordやExcelのマニュアルをご覧ください。

先頭へ戻る▲

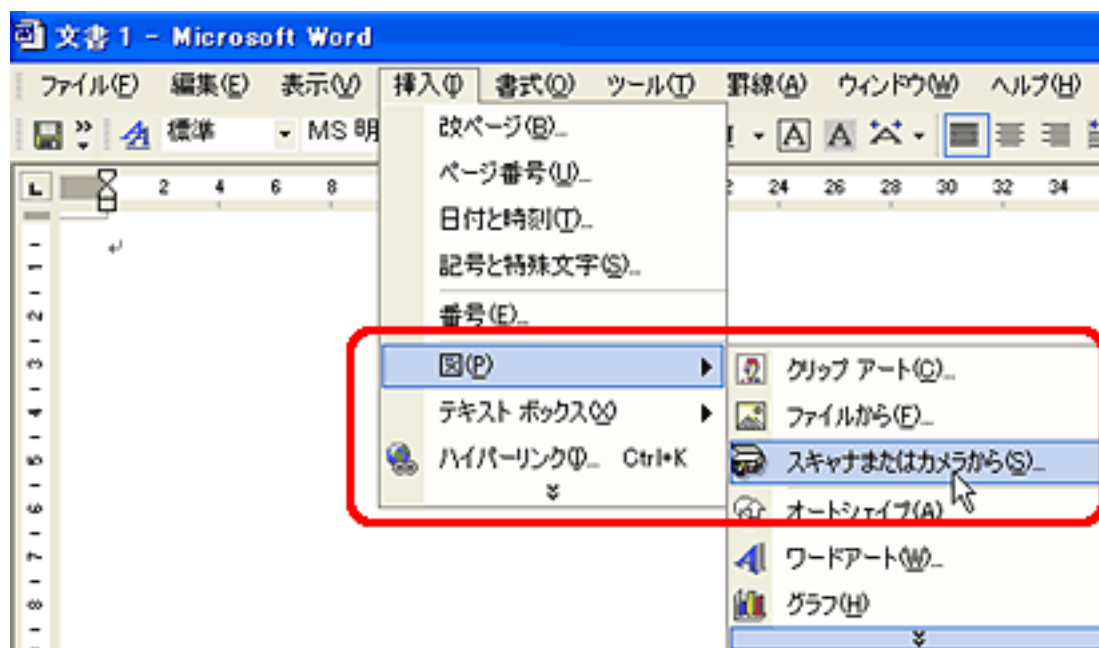
スキャンして貼り付ける

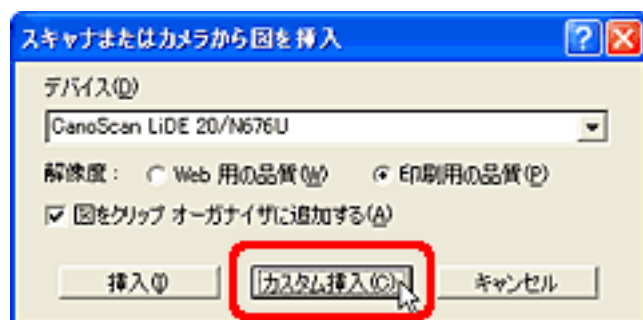
1 WordやExcelで画像を貼り付ける（挿入する）文書や表を表示します。

2 貼り付け（挿入し）たい位置を指定します。

- Wordの場合、画像を貼り付ける（挿入する）位置へ文字入力カーソルを移動します。
- Excelの場合、画像を貼り付ける（挿入する）位置の左上のセルを選択します。

3 ［挿入］のプルダウンメニューで、［図］の［スキャナまたはカメラから］を選択します。

<Microsoft Office XP-Word 2002の画面例>

4 Windows デバイスにお使いのスキャナ名称を選択します。
必要があれば解像度などを設定します。

Macintosh デバイスに［ScanGear CS］を選択します。

<Windows: Microsoft Office XPの画面例>

<Macintosh: Microsoft Office 2001の画面例>

［カスタム挿入］ボタンをクリックします。
Macintosh ［取得］ボタンをクリックします。

ScanGear CSのメイン画面が表示されます。

6 ScanGear CSで画像をスキャンします。→ ScanGear CSで画像をスキャン
スキャンが始まり、画像が文書や表に貼り付けられ（挿入され）ます。

- 貼り付け（挿入し）た画像は、フチや角をドラッグして拡大や縮小、トリミングなどができます。
- WordやExcelの使いかたについては、WordやExcelのマニュアルをご覧ください。

- マルチスキャン、マルチクロップ機能を使って、一度のスキャンで複数の画像を貼り付ける（挿入する）ことは、お勧めできません。1枚ずつ原稿を読み込んでお使いください。

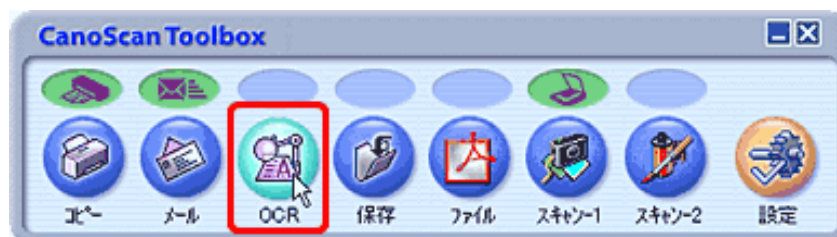
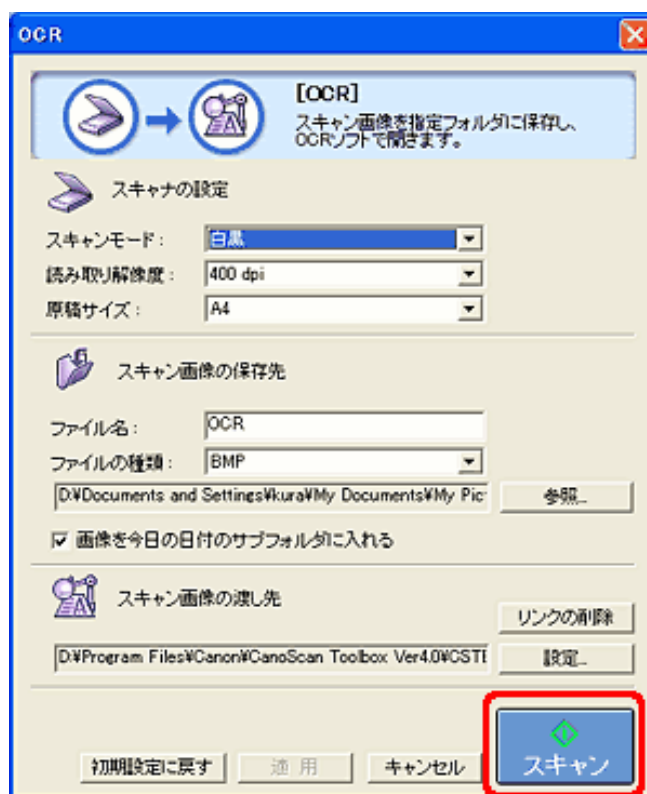
先頭へ戻る▲

原稿の文字をテキストデータに変換したい（OCR）

新聞や雑誌、本や書類などの文字原稿を読み取ってテキストデータに変換するときは、CanoScan Toolboxの［OCR］ボタンでスキャンし、付属のOCRソフト「e.Typistエントリー」でテキストデータに変換します。

1 スキャナに原稿をセットします。

2 CanoScan Toolboxを起動します。→ Toolboxの起動

3 ［OCR］ボタンをクリックします。

4 必要があれば、読み取り解像度やファイルの種類などを設定します。→ OCR画面の設定のしかた

5 ［スキャン］ボタンをクリックします。
スキャンが始まります。
スキャンが終わると、付属のOCRソフト「e.Typistエントリー」に読み取った原稿が表示されます。

6 「e.Typistエントリー」でテキストに変換します。

・ e.Typistエントリーの使いかたについては、電子マニュアル「e.Typistエントリーユーザーズガイド」をお読みください。

先頭へ戻る▲

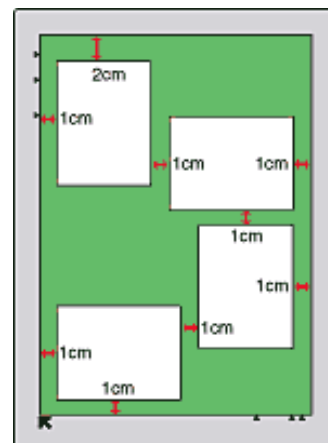
複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）

複数の原稿を原稿台に並べ、一度のスキャンでそれぞれ個別の画像としてアプリケーションソフトに取り込んだり、保存したり（マルチスキャン）することができます。操作方法には、次の3つの方法があります。

- CanoScan Toolboxでスキャンする
  CanoScan Toolboxを使って、手軽にマルチスキャンをする方法です。
- ScanGear CSの基本モードでスキャンする
  ScanGear CSの画面を呼び出し、基本モードでマルチスキャンをする方法です。
- ScanGear CSの拡張モードでスキャンする
  ScanGear CSの画面を呼び出し、拡張モードでマルチスキャンをする方法です。

・ 原稿の置きかた

次の点に注意して、写真を原稿台に置いてください。

- 写真と写真の間は、1cm以上空けてください。
- 原稿台の左右の端と写真の間、原稿台の手前の端と写真の間は、1cm以上空けてください。
- 原稿台の奥の端と写真の間は、2cm以上空けてください。
- 原稿の枚数の制限は10枚です。

CanoScan Toolboxでスキャンする

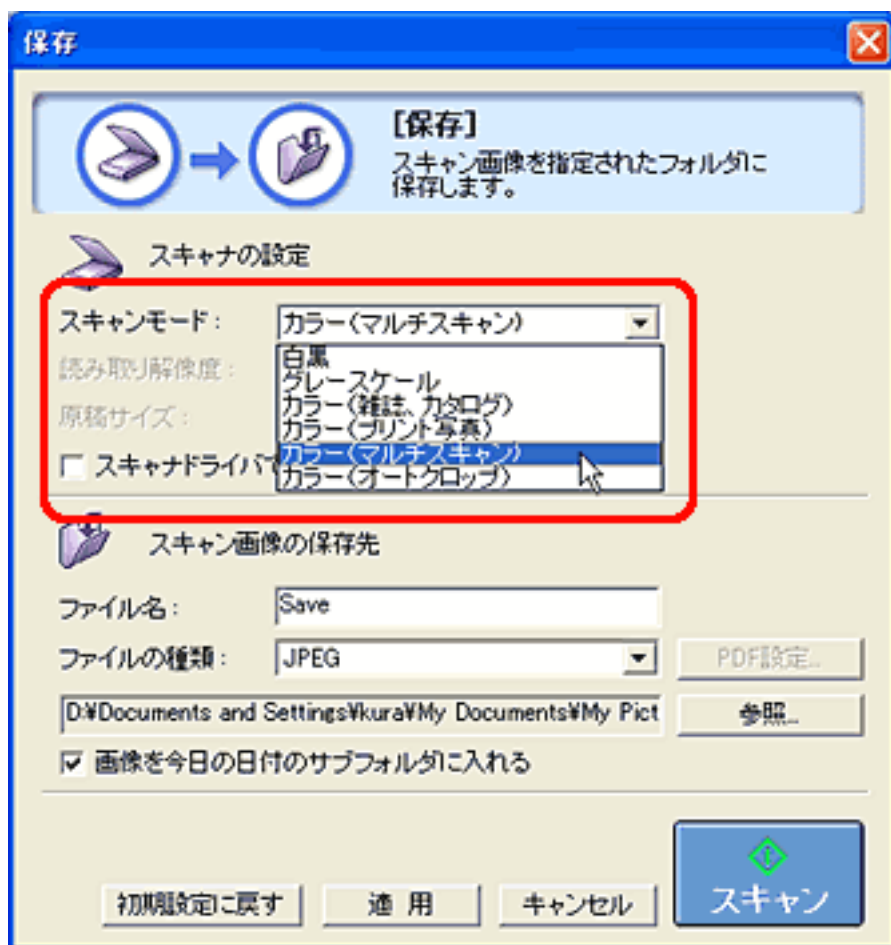
1 スキャナに原稿をセットします。

2 CanoScan Toolboxを起動します。→ Toolboxの起動

3 CanoScan Toolboxの目的のボタンをクリックして設定画面を表示します。→ ボタンの機能

・ OCRボタンはマルチスキャンできません。

---

4 「スキャンモード」を「カラー（マルチスキャン）」に設定します。

5 ［スキャン］ボタンをクリックします。

ScanGear CSの基本モードでスキャンする

1 スキャナに原稿をセットします。

2 CanoScan ToolboxやアプリケーションソフトからScanGear CSを呼び出します。→ ScanGear CSの起動

3 ScanGear CSが拡張モードのときは、［基本モード］ボタンをクリックして基本モード画面にします。→ 拡張モードの機能

4 ［プレビュー］ボタンをクリックして試しの画像を表示します。

5 ［マルチスキャン］ボタンをクリックします。

6 必要があればカラーモードや解像度などを設定し、［次へ］ボタンをクリックします。→ マルチスキャンボタン

スキャンが始まり、原稿台に並べた原稿が、それぞれ個別の画像としてアプリケーションソフトに取り込まれたり、保存されます。

先頭へ戻る▲

ScanGear CSの拡張モードでスキャンする

1. スキャナに原稿をセットします。
2. CanoScan ToolboxやアプリケーションソフトからScanGear CSを呼び出します。→ ScanGear CSの起動
3. ScanGear CSが基本モードのときは、［拡張モード］ボタンをクリックして拡張モード画面にします。→ 基本モードの機能
4. ［プレビュー］ボタンをクリックして試しの画像を表示します。
5. 「マルチクロップ」の［適用］ボタンをクリックします。
6. 必要があればいろいろな設定をします。→ 拡張モードの機能
7. ［スキャン］ボタンをクリックします。

スキャンが始まり、原稿台に並べた原稿が、それぞれ個別の画像としてアプリケーションソフトに取り込まれたり、保存されます。

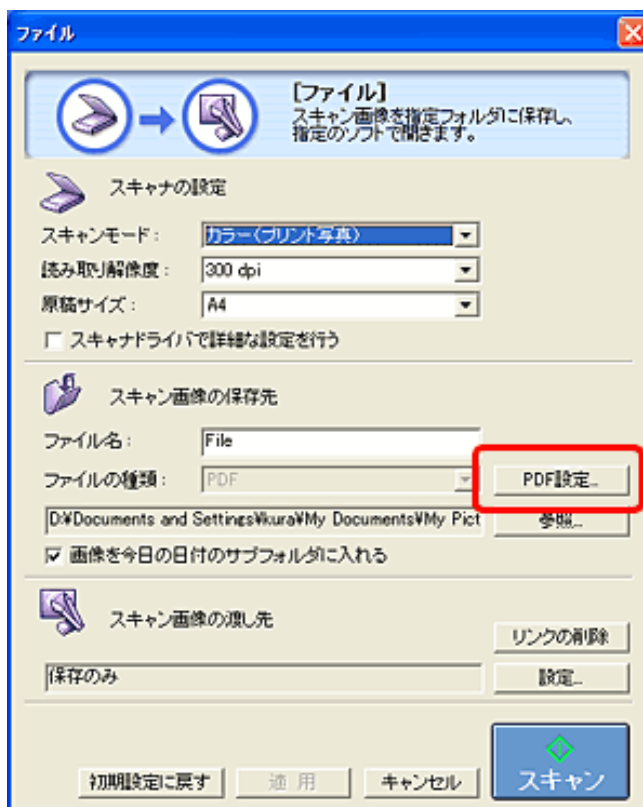
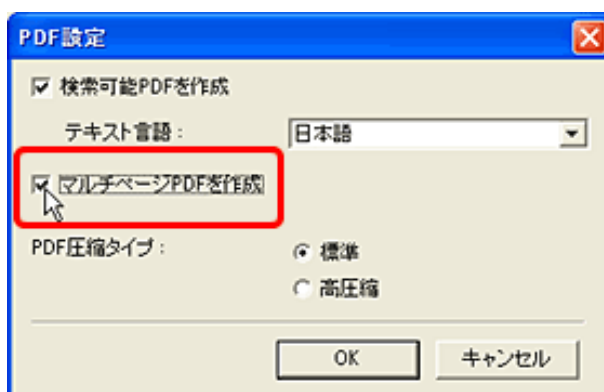
複数の原稿を1つのPDFファイルにまとめたい

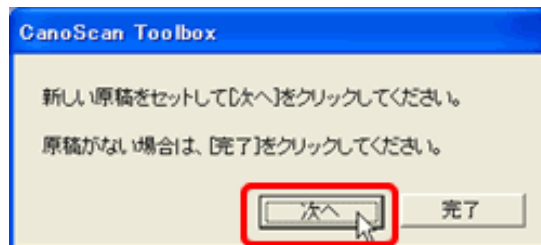
スキャンした画像を、Adobe Acrobat Reader で見ることができるPDF文書として保存します。読み取り解像度や原稿サイズ、保存先などが設定できる他、複数の原稿を1つのPDF にまとめたり、文字の検索ができるPDF文書を作ることもできます。

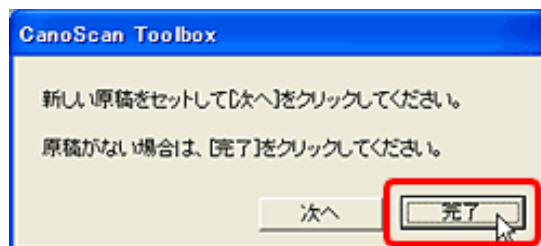
1 スキャナに原稿をセットします。

2 CanoScan Toolboxを起動します。→ Toolboxの起動

3 ［ファイル］ボタンをクリックします。

4 ［PDF設定］ボタンをクリックします。

5 「マルチページPDFを作成」をクリックしてチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックします。

6 1枚目の原稿をセットして、ファイル画面右下の［スキャン］ボタンをクリックします。

7 スキャンが終わったら、次の原稿をセットして［次へ］ボタンをクリックします。

8 すべての原稿のスキャンが終わるまで［次へ］ボタンをクリックしてスキャンを繰り返します。

9 すべての原稿をスキャンし終わったら［完了］ボタンをクリックします。

スキャンした画像は1つのPDFファイルとして設定されている保存先に保存されます。

- 文字原稿や白黒原稿をスキャンするときは、「スキャンモード」を［白黒］または［グレースケール］にすることをおすすめします。
- カラー原稿（「読み取り解像度」が［300dpi］）でマルチページPDFを作成する場合、１つのPDFファイルは20ページ以下にすることをおすすめします。

先頭へ戻る▲

付属のソフトウェアの使いかた

スキャナに付属するソフトウェア「ScanGear CS」と「CanoScan Toolbox」の使いかたと、その他付属のソフトウェアの機能について紹介します。

- Windows
  本スキャナをWindowsでご使用の場合、スキャナをさらに活用していただくために、各種体験版ソフトウェアをダウンロードしたり、スキャナの活用に有効な情報が入手できる各社のホームページなどを紹介しているリンク集「お楽しみリンク」が用意されています。
  デスクトップの「お楽しみリンク」アイコンをダブルクリックするか、キヤノスキャンセットアップCD-ROMのメニュー画面で「お楽しみリンク」を選択するとご覧いただけます。（本スキャナをMacintoshでご使用の場合はご覧いただけません。）

- ここでの操作を行うには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMから、すべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。
- プリンタで印刷するには、コンピュータにプリンタドライバがインストールされ、プリンタが接続されて、コンピュータ、スキャナ、プリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。
- Eメール機能を使うには、Eメールソフトがコンピュータにインストールされ、使用できる状態になっていることが必要です。
- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、WindowsではOutlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger、MacintoshではOutlook Express、EUDORAです。また、Windowsの場合メールソフトによって、メールソフト側で「MAPI」を有効に設定する必要があります。
- ここでの説明にはWindows XPの画面を使用しています。他のWindowsやMacintoshでも、特に記載がない限り操作方法は同じです。

付属のソフトウェアの使いかた

ScanGear CSのことが知りたい
- ScanGear CSって何？
- ScanGear CSの起動
- ScanGear CSの終了
- スキャンの手順
- 基本モードの機能
- 拡張モードの機能

CanoScan Toolboxのことが知りたい
- CanoScan Toolboxって何？
- Toolboxの起動
- Toolboxの終了
- ボタンの機能
- スキャナのボタンを使う

PhotoStudioのことが知りたい

PhotoBaseのことが知りたい

e.Typistエントリーのことが知りたい

Acrobat Readerのことが知りたい

電子マニュアル(PDF)の読みかた

ScanGear CSって何？

ScanGear CSは、スキャナにセットされた原稿をスキャンするためのドライバソフトです。
単独で使用するソフトウェアではなく、アプリケーションソフトから呼び出して使います。

ScanGear CSには、簡単な設定だけで手早くスキャンできる「基本モード」と、より細かな設定でスキャンできる「拡張モード」が用意されています。

さらに、スキャナにセットした複数の原稿を一度の操作で別々の画像として連続スキャンできる「マルチスキャン」という便利な機能も用意されています。

- 基本モードについては基本モードの機能を、拡張モードについては拡張モードの機能をご覧ください。

ScanGear CSの起動

Windows

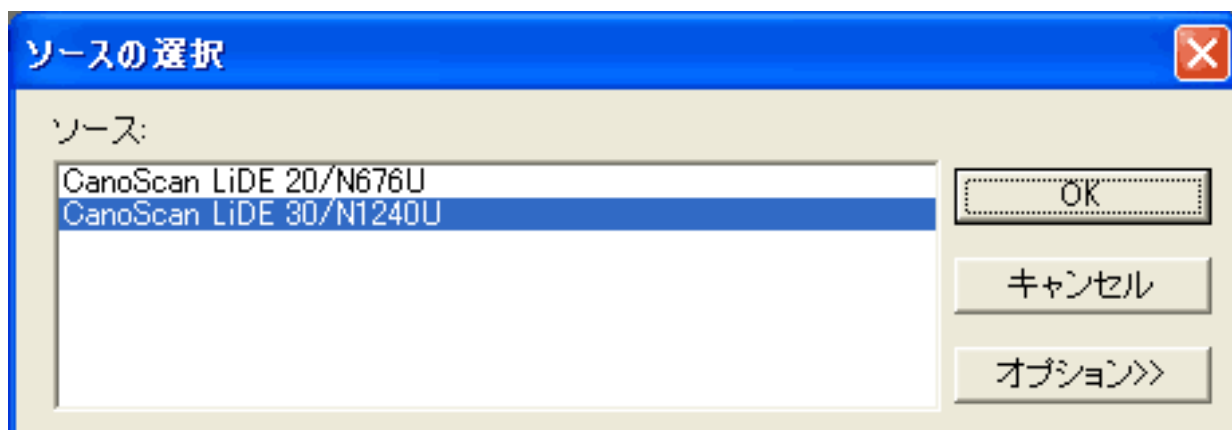
ScanGear CSの起動（Windowsの場合）の手順を説明します。
Windows用のScanGear CSはTWAIN（トウェイン）という規格のスキャナ用のドライバソフトで、単独では起動できません。アプリケーションソフトから起動します。
一般的に、TWAIN対応のアプリケーションソフトからScanGear CSを起動する場合、TWAIN機器を選択（ソースの選択ともいいます）してから、「入力」や「取り込み」などの機能をメニューから選びます。
ここでは、ArcSoft PhotoStudioからScanGear CSを起動する例で説明します。

- ScanGear CSを起動するときは、スキャナが正しく接続されていることを確認してください。

- CanoScan ToolboxからScanGear CSを起動する手順については、ボタンの機能の各ボタン画面で表示される「スキャナドライバで詳細な設定を行う」の解説をご覧ください。
- ArcSoft PhotoStudio以外のプラグイン対応のアプリケーションソフトからScanGear CSを起動する方法については、「スキャンの手順」のアプリケーションソフトからスキャンするまたは各アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

1 ［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［ArcSoft PhotoStudio］の［PhotoStudio 5］を選択します。

2 ［ファイル］のプルダウンメニューから［ソースの選択］を選択します。

3 ［ソースの選択］画面で、ご使用のスキャナ名称を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

- 他のスキャナやデジタルカメラ用のドライバソフトがインストールされていない場合、手順2と3の操作は必要ありません。
- 手順2と3の操作は、他のスキャナやデジタルカメラに変更しない限り、再度行う必要はありません。

4 ［ファイル］のプルダウンメニューから［取り込み］を選択します。

これで、ScanGear CSが起動し、次のような画面（ScanGear CSのメインウィンドウ）が表示されます。

先頭へ戻る▲

Macintosh

ScanGear CSの起動（Macintoshの場合）の手順を説明します。
Macintosh用のScanGear CSはプラグインという規格のスキャナ用のドライバソフトで、単独では起動できません。アプリケーションソフトから起動します。
一般的に、プラグイン対応のアプリケーションソフトからScanGear CSを起動する場合、［ファイル］メニューの［プラグイン］や［入力］などからScanGear CSを選びます。
ここでは、ArcSoft PhotoStudio からScanGear CSを起動する例で説明します。

- ScanGear CSを起動するときは、スキャナが正しく接続されていることを確認してください。

- CanoScan ToolboxからScanGear CSを起動する手順については、ボタンの機能の各ボタン画面で表示される「スキャナドライバで詳細な設定を行う」の解説をご覧ください。
- ArcSoft PhotoStudio以外のプラグイン対応のアプリケーションソフトからScanGear CSを起動する方法については、「スキャンの手順」のアプリケーションソフトからスキャンするまたは各アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

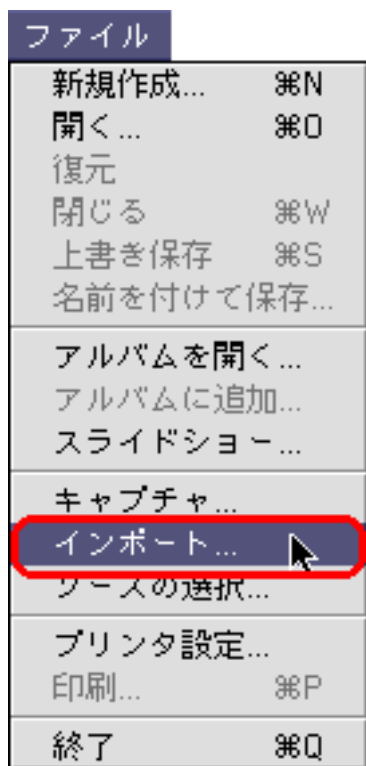
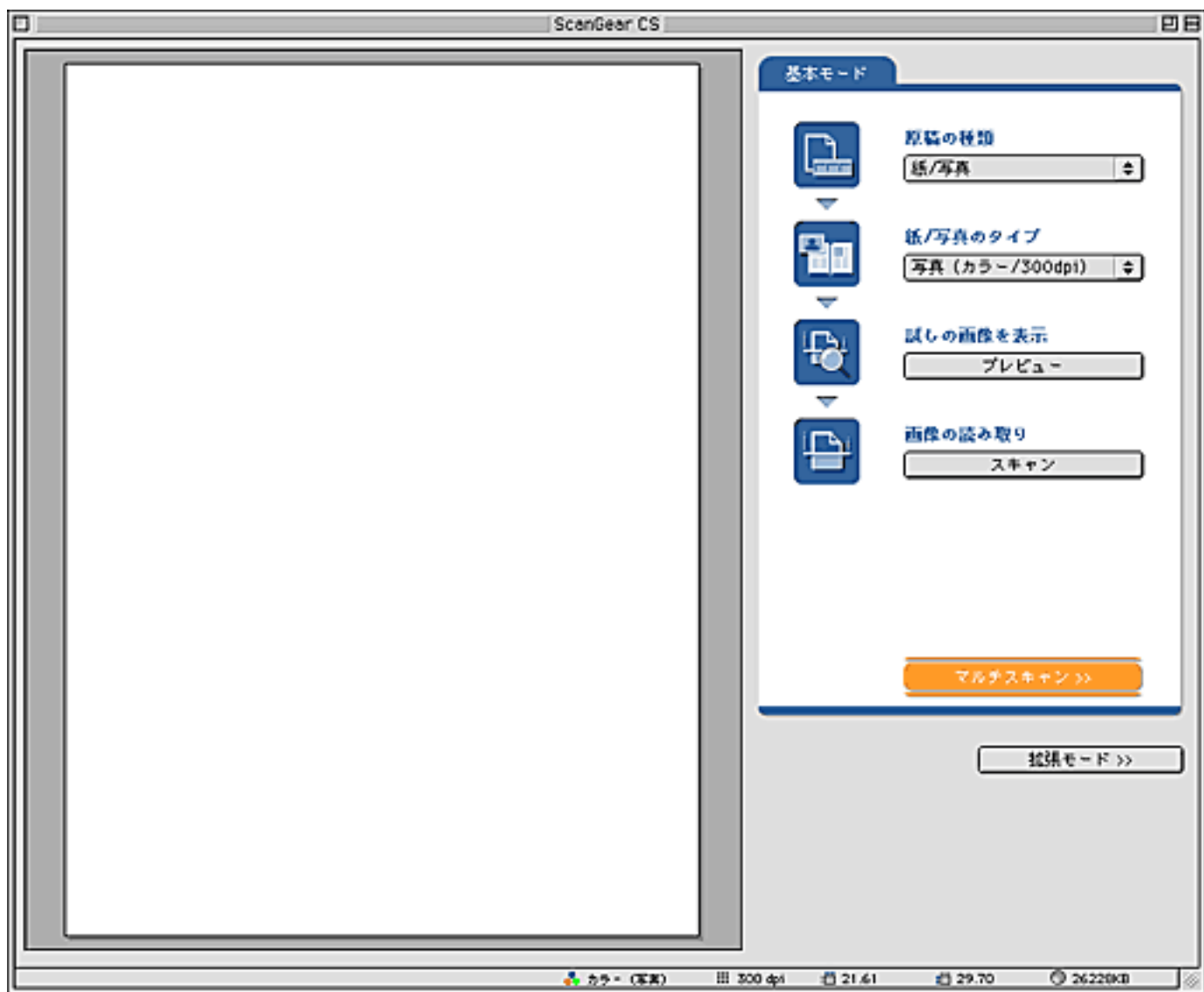
1 ［アプリケーション］または［Applications (Mac OS 9)］フォルダ内、［PhotoStudio］フォルダ内の［PhotoStudio］アイコンをダブルクリックします。

2 ［ファイル］の［ソースの選択］を選択します。

3 ［ソースを選択］画面で、ご使用のスキャナドライバ名称を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

［ファイル］の［インポート］を選択します。

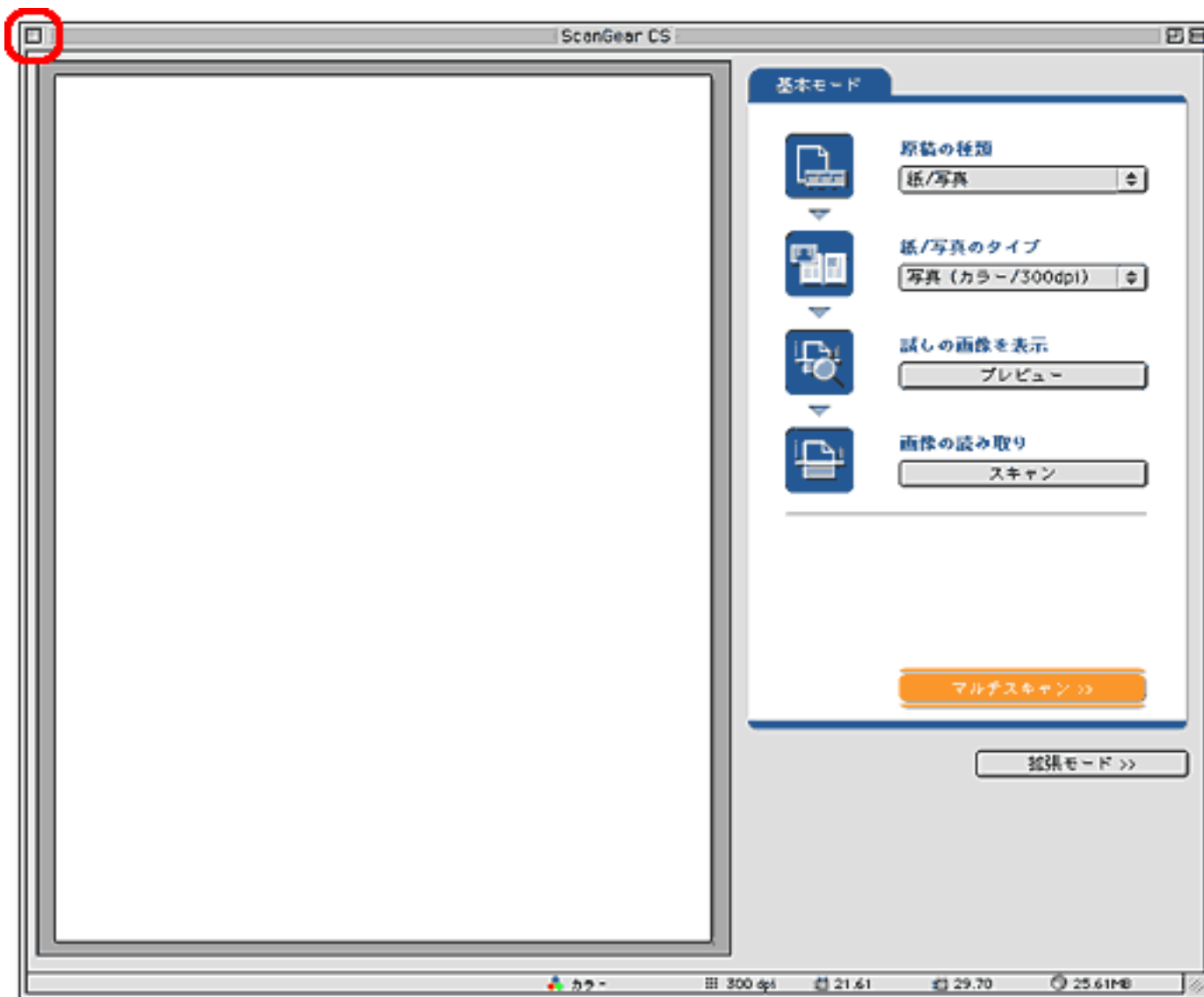
これで、ScanGear CSが起動し、次のような画面（ScanGear CSのメインウィンドウ）が表示されます。

ScanGear CS
基本モード
原稿の種類
紙/写真
紙/写真のタイプ
写真（カラー/300dpi）
試しの画像を表示
プレビュー
画像の読み取り
スキャン
マルチスキャン >>
拡張モード >>
300 dpi
21.61
29.70
26220KB

先頭へ戻る▲

ScanGear CSの終了 Windows Macintosh

ScanGear CSを終了するときは、メインウィンドウのクローズボックスをクリックします。

Windows

Macintosh

- ScanGear CSの設定で、「スキャン終了後ScanGear CSを自動的に閉じる」をオンに設定しているときは、スキャンが終了するとScanGear CSは自動的に終了します。（インストール直後の状態では、オフに設定されています。→「拡張モード／設定シートの機能」のスキャン終了後ScanGear CSを自動的に閉じる
- アプリケーションソフトによっては、「スキャン終了後ScanGear CSを自動的に閉じる」をオンに設定していなくても、スキャン後ScanGear CSのウィンドウを自動的に閉じるものもあります。

先頭へ戻る▲

スキャンの手順

ScanGear CSを使ったスキャンには、基本モードを使う方法と拡張モードを使う方法があります。ここでは基本的な操作の手順を簡単に説明します。

基本モードのスキャン手順

1. 紙／写真のタイプを選択します。
2. ［プレビュー］ボタンをクリックして試しの画像を表示します。
3. 原稿の一部を読み取りたいときは、範囲を指定します。→ プレビューエリア
4. ［スキャン］ボタンをクリックします。

拡張モードのスキャン手順

1. カラーモードを選択します。
2. 出力解像度を選択します。
   → 解像度の決めかた
3. 原稿サイズを選択します。
4. ［プレビュー］ボタンをクリックします。
5. 原稿の一部を読み取りたいときは、範囲を指定します。
   → プレビューエリア、領域選択
6. 元の原稿を拡大、縮小してプリントしたいときはプリントサイズを指定します。
   → プリントサイズ、プリントサイズの決めかた
7. 必要に応じて画像の回転や反転などを行います。
   → ツールバーの機能
8. 必要に応じて、色調整シートを表示して、画像の明るさや色合いなどを調整します。
   → 色調整シートの機能
9. ［スキャン］ボタンをクリックします。

基本モードの機能

簡単な操作ですぐにスキャンできるのが基本モードです。ScanGear CS をインストールした直後には、このモードになっています。「紙／写真のタイプ」を選ぶだけで、使用目的に合ったカラーモードや解像度を設定することができます。スキャンの操作にあまり慣れていない方はこのモードをお使いください。

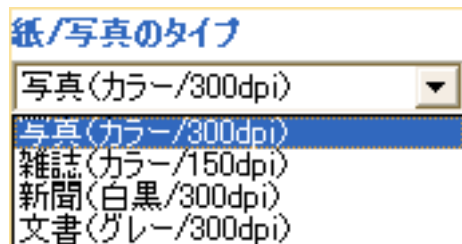
各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

原稿の種類

原稿の種類

本機では「紙/写真」のみ選択できます。

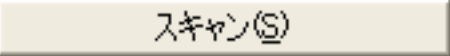
閉じる

紙／写真のタイプ

読み取る原稿に合わせて、原稿のタイプ（カラーと解像度）を選びます。
次の4つのタイプから選択します。

タイプ	カラー	解像度	使いかた
写真	カラー	300dpi	カラー写真をスキャンするとき
雑誌	カラー	150dpi	カラーの雑誌をスキャンするとき 印刷物の写真をきれいにスキャンする「モアレ低減」機能
新聞	白黒	300dpi	文字や線画だけの原稿をスキャンするとき
文書	グレースケール	300dpi	カラーの写真や原稿をモノクロでスキャンしたいとき 特に高解像度のモノクロ画像が必要なとき

- 「写真」「雑誌」「文書」の各タイプを指定すると、自動色調整機能がはたらき、色が調整されます。自動色調整機能は、拡張モード／設定シートの「常に自動色調整を行う」がオフになっているとはたらきません。ScanGear CSをインストールした直後の設定ではオンになっています。→「拡張モード／設定シート／［詳細設定］ボタン」の常に自動色調整を行う

閉じる

試しの画像を表示 プレビュー(P) プレビューボタン

試しに原稿を読み取るときに使います。
［プレビュー］ボタンをクリックすると、画像は原稿サイズに合わせて自動的にクロップされます。プレビューエリアには読み込まれた画像（試しの画像）が表示されます。

・スキャナをはじめて使う場合、自動的にスキャナの補正（キャリブレーション）が行われます。続いてプレビューが開始されるまでしばらくお待ちください。

閉じる

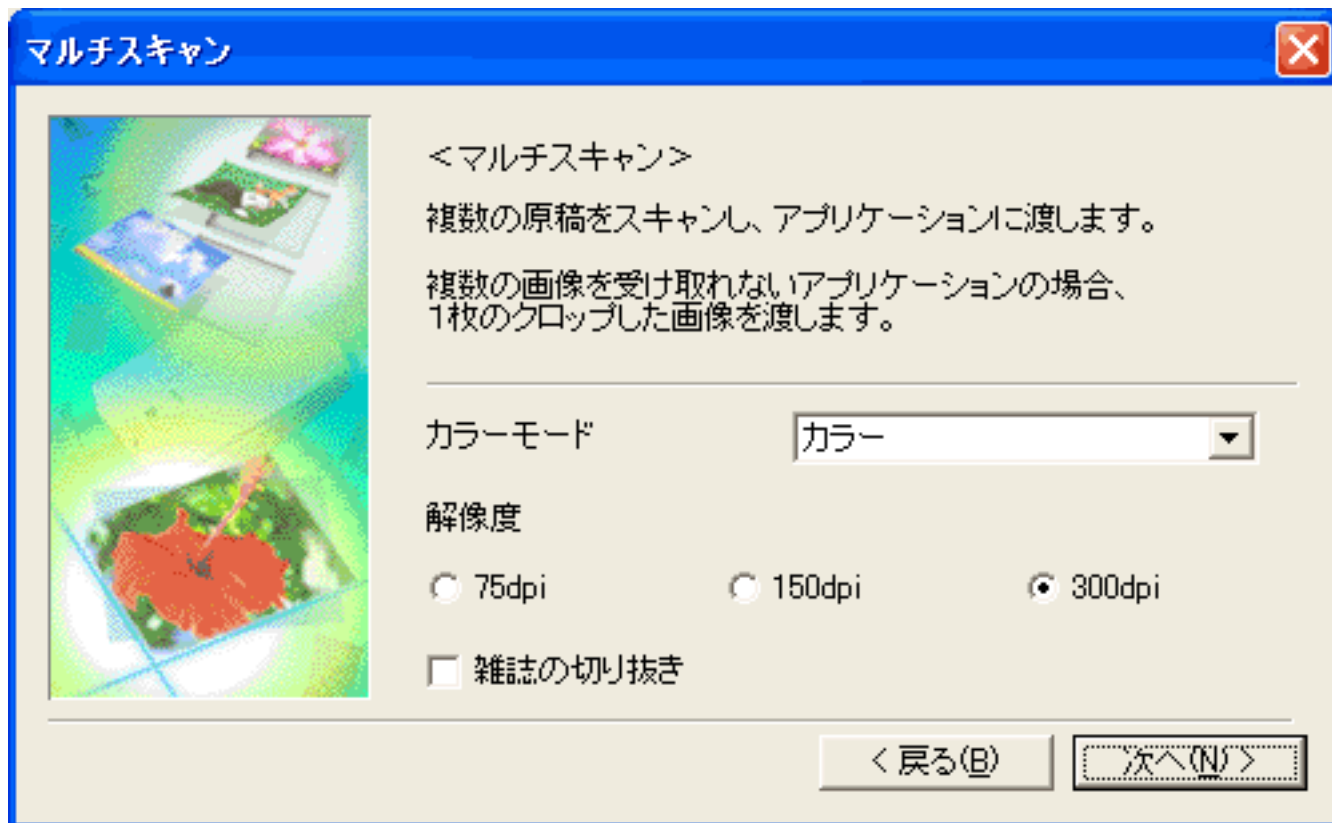
画像の読み取り スキャン(S) スキャンボタン

このボタンをクリックすると、画像が読み取られアプリケーションソフトに渡されます。アプリケーションソフトの画面には、読み取られた画像が表示されます。

- 範囲を指定していない場合は、原稿サイズ（オートクロップ）で読み取られます。範囲を指定した場合は、その範囲の画像だけが読み取られます。→ プレビューエリア
- スキャンを開始すると進行状況が表示されます。スキャンを中止したいときは、［キャンセル］ボタンをクリックします。
- 読み取る画像の大きさが100MB以上になる場合、読み込みと画像処理のために時間がかかるため、注意をうながすメッセージが表示されます。必要な場合は［はい］ボタンを、スキャンを中止する場合は［いいえ］ボタンをクリックしてください。

閉じる

マルチスキャン(M)>> マルチスキャンボタン

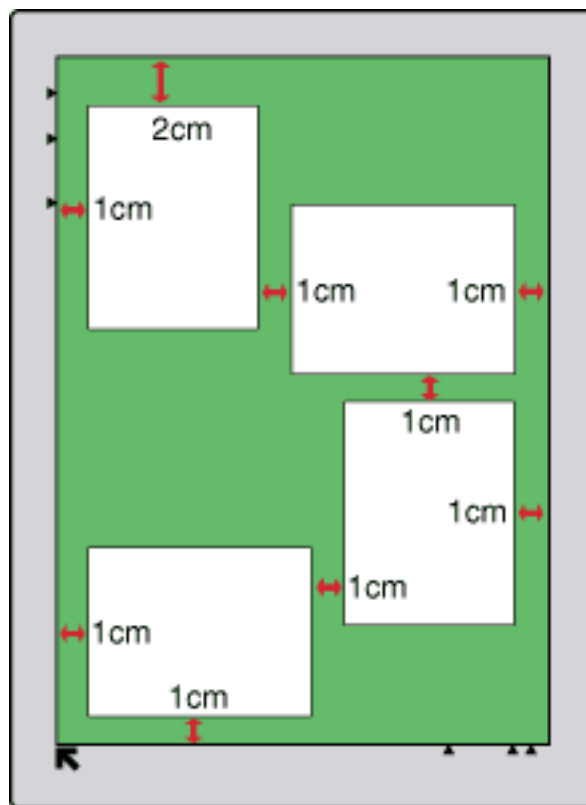
このボタンを使うと、原稿台に置かれた複数枚の原稿を自動的に検出し、枚数分の画像として読み取ることができます。原稿台に置かれた原稿がわずかに斜めになっていても、傾斜が10度以内ならば自動的に補正されます。→ 原稿の置きかた
［マルチスキャン］ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。

設定項目を選択して［次へ］ボタンをクリックすると、マルチスキャンが開始され、スキャンされた複数の原稿がプレビューエリアに表示されます。

カラーモード	カラー、グレー、白黒の中から選択します。
解像度	75dpi、150dpi、300dpiの中から選択します。
雑誌の切り抜き	本や雑誌に印刷されている写真や絵をスキャンするときに選択します。「モアレ」と呼ばれる濃淡のむらや縞模様が現れるのを防ぎます。

マルチスキャンを中止するには、［戻る］ボタンをクリックしてScanGear CSのメインウィンドウに戻ります。

原稿の置きかた

次の点に注意して、写真を原稿台に置いてください。

・写真と写真の間は、1cm以上空けてください。
・原稿台の左右の端と写真の間、原稿台の手前の端と写真の間は、1cm以上空けてください。
・原稿台の奥の端と写真の間は、2cm以上空けてください。
・原稿の枚数の制限は10枚です。

- 全体が白っぽい原稿、周囲が白っぽい原稿では、正しく機能しないことがあります。
- 写真以外の原稿（特に白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など）では正しく機能しないことがあります。
- プレスキャンやクロップ（スキャン範囲の切り取り）、スキャンが行われている間は、原稿台カバーを開けないでください。
  スキャンが終了すると、再び、ScanGear CSのメインウィンドウが表示されます。
- 複数枚の画像を受け取ることができないアプリケーションソフトで「マルチスキャン」を行った場合、複数の原稿を1枚の画像としてスキャンして、アプリケーションソフトに渡されます。

- 「拡張モード／設定シートの機能」の色の設定で「推奨」が選択されている場合、画像1枚ずつに自動色調整が行われます。
- 「スキャン終了後ScanGear CSを自動的に閉じる」をオンに設定しているときは、スキャンが終了するとScanGear CSが自動的に終了します。→「拡張モード／設定シートの機能」の［詳細設定］ボタン

先頭へ戻る▲

閉じる

拡張モード(V) >> 拡張モードボタン

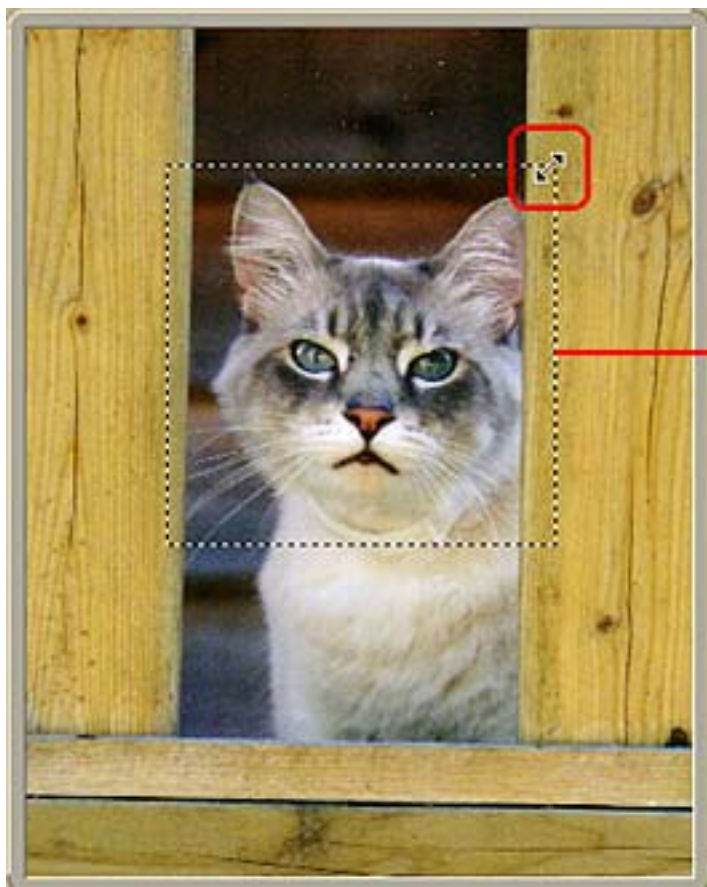
このボタンをクリックすると、拡張モードに切り替わります。

- モードを切り替えても、2つのモードに共通の設定内容は、切り替え後のモードに引き継がれます。
- モードを切り替えた後にScanGear CSを終了すると、次回起動したときには、終了したときと同じモードで起動します。

閉じる

プレビューエリア

プレビューエリアは、［プレビュー］ボタンで読み込まれた試しの画像が表示される場所です。［プレビュー］ボタンで読み取られた画像には、自動的に原稿のサイズに合わせて（オートクロップ）、画像の周囲に枠（クロップ枠）が表示されます。
原稿の一部分を読み取りたいときは、マウスのドラッグで範囲を指定することができます。
範囲が指定された状態で［スキャン］ボタンをクリックすると、指定した範囲だけが読み取られ、アプリケーションソフトに渡されます。

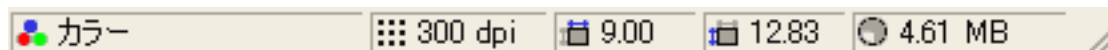
すでに指定されている範囲を変更する場合は、次のような操作で変更できます。

マウスポインタをクロップ枠上に合わせると、形状が↔ ↕ ⤡ ⤢に変わります。そのまま矢印の方向へマウスドラッグすると、クロップ枠が拡大・縮小します。

マウスポインタをクロップ枠の内側に合わせると、形状が✥に変わります。そのままマウスドラッグすると、クロップ枠全体が移動します。

- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、自動的に原稿のサイズに合わせてオートクロップを行う設定になっています。自動でクロップしないようにすることもできます。→「拡張モード／設定シートの機能／［詳細設定］ボタン」のプレビュー後、オートクロップを実行する
- 画像の左上の隅まで範囲指定したい場合は、右下から左上に向かってマウスをドラッグし、画像の外側でマウスボタンをはなすと、簡単に指定できます。

閉じる

ステータスエリア

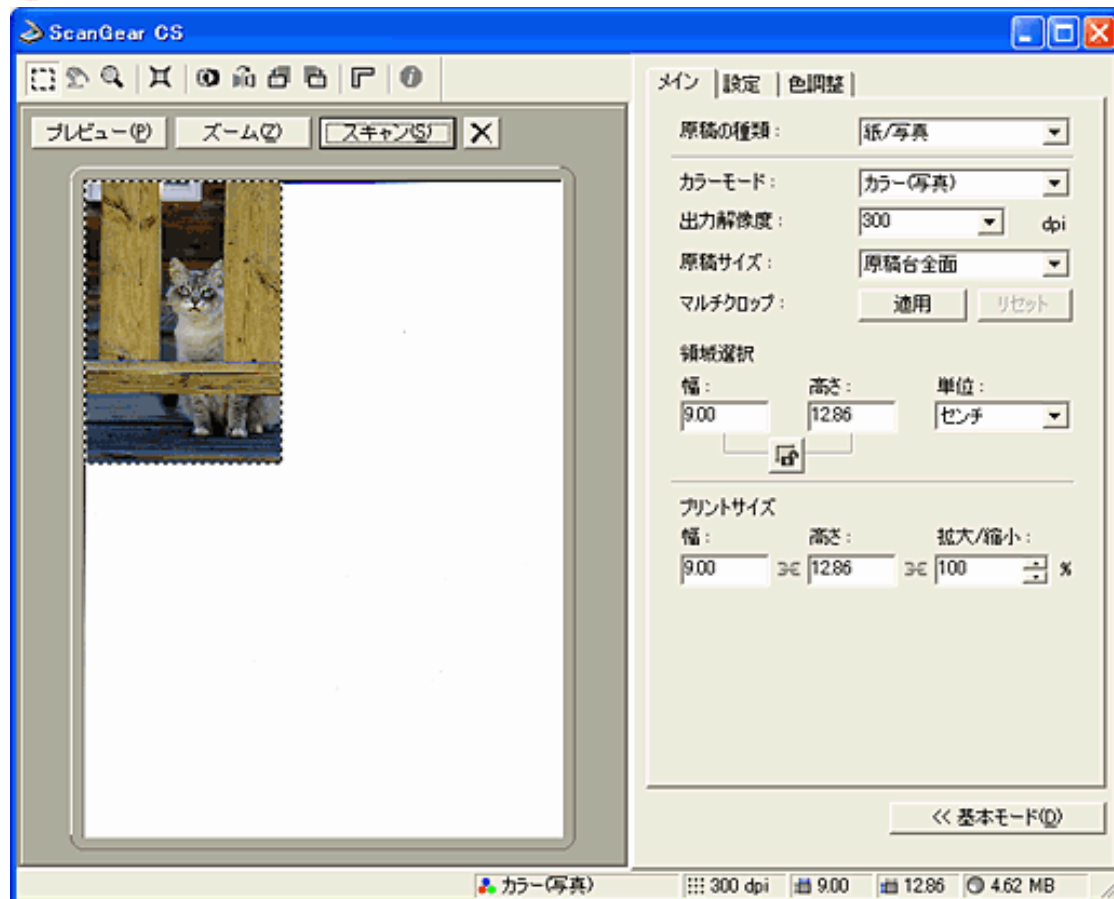
カラー | 300 dpi | 9.00 | 12.83 | 4.61 MB

ステータスエリアの表示から、カラーモードやスキャン解像度など、スキャンした画像についての情報を知ることができます。
左から順番に次のような情報が表示されます。

- カラーモード
- 解像度
- 画像の幅
- 画像の高さ
- アプリケーションソフトに取り込んだ場合の画像サイズ（見積りファイルサイズ）

閉じる

拡張モードの機能

拡張モードは、カラーモードや解像度、画像の明るさや色合いなどを詳しく設定してスキャンするモードです。スキャンの操作に慣れていて、画像補正の知識をお持ちの方はこちらのモードをお使いください。
使い方が知りたいときは、画面上の知りたい部分をクリックして、説明ページを表示してください。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

ツールバーの機能

ツールバーには、次のようなボタンが用意されています。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

- Windows
  ツールバーをメインウィンドウから切り離して、プレビューエリアの左右や下側に移動することができます。→ ツールバーの切り離しと移動

範囲を手動で設定するときにクリックします。十字の形のマウスポインタをドラッグして、範囲を枠（クロップ枠）で囲みます。

- クロップ枠の外でマウスをクリックすると、範囲の指定が解除されます。
- クロップ枠の外でマウスポインタをドラッグすると、新たに範囲の指定ができます。
- 範囲を指定しなかった場合、プレビューエリア全体がプレビューやスキャンする範囲になります。
- 選択できる最小の範囲は、「解像度」が600dpi、等倍表示の状態で96×96ピクセルです。

閉じる

画像移動ボタン

プレビュー画像をプレビューエリア内で移動するときに使います。
ズームボタンを使って拡大表示されているプレビュー画像をプレビューエリア内で移動して、確認することができます。
画像が拡大表示されているときにこのボタンをクリックすると、マウスポインタが手の形に変わります。そのまま画像の上でマウスをドラッグすると、それに合わせてプレビュー画像がプレビューエリア内で移動します。

- この機能は、プレビューエリアの画像を移動するだけで、実際のスキャンには反映されません。

- 画像移動ボタンは、ズームボタンで画像を拡大したときのみ有効です。

閉じる

ズームボタン

このボタンをクリックした後、マウスポインタを画像の拡大したい部分に移動してマウスの左ボタンを押すと、その部分を中心に画像が拡大表示されます。
マウスの右ボタンをクリックすると、画像が縮小表示され拡大する前の大きさに戻ります。
ズームボタンを使って画像を拡大すると、プレビューエリアの右側と下側にスクロールバーが表示されます。スクロールバーの操作で画像を移動できます。

- この機能は、プレビューエリアの表示を拡大するだけで、実際のスキャンには反映されません。

- Macintoshの場合は、ズームボタンをクリックした後、マウスポインタを画像の拡大したい部分に移動してマウスのボタンを押し、画像を拡大表示します。画像を縮小表示するときは、［option］キーを押しながらマウスのボタンを押します。
- ［ズーム］ボタンとツールバーのズームボタンを使った拡大表示との違い
  ［ズーム］ボタンによる拡大表示は、画像をプレビューし直して表示します。表示されるまでに時間がかかりますが、高解像度のプレビュー画像が表示されます。
  ツールバーのズームボタンをクリックすると、すでにあるプレビュー画像を拡大して表示します。すぐに表示されますが、拡大しすぎると画像が粗くなります。

閉じる

このボタンをクリックすると、自動的にプレビューエリア内の画像部分だけが選択され、クロップ枠が表示されます。

- オートクロップボタンをクリックするたびに、選択される範囲が狭くなります。何度かクリックしても正しく囲まれないときは、クロップボタンをクリックして手動でスキャン範囲を設定してください

閉じる

色反転ボタン

プレビュー画像の色を反転します。

- この機能を使って画像の色を変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。

- 反転した画像を、再び反転すると、元の画像に戻ります。
- 画像を反転した後、再びプレビューを行うと、反転した色は反転前の状態に戻ります。

閉じる

鏡映ボタン

プレビューエリアの画像の左右を反転します。

- この機能を使って画像の向きを変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 画像を左右反転した後、再びプレビューを行うと、反転した画像は反転前の状態に戻ります。

閉じる

左回転ボタン

プレビューエリアごと画像を反時計回りに90°回転します。

- この機能を使って画像の向きを変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 画像を回転した後、再びプレビューを行うと、回転した画像は回転前の状態に戻ります。

閉じる

右回転ボタン

プレビューエリアごと画像を時計回りに90°回転します。

- この機能を使って画像の向きを変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 画像を回転した後、再びプレビューを行うと、回転した画像は回転前の状態に戻ります。

閉じる

ルーラーボタン

範囲の寸法を知りたいときに使います。このボタンをクリックすると、プレビューエリアの上部と左側にルーラー（定規）が表示されます。

閉じる

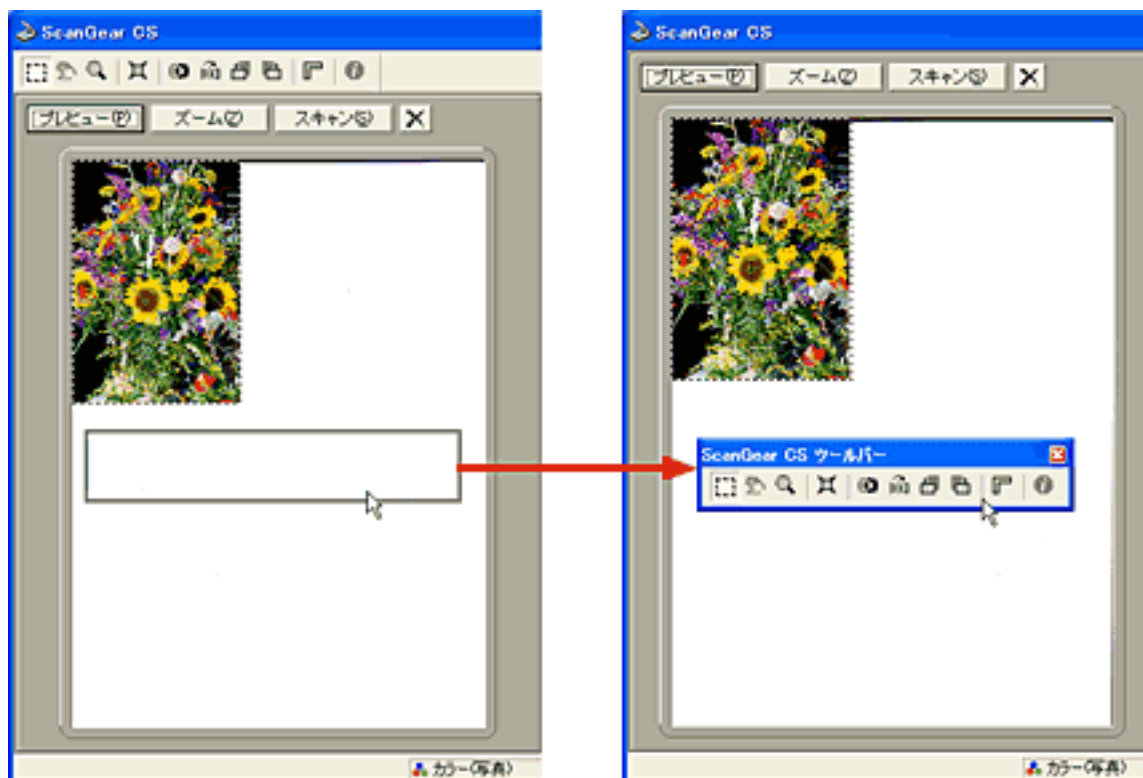
情報ボタン

スキャンした画像の情報を表示します。
「原稿の種類」「カラーモード」「出力解像度」「原稿サイズ」「プリントサイズ」「モアレ低減」「輪郭強調」「ごみ傷低減」「色の設定」の各項目の設定内容と、読み取った画像のファイルサイズが表示されます。

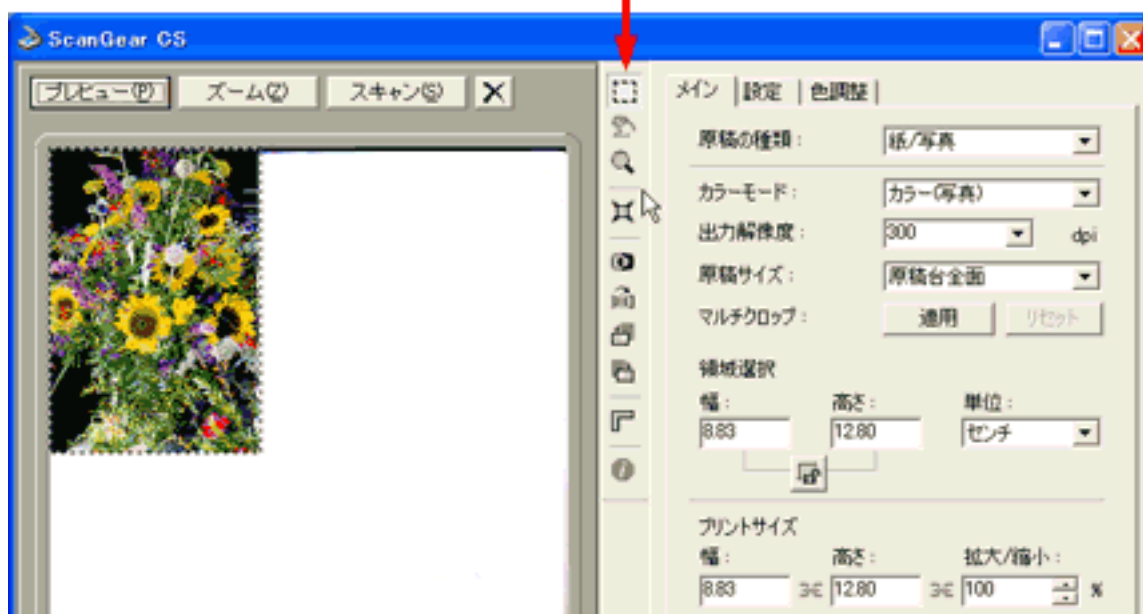
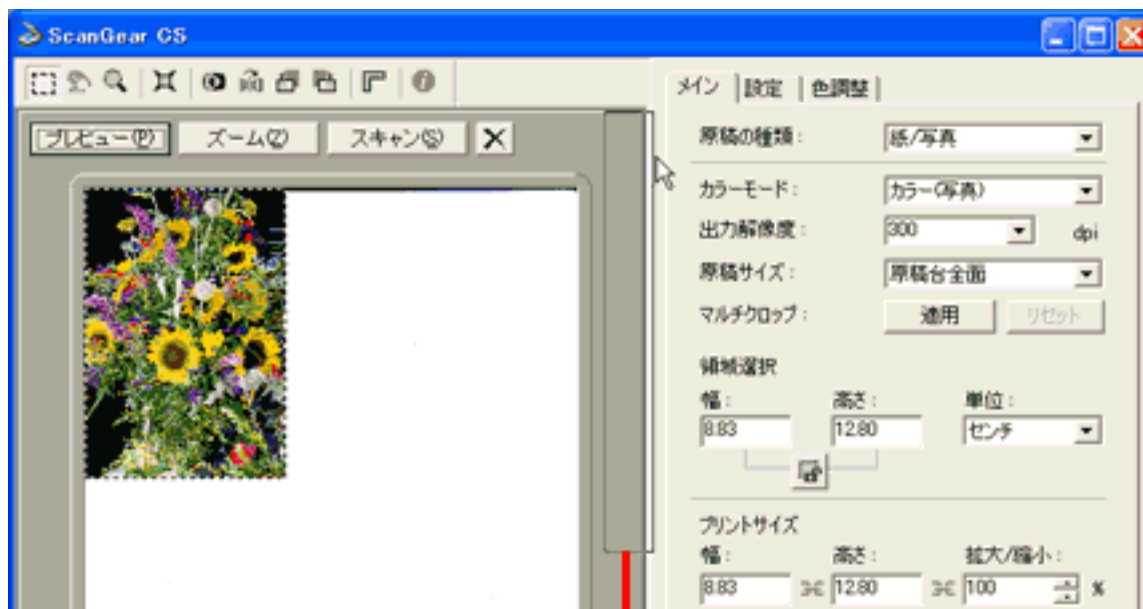
閉じる

ツールバーの切り離しと移動

ツールバーを切り離す

ツールバーの端をクリックし、そのままマウスドラッグすると、グレーの枠が表示されます。ツールバーを表示させたい位置まで枠を移動し、マウスから指を離すと、ツールバーがメインウィンドウから切り離されます。

- 切り離したツールバーを元の位置に戻すときは、ツールバーのタイトル部分をダブルクリックします。
- 切り離したツールバーを閉じるときは、ツールバーのクローズボックスをクリックします。再度、ツールバーを表示するときは、メインウィンドウ左上の［ScanGear CS］アイコンをクリックして表示されるメニューから［ツールバーを表示する］を選択します。
- メインウィンドウから切り離したツールバーや移動したツールバーは、ScanGear CS を終了し、再度起動すると元の位置に戻ります。

ツールバーを移動する

ツールバーの端をクリックし、マウスドラッグしたときに表示されるグレーの枠を、プレビューエリアの左側に移動し、マウスから指を離すと、ツールバーがプレビューエリアの左側に移動します。同じように、右側、下側にもツールバーを移動できます。

ScanGear CS
プレビュー(P)
ズーム(Z)
スキャン(S)
メイン
設定
色調整
原稿の種類：
紙/写真
カラーモード：
カラー(写真)
出力解像度：
300
dpi
原稿サイズ：
原稿台全面
マルチクロップ：
適用
リセット
領域選択
幅：
高さ：
単位：
8.83
12.80
センチ
プリントサイズ
拡大/縮小：
100
%

先頭へ戻る▲

閉じる

プレビュー(P) プレビューボタン

試しに原稿を読み取るときに使います。
［プレビュー］ボタンをクリックすると、画像は原稿サイズに合わせて自動的にクロップされます。プレビューエリアには読み込まれた画像（試しの画像）が表示されます。

- スキャナをはじめて使う場合、自動的にスキャナの補正（キャリブレーション）が行われます。続いてプレビューが開始されるまでしばらくお待ちください。

閉じる

ズーム(Z) ズームボタン

プレビューエリア内で範囲を指定し、［ズーム］ボタンをクリックすると、指定した範囲の画像を再スキャンして拡大表示します。（最大600dpiまで）
拡大表示されると、［ズーム］ボタンが［戻す］ボタンに変わります。拡大表示を元に戻すには［戻す］ボタンをクリックします。

- 拡大表示した画像をさらに拡大することはできません
- ［ズーム］ボタンとツールバーのズームボタンを使った拡大表示との違い
  ［ズーム］ボタンによる拡大表示は、画像をプレビューし直して表示します。表示されるまでに時間がかかりますが、高解像度のプレビュー画像が表示されます。
  ツールバーのズームボタンをクリックすると、すでにあるプレビュー画像を拡大して表示します。すぐに表示されますが、拡大しすぎると画像が粗くなります。

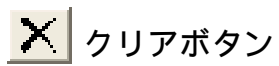
閉じる

スキャン(S) スキャンボタン

このボタンをクリックすると、画像が読み取られアプリケーションソフトに渡されます。アプリケーションソフトの画面には、読み取られた画像が表示されます。

- 範囲を指定していない場合は、原稿サイズ（オートクロップ）で読み取られます。範囲を指定した場合は、その範囲の画像だけが読み取られます。→ プレビューエリア
- スキャンを開始すると進行状況が表示されます。スキャンを中止したいときは、［キャンセル］ボタンをクリックします。
- 読み取る画像の大きさが100MB以上になる場合、読み込みと画像処理のために時間がかかるため、注意をうながすメッセージが表示されます。必要な場合は［はい］ボタンを、スキャンを中止する場合は［いいえ］ボタンをクリックしてください。

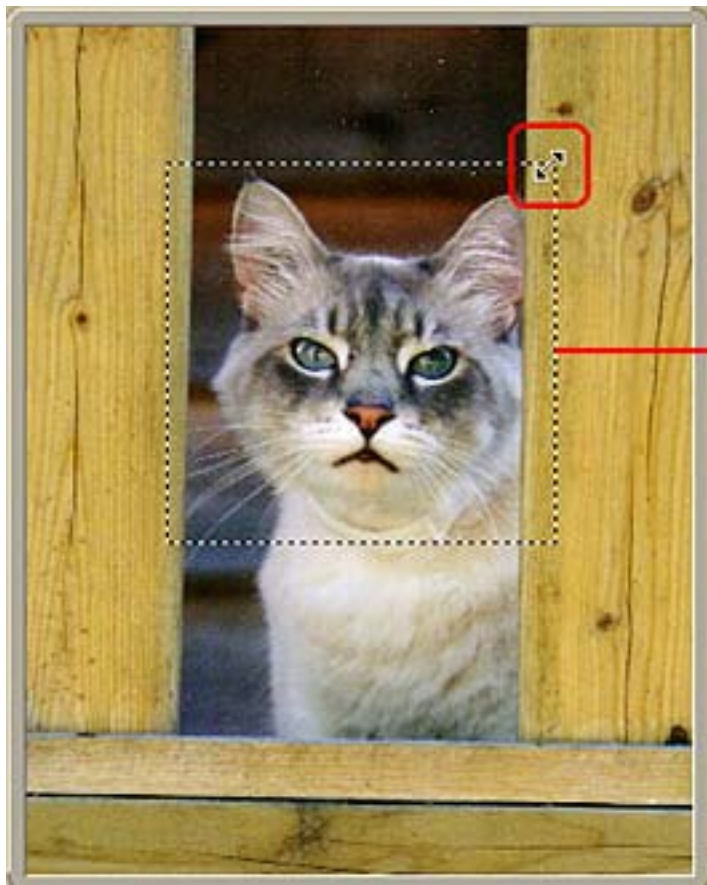
閉じる

クリアボタン

このボタンをクリックすると、プレビューエリアからプレビュー画像が消去されます。

閉じる

プレビューエリア

プレビューエリアは、［プレビュー］ボタンで読み込まれた試しの画像が表示される場所です。［プレビュー］ボタンで読み取られた画像には、自動的に原稿のサイズに合わせて（オートクロップ）、画像の周囲に枠（クロップ枠）が表示されます。
原稿の一部分を読み取りたいときは、マウスのドラッグで範囲を指定することができます。範囲が指定された状態で［スキャン］ボタンをクリックすると、指定した範囲だけが読み取られ、アプリケーションソフトに渡されます。

すでに指定されている範囲を変更する場合は、次のような操作で変更できます。

マウスポインタをクロップ枠上に合わせると、形状が↔ ↕ ⤡ ⤢に変わります。そのまま矢印の方向へマウスドラッグすると、クロップ枠が拡大・縮小します。

マウスポインタをクロップ枠の内側に合わせると、形状が✥に変わります。そのままマウスドラッグすると、クロップ枠全体が移動します。

- 範囲を指定した後で、イメージタイプやカラーモード、解像度などの変更ができます。これらの設定を変更すると、変更結果がすぐにプレビュー画像に反映されます。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、自動的に原稿サイズに合わせてオートクロップを行う設定になっています。自動でクロップしないようにすることもできます。→「拡張モード／設定シート／［詳細設定］ボタン」のプレビュー後、オートクロップを実行する
- 画像の左上の隅まで範囲指定したい場合は、右下から左上に向かってマウスをドラッグし、画像の外側でマウスボタンをはなすと、簡単に指定できます
- プレビューエリア内で範囲を指定し［ズーム］ボタンをクリックすると、指定した範囲が拡大表示されます。→「拡張モードの機能」のズームボタン
- ツールバーを使うと、プレビュー画像で確認しながら、回転や反転をすることができます。ツールバーのボタンの使いかたについてはツールバーの機能をご覧ください。

先頭へ戻る▲

閉じる

<< 基本モード(D)　基本モードボタン

このボタンをクリックすると、基本モードに切り替わります。

- モードを切り替えても、2つのモードに共通の設定内容は、切り替え後のモードに引き継がれます。
- モードを切り替えた後にScanGear CSを終了すると、次回起動したときには、終了したときと同じモードで起動します。

閉じる

拡張モードのシート

拡張モードには複数のシートがあります。スキャンの設定をするときは、タブをクリックすることで、シートを切り替えて使います。

■メインシート

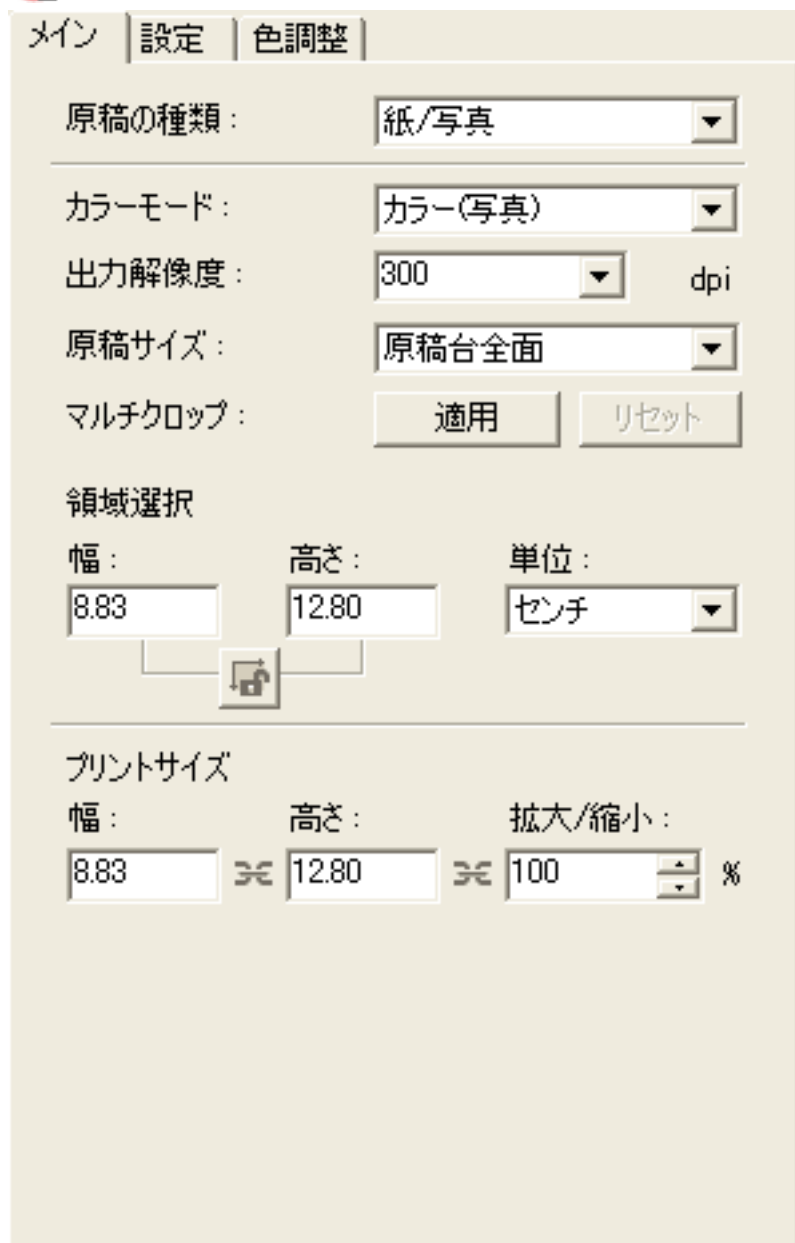
原稿の種類、カラーモード、出力解像度、領域選択（プレビューやスキャンの範囲指定）、プリントサイズの設定ができます。通常は、このタブの機能だけでスキャンできます。

■設定シート

モアレ低減、輪郭強調などの処理、色の設定など、スキャン時の詳細な設定ができます。また、スキャンやプレビューを行うときの動作の設定、スキャナのテストなどもできます。

■色調整シート

プレビュー画像の明るさや色合いが思いどおりの画質になっていないときは、色調整シートで画像の調整をします。

■ハーフトーンシート

カラーモードを［白黒］にすると色調整タブがハーフトーンタブに変わります。白黒画像の色合い、明るさの調整ができます。［テキスト（OCR）］（Windows の場合）は表示されません。

メイン
設定
ハーフトーン
スレッショルド：
72
リセット

メインシートの機能

このシートでは、カラーモード、解像度、マルチクロップ（複数原稿のオートクロップ）、領域選択（プレビューやスキャンの範囲指定）、プリントサイズの設定を行います。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

メイン　設定　色調整

原稿の種類：　紙/写真

カラーモード：　カラー(写真)

出力解像度：　300　dpi

原稿サイズ：　原稿台全面

マルチクロップ：　適用　リセット

領域選択

幅：　8.83　高さ：　12.80　単位：　センチ

プリントサイズ

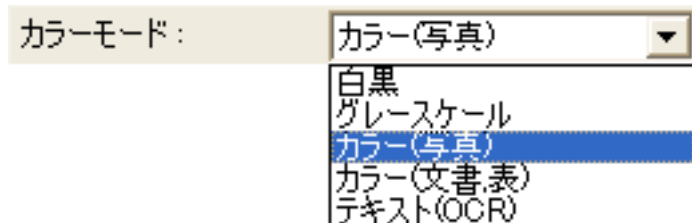
幅：　8.83　高さ：　12.80　拡大/縮小：　100　%

原稿の種類

原稿の種類：	紙/写真 ▼

本機では「紙/写真」のみ選択できます。

閉じる

カラーモード

スキャンした画像をカラーにするか、グレースケールにするか、白黒またはテキスト（OCR）にするかを選択します。原稿の種類とスキャンした画像の用途に応じたカラーモードを選択してください。

カラーモードの種類

白黒：	写真などの原稿をモノクロのプリンタで出力するときに選択します。画像を白と黒の2色で表現します。画像の明暗をあるレベル（スレッショルド値）で白と黒に分割し、2値で表現します。スレッショルド値は任意に設定できます。
グレースケール：	白黒写真などのスキャンやモノクロ画像が必要なときに選択します。画像を白黒256段階（グレースケール）で表現します。
カラー（写真）：	カラー写真をスキャンするときに選択します。画像を、R、G、B各色256段階（8ビット）で表現します。
カラー（文書,表）：	写真だけでなく、文字や表などが入ったカラー文書をスキャンするときに選択します。R、G、B各色256段階（8ビット）で表現します
テキスト（OCR）：	文字などをはっきりと読み取るときに選択します。特に、OCRソフトなどでテキストを読み込むときに選択します。 原稿を白と黒の2色だけで表現します。Macintoshでは選択できません。

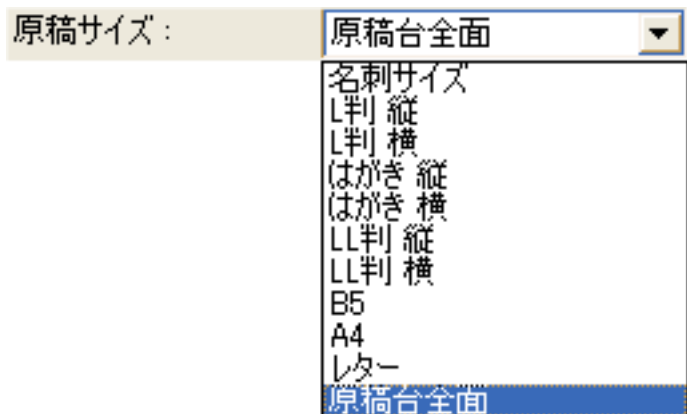
- ［テキスト（OCR）］の場合、グレースケールで読み取り、白と黒の2値に変換するため、［白黒］よりスキャンにかかる時間が長くなります。

閉じる

出力解像度

スキャンするときの解像度を選択します。
スキャナは、原稿を明るさや色の情報を持った点の集まりとして読み取ります。この点の密度を「解像度」といい、1インチあたりの点（ドット）の数を「dpi（ドット・パー・インチ）」で表します。解像度を高く（数字を大きく）すると、きめ細かく、低く（数字を小さく）すると粗く原稿をスキャンします。
解像度を、次の中から選択します。
75dpi、100dpi、150dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi、1200dpi。
また、25～2400dpiの範囲の数値（1dpi刻み）、あるいは4800、7200、9600dpiいずれかの数値を直接入力して設定することもできます。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の解像度の決めかた、解像度とデータ容量をご覧ください。

閉じる

原稿サイズ

スキャンする原稿のサイズを、次の中から選択します。
名刺サイズ、L判縦、L判横、はがき縦、はがき横、LL判縦、LL判横、B5、A4、レター、原稿台全面。
原稿サイズを選択すると、プレビューエリアの大きさ（縦横比率）が、選択したサイズに合わせて変わります。

- この操作は、プレビューのときや、スキャン範囲を指定しないスキャンのときに、必要以上の範囲をスキャンしないようにするためのものです。
- 原稿のサイズがわからないときは、大きめのサイズに設定しておいてください。実際には、プレビュー後にスキャン範囲を指定してスキャンすることになります。
- レターは、主に北米で使用されているサイズです。
- プレビュー後に原稿サイズを変更すると、試しの画像が消去されます。

閉じる

マルチクロップ

［適用］ボタンを使うと、原稿台に置かれた複数枚の原稿を自動的に検出し、枚数分の画像として読み取ることができます。原稿台に置かれた原稿がわずかに斜めになっていても、傾斜が10度以内ならば自動的に補正されます。

適用 適用ボタン

原稿台に置かれた複数の原稿をスキャンしたときに複数枚の画像を、1枚ずつ自動的にクロップ（範囲指定）します。
クロップされた画像のうち、指定した画像だけを読み取るようにすることもできます。その場合は、必要のない画像のクロップ枠を削除します。
クロップ枠を削除するには、Windowsでは、削除したい画像内で右クリックし［削除］を選択します。Macintoshでは、画像を選択し［Delete］キーを押します。

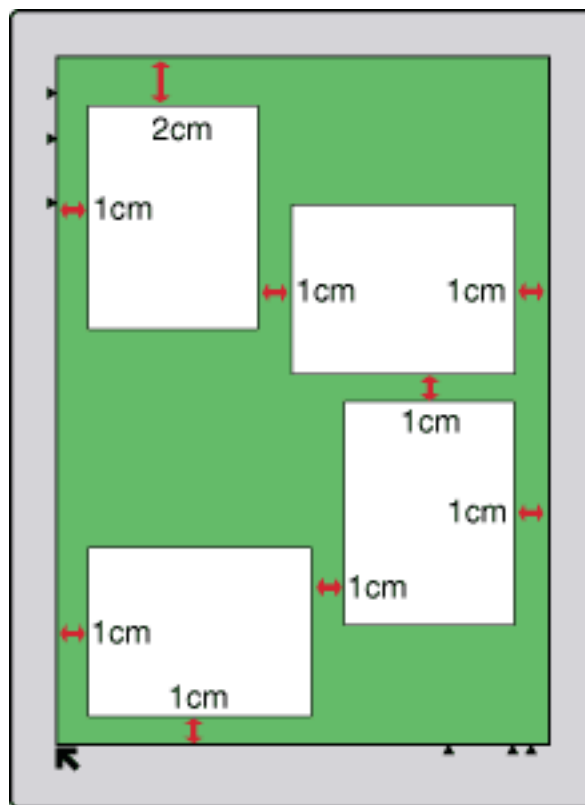
- クロップされた画像内でクリックすると、そのクロップ枠が選択された状態（クロップ枠が回っているように見える）になります。また、［Ctrl］キーを押しながらクリックすると、複数のクロップ枠を選択できます。
- 選択されたクロップ枠の選択状態を解除するには、枠の外側でクリックします。

リセット リセットボタン

複数の、指定された範囲を一度に解除します。

原稿の置きかた

次の点に注意して、写真を原稿台に置いてください。

・写真と写真の間は、1cm以上空けてください。
・原稿台の左右の端と写真の間、原稿台の手前の端と写真の間は、1cm以上空けてください。
・原稿台の奥の端と写真の間は、2cm以上空けてください。
・原稿の枚数の制限は10枚です。

- 全体が白っぽい原稿、周囲が白っぽい原稿では、正しく機能しないことがあります。
- 写真以外の原稿（特に白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など）では正しく機能しないことがあります。
- プレスキャンやクロップ（スキャン範囲の切り取り）、スキャンが行われている間は、原稿台カバーを開けないでください。
- 複数枚の画像を受け取ることができないアプリケーションソフトで「マルチスキャン」を行った場合、複数の原稿を1枚の画像としてスキャンして、アプリケーションソフトに渡されます。

- 「拡張モード／設定シートの機能」の色の設定で「推奨」が選択されている場合、画像1枚ずつに自動色調整が行われます。

先頭へ戻る▲

閉じる

領域選択

領域選択		
幅：	高さ：	単位：
21.60	29.70	センチ

直接数値を入力して、スキャン範囲を設定することができます。

幅と高さ	「幅」と「高さ」の表示部に数値を入力します。入力後、マウスポインタで他の表示部をクリックするか［Enter］キーを押すと、クロップ枠の大きさが変わります。
単位	「幅」と「高さ」の単位（インチ、センチ、ピクセル）を変更できます。
縦横比固定ボタン	このボタンをクリックすると、（鍵がかかったアイコン）に変わります。この状態のとき、「幅」と「高さ」の比率が一定に保たれたままスキャン範囲の指定ができます。

- アプリケーションソフトによっては、受け取れるスキャンデータの容量に制限があります。スキャン可能な範囲が次のようなときはスキャンできません。
  Windows　21,000×30,000ピクセル以上
  Macintosh　30,000×30,000ピクセル以上

- 入力できる数値は、選択されている原稿サイズの範囲内です。ただし、最小選択範囲は、「出力解像度」に光学解像度（600dpi）が設定されている状態で96×96ピクセルです。
- オートクロップを実行すると、選択範囲のサイズを優先するため、縦横比の固定は無効になります。

閉じる

プリントサイズ

プリントサイズ
幅：　21.60
高さ：　29.70
拡大/縮小：　100 %

指定したスキャン範囲のプリントサイズ（出力サイズ）を設定します。

幅と高さ	「幅」または「高さ」の表示部に数値を入力します。入力後、マウスポインタで他の表示部をクリックするか［Enter］キーを押すと、入力した数値に連動して「拡大／縮小」の数値が変わります。
拡大／縮小	表示部右側の「▲」「▼」をクリックするか、直接数値を入力して設定します。数値を設定すると、数値に連動して「幅」と「高さ」の数値が変わります。

- 「プリントサイズ」の「幅」と「高さ」の比率は、「領域選択」の「幅」と「高さ」の比率と連動しています。
- この設定を変更しても、クロップ枠の大きさと「出力解像度」の設定は変わりません。実際にスキャンするときの解像度（読み取り解像度といいます）は拡大／縮小の%に比例して変化します。

- 数値は、25～400の範囲を１%単位で設定できます。
- 解像度を4800、7200、9600dpiに設定した場合、拡大／縮小率は100%に固定され、変更できません。
- プリントサイズを決めかたについては「もっと上手にスキャンする」の「解像度の決めかた」の拡大／縮小して印刷するをご覧ください。

閉じる

設定シートの機能

このシートでは、原稿サイズ、モアレ低減などの処理、色の設定など、スキャンするときの詳細な設定ができます。［詳細設定］ボタンをクリックすると、さらに詳細な設定ができます。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

モアレ低減

メイン　設定　色調整

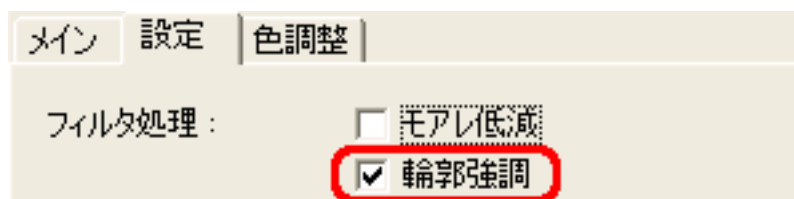
フィルタ処理：　□ モアレ低減

本や雑誌に印刷されている写真や絵をスキャンするときは、「モアレ低減」のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます（オンの状態）。ScanGear CSをインストールした直後の状態では、オフになっています。

- 本や雑誌の写真や絵は、細かな点の集まりで表現されています。そのままスキャンすると、点と点が干渉をおこし、「モアレ」といわれる濃淡のむらや縞模様が現れることがあります。「モアレ低減」は、このモアレを少なくする機能です。
- 基本モード「紙／写真のタイプ」で「雑誌（カラー／150dpi）」を選ぶと、拡張モードの「モアレ低減」が自動的にオンに設定されます。

- 「カラーモード」が［白黒］または［テキスト（OCR）］（Windowsの場合のみ）のときは、設定できません。
- 「出力解像度」が600dpiを超えるときは、設定できません。
- 「モアレ低減」がオンになっていても、「輪郭強調」がオンになっていると、モアレが残ることがあります。この場合は、「輪郭強調」をオフにしてください。
- ScanGear CSのメインウィンドウを表示しないアプリケーションソフトから起動した場合は、設定できません。
  ただし、ScanGear CSを使用せず、CanoScan Toolboxからスキャンする場合は、「スキャンモード」で「カラー（雑誌、カタログ）」を選択するとモアレ低減を行えます。

閉じる

輪郭強調

画像の輪郭を強調する機能（アンシャープマスク）を使うときは、「輪郭強調」のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます（オンの状態）。ScanGear CSをインストールした直後の状態では、オンになっています。
ピントのあまい写真などをスキャンするときに効果的で、全体がシャープな印象の画像になります。

・「モアレ低減」をオンにしても十分にモアレが低減できない場合は、「輪郭強調」をオフにすることをおすすめします。

閉じる

ごみ傷低減

写真原稿をスキャンしたときに、主にゴミや傷が原因でできた白い点状のノイズが現れることがあります。このゴミや傷をできるだけ少なくしてスキャンを行うときに、「弱」「標準」「強」のいずれかを選択します。ScanGear CSをインストールした直後の状態では、「なし」（ごみ傷低減を行わない）になっています。

なし	ごみ傷低減を行いません。
標準	通常は、この設定を選択することをおすすめします。
弱	小さなゴミや傷を減らします。大きいゴミや傷は残ることがあります。
強	大きいゴミや傷も減らすことできますが、処理をしたあとが残ったり、画像の微妙な部分を消去してしまう場合があります。

- 印刷物をスキャンするときは、ごみ傷低減を［なし］（オフ）にすることをおすすめします。
- 「出力解像度」が600dpi以下で「モアレ低減」がオンの場合、「ごみ傷低減」は選択できません。「出力解像度」を601dpi以上に設定すると、「モアレ低減」が自動的にオフになり、「ごみ傷低減」が選択できます。
- 写真の種類によっては、本機能を使わない方がよい場合があります。

閉じる

色の設定

Windows　　　　　　　　　　Macintosh

色の設定：	◉ 推奨 ○ Canon ColorGear カラーマッチング	色の設定：	◉ 推奨 ○ ColorSync カラーマッチング

次のいずれかのボタンをクリックします。ScanGear CSをインストールした直後の状態では、「推奨」になっています。

推奨	原稿の色合いを、画面上で鮮やかに再現します。通常は、この設定を選択することをおすすめします。
カラーマッチング	スキャナ、ディスプレイ、カラープリンタの間の色調が合うように自動調整し、ディスプレイやプリンタの色合わせなどの手間を軽減します。
Windows	Canon ColorGearによるカラーマッチングを行います。
Macintosh	ColorSyncによるカラーマッチングを行います。

- この項目は、「カラーモード」が［カラー（写真）］または［カラー（文書,表）］のときに有効です。
- カラーマッチングをオンにすると、色調が自動調整されるため、色調整シートの機能は使えなくなります（色調整タブは表示されなくなります）。
- Windowsの場合、カラーマッチングで使用するプロファイルを設定することができます。

閉じる

キャリブレーション キャリブレーションボタン

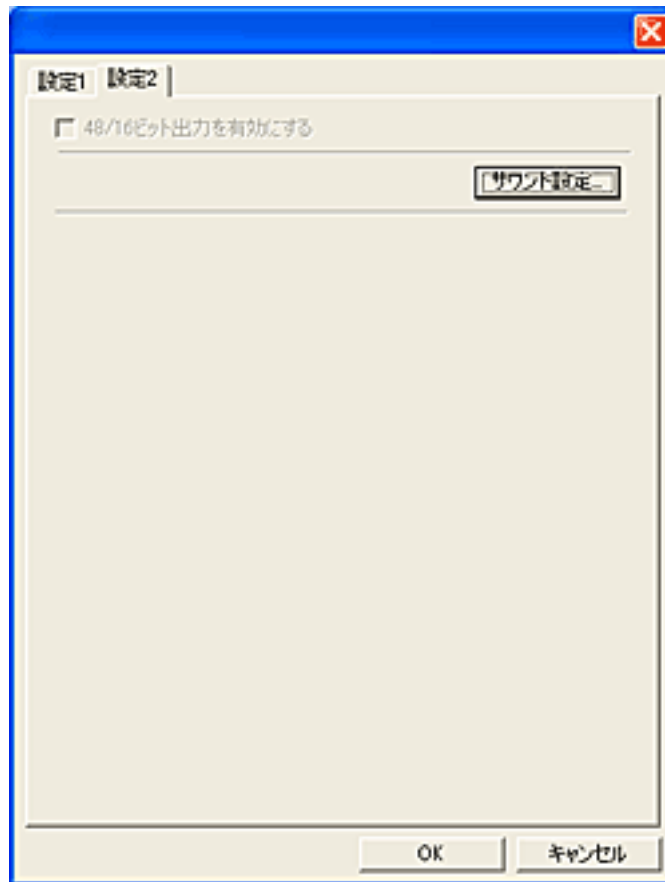
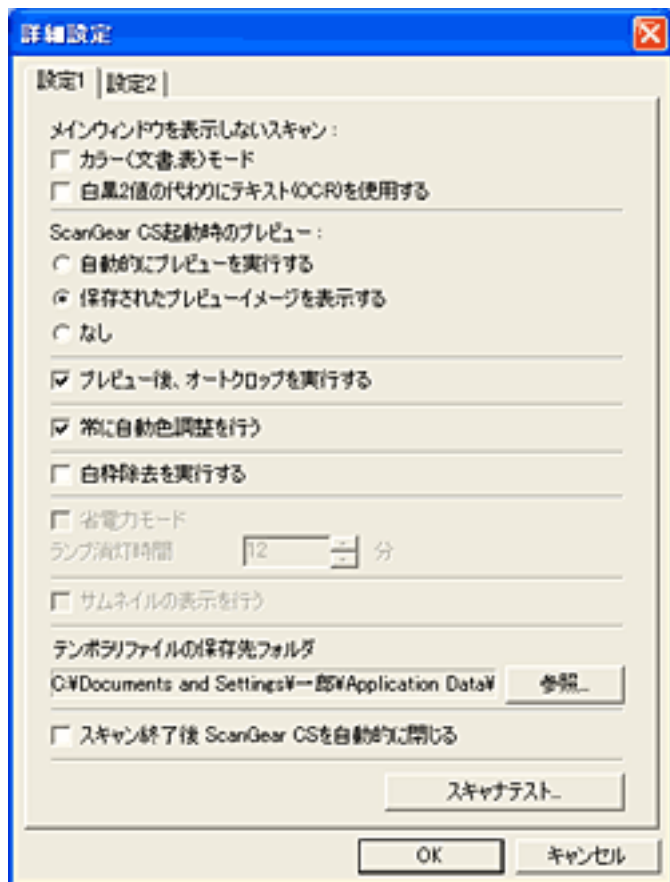
プレビュー画像の色合いが原稿と大きく違ったり、白の部分に色が付くようになってきたときは「キャリブレーション」を行ってください。
［キャリブレーション］ボタンをクリックすると、キャリブレーションがはじまり、スキャンした画像が正しい色合いになるように調整されます。

- スキャナテストやキャリブレーションが行われている間は、絶対に原稿台カバーをあけないでください。

閉じる

詳細設定... 詳細設定ボタン

このボタンをクリックすると、詳細設定シートが表示されます。スキャンやプレビュー時の動作、スキャナのテストなどの設定ができます。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

メインウィンドウを表示しないスキャン

メインウィンドウを表示しないスキャン：
- [ ] カラー(文書,表)モード
- [ ] 白黒2値の代わりにテキスト(OCR)を使用する

OCRソフトなど、アプリケーションソフトによっては、スキャン時にScanGear CS のメインウィンドウを表示しないものがあります（UIオフモード）。これらのアプリケーションソフトでは、アプリケーションソフトの設定値でスキャンが実行され、カラーモードの変更はできません。アプリケーションソフトの設定値を無視して、特定のカラーモードでスキャンしたい場合は、この項目で設定します。

カラー（文書, 表）モード	この項目にチェックマークを付けた場合は、アプリケーションソフトの設定にかかわらず、カラーモードを［カラー（文書, 表）］にしてスキャンします。
白黒2値の代わりにテキストを使用する（Windowsのみ）	この項目にチェックマークを付けた場合は、アプリケーションソフトの設定にかかわらず、カラーモードを［テキスト（OCR）］にしてスキャンします。

- この設定は、UIモード（メインウィンドウを表示するモード）のときは無効になります。ScanGear CSをインストールした直後の状態では、両方ともオフになっています。

閉じる

ScanGear CSを起動時のプレビュー

ScanGear CS起動時のプレビュー：
- ◯ 自動的にプレビューを実行する
- ◉ 保存されたプレビューイメージを表示する
- ◯ なし

ScanGear CSを起動したときのプレビューの動作を設定します。次のいずれかをクリックします。

自動的にプレビューを実行する	起動後、自動でプレビューを開始します。
保存されたプレビューイメージを表示する	ScanGear CS終了時にプレビューエリアのプレビュー画像を保存し、次回ScanGear CSを起動したときに、このプレビュー画像を表示します。
なし	起動後、前回のプレビュー画像を表示しません。

- 「保存されたプレビューイメージを表示する」にチェックマークを付けた場合は、プレビュー画像の保存時に、色調整シートの各設定項目、ツールバーの鏡映、左回転、右回転、色反転、ルーラーボタンの設定も保存されます。
ScanGear CSをインストールした直後の状態では、「保存されたプレビューイメージを表示する」が選ばれています。

閉じる

プレビュー後、オートクロップを実行する

☑ プレビュー後、オートクロップを実行する

この項目にチェックマークを付けた場合、プレビューした後、自動的に原稿サイズに合わせてクロップします。ScanGear CSをインストールした直後の状態ではオンになっています。

閉じる

常に自動色調整を行う

☑ 常に自動色調整を行う

この項目にチェックマークを付けると、スキャンした画像に対して、常に自動色調整を行います。
ScanGear CSをインストールした直後の状態ではオンになっています。

閉じる

白枠除去を実行する

☐ 白枠除去を実行する

マルチクロップ、マルチスキャンを使った場合にのみ有効な機能です。
マルチスキャン、マルチクロップでスキャンした場合、周囲に白い余白のある原稿の白い余白の部分を自動的に除いてクロップします。

閉じる

テンポラリファイルの保存先フォルダ

画像を一時的に保存しておくフォルダを指定します。［参照］ボタンをクリックして、保存先のフォルダを指定します。

閉じる

スキャン終了後ScanGear CSを自動的に閉じる

☐ スキャン終了後 ScanGear CSを自動的に閉じる

この項目にチェックマークを付けた場合（オンの状態）、スキャン終了後ScanGear CS のメインウィンドウは自動で閉じられます。インストール直後の状態では、オフに設定されています。

・ アプリケーションソフトによっては、この項目の設定内容に関わらず、スキャン終了後ScanGear CSのメインウィンドウを自動的に閉じます。

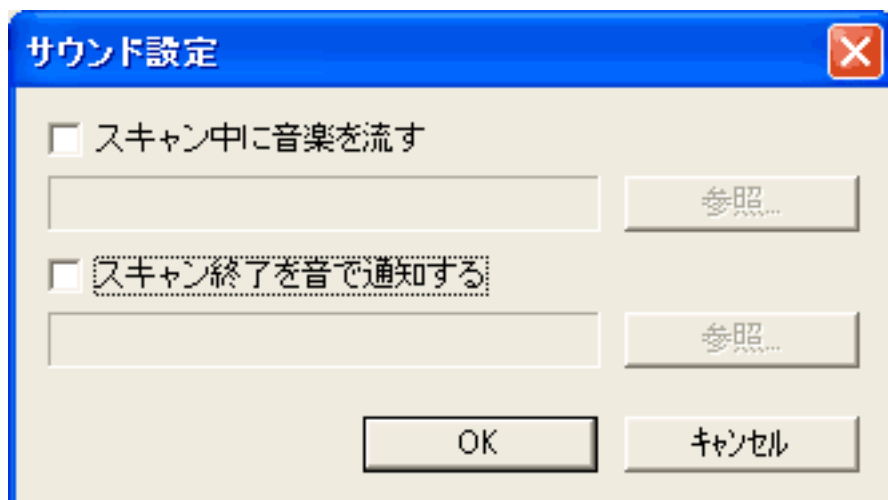
閉じる

スキャナテスト...　［スキャナテスト］ボタン

スキャナを使用中に故障かなと思われる症状が起こったときは「スキャナのテスト」を行ってください。
［スキャナテスト］ボタンをクリックすると、［スキャナ自己診断］画面が表示されます。
この画面の［スタート］ボタンをクリックすると、スキャナの自己診断がはじまります。

閉じる

サウンド設定... サウンド設定ボタン

スキャン中、またはスキャン終了時に音楽を流すことができます。
［サウンド設定］ボタンをクリックすると、次のようなダイアログボックスが表示されます。

「スキャン中に音楽を流す」「スキャン終了時に通知する」にチェックマークを付け、それぞれ［参照］ボタンをクリックして、サウンドファイルを指定します。

- Macintosh 「スキャン中に音楽を流す」は使用できません。
- ボリュームの設定は、コンピュータ側で設定してください。ScanGear CSでは設定できません。
- 「スキャン終了を音で通知する」をオンにすると、スキャン画像がアプリケーションソフトに表示されるまで通常より時間がかかります。終了音の長さによっては、通常より最大10秒ほど時間がかかる場合があります。

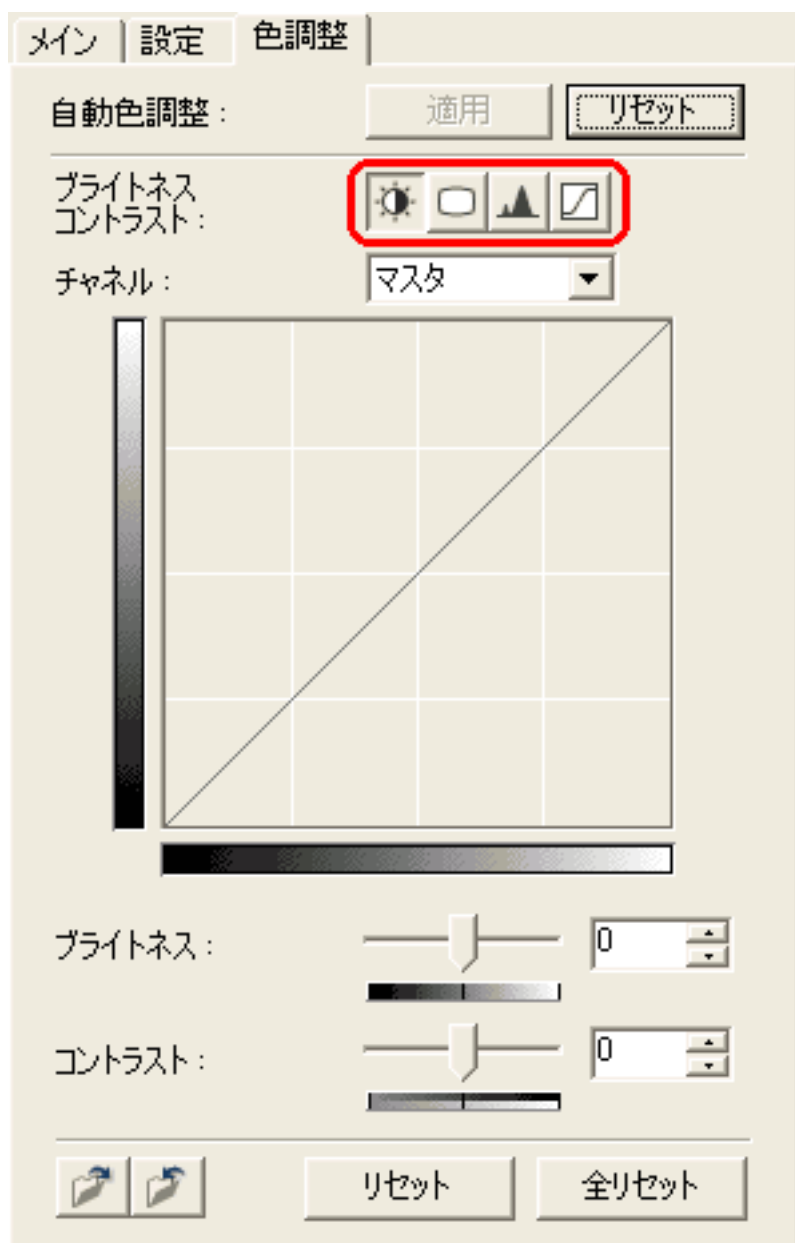
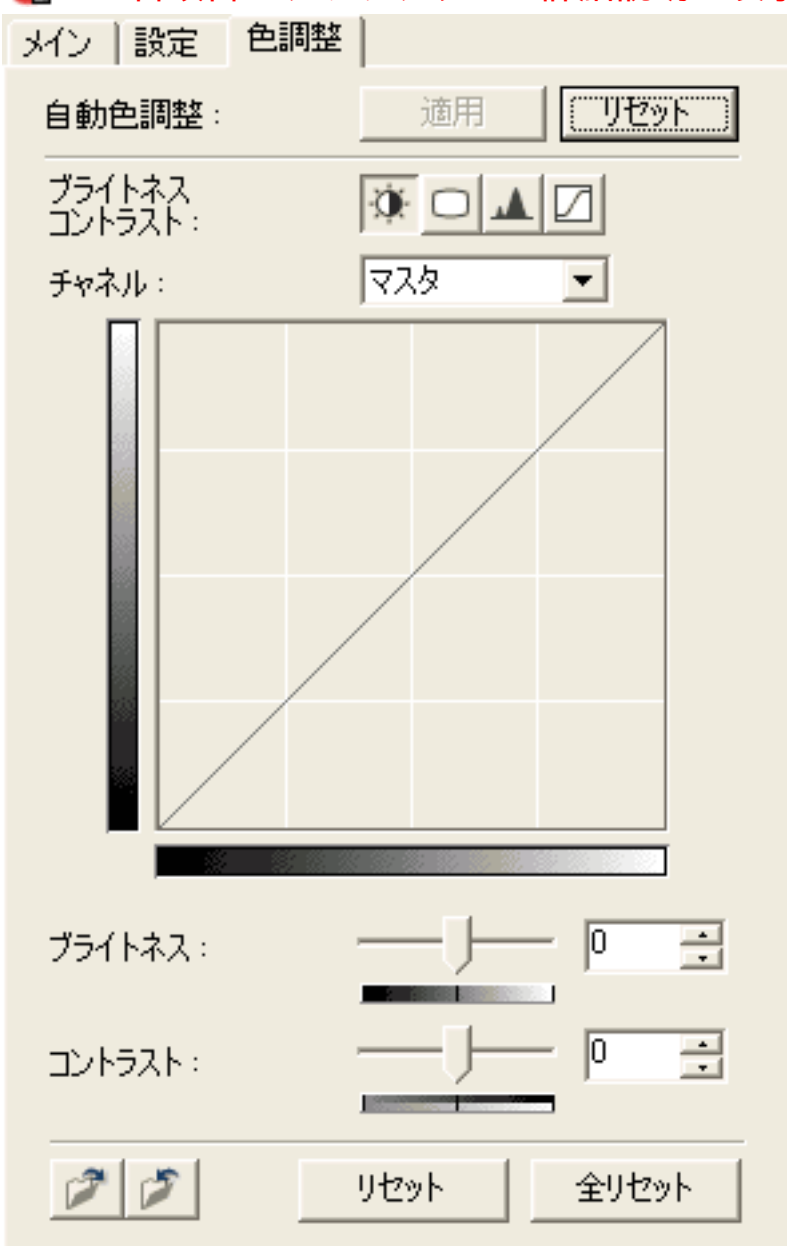
- 指定できるファイルは次のとおりです。
  MIDIファイル（*.mid、*.rmi、*.midi）
  オーディオファイル（*.wav、*.aiff）
  MP3ファイル（*.mp3）

閉じる

色調整シートの機能

このシートでは、画像全体の明るさ（ブライトネス）や画像の明暗差（コントラスト）の調整、モニタの明るさに合った調整（ガンマ値の補正）、画像のハイライトとシャドウの指定や明暗のバランスの補正（ヒストグラム、トーンカーブ）など、画像の明るさや色合いにかかわる詳細な設定ができます。
色調整シートは、カラーモードが［カラー（写真）］、［カラー（文書,表）］、［グレースケール］のときに表示されます。
［白黒］のときはハーフトーンシートに変わり、［テキスト（OCR）］（Windowsの場合のみ）のときは表示されません。

- ［カラーマッチング］がオンのとき、色調整シートは表示されません。→「拡張モード／設定シートの機能」の色の設定
- 色調整シートを使って画像を調整すると、その結果はすぐにプレビュー画像に反映されます。また、スキャン時にもここで調整した結果が反映されます。

色調整シートのボタンをクリックすると、シート内の設定項目が変わります。

- ブライトネス／コントラスト
- ガンマ
- ヒストグラム
- トーンカーブ

ブライトネス／コントラスト

画像全体、または画像の各要素のRGBの明るさ（ブライトネス）や画像の明暗差（コントラスト）を調整します。スキャンする前の元の画像が、暗すぎたり、明るすぎたり、明暗差が少なくフラットな画質のときに調整します。
［ブライトネス／コントラスト］ボタンを選択してから行います。［ブライトネス／コントラスト］ボタンをクリックすると、色調整シートにブライトネス／コントラストの設定項目が表示されます。

- ブライトネスとコントラストの調整方法の詳細は、「もっと上手にスキャンする」のブライトネスとコントラストの調整方法をご覧ください。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

自動色調整 適用 適用ボタン

範囲を指定し「自動色調整」の［適用］ボタンをクリックすると、指定した範囲の画像（クロップ枠で囲まれた画像）の明るさや色合いが最適な状態に自動調整されます。

- この機能を使って画像の色調整を変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。

- 自動色調整は選択範囲内（クロップ枠の内側）のデータを用いて色調整を行います。インストール直後の設定では、プレビュー後オートクロップ枠内のデータを用いて自動色調整が実行されます。色調整の結果は、クロップ枠に関係なくプレビューエリア全体に反映されます。
- プレビュー画像が表示されていないときや、カラーモードが［白黒］または［テキスト（OCR）］（Windowsの場合のみ）のときは、自動色調整を実行できません。
- 「カラーマッチング」がオンのときは、自動色調整を実行できません。→「拡張モード／設定シートの機能」の色の設定

閉じる

自動色調整 リセット リセットボタン

色調整を行わない状態に戻します。

閉じる

チャネル

スキャンした画像の各ドットの色は、赤（Red）、緑（Green）、青（Blue）、をさまざまな割合（階調）でミックスすることにより、表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャネル」です。

マスタ	［赤（R）］、［青（G）］、［青（B）］を統合した状態での調整／設定を行います。
赤、緑、青	赤：　画像のうち赤の要素だけの調整／設定を行います。 緑：　画像のうち緑の要素だけの調整／設定を行います。 青：　画像のうち青の要素だけの調整／設定を行います。

- カラーモードがグレースケールのとき、チャネルは表示されません。

閉じる

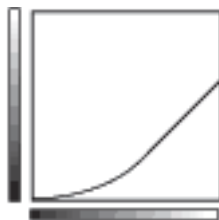
グラフ表示部

ブライトネス／コントラスト、ガンマ、ヒストグラム、トーンカーブの各設定内容を表すグラフが表示されます。「トーンカーブ」の機能を選択したときは、グラフを直接編集して調整することができます。

閉じる

ブライトネス

スライダを左右にドラッグして設定します。右に動かすほど明るくなり、左に動かすほど暗くなります。ここでの設定と連動して、グラフが変化します。

・ 入力ボックスに直接数値を入力することもできます。

閉じる

コントラスト

スライダを左右にドラッグして設定します。右に動かすほど明暗差が大きくなり、左に動かすほど少なくなります。ここでの設定と連動して、グラフが変化します。

- 「カラーモード」が［カラー（写真）］［カラー（文書, 表）］［グレースケール］のときに有効な調整項目です。
- プレビュー画像が表示されていない場合でも、設定できます。この設定は、スキャン時に反映されます。

閉じる

ロードボタン

保存されているカラー調整ファイルの設定内容を読み込みます。

閉じる

保存ボタン

各機能の設定状態をカラー調整ファイルに保存します。同じ画像を再度スキャンするときに、最初の設定値を保存しておけば、あらたに調整する必要がなく、保存しておいた設定値で同じ画像調整ができます。

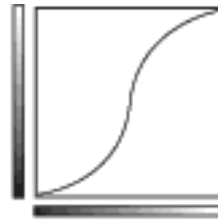
- カラー調整ファイルの拡張子は、カラーが（.adc）、グレースケールが（.adg）になります。

閉じる

リセット リセットボタン

表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態にします。

閉じる

全リセット 全リセットボタン

［マスタ］、［赤］、［緑］、［青］およびコントラスト／ブライトネス、ガンマ、ヒストグラム、トーンカーブすべての調整項目の調整をとりやめ、初期状態にします。また、自動補正で調整した画像も、もとの状態に戻ります。

閉じる

ガンマ

モニタ（ディスプレイ）のガンマ値を設定することで、そのモニタの特性に合った明るさに調整します。元の画像の色調と、モニタに表示された画像の色調が違う場合に設定します。
画像の調整は、［ガンマ］ボタンを選択してから行います。［ガンマ］ボタンをクリックすると、色調整シートにガンマの設定項目が表示されます。

- 「カラーモード」が［カラー（写真）］［カラー（文書,表）］［グレースケール］のときに有効な調整項目です。
- プレビュー画像が表示されていない場合でも、設定できます。この設定は、スキャン時に反映されます。
- ガンマ値の設定に関する詳細は「もっと上手にスキャンする」のガンマ値の設定方法をご覧ください。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

自動色調整 適用 適用ボタン

範囲を指定し「自動色調整」の［適用］ボタンをクリックすると、指定した範囲の画像（クロップ枠で囲まれた画像）の明るさや色合いが最適な状態に自動調整されます。

- この機能を使って画像の色調整を変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。

- 自動色調整は選択範囲内（クロップ枠の内側）のデータを用いて色調整を行います。インストール直後の設定では、プレビュー後オートクロップ枠内のデータを用いて自動色調整が実行されます。色調整の結果は、クロップ枠に関係なくプレビューエリア全体に反映されます。
- プレビュー画像が表示されていないときや、カラーモードが［白黒］または［テキスト（OCR）］（Windowsの場合のみ）のときは、自動色調整を実行できません。
- 「カラーマッチング」がオンのときは、自動色調整を実行できません。→「拡張モード／設定シートの機能」の色の設定

閉じる

自動色調整 リセット リセットボタン

色調整を行わない状態に戻します。

閉じる

チャネル

スキャンした画像の各ドットの色は、赤（Red）、緑（Green）、青（Blue）、をさまざまな割合（階調）でミックスすることにより、表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャネル」です。

マスタ	［赤（R）］、［青（G）］、［青（B）］を統合した状態での調整／設定を行います。
赤、緑、青	赤：　画像のうち赤の要素だけの調整／設定を行います。 緑：　画像のうち緑の要素だけの調整／設定を行います。 青：　画像のうち青の要素だけの調整／設定を行います。

・ カラーモードがグレースケールのとき、チャネルは表示されません。

閉じる

グラフ表示部

ブライトネス／コントラスト、ガンマ、ヒストグラム、トーンカーブの各設定内容を表すグラフが表示されます。「トーンカーブ」の機能を選択したときは、グラフを直接編集して調整することができます。

閉じる

ガンマ

スライダを左右にドラッグしてガンマ値を設定します。右に動かすほどモニタのガンマ値が大きくなり、左に動かすほど小さくなります。ここでの設定と連動して、「スキャナ」と「モニタ」の数値とグラフが変化します。

閉じる

モニタ／スキャナ

モニタ : 2.20
スキャナ : 0.45

「スキャナ」または「モニタ」のガンマ値を直接入力します。入力できる値は0.10 ～ 10.00です。「スキャナ」と「モニタ」の項目は連動しており、片方に数値を入力すると、もう片方には入力した数値の逆数が自動的に設定されます。また、ここでの設定と連動して、スライダが左右に動きます。

閉じる

ロードボタン

保存されているカラー調整ファイルの設定内容を読み込みます。

閉じる

保存ボタン

各機能の設定状態をカラー調整ファイルに保存します。同じ画像を再度スキャンするときに、最初の設定値を保存しておけば、あらたに調整する必要がなく、保存しておいた設定値で同じ画像調整ができます。

- カラー調整ファイルの拡張子は、カラーが（.adc）、グレースケールが（.adg）になります。

閉じる

リセット リセットボタン

表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態にします。

閉じる

全リセット 全リセットボタン

［マスタ］、［赤］、［緑］、［青］およびコントラスト／ブライトネス、ガンマ、ヒストグラム、トーンカーブすべての調整項目の調整をとりやめ、初期状態にします。また、自動補正で調整した画像も、もとの状態に戻ります。

閉じる

ヒストグラム

どれだけの明るさのレベルにどれだけのデータが集中しているかを見るのがヒストグラムです。画像の中のもっとも明るいレベル（ハイライト）ともっとも暗いレベル（シャドウ）を適切に指定して、それらをカットし、中間の階調に広がりを持たせたいときに使います。
画像の調整は、ヒストグラムボタンを選択してから行います。

- 「カラーモード」が［カラー（写真）］［カラー（文書,表）］［グレースケール］のときに有効な調整項目です。
- プレビュー画像が表示されていない場合でも、設定できます。この設定は、スキャン時に反映されます。
- ヒストグラムの調整についての詳細は「もっと上手にスキャンする」のヒストグラムの見かたと調整をご覧ください。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

自動色調整 適用 適用ボタン

範囲を指定し「自動色調整」の［適用］ボタンをクリックすると、指定した範囲の画像（クロップ枠で囲まれた画像）の明るさや色合いが最適な状態に自動調整されます。

- この機能を使って画像の色調整を変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。

- 自動色調整は選択範囲内（クロップ枠の内側）のデータを用いて色調整を行います。インストール直後の設定では、プレビュー後オートクロップ枠内のデータを用いて自動色調整が実行されます。色調整の結果は、クロップ枠に関係なくプレビューエリア全体に反映されます。
- プレビュー画像が表示されていないときや、カラーモードが［白黒］または［テキスト（OCR）］（Windowsの場合のみ）のときは、自動色調整を実行できません。
- 「カラーマッチング」がオンのときは、自動色調整を実行できません。→「拡張モード／設定シートの機能」の色の設定

閉じる

自動色調整 リセット リセットボタン

色調整を行わない状態に戻します。

閉じる

チャネル

スキャンした画像の各ドットの色は、赤（Red）、緑（Green）、青（Blue）、をさまざまな割合（階調）でミックスすることにより、表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャネル」です。

マスタ	［赤（R）］、［青（G）］、［青（B）］を統合した状態での調整／設定を行います。
赤、緑、青	赤：　画像のうち赤の要素だけの調整／設定を行います。 緑：　画像のうち緑の要素だけの調整／設定を行います。 青：　画像のうち青の要素だけの調整／設定を行います。

- カラーモードがグレースケールのとき、チャネルは表示されません。

閉じる

グラフ表示部

ブライトネス／コントラスト、ガンマ、ヒストグラム、トーンカーブの各設定内容を表すグラフが表示されます。「トーンカーブ」の機能を選択したときは、グラフを直接編集して調整することができます。

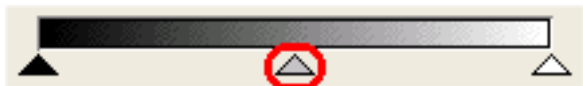
閉じる

暗点スライダ

スライダを左右にドラッグして暗点レベルを設定します。ここの設定より暗いデータはすべてレベル0（シャドウ）になります。ここでの設定と連動して、暗点レベル入力ボックスの数値が変化します。

・ レベル入力ボックスに直接数値を入力することもできます。

閉じる

中間点スライダ

明点と暗点の中間に自動的に移動します。左右にドラッグして中間点レベルを設定することもできます。この設定の明るさがレベル128（ハイライトとシャドウの中間）になります。

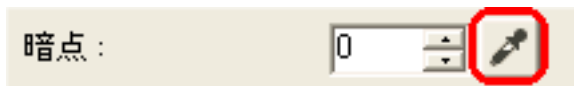
閉じる

明点スライダ

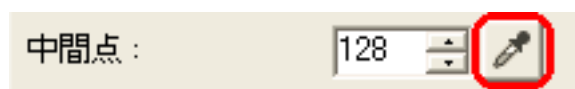
スライダを左右にドラッグして明点レベルを設定します。ここの設定より明るいデータはすべてレベル255（ハイライト）になります。ここでの設定と連動して、明点レベル入力ボックスの数値が変化します。

・ レベル入力ボックスに直接数値を入力することもできます。

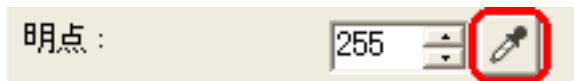
閉じる

暗点ピッカー

クリックすると、プレビュー画像上のマウスポインタの形状がスポイトに変わります。このスポイトでクリックした位置を黒（0）に設定します。

閉じる

中間点ピッカー

クリックすると、プレビュー画像上のマウスポインタの形状がスポイトに変わります。このスポイトでクリックした位置を中間点に設定します。

閉じる

明点ピッカー

クリックすると、プレビュー画像上のマウスポインタの形状がスポイトに変わります。このスポイトでクリックした位置を白（255）に設定します。

閉じる

ロードボタン

保存されているカラー調整ファイルの設定内容を読み込みます。

閉じる

各機能の設定状態をカラー調整ファイルに保存します。同じ画像を再度スキャンするときに、最初の設定値を保存しておけば、あらたに調整する必要がなく、保存しておいた設定値で同じ画像調整ができます。

- カラー調整ファイルの拡張子は、カラーが（.adc）、グレースケールが（.adg）になります。

閉じる

リセット リセットボタン

表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態にします。

閉じる

全リセット 全リセットボタン

［マスタ］、［赤］、［緑］、［青］およびコントラスト／ブライトネス、ガンマ、ヒストグラム、トーンカーブすべての調整項目の調整をとりやめ、初期状態にします。また、自動補正で調整した画像も、もとの状態に戻ります。

閉じる

トーンカーブ

明暗のバランスを示した「トーンカーブ」というグラフの形を編集して入力と出力のバランスを調整し、画像の明るさを調整します。トーンカーブによる設定では、特定の領域の明るさを、きめ細かく調整することができます。
画像の調整は、［トーンカーブ］ボタンを選択してから行います。［トーンカーブ］ボタンをクリックすると、色調整シートにトーンカーブの設定項目が表示されます。

- 「カラーモード」が［カラー（写真）］［カラー（文書,表）］［グレースケール］のときに有効な調整項目です。
- プレビュー画像が表示されていない場合でも、設定できます。この設定は、スキャン時に反映されます。
- トーンカーブの調整についての詳細は「もっと上手にスキャンするには」のトーンカーブの見かたと調整をご覧ください。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

自動色調整 適用 適用ボタン

範囲を指定し「自動色調整」の［適用］ボタンをクリックすると、指定した範囲の画像（クロップ枠で囲まれた画像）の明るさや色合いが最適な状態に自動調整されます。

- この機能を使って画像の色調整を変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。

- 自動色調整は選択範囲内（クロップ枠の内側）のデータを用いて色調整を行います。インストール直後の設定では、プレビュー後オートクロップ枠内のデータを用いて自動色調整が実行されます。色調整の結果は、クロップ枠に関係なくプレビューエリア全体に反映されます。
- プレビュー画像が表示されていないときや、カラーモードが［白黒］または［テキスト（OCR）］（Windowsの場合のみ）のときは、自動色調整を実行できません。
- 「カラーマッチング」がオンのときは、自動色調整を実行できません。→「拡張モード／設定シートの機能」の色の設定

閉じる

自動色調整 リセット リセットボタン

色調整を行わない状態に戻します。

閉じる

チャネル

スキャンした画像の各ドットの色は、赤（Red）、緑（Green）、青（Blue）、をさまざまな割合（階調）でミックスすることにより、表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャネル」です。

マスタ　［赤（R）］、［青（G）］、［青（B）］を統合した状態での調整／設定を行います。

赤、緑、青　赤：　画像のうち赤の要素だけの調整／設定を行います。
緑：　画像のうち緑の要素だけの調整／設定を行います。
青：　画像のうち青の要素だけの調整／設定を行います。

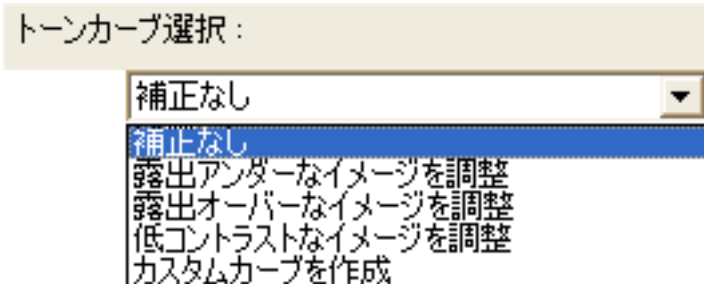
・カラーモードがグレースケールのとき、チャネルは表示されません。

閉じる

グラフ表示部

ブライトネス／コントラスト、ガンマ、ヒストグラム、トーンカーブの各設定内容を表すグラフが表示されます。「トーンカーブ」の機能を選択したときは、グラフを直接編集して調整することができます。

閉じる

トーンカーブ選択

トーンカーブの調整を、次の中から選択します。

・補正なし
・露出アンダーなイメージを調整
・露出オーバーなイメージを調整
・低コントラストなイメージを調整
・カスタムカーブを作成

トーンカーブ選択ー「カスタムカーブの作成」の設定
「カスタムカーブを作成」を選択すると、グラフ表示部が編集可能になります。次のような操作でグラフを編集できます。

- グラフ表示部の任意の点をクリックすると、その点を通る滑らかな曲線が作られます。指定した点は赤（Macintoshの場合は黒）で表示されます。指定できる点の数は両端を含めて15個以内です。
- 点を移動するときは、マウスドラッグをします。このとき、トーンカーブも連動して変形します。
- 点を削除するときは、グラフの外に点をドラッグします。（Windows の場合は、右クリックで削除できます）
- グラフ表示部を直接クリックしても、「カスタムカーブを作成」を選択した状態になります。

閉じる

ロードボタン

保存されているカラー調整ファイルの設定内容を読み込みます。

閉じる

保存ボタン

各機能の設定状態をカラー調整ファイルに保存します。同じ画像を再度スキャンするときに、最初の設定値を保存しておけば、あらたに調整する必要がなく、保存しておいた設定値で同じ画像調整ができます。

- カラー調整ファイルの拡張子は、カラーが（.adc）、グレースケールが（.adg）になります。

閉じる

リセット リセットボタン

表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態にします。

閉じる

全リセット 全リセットボタン

［マスタ］、［赤］、［緑］、［青］およびコントラスト／ブライトネス、ガンマ、ヒストグラム、トーンカーブすべての調整項目の調整をとりやめ、初期状態にします。また、自動補正で調整した画像も、もとの状態に戻ります。

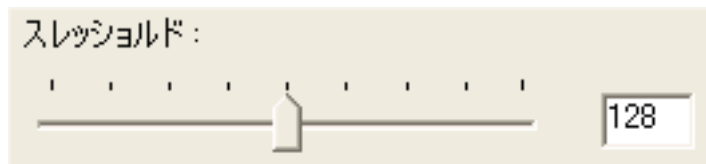
閉じる

ハーフトーンシートの機能

カラーやグレースケールの画像では明るさを0〜255の数値で表現しますが、白黒の場合は中間色の部分も、白(255)と黒 (0)のいずれかに分けて表現します。このときの、白と黒に分ける境を「スレッショルド」といいます。スレッショルドは、文字原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減するときに便利な機能です。
ハーフトーンシートでは、このスレッショルドの設定を行います。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

- 「カラーモード」が［白黒］のときに有効な調整項目です。［白黒］にすると、色調整シートがハーフトーンシートに変わります。
- プレビュー画像が表示されていない場合でも、設定できます。この設定は、スキャン時に反映されます。

スレッショルド

スライダを左右にドラッグしてスレッショルドを設定します。右に動かすほど値は大きくなり、左に動かすほど値は小さくなります。ここでの設定と連動して、入力ボックスの数値が変化します。

- 入力ボックスに、スレッショルドの値を直接入力することもできます。入力できる値は0 ～ 255 です。ここでの設定と連動して、スライダが左右に動きます。

スレッショルドの調整
スレッショルドの値を大きくすると、白になる部分が少なく（黒になる部分が多く）なり、値を小さくすると、白になる部分が多く（黒になる部分が少なく）なります。

閉じる

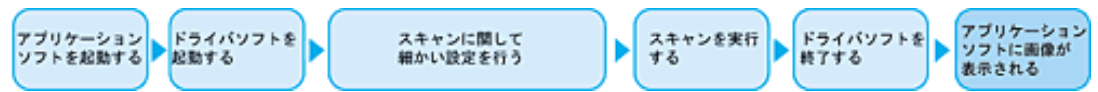
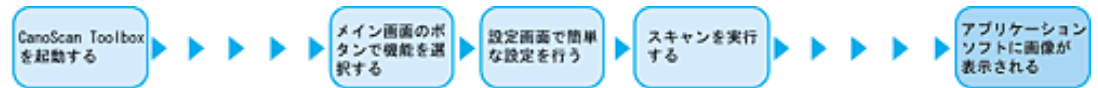
リセット リセットボタン

このボタンをクリックすると、変更されたスレッショルドの値が初期値に戻ります。

閉じる

CanoScan Toolboxって何？

CanoScan Toolbox（キヤノスキャン ツールボックス）は、スキャナをより便利に活用するためのソフトウェアです。

たとえば、「雑誌の1ページをスキャンして画像処理アプリケーションソフトで表示させたい」というようなとき、通常は、次のような手順が必要です。

ところが、CanoScan Toolboxを使うと、次のような手順になります。

さらに、スキャナ前面のボタンを利用すれば、次のようになります。

このように、スキャナをより気軽に、手早く活用するためのソフトウェアがCanoScan Toolboxです。

なお、「CanoScan Toolbox」のことを略して「Toolbox」と表記します。

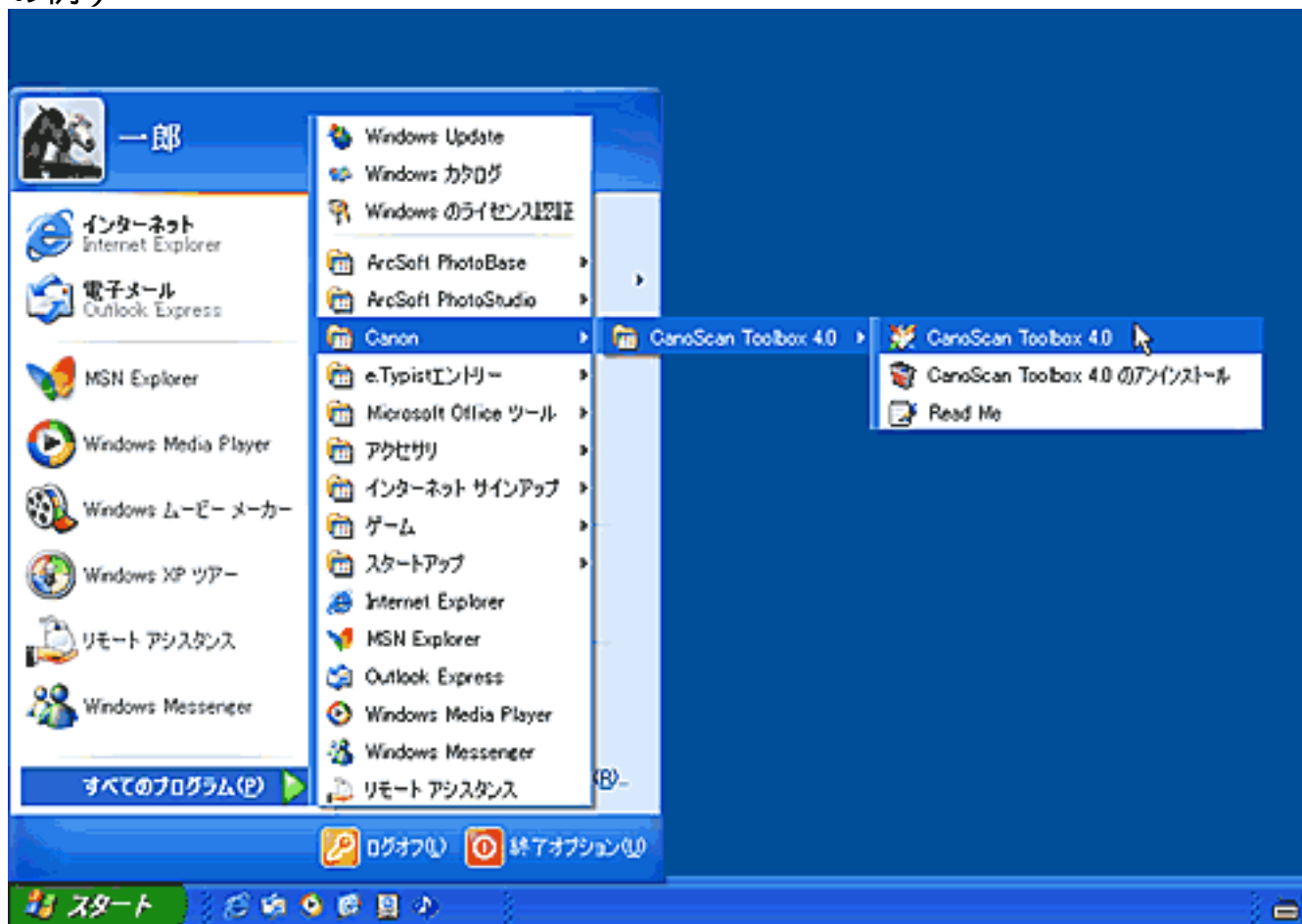
具体的な操作方法については、下の各項目をクリックしてください。

Toolboxの起動ついて
Toolboxの終了について
Toolboxのボタン機能について
スキャナのボタンを使う
Toolboxを使ってスキャンする

Toolboxの起動

- Toolbox を起動するときは、ScanGear CSがインストールされ、スキャナが正しく接続されていることを確認してください。

Windows

［スタート］をクリックし、［（すべての）プログラム］の［Canon］-［CanoScan Toolbox 4.0］から［CanoScan Toolbox 4.0］を選択します。（下の画面はWindows XPの例）

これで、Toolboxが起動し、次のような画面（Toolboxのメイン画面）が表示されます。

- 上記のように表示され、各機能を使用するには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMからすべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。また、プリンタドライバやメールソフトがインストールされ、使用できる状態になっていることが必要です。

Macintosh

［CanoScan Toolbox 4.0］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox］のアイコンをダブルクリックします。

 →

CanoScan Toolbox 4.0　　CanoScan Toolbox

これで、Toolboxが起動し、次のような画面（Toolboxのメイン画面）が表示されます。

- 上記のように表示され、各機能を使用するには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMからすべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。また、プリンタドライバやメールソフトがインストールされ、使用できる状態になっていることが必要です。

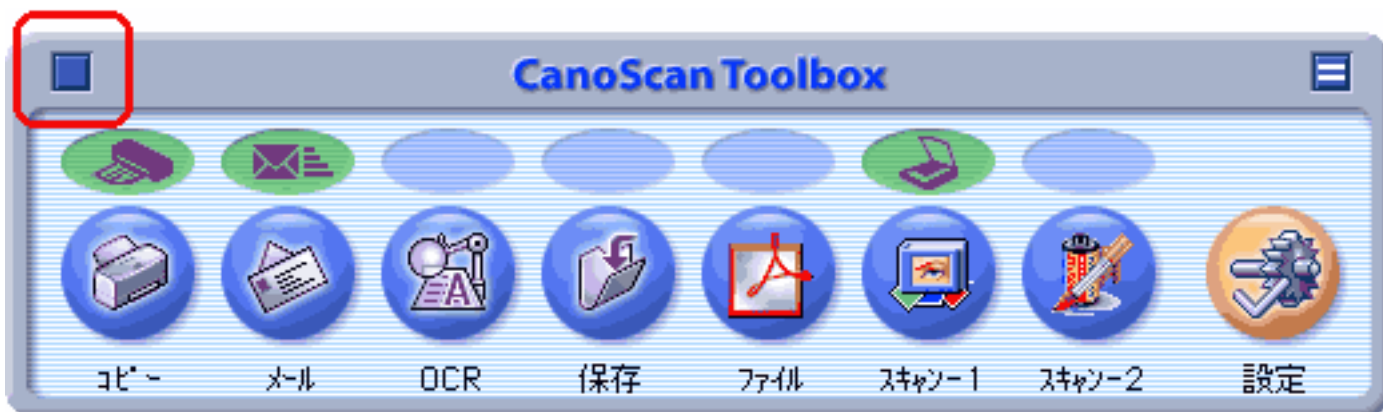
先頭へ戻る▲

Toolboxの終了

Windows

メイン画面で、［閉じる］ボタンをクリックします。

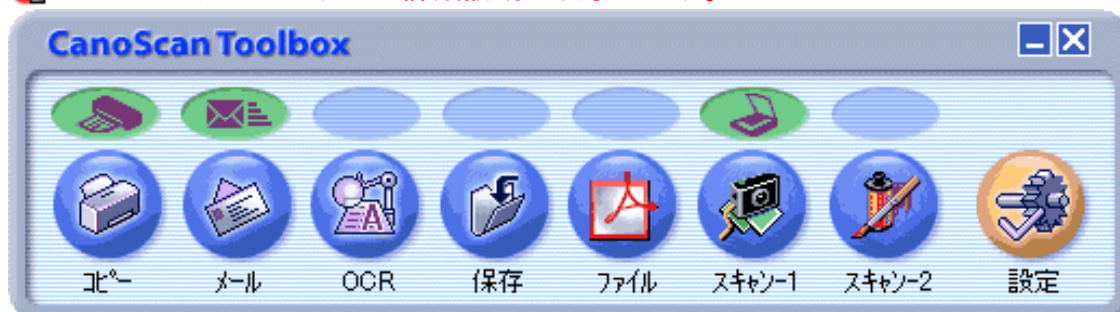
Macintosh

メイン画面で、［クローズボックス］をクリックします。

- メイン画面以外の画面が表示されているときは、その画面の［キャンセル］をクリックして、メイン画面を表示させてから［閉じる］ボタンまたは［クローズボックス］をクリックしてください。

ボタンの機能

Toolboxのメイン画面には、次のようなボタンが用意されています。

Windows

ボタンをクリックすると詳細説明を表示します。

Macintosh

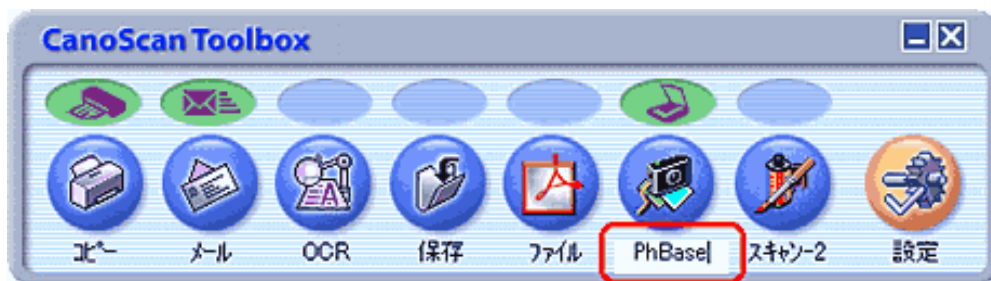
ボタンをクリックすると詳細説明を表示します。

機能ボタン

	［コピー］ボタン	スキャンした画像を、プリンタで印刷します。用紙サイズやレイアウトなどの設定ができます。
	［メール］ボタン	スキャンした画像を、メールソフトの新規メールに添付します。ファイルの種類や保存先などの設定ができます。
	［OCR］ボタン	スキャンした画像（文字原稿）を、付属のOCRソフト「e.Typistエントリー」でテキストデータとして読み取ります。読み取り解像度や原稿サイズ、ファイルの種類や保存先などが設定できます。
	［保存］ボタン	スキャンした画像を、指定された保存先へ保存します。読み取り解像度や原稿サイズ、ファイルの種類や保存先などが設定できます。
	［ファイル］ボタン	スキャンした画像を、Adobe Acrobat ReaderのPDF文書として保存します。読み取り解像度や原稿サイズ、保存先などが設定できます。
	［スキャン-1］［スキャン-2］ボタン	スキャンした画像を、設定されているアプリケーションソフトへ渡します。読み取り解像度や原稿サイズ、ファイルの種類や保存先などが設定できます。 キヤノスキャンセットアップCD-ROMですべてのソフトウェアをインストールすると、［スキャン-1］ボタンには「PhotoBase」、［スキャン-2］ボタンには「PhotoStudio」が登録されています。

［設定］ボタン　スキャナ本体前面のボタンを、Toolboxの別の機能に対応させることができます。

- これらの機能を使うには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMからすべてのアプリケーションソフトがインストールされていることが必要です。すべてのアプリケーションソフトをインストールすると、［OCR］ボタンには「e.Typist エントリー」が、［ファイル］ボタンには「Acrobat Reader」が、［スキャン-1］ボタンには「PhotoBase」が、［スキャン-2］ボタンには「PhotoStudio」が自動的に登録されます。
- ［コピー］ボタンを使うには、プリンタドライバがインストールされプリンタが使用できる状態になっていることが必要です。また、スキャナとプリンタがパソコンに接続され、同時に使用できる状態になっている必要があります。
- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、WindowsではOutlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger、MacintoshではOutlook Express、EUDORAです。また、Windowsの場合メールソフトによって、メールソフト側で「MAPI」を有効に設定する必要があります。

- OCRソフトとは、本や新聞などの活字をテキストデータに変換するソフトウェアです。変換後のテキストデータは、ワープロソフトなどで編集できます。
- ［OCR］ボタン、［ファイル］ボタン、［スキャン-1］および［スキャン-2］のボタンには、別のアプリケーションソフトをリンク（登録）することができます。他のアプリケーションソフトをリンクする方法については、各ボタンのスキャン画像の渡し先をご覧ください。
- ［スキャン-1］ボタンおよび［スキャン-2］ボタンのボタン名を変更することができます。ボタンの下にある「スキャン-1」または「スキャン-2」の部分をクリックすると、文字入力ができる状態になります。キーボードを使ってリンクしたアプリケーションソフトの名前などを入力してください。
  アプリケーションソフトの名前は、半角8文字（全角4文字）までの文字で入力します。文字の入力が終わったら、［Enter］または［return］キーを押します。

スキャナボタンアイコン

スキャナの前面のボタンが、Toolboxのどの機能に割り当てられているかを示します。割り当てられている機能ボタンの上にスキャナのボタンのアイコンが表示されます。

- スキャナのボタンについてはスキャナのボタンを使うをご覧ください。
- スキャナのボタンをToolboxの他の機能に変更することができます。割り当てる機能を変更するには、メイン画面のスキャナボタンアイコンを別の機能ボタンの上にドラッグします。操作の詳細については、「スキャナのボタンを使う」のスキャナのボタンの機能を変更するをご覧ください。また、［設定］ボタンのボタンのリンクでも割り当てる機能を変更できます。

その他のボタン

Windows

［最小化］ウィンドウを最小化します。
［閉じる］Toolboxを終了します。

Macintosh

［シェードボックス］タイトルバーだけの表示にします。（もう一度クリックすると元に戻ります。）
［クローズボックス］Toolboxを終了します。

先頭へ戻る▲

［コピー］ボタン（コピー画面）

原稿をスキャンして、そのままプリンタで印刷します。

- スキャンした画像を印刷するには、コンピュータにプリンタドライバがインストールされ、プリンタが接続されて、コンピュータ、スキャナ、プリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。

Toolboxのメイン画面で（［コピー］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

Windows

Macintosh

- Windows
  お使いのプリンタによって表示内容が一部異なります。
- Macintosh
  コピー画面の「コピー枚数」から印刷枚数を設定することはできません。印刷枚数を設定する時は、印刷レイアウト画面で［印刷］ボタンをクリックし、表示されるプリンタドライバのダイアログボックスで設定してください。また、他のアプリケーションで印刷枚数を設定し、印刷した後にToolboxから印刷すると、前に設定した枚数分の原稿が印刷されてしまうことがあります。その場合もプリンタドライバのダイアログボックスで印刷枚数を再設定してください。印刷レイアウト画面については、印刷レイアウト画面をご覧ください。

スキャンモード

スキャンモード： カラー（プリント写真）
白黒
グレースケール
カラー（雑誌、カタログ）
カラー（プリント写真）
カラー（マルチスキャン）
カラー（オートクロップ）

スキャンの方法を選択します。
次の6つのモードから選択できます。

- 白黒
  白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
- グレースケール
  グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
- カラー（雑誌、カタログ）
  モアレ低減機能をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。
- カラー（プリント写真）
  モアレ低減機能をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。
- カラー（マルチスキャン）
  カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿のサイズを自動的に読み取り、複数の画像ファイルを作成します。
- カラー（オートクロップ）
  原稿サイズを自動的に読み取り、カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれていても、作成される画像ファイルは1つです。

- 印刷物をスキャンすると、縞（しま）のような模様（モアレ）が発生することがあります。「モアレ低減機能」は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。モアレ低減機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。
- ［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンする方法については、「目的別スキャナ活用法」の複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）をご覧ください。
- ［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンした場合、次のように動作します。

［コピー］ボタン	スキャンした複数の原稿を印刷します。
［メール］ボタン	複数の画像の添付されたメール作成画面、または画像の添付された複数のメール作成画面が表示されます。
［保存］ボタン	スキャンした複数の原稿を保存します。
［ファイル］ボタン	スキャンした複数の原稿をPDFファイルとして保存します。
［スキャン-1］ボタン ［スキャン-2］ボタン	スキャンした複数の原稿をリンクされているアプリケーションソフトに別々のファイルとしてわたします。ただし、アプリケーションソフトによっては、複数の画像を受け取れないものもあります。

- ［メール］ボタン（メール画面）、［保存］ボタン（保存画面）、［ファイル］ボタン（ファイル画面）の場合、「ファイルの種類」が［PDF］で、PDFの設定が「マルチページPDFを作成」になっているときは、［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンしても、作成されるPDFファイルは1つです。PDFの設定については、［PDF設定］ボタンをご覧ください。

閉じる

読み取り解像度

■白黒、グレースケールの場合

読み取り解像度：標準(300dpi)
ドラフト(150dpi)
標準(300dpi)
高画質(600dpi)

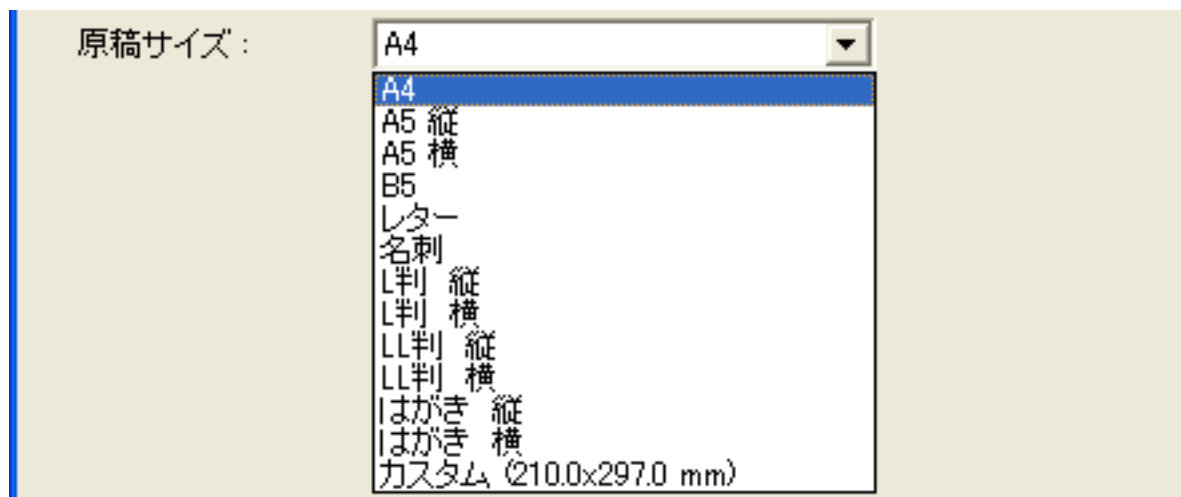
■カラーの場合

読み取り解像度：高画質(300dpi)
ドラフト(75dpi)
標準(150dpi)
高画質(300dpi)
拡大印刷(600dpi)

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
次の4つの解像度を選択できます。

- ドラフト
  白黒、グレースケールの場合は150dpiでスキャンします。
  カラーの場合は75dpiでスキャンします。
- 標準
  白黒、グレースケールの場合は300dpiでスキャンします。
  カラーの場合は150dpiでスキャンします。
- 高画質
  白黒、グレースケールの場合は600dpiでスキャンします
  カラーの場合は300dpiでスキャンします。
- 拡大印刷
  カラーの場合は600dpiでスキャンします。
  （白黒、グレースケール、および「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］［カラー（オートクロップ）］の場合には選択できません）

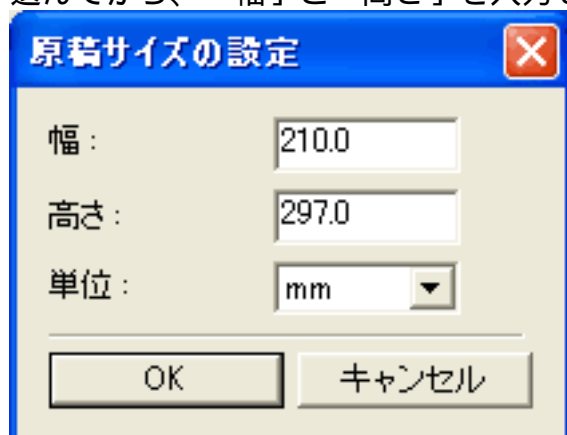
- 拡大／縮小で「用紙に合わせる」が選択された場合には、状況に応じて自動的に解像度が変更されます。
- 「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］の場合、「読み取り解像度」は、［ドラフト（75dpi）］［標準（150dpi）］［高画質（300dpi）］から選択できます。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の解像度の決めかたおよび解像度とデータ容量をご覧ください。

閉じる

原稿サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。
次のサイズを選択できます。

A4、A5縦、A5横、B5、レター、名刺、L判縦、L判横、LL判縦、LL判横、はがき縦、はがき横、カスタム。

［カスタム］を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。「単位」を選んでから、「幅」と「高さ」を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- 「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］の場合、「原稿サイズ」は選択できません（OCR画面の場合を除く）。

閉じる

明るさ

明るさ：

スキャンの明るさを設定します。
ツマミを左に動かすほど暗い画像に、右に動かすほど明るい画像になります。

・「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］の場合、「明るさ」は設定できません。

・「スキャンモード」が［白黒］の場合は、この項目で「白と黒の境界となる明るさ」を設定することになります。

閉じる

拡大／縮小

拡大／縮小：　用紙に合わせる　等倍

印刷する用紙に合わせてスキャンするか、原稿と同じ大きさでスキャンするかを選択します。

- 用紙に合わせる
  スキャンした画像全体が、印刷する用紙に収まるように自動的に画像の大きさを調整します。ただし、画像の縦横の比率は変更しないので、原稿と用紙サイズの組み合わせによっては、上下または左右に余白ができます。

- 等倍
  原稿と同じ大きさで、用紙の左上隅に画像を合わせて印刷されます。

- スキャンした画像は、ご使用になるプリンタで印刷可能な領域に印刷されます。ご使用になるプリンタによって、印刷可能領域は異なります。詳しくはプリンタの取扱説明書をお読みください

閉じる

スキャナドライバで詳細な設定を行う

☐ スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャンの設定をスキャナドライバ「ScanGear CS」で設定するか、しないかを選択します。

この項目にチェックマークを付けた場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、ScanGear CSの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定できます。「スキャンモード」「読み取り解像度」「原稿サイズ」などの「スキャナの設定」はできなくなります。（ScanGear CSの画面で設定することになります）

この項目にチェックマークを付けない場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、すぐにスキャンが実行されます。

- ［スキャン-1］ボタン、および［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）の場合、ScanGear CSの画面で「白黒」でスキャンしても、保存する「ファイルの種類」が［JPEG］の場合、グレースケールのJPEGで保存されます。

- ScanGear CSの画面で「マルチスキャン」を行った場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルがアプリケーションソフトにわたされます。［コピー］ボタン（コピー画面）の場合は、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルが印刷されます。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGear CSのことが知りたい」の基本モードの機能または拡張モードの機能をご覧ください。

閉じる

用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを選択します。

・ 選択されているプリンタによって、選択できる用紙サイズが異なります。

閉じる

コピー枚数

コピー枚数：　1

印刷する枚数を設定します。
表示部右側の［▲］［▼］をクリックするか、直接数値を入力して設定します。
最大99枚まで設定できます。

閉じる

プリンタ

プリンタ： Canon BJ F900 プロパティ

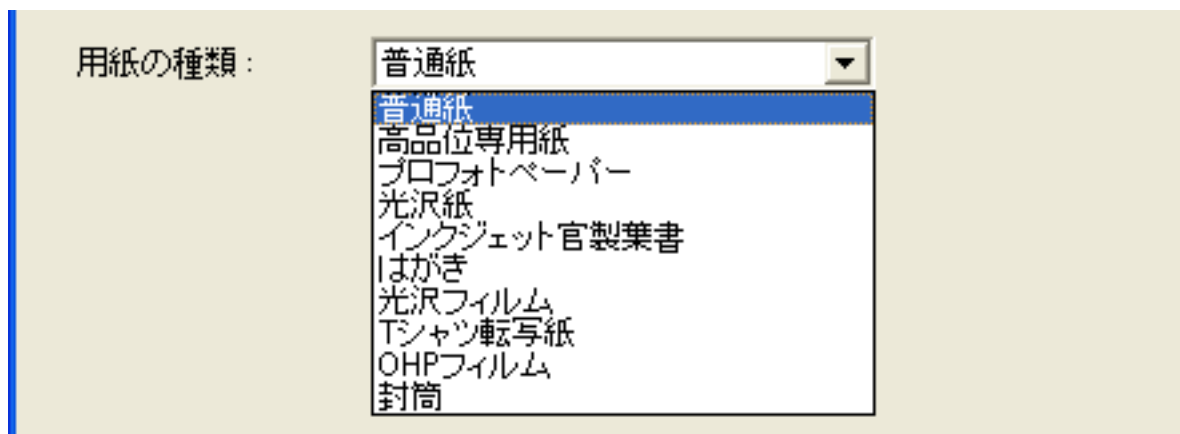
複数のプリンタを接続している場合に、使用するプリンタを選択します。
［プロパティ］ボタンをクリックすると、プリンタに関する細かい設定を行う画面が表示されます。

閉じる

用紙の種類

使用する用紙の種類を選択します。

- 選択されているプリンタによっては、この項目が表示されない場合があります。
- 選択されているプリンタによって、選択できる用紙の種類が異なります。

閉じる

VIVIDフォト

□ VIVIDフォト

この項目にチェックマークを付けると、原稿を鮮やかな色味で印刷します。
草木や空、海を背景にした人物写真などに効果があります。

- キヤノンバブルジェットプリンタで「VIVIDフォト」に対応しているモデルのみ選択できます。

閉じる

［プリンタ選択］ボタン

プリンタ選択

印刷するプリンタを選択します。
［プリンタ選択］ボタンをクリックすると、セレクタの画面が表示されます。
セレクタの画面で使用するプリンタを選択します。

・ 使用されている環境によって表示される内容が異なります。

閉じる

［用紙設定］ボタン

用紙設定

印刷する用紙の設定を行います。
［用紙設定］をクリックすると、下のような画面が表示されます。
用紙のサイズや印刷方向などを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

・上記の画面例は、Canon BJ F900の場合の画面例です。お使いのプリンタによって表示される画面や設定できる項目は異なります。

閉じる

スキャン終了後、印刷レイアウト画面を表示する

☐ スキャン終了後、印刷レイアウト画面を表示する

スキャン終了後に、印刷レイアウト画面を表示して、印刷に関する設定をするか、しないかを選択します。
この項目にチェックマークを付けると、スキャン終了後に印刷レイアウト画面を表示し、印刷時のレイアウトについて細かく設定できます。
「拡大/縮小」と「プリンタの設定」のすべての項目（Windowsの場合は、「用紙サイズ」「コピー枚数」「プリンタ」「用紙の種類」「VIVIDフォト」。Macintoshの場合は、「プリンタ選択」「用紙設定」。）の設定はできなくなります。
（印刷レイアウト画面で設定することになります。）

この項目にチェックマークを付けない場合は、スキャン終了後、自動的に印刷がはじまります。

- 印刷レイアウト画面については、印刷レイアウト画面をご覧ください。

閉じる

印刷レイアウト画面

印刷時のレイアウトについての設定を行います。
コピー画面の「プリンタの設定」で「スキャン終了後、印刷レイアウト画面を表示する」にチェックマークを付けておくと、スキャン終了後に次のような画面が表示されます。

Windows

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

Macintosh

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

- Macintosh
  印刷レイアウト画面の「コピー枚数」から印刷枚数を設定することはできません。印刷枚数を設定する時は、［印刷］ボタンをクリックし、プリンタドライバのダイアログボックスで設定してください。また、他のアプリケーションで印刷枚数を設定し、印刷した後にToolboxから印刷すると、前に設定した枚数分の原稿が印刷されてしまうことがあります。その場合もプリンタドライバのダイアログボックスで印刷枚数を再設定してください。

先頭へ戻る▲

表示エリア

印刷の出力イメージを表示します。
外側の太枠は、用紙のサイズを示しています。内側の赤色の枠は印刷可能領域を、青色の枠は、画像の大きさを示しています。
表示エリアでは、印刷時の画像の大きさと位置を調整することができます。

画像の大きさを調整する

画像の四隅または4辺上にポインタを移動し、ポインタが ↘、↔または、↕ になったら、ドラッグして拡大または縮小します。縦横の比率を固定したまま拡大、縮小できます。
画像をダブルクリックすると、原稿の等倍の大きさになり、センタリングして表示されます。

画像の位置を調整する

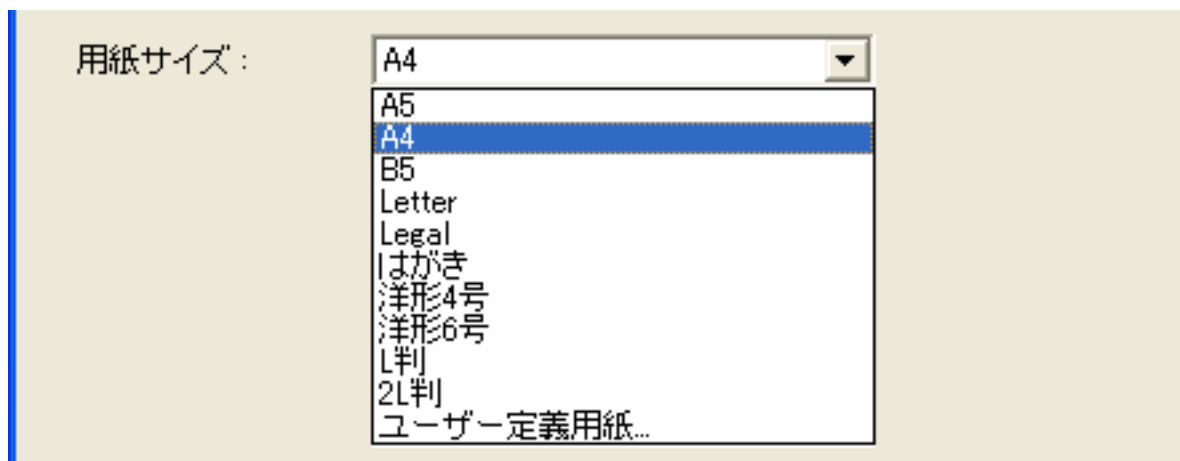
画像の上にポインタを移動し、ポインタが✥になったら、ドラッグして任意の位置に移動します。

閉じる

サムネイル表示エリア

複数の画像をスキャンしたときに、すべての画像のサムネイル（縮小した画像）を表示します。サムネイルをクリックすると、表示エリアにクリックした画像が表示されます。

閉じる

用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを選択します。

・ 選択されているプリンタによって、選択できる用紙サイズが異なります。

閉じる

コピー枚数

コピー枚数：　1

印刷する枚数を設定します。
表示部右側の［▲］［▼］をクリックするか、直接数値を入力して設定します。
最大99枚まで設定できます。

閉じる

プリンタ

プリンタ： Canon BJ F900 プロパティ

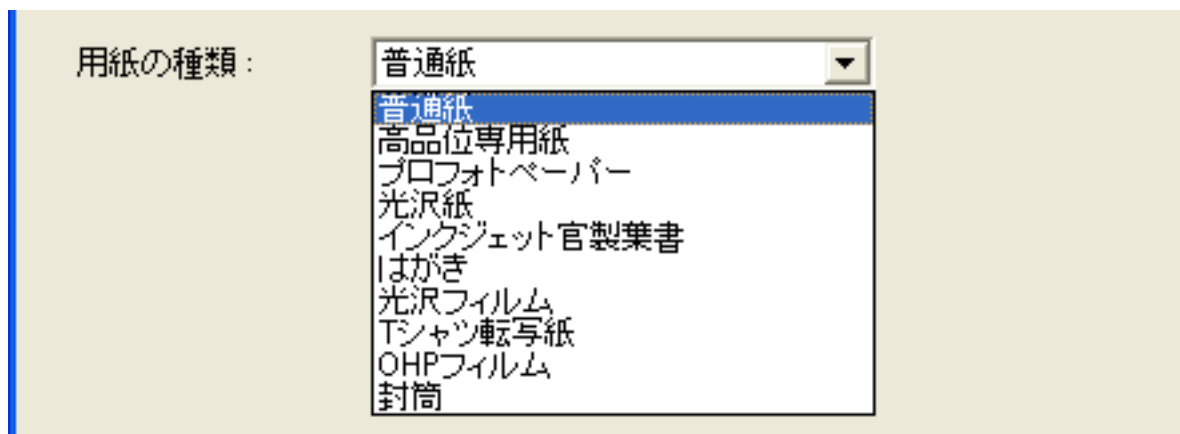
複数のプリンタを接続している場合に、使用するプリンタを選択します。
［プロパティ］ボタンをクリックすると、プリンタに関する細かい設定を行う画面が表示されます。

閉じる

用紙の種類

使用する用紙の種類を選択します。

- 選択されているプリンタによっては、この項目が表示されない場合があります。
- 選択されているプリンタによって、選択できる用紙の種類が異なります。

閉じる

VIVIDフォト

☐ VIVIDフォト

この項目にチェックマークを付けると、原稿を鮮やかな色味で印刷します。
草木や空、海を背景にした人物写真などに効果があります。

- キヤノンバブルジェットプリンタで「VIVIDフォト」に対応しているモデルのみ選択できます。

閉じる

フチなし全面印刷

☐ フチなし全面印刷

この項目にチェックマークを付けると、フチなしで用紙の全面に画像を印刷します。

- キヤノンバブルジェットプリンタで「フチなし全面印刷」に対応しているモデルのみ選択できます。
- フチなし全面印刷は、データを用紙サイズよりも拡大して印刷するため、用紙からはみ出したデータは印刷されません。

閉じる

印刷の向き

印刷の向きを選択します。「縦」または「横」を選択します。

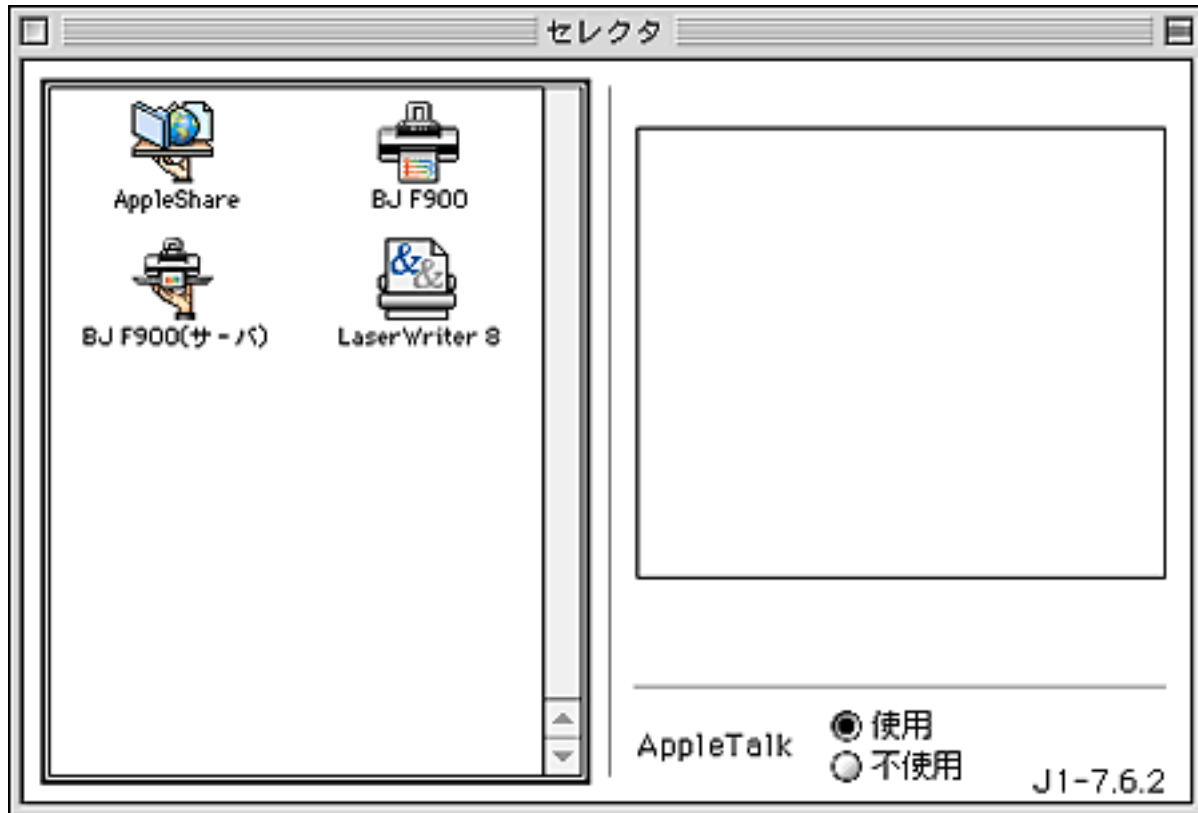
閉じる

［プリンタ選択］ボタン

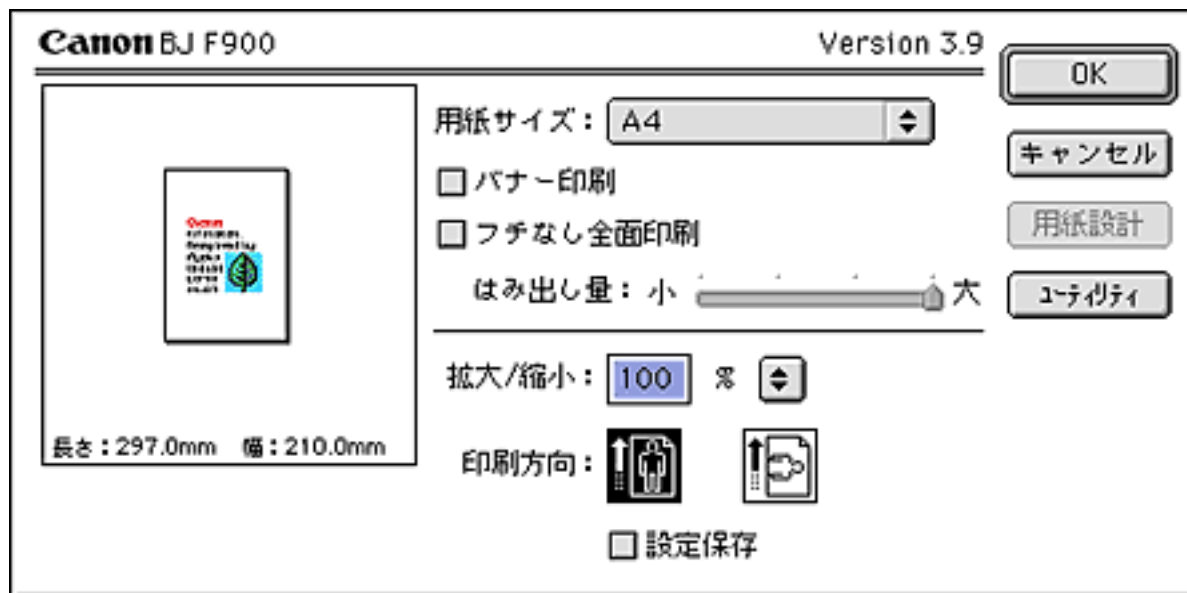
プリンタ選択

印刷するプリンタを選択します。
［プリンタ選択］ボタンをクリックすると、セレクタの画面が表示されます。
セレクタの画面で使用するプリンタを選択します。

・ 使用されている環境によって表示される内容が異なります。

閉じる

［用紙設定］ボタン

用紙設定

印刷する用紙の設定を行います。
［用紙設定］をクリックすると、下のような画面が表示されます。
用紙のサイズや印刷方向などを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

・ 上記の画面例は、Canon BJ F900の場合の画面例です。お使いのプリンタによって表示される画面や設定できる項目は異なります。

閉じる

センタリング

センタリング：　適用

画像を用紙の中央に配置するか、しないかを設定します。
［適用］ボタンをクリックすると、用紙の中央に画像を配置します。

・ 表示エリアで画像の配置を確認できます。

閉じる

用紙に合わせる

用紙に合わせる： 適用

画像の大きさを用紙に合わせて印刷するか、しないかを設定します。
［適用］ボタンをクリックすると、スキャンした画像全体が、印刷する用紙に収まるように自動的に画像の大きさを調整します。
ただし、画像の縦横の比率は変更しないので、原稿と用紙サイズの組み合わせによっては、上下または左右に余白ができます。

- スキャンした画像は、ご使用になるプリンタで印刷可能な領域に印刷されます。ご使用になるプリンタによって、印刷可能領域は異なります。詳しくはプリンタの取扱説明書をお読みください。
- フチなし全面印刷で印刷する場合、データを用紙サイズよりも拡大して印刷するため、用紙からはみ出したデータは印刷されません。

- 表示エリアで画像の大きさを確認できます。

閉じる

用紙全面に拡大

用紙全面に拡大：	適用

画像を用紙全面に拡大して印刷するか、しないかを設定します。
［適用］ボタンをクリックすると、スキャンした画像が、印刷する用紙全体に収まるように自動的に画像の大きさを調整します。
ただし、画像の縦横の比率は変更しないので、原稿と用紙サイズの組み合わせによっては、画像の上下または左右が用紙からはみ出る場合があります。

- スキャンした画像は、ご使用になるプリンタで印刷可能な領域に印刷されます。ご使用になるプリンタによって、印刷可能領域は異なります。詳しくはプリンタの取扱説明書をお読みください。
- フチなし全面印刷で印刷する場合、データを用紙サイズよりも拡大して印刷するため、用紙からはみ出したデータは印刷されません。

- 表示エリアで画像の大きさを確認できます。

閉じる

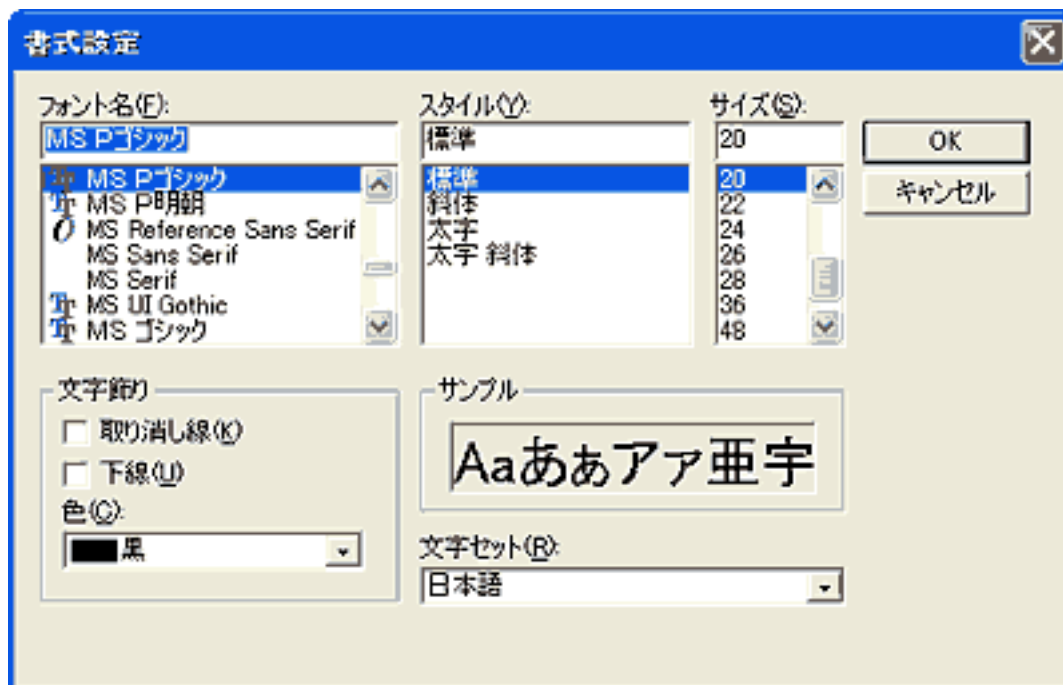
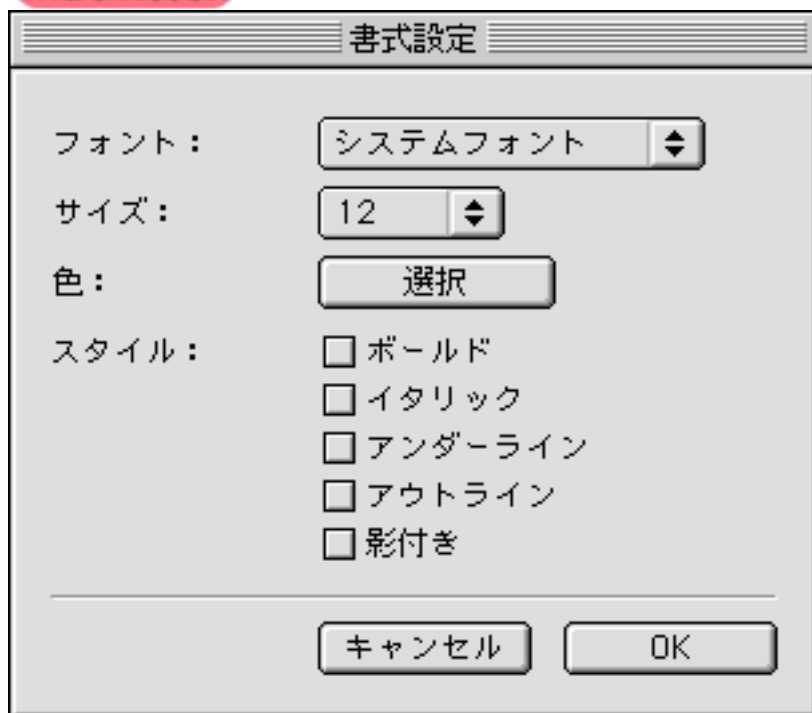
テキストボックス

テキストボックス： 追加 書式設定

印刷時に出力する文字を入力します。
画像のタイトルや日付、コメントなどを印刷できます。

［追加］ボタン
このボタンをクリックすると、テキストボックスが表示され、文字を入力できます。

- テキストボックスは10個まで追加できます。
- テキストボックスに入力した文字を編集するには、テキストボックスの中をダブルクリックしてI型のカーソルを表示し、文字の修正、削除を行います。
- テキストボックスを削除するには、テキストボックスの枠上をクリックして選択し、キーボードの［Delete］キーを押します。または、テキストボックスを選択し、マウスを右クリックして［削除］を選びます（Windowsのみ）。
- テキストボックスを移動するには、テキストボックスの枠上にポインタを移動し、ポインタがになったら、ドラッグします。
- テキストボックスの大きさを変更するには、テキストボックスの枠上をクリックして選択し、テキストボックスの四隅および各辺中央の赤い四角の部分をドラッグして拡大/縮小します。

［書式設定］ボタン
このボタンをクリックすると、テキストボックスに入力した文字の書式を設定する画面が表示されます。

「フォント名」「スタイル」「サイズ」「文字飾り」「色」（Macintoshの場合は、「フォント」「サイズ」「色」「スタイル」）を設定し、[OK]ボタンをクリックしてください。

- このボタンは、テキストボックスが選択されているときにのみ有効です。

閉じる

出力サイズ

出力サイズ：	幅：	19.78 センチ
	高さ：	28.88 センチ
	出力解像度：	130 dpi

スキャンした画像の出力サイズと出力解像度を表示します。
「幅：」「高さ：」の右側の▼をクリックすると、表示する単位を［インチ］、［センチ］または［ピクセル］から選択できます。

・「幅：」と「高さ：」を異なる単位で表示することはできません。

・表示エリア上で画像を拡大、縮小すると、「幅：」「高さ：」の表示も変更され、それに応じて出力解像度の値も変更されます。

閉じる

印刷　［印刷］ボタン

Windows
設定した内容で印刷をはじめます。

Macintosh
プリンタドライバのダイアログボックスが表示されます。印刷枚数などを設定し、印刷をはじめます。

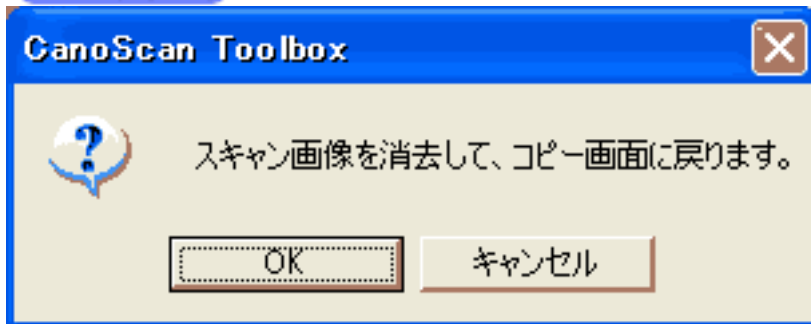
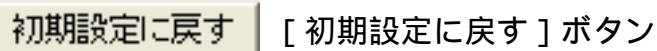
・Macintosh
印刷レイアウト画面の「コピー枚数」から印刷枚数を設定することはできません。印刷枚数を設定する時は、プリンタドライバのダイアログボックスで設定してください。また、他のアプリケーションでコピー枚数を設定し、印刷した後にToolboxから印刷すると、前に設定した枚数分の原稿が印刷されてしまうことがあります。その場合もプリンタドライバのダイアログボックスで印刷枚数を再設定してください。

・プリンタで印刷する方法については、「目的別スキャナ活用法」の写真の焼き増し・引き伸ばしをしたい、はがきに印刷したいをご覧ください。

閉じる

終了　［終了］ボタン

印刷レイアウト画面を終了します。
このボタンをクリックすると、終了を確認する画面が表示されます。

Windows

Macintosh

［OK］ボタンをクリックし、印刷レイアウト画面を終了してコピー画面に戻ります。

閉じる

初期設定に戻す ［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

閉じる

適 用 ［適用］ボタン

設定した内容を保存します。
次回、この画面を起動したときに、現在の設定内容で表示されます。

- 次回、スキャナの前面にあるSCANボタン、COPYボタン、E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、この設定内容で実行されます。スキャナのボタンでスキャンする方法については、スキャナボタンでスキャンするをご覧ください。

閉じる

キャンセル ［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

閉じる

［スキャン］ボタン

設定した内容で原稿をスキャンして、印刷します。
「スキャナドライバで詳細な設定を行う」にチェックマークを付けた場合は、ScanGear CSの画面が表示されます。
「スキャン終了後、印刷レイアウト画面を表示する」にチェックマークを付けた場合は、スキャン終了後に印刷レイアウト画面が表示されます。

- 「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を選択し、複数の原稿をスキャンした場合は、複数の原稿を印刷します。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGear CSのことが知りたい」の基本モードの機能または拡張モードの機能をご覧ください。
- 印刷レイアウト画面については、印刷レイアウト画面をご覧ください。
- プリンタで印刷する方法については、「目的別スキャナ活用法」の写真の焼き増し・引き伸ばしをしたい、はがきに印刷したいをご覧ください。

閉じる

［メール］ボタン（メール画面）

原稿をスキャンした後、メールソフトを起動し、スキャンした画像ファイルを添付した新規メールを作成します。画像ファイルは、添付に適したファイルサイズに圧縮できます。

- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、WindowsではOutlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger、MacintoshではOutlook Express、EUDORAです。また、Windowsの場合メールソフトによって、メールソフト側で「MAPI」を有効に設定する必要があります。

Toolboxのメイン画面で（［メール］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

メール

［メール］
スキャン画像をメールソフトの送信メールに添付します。

スキャナの設定

スキャンモード：カラー（マルチスキャン）

原稿サイズ：A4

添付ファイルサイズの上限：150Kバイト

読み取り解像度：75 dpi

スキャナドライバで詳細な設定を行う

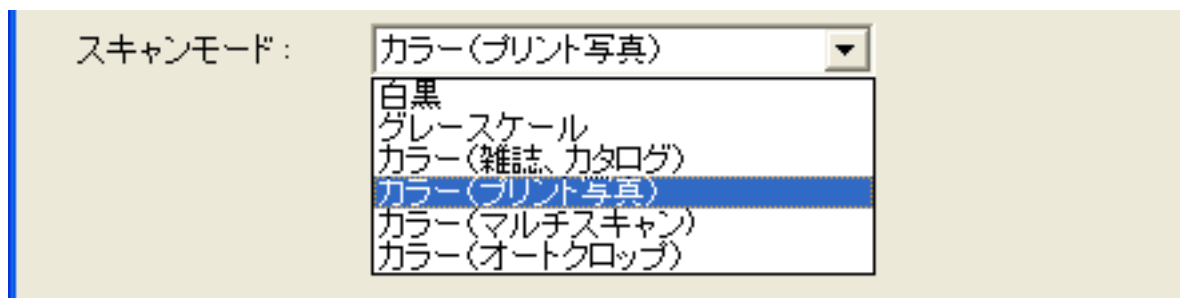
スキャン画像の保存先

ファイル名：Mail

ファイルの種類：JPEG　PDF設定...

C:¥Documents and Settings¥一郎¥My Documents¥My Pictures¥　参照...

画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

スキャン画像の渡し先

Outlook Express　設定...

・ 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

スキャンモード

スキャンモード：	カラー（プリント写真）
	白黒 グレースケール カラー（雑誌、カタログ） カラー（プリント写真） カラー（マルチスキャン） カラー（オートクロップ）

スキャンの方法を選択します。
次の6つのモードから選択できます。

- 白黒
  白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
- グレースケール
  グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
- カラー（雑誌、カタログ）
  モアレ低減機能をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。
- カラー（プリント写真）
  モアレ低減機能をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。
- カラー（マルチスキャン）
  カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿のサイズを自動的に読み取り、複数の画像ファイルを作成します。
- カラー（オートクロップ）
  原稿サイズを自動的に読み取り、カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれていても、作成される画像ファイルは1つです。

- 印刷物をスキャンすると、縞（しま）のような模様（モアレ）が発生することがあります。「モアレ低減機能」は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。モアレ低減機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。
- ［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンする方法については、「目的別スキャナ活用法」の複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）をご覧ください。
- ［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンした場合、次のように動作します。

［コピー］ボタン	スキャンした複数の原稿を印刷します。
［メール］ボタン	複数の画像の添付されたメール作成画面、または画像の添付された複数のメール作成画面が表示されます。
［保存］ボタン	スキャンした複数の原稿を保存します。
［ファイル］ボタン	スキャンした複数の原稿をPDFファイルとして保存します。
［スキャン-1］ボタン ［スキャン-2］ボタン	スキャンした複数の原稿をリンクされているアプリケーションソフトに別々のファイルとしてわたします。ただし、アプリケーションソフトによっては、複数の画像を受け取れないものもあります。

- ［メール］ボタン（メール画面）、［保存］ボタン（保存画面）、［ファイル］ボタン（ファイル画面）の場合、「ファイルの種類」が［PDF］で、PDFの設定が「マルチページPDFを作成」になっているときは、［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンしても、作成されるPDFファイルは1つです。PDFの設定については、［PDF設定］ボタンをご覧ください。

閉じる

原稿サイズ

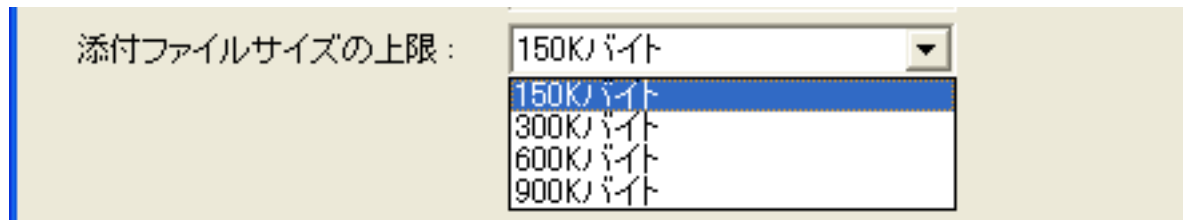
スキャンする原稿のサイズを選択します。
次のサイズを選択できます。

A4、A5縦、A5横、B5、レター、名刺、L判縦、L判横、LL判縦、LL判横、はがき縦、はがき横、カスタム。

［カスタム］を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。「単位」を選んでから、「幅」と「高さ」を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- 「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］の場合、「原稿サイズ」は選択できません（OCR画面の場合を除く）。

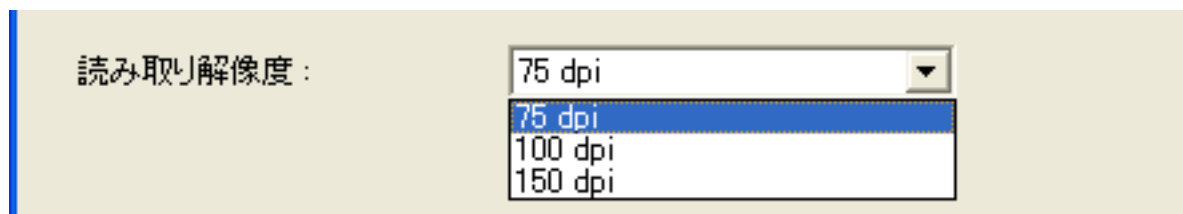
閉じる

添付ファイルサイズの上限

送信する画像のファイルサイズ（圧縮後のファイルサイズ）の上限を選択します。
150Kバイト、300Kバイト、600Kバイト、900Kバイトの中から選択できます。
一般的なメールで利用する場合には、［150Kバイト］にしておくことをおすすめします。

- 「添付ファイルサイズの上限」の設定に応じて、「読み取り解像度」の選択肢が変化します。
- 「スキャンモード」が［カラー（オートクロップ）］、［カラー（マルチスキャン）］の場合は、「添付ファイルサイズの上限」は選択できません。
- 「ファイルの種類」が［PDF］の場合は、「添付ファイルサイズの上限」は選択できません。
- 「添付ファイルサイズの上限」の設定値は、目安です。画像によっては圧縮後のファイルサイズが、設定値を超える場合もあります。

閉じる

読み取り解像度

読み取り解像度：75 dpi
75 dpi
100 dpi
150 dpi

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
選択肢は、「添付ファイルサイズの上限」の設定に応じて、変化します。
ただし、「スキャンモード」が［カラー（オートクロップ）］、［カラー（マルチスキャン）］の場合は、「読み取り解像度」は、75dpi、150dpi、300dpiから選択できます。

- 「ファイルの種類」が［PDF］の場合、読み取り解像度は最大400dpi（Macintoshの場合は、最大300dpi）になります。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の解像度の決めかたおよび解像度とデータ容量をご覧ください。

閉じる

スキャナドライバで詳細な設定を行う

□ スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャンの設定をスキャナドライバ「ScanGear CS」で設定するか、しないかを選択します。

この項目にチェックマークを付けた場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、ScanGear CSの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定できます。「スキャンモード」「原稿サイズ」などの「スキャナの設定」はできなくなります。（ScanGear CSの画面で設定することになります）

この項目にチェックマークを付けない場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、すぐにスキャンが実行されます。

- Windowsの場合、「ファイルの種類」が［PDF］のとき、ScanGear CSでカラー／A4サイズ／600dpi以上の画像サイズでスキャンすると、警告メッセージが表示されスキャンできません。原稿サイズや解像度を低くしてスキャンしてください。
- Macintoshの場合、「ファイルの種類」が［PDF］のとき、この設定は選択できません。
- ScanGear CSの画面で「白黒」でスキャンしても、保存する「ファイルの種類」が［JPEG］の場合、グレースケールのJPEGで保存されます。

- ScanGear CSの画面で「マルチスキャン」を行った場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルがアプリケーションソフトにわたされます。ただし、「ファイルの種類」が［PDF］で、PDFの設定が「マルチページPDFを作成」になっているときは、複数の原稿をスキャンしても、作成されるPDFファイルは1つです。PDFの設定については、［PDF設定］ボタンをご覧ください。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGear CSのことが知りたい」の基本モードの機能または拡張モードの機能をご覧ください。

閉じる

ファイル名

ファイル名：　Mail

スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

- 同じ名前のファイルが存在する場合には、ファイル名の後ろに「0001」のような4桁の番号が付けられます。
- 「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を選択し、複数の原稿をスキャンした場合、2枚目以降のファイルには、ファイル名の後ろに「0001」のような4桁の番号が付けられます（OCR画面の場合を除く）。
- 拡張子は自動的に付けられます。

閉じる

ファイルの種類

Windows

ファイルの種類：BMP PDF設定...
BMP
JPEG
TIFF
PDF

（上記の画面例は保存画面の場合の例です。）

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。
各機能で保存できるファイルの種類は以下のとおりです。

	BMP	JPEG	PNG	TIFF	PDF
［コピー］ボタン	-	-	-	-	-
［メール］ボタン	-	○	○	-	○
［OCR］ボタン	○	-	-	○	-
［保存］ボタン	○	○	○	○	○
［ファイル］ボタン	-	-	-	-	○
［スキャン-1］ボタン ［スキャン-2］ボタン	○	○	○	○	-

Macintosh

（上記の画面例は保存画面の場合の例です。）

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。
各機能で保存できるファイルの種類は以下のとおりです。

	PICT	JPEG	PNG	TIFF	PDF
［コピー］ボタン	-	-	-	-	-
［メール］ボタン	-	○	○	-	○
［OCR］ボタン	○	-	-	○	-
［保存］ボタン	○	○	○	○	○
［ファイル］ボタン	-	-	-	-	○
［スキャン-1］ボタン ［スキャン-2］ボタン	○	○	○	○	-

・BMP
　Windowsの場合のみ選択できます。

・PICT
　PICT形式で保存します。
　Macintoshの場合のみ選択できます。

・JPEG

JPEG形式で保存します。
グレースケールおよびカラー画像の場合のみ選択できます。

- PNG
  PNG形式で保存します。
  白黒画像の場合のみ選択できます。

- TIFF
  TIFF形式で保存します。

- PDF
  PDF形式で保存します。
  PDFファイルを作成するときの設定を変更する場合は、［PDF設定］ボタンをクリックします。

- 画像ファイルのファイル形式については、「もっと上手にスキャンする」のスキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）をご覧ください。

閉じる

［PDF設定］ボタン

ファイルの種類：PDF　PDF設定...

PDFファイルを作成するときの設定を行います。
保存する「ファイルの種類」で［PDF］を選択したときに、［PDF設定］ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。
各項目を設定し、［OK］ボタンをクリックします。

検索可能なPDFを作成する

「検索可能PDFを作成」にチェックマークを付けると、原稿中の文字を認識し、テキストデータとして変換します。簡単なキーワード検索などに利用できます。
この項目にチェックマークを付けたときは、検索可能なPDFファイルを作成するときの言語を「テキスト言語」から［日本語］または［英語］を選択します。

- 原稿中のすべての文字を正しく認識できる訳ではありません。
- 検索可能なPDFファイルを作成するには、「読み取り解像度」の設定を300dpi以上にしてください。

- 原稿中の文字をテキストデータに変換し、編集作業などを行いたい場合は、［OCR］ボタンで原稿をスキャンしてください。

マルチページPDFを作成する

「マルチページPDFを作成」にチェックマークを付けると、複数の原稿を1つのPDFファイルにします。
原稿台の原稿をスキャンするごとに次のような画面が表示されます。

スキャンを続けるときは、次の原稿をセットしてから[次へ]をクリックしてください。
スキャンを終了するときは、[完了]をクリックします。

- 「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］の場合は、原稿台にある複数の原稿を1つのPDFファイルにします。ただし、［カラー（マルチスキャン）］で続けて複数の原稿をスキャンしても、すでに作成されたPDFファイルに原稿を追加することはできません。

- 文字原稿や白黒原稿をスキャンするときは、「スキャンモード」を［白黒］または［グレースケール］にすることをおすすめします。
- カラー原稿（「読み取り解像度」が［300dpi］）でマルチページPDFを作成する場合、１つのPDFファイルは20ページ以下にすることをおすすめします。

PDFファイルの圧縮タイプを選ぶ

PDFファイルを作成するときの圧縮率を選択します。
画像（写真、イラストなど）が圧縮され、ファイルサイズが小さくなります。
［標準］または［高圧縮］を選択します。

閉じる

保存先

スキャンした画像の保存先を表示します。
保存するフォルダを変更する場合は、［参照］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、保存先のフォルダを選んで、［OK］ボタン（Macintoshの場合は［開く］ボタン）をクリックします。

Windows

Macintosh

・初期設定では、スキャンした画像の保存先に次のフォルダが指定されています。

Windows [マイ ドキュメント]フォルダ内の[マイ ピクチャ]フォルダ
Macintosh [CanoScan Toolbox]フォルダ内の[My Pictures]フォルダ

閉じる

画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

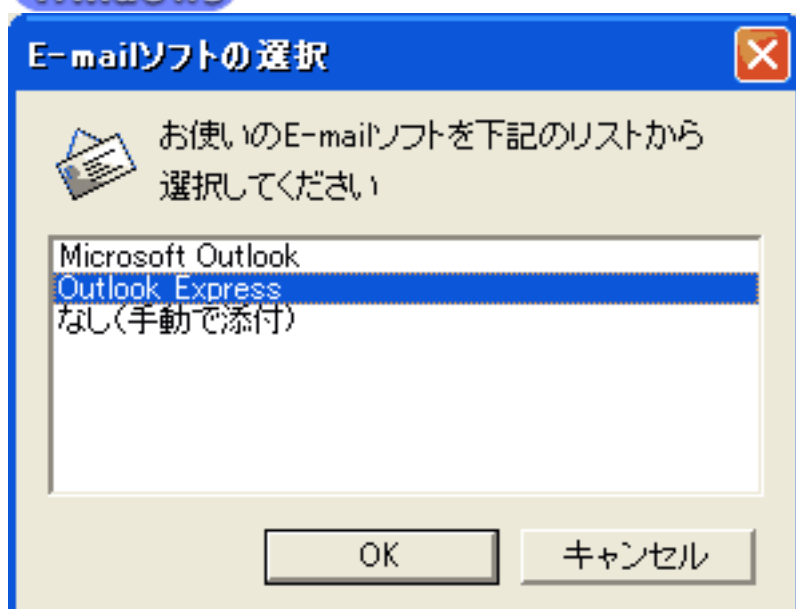
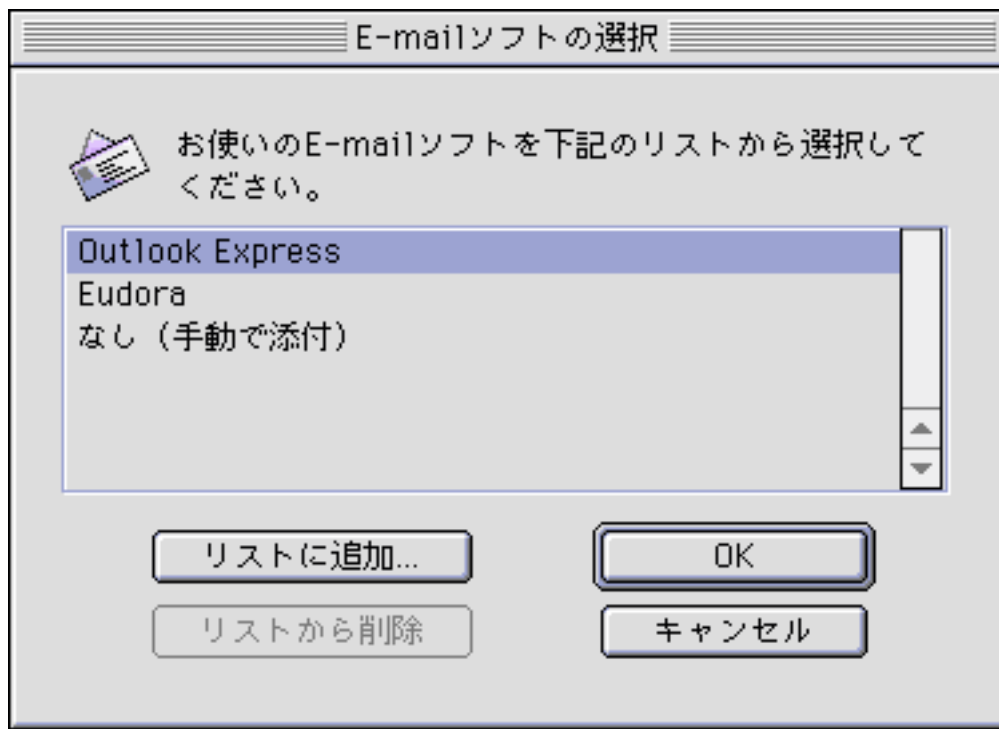
☑ 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

保存先で設定したフォルダの中に今日の日付のサブフォルダを作成して、ファイルを保存するか、しないかを設定します。
チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば「2002-04-04」など）を自動的に作成し、その中に画像を保存します。

閉じる

スキャン画像の渡し先

メールの送信に使うメールソフトを設定します。枠内には現在設定されているメールソフト名が表示されています。
枠内にメールソフト名が表示されていない場合、あるいは他のメールソフトを使いたい場合は、［設定］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、使いたいメールソフトを選んで、［OK］ボタンをクリックします。
使いたいメールソフトがリストに表示されない場合は、［なし（手動で添付）］を選択します。ただし、この場合には、メールソフトは起動しませんので、送信メールを開き、画像ファイルを添付する操作を行ってください。

Windows

Macintosh

- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、WindowsではOutlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger、MacintoshではOutlook Express、EUDORAです。また、Windowsの場合メールソフトによって、メールソフト側で「MAPI」を有効に設定する必要があります。

閉じる

初期設定に戻す ［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

閉じる

適 用 ［適用］ボタン

設定した内容を保存します。
次回、この画面を起動したときに、現在の設定内容で表示されます。

- 次回、スキャナの前面にあるSCANボタン、COPYボタン、E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、この設定内容で実行されます。スキャナのボタンでスキャンする方法については、スキャナボタンでスキャンするをご覧ください。

閉じる

キャンセル ［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

閉じる

［スキャン］ボタン

設定した内容でスキャンを開始します。
スキャンが完了すると自動的にメールソフトが起動して、画像の添付されたメールの送信画面が表示されます。

- 「スキャンモード」の［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンした場合は、複数の画像が添付されたメール送信画面、あるいは、画像の添付された複数のメール送信画面が表示されます。
- 「スキャンモード」の［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンしたときに、複数のメール送信画面が表示される場合、「ファイルの種類」で［PDF］を選択し、PDFの設定で「マルチページPDFを作成」にチェックマークを付けておくと、表示されるメール送信画面を1つにすることができます。

閉じる

［OCR］ボタン（OCR画面）

原稿をスキャンした後、OCR ソフト（画像データを文字データに変換するソフト）を起動し、スキャンした画像ファイルを開きます。初期設定では、e.Typistエントリーが起動します。

Toolboxのメイン画面で（［OCR］ボタン）ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。

各項目 をクリックすると詳細説明を表示します。

OCR

[OCR]
スキャン画像を指定フォルダに保存し、OCRソフトで開きます。

スキャナの設定

スキャンモード：白黒
読み取り解像度：300 dpi
原稿サイズ：A4

スキャン画像の保存先

ファイル名：OCR
ファイルの種類：BMP
C:¥Documents and Settings¥一郎¥My Documents¥My Pic　参照...
☑ 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

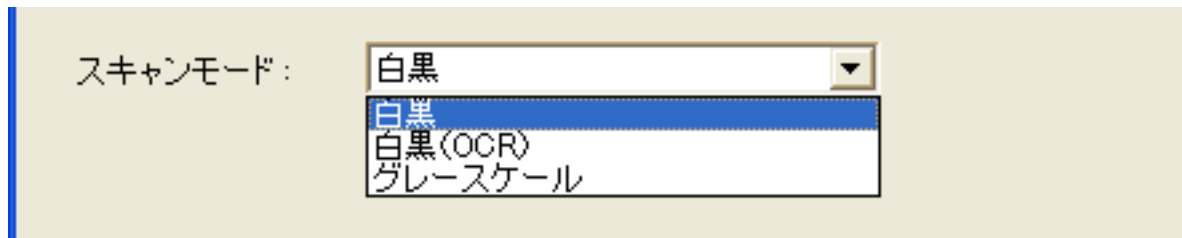
スキャン画像の渡し先

リンクの削除
C:¥Program Files¥eTypist¥Mlaunch.exe　設定...

初期設定に戻す　適 用　キャンセル　スキャン

- 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

スキャンモード

スキャンモード：　白黒
白黒
白黒(OCR)
グレースケール

スキャンの方法を選択します。
次の3つ（Macintoshの場合は［白黒］のみ）のモードから選択できます。

- 白黒
  白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。

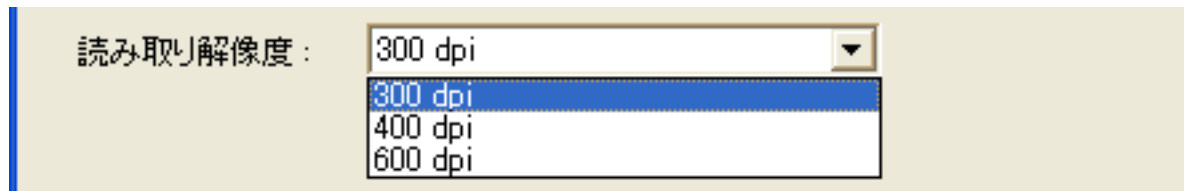
- 白黒（OCR）
  白黒2値の画像をより鮮明にスキャンします。Macintosh では選択できません。

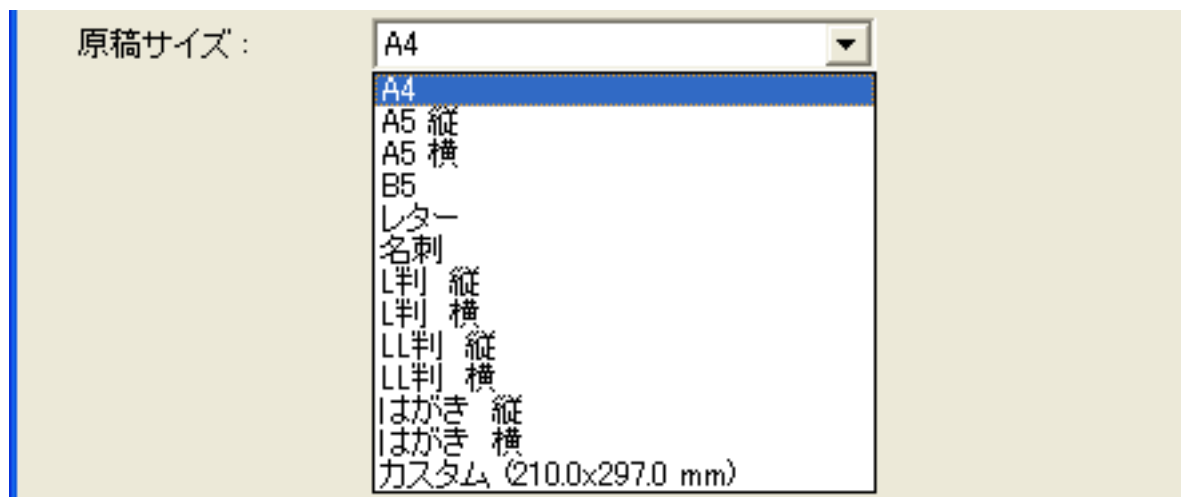
- グレースケール
  グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。 Macintosh では選択できません。

- OCRソフトによっては、グレースケールの画像を受け取れない場合があります。この場合には、［白黒］または［白黒（OCR）］を選択してください。

閉じる

読み取り解像度

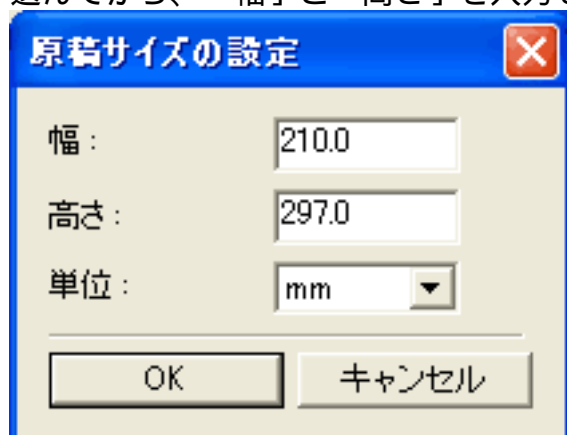
読み取り解像度：	300 dpi
	300 dpi 400 dpi 600 dpi

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
Windowsの場合は、300dpi、400dpi、600dpiの中から選択できます。
Macintoshの場合は、300dpi、400dpiの中から選択できます。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の解像度の決めかたおよび解像度とデータ容量をご覧ください。

閉じる

原稿サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。
次のサイズを選択できます。

A4、A5縦、A5横、B5、レター、名刺、L判縦、L判横、LL判縦、LL判横、はがき縦、はがき横、カスタム。

［カスタム］を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。「単位」を選んでから、「幅」と「高さ」を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- 「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］の場合、「原稿サイズ」は選択できません（OCR画面の場合を除く）。

閉じる

ファイル名

ファイル名：　Mail

スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

- 同じ名前のファイルが存在する場合には、ファイル名の後ろに「0001」のような4桁の番号が付けられます。
- 「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を選択し、複数の原稿をスキャンした場合、2枚目以降のファイルには、ファイル名の後ろに「0001」のような4桁の番号が付けられます（OCR画面の場合を除く）。
- 拡張子は自動的に付けられます。

閉じる

ファイルの種類

Windows

ファイルの種類：BMP PDF設定...
BMP
JPEG
TIFF
PDF

（上記の画面例は保存画面の場合の例です。）

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。
各機能で保存できるファイルの種類は以下のとおりです。

	BMP	JPEG	PNG	TIFF	PDF
［コピー］ボタン	-	-	-	-	-
［メール］ボタン	-	○	○	-	○
［OCR］ボタン	○	-	-	○	-
［保存］ボタン	○	○	○	○	○
［ファイル］ボタン	-	-	-	-	○
［スキャン-1］ボタン ［スキャン-2］ボタン	○	○	○	○	-

Macintosh

（上記の画面例は保存画面の場合の例です。）

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。
各機能で保存できるファイルの種類は以下のとおりです。

	PICT	JPEG	PNG	TIFF	PDF
［コピー］ボタン	-	-	-	-	-
［メール］ボタン	-	○	○	-	○
［OCR］ボタン	○	-	-	○	-
［保存］ボタン	○	○	○	○	○
［ファイル］ボタン	-	-	-	-	○
［スキャン-1］ボタン ［スキャン-2］ボタン	○	○	○	○	-

- BMP
  Windowsの場合のみ選択できます。

- PICT
  PICT形式で保存します。
  Macintoshの場合のみ選択できます。

- JPEG

JPEG形式で保存します。
グレースケールおよびカラー画像の場合のみ選択できます。

- PNG
  PNG形式で保存します。
  白黒画像の場合のみ選択できます。

- TIFF
  TIFF形式で保存します。

- PDF
  PDF形式で保存します。
  PDFファイルを作成するときの設定を変更する場合は、［PDF設定］ボタンをクリックします。

- 画像ファイルのファイル形式については、「もっと上手にスキャンする」のスキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）をご覧ください。

閉じる

保存先

スキャンした画像の保存先を表示します。
保存するフォルダを変更する場合は、［参照］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、保存先のフォルダを選んで、［OK］ボタン（Macintoshの場合は［開く］ボタン）をクリックします。

・ 初期設定では、スキャンした画像の保存先に次のフォルダが指定されています。

Windows [マイ ドキュメント]フォルダ内の[マイ ピクチャ]フォルダ
Macintosh [CanoScan Toolbox]フォルダ内の[My Pictures]フォルダ

閉じる

画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

☑ 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

保存先で設定したフォルダの中に今日の日付のサブフォルダを作成して、ファイルを保存するか、しないかを設定します。
チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば「2002-04-04」など）を自動的に作成し、その中に画像を保存します。

閉じる

スキャン画像の渡し先

スキャンした画像の渡し先のアプリケーションソフトを設定します。枠内には現在リンク（登録）されているアプリケーションソフト名が表示されています。 キヤノスキャンセットアップCD-ROMからインストールした直後には、次のようなアプリケーションソフト名が表示されます。

機能ボタン名（画面名）	アプリケーションソフト名
［OCR］ボタン（OCR画面）	e.Typist エントリー
［ファイル］ボタン（ファイル画面）	Acrobat Reader
［スキャン-1］ボタン（スキャン画面）	PhotoBase
［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）	PhotoStudio

他のアプリケーションソフトを使用したい場合
［設定］ボタン（Macintoshの場合は［選択］）をクリックし、目的のアプリケーションソフトを選んで、［開く］ボタンをクリックします 。

Windows

Macintosh

設定されているアプリケーションソフトのリンクを削除したい場合
［リンクの削除］ボタンをクリックします。リンクの削除を確認する画面が表示されたら、［はい］ボタン（Macintoshの場合は［OK］ボタン）をクリックします。

- ［ファイル］ボタン（ファイル画面）の場合、PDFファイルを開けないアプリケーションソフトを登録すると、画像を表示できないことがあります。また、リンクを削除すると、「スキャン画像の渡し先」には「保存のみ」と表示され、スキャンした画像ファイルの保存だけが行われます。
- ［OCR］ボタン（OCR画面）、および［スキャン-1］ボタン、［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）の場合、設定されているアプリケーションソフトがないと、アプリケーションソフトの設定を要求するメッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックし、アプリケーションの選択画面でアプリケーションを選択してください。
- ［OCR］ボタン（OCR画面）にリンクできるアプリケーションソフトは、e.Typist エントリーのようなOCRソフトだけです。

- ［スキャン-1］ボタン、および［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）にToolboxで画像を受け取ることのできないアプリケーションソフトをリンクすることはできません。

- Toolbox からアプリケーションソフトに渡すことのできる画像は、カラー24ビット、グレースケール8ビット、白黒1ビット のいずれかとなります。これ以外のビット数で構成される画像をアプリケーションソフトに渡すことはできません。

閉じる

初期設定に戻す ［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

閉じる

適 用　［適用］ボタン

設定した内容を保存します。
次回、この画面を起動したときに、現在の設定内容で表示されます。

- 次回、スキャナの前面にあるSCANボタン、COPYボタン、E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、この設定内容で実行されます。スキャナのボタンでスキャンする方法については、スキャナボタンでスキャンするをご覧ください。

閉じる

キャンセル ［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

閉じる

［スキャン］ボタン

設定した内容でスキャンを開始します。
スキャンが完了すると自動的にOCRソフトが起動し、スキャンした画像が開かれます。

- 初期設定では、e.Typistエントリーが起動します。e.Typistエントリーについては、e.Typistエントリーのことが知りたいをご覧ください。

閉じる

［保存］ボタン（保存画面）

原稿をスキャンして、画像ファイルまたはPDFファイルとして保存します。

Toolboxのメイン画面で （［保存］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

保存

［保存］
スキャン画像を指定されたフォルダに保存します。

スキャナの設定

スキャンモード：　カラー（プリント写真）
読み取り解像度：　75 dpi
原稿サイズ：　A4
□ スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャン画像の保存先

ファイル名：　Save
ファイルの種類：　BMP　　PDF設定...
C:¥Documents and Settings¥一郎¥My Documents¥My Pic　　参照...
☑ 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

初期設定に戻す　適 用　キャンセル　スキャン

・ 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

スキャンモード

スキャンモード：　カラー（プリント写真）

白黒
グレースケール
カラー（雑誌、カタログ）
カラー（プリント写真）
カラー（マルチスキャン）
カラー（オートクロップ）

スキャンの方法を選択します。
次の6つのモードから選択できます。

- 白黒
  白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
- グレースケール
  グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
- カラー（雑誌、カタログ）
  モアレ低減機能をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。
- カラー（プリント写真）
  モアレ低減機能をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。
- カラー（マルチスキャン）
  カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿のサイズを自動的に読み取り、複数の画像ファイルを作成します。
- カラー（オートクロップ）
  原稿サイズを自動的に読み取り、カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれていても、作成される画像ファイルは1つです。

- 印刷物をスキャンすると、縞（しま）のような模様（モアレ）が発生することがあります。「モアレ低減機能」は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。モアレ低減機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。
- ［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンする方法については、「目的別スキャナ活用法」の複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）をご覧ください。
- ［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンした場合、次のように動作します。

［コピー］ボタン	スキャンした複数の原稿を印刷します。
［メール］ボタン	複数の画像の添付されたメール作成画面、または画像の添付された複数のメール作成画面が表示されます。
［保存］ボタン	スキャンした複数の原稿を保存します。
［ファイル］ボタン	スキャンした複数の原稿をPDFファイルとして保存します。
［スキャン-1］ボタン ［スキャン-2］ボタン	スキャンした複数の原稿をリンクされているアプリケーションソフトに別々のファイルとしてわたします。ただし、アプリケーションソフトによっては、複数の画像を受け取れないものもあります。

- ［メール］ボタン（メール画面）、［保存］ボタン（保存画面）、［ファイル］ボタン（ファイル画面）の場合、「ファイルの種類」が［PDF］で、PDFの設定が「マルチページPDFを作成」になっているときは、［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンしても、作成されるPDFファイルは1つです。PDFの設定については、［PDF設定］ボタンをご覧ください。

閉じる

読み取り解像度

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
75dpi、100dpi、150dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi、1200dpiの中から選択できます。

- 「スキャンモード」が［カラー（オートクロップ）］、［カラー（マルチスキャン）］の場合、読み取り解像度は75dpi、150dpi、300dpiから選択できます。
- 「スキャンモード」が［カラー（雑誌・カタログ）］の場合、読み取り解像度は最大600dpiになります。
- 「ファイルの種類」が［PDF］の場合、読み取り解像度は最大400dpi（Macintoshの場合は、最大300dpi）になります。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の解像度の決めかたおよび解像度とデータ容量をご覧ください。

閉じる

原稿サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。
次のサイズを選択できます。

A4、A5縦、A5横、B5、レター、名刺、L判縦、L判横、LL判縦、LL判横、はがき縦、はがき横、カスタム。

［カスタム］を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。「単位」を選んでから、「幅」と「高さ」を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- 「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］の場合、「原稿サイズ」は選択できません（OCR画面の場合を除く）。

閉じる

スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャンの設定をスキャナドライバ「ScanGear CS」で設定するか、しないかを選択します。

この項目にチェックマークを付けた場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、ScanGear CSの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定できます。
「スキャンモード」「原稿サイズ」などの「スキャナの設定」はできなくなります。
（ScanGear CSの画面で設定することになります）

この項目にチェックマークを付けない場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、すぐにスキャンが実行されます。

- Windowsの場合、「ファイルの種類」が［PDF］のとき、ScanGear CSでカラー／A4サイズ／600dpi以上の画像サイズでスキャンすると、警告メッセージが表示されスキャンできません。原稿サイズや解像度を低くしてスキャンしてください。
- Macintoshの場合、「ファイルの種類」が［PDF］のとき、この設定は選択できません。
- ScanGear CSの画面で「白黒」でスキャンしても、保存する「ファイルの種類」が［JPEG］の場合、グレースケールのJPEGで保存されます。

- ScanGear CSの画面で「マルチスキャン」を行った場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルがアプリケーションソフトにわたされます。ただし、「ファイルの種類」が［PDF］で、PDFの設定が「マルチページPDFを作成」になっているときは、複数の原稿をスキャンしても、作成されるPDFファイルは1つです。PDFの設定については、［PDF設定］ボタンをご覧ください。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGear CSのことが知りたい」の基本モードの機能または拡張モードの機能をご覧ください。

閉じる

ファイル名

ファイル名： Mail

スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

- 同じ名前のファイルが存在する場合には、ファイル名の後ろに「0001」のような4桁の番号が付けられます。
- 「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を選択し、複数の原稿をスキャンした場合、2枚目以降のファイルには、ファイル名の後ろに「0001」のような4桁の番号が付けられます（OCR画面の場合を除く）。
- 拡張子は自動的に付けられます。

閉じる

ファイルの種類

Windows

ファイルの種類：
BMP
PDF設定...
BMP
JPEG
TIFF
PDF

（上記の画面例は保存画面の場合の例です。）

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。
各機能で保存できるファイルの種類は以下のとおりです。

	BMP	JPEG	PNG	TIFF	PDF
［コピー］ボタン	-	-	-	-	-
［メール］ボタン	-	○	○	-	○
［OCR］ボタン	○	-	-	○	-
［保存］ボタン	○	○	○	○	○
［ファイル］ボタン	-	-	-	-	○
［スキャン-1］ボタン ［スキャン-2］ボタン	○	○	○	○	-

Macintosh

（上記の画面例は保存画面の場合の例です。）

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。
各機能で保存できるファイルの種類は以下のとおりです。

	PICT	JPEG	PNG	TIFF	PDF
［コピー］ボタン	-	-	-	-	-
［メール］ボタン	-	○	○	-	○
［OCR］ボタン	○	-	-	○	-
［保存］ボタン	○	○	○	○	○
［ファイル］ボタン	-	-	-	-	○
［スキャン-1］ボタン ［スキャン-2］ボタン	○	○	○	○	-

- BMP
  Windowsの場合のみ選択できます。

- PICT
  PICT形式で保存します。
  Macintoshの場合のみ選択できます。

- JPEG

JPEG形式で保存します。
グレースケールおよびカラー画像の場合のみ選択できます。

- PNG
  PNG形式で保存します。
  白黒画像の場合のみ選択できます。

- TIFF
  TIFF形式で保存します。

- PDF
  PDF形式で保存します。
  PDFファイルを作成するときの設定を変更する場合は、［PDF設定］ボタンをクリックします。

- 画像ファイルのファイル形式については、「もっと上手にスキャンする」のスキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）をご覧ください。

閉じる

［PDF設定］ボタン

ファイルの種類： PDF PDF設定...

PDFファイルを作成するときの設定を行います。
保存する「ファイルの種類」で［PDF］を選択したときに、［PDF設定］ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。
各項目を設定し、［OK］ボタンをクリックします。

検索可能なPDFを作成する

「検索可能PDFを作成」にチェックマークを付けると、原稿中の文字を認識し、テキストデータとして変換します。簡単なキーワード検索などに利用できます。
この項目にチェックマークを付けたときは、検索可能なPDFファイルを作成するときの言語を「テキスト言語」から［日本語］または［英語］を選択します。

- 原稿中のすべての文字を正しく認識できる訳ではありません。
- 検索可能なPDFファイルを作成するには、「読み取り解像度」の設定を300dpi以上にしてください。

- 原稿中の文字をテキストデータに変換し、編集作業などを行いたい場合は、［OCR］ボタンで原稿をスキャンしてください。

マルチページPDFを作成する

「マルチページPDFを作成」にチェックマークを付けると、複数の原稿を1つのPDFファイルにします。
原稿台の原稿をスキャンするごとに次のような画面が表示されます。

スキャンを続けるときは、次の原稿をセットしてから[次へ]をクリックしてください。
スキャンを終了するときは、[完了]をクリックします。

- 「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］の場合は、原稿台にある複数の原稿を1つのPDFファイルにします。ただし、［カラー（マルチスキャン）］で続けて複数の原稿をスキャンしても、すでに作成されたPDFファイルに原稿を追加することはできません。

- 文字原稿や白黒原稿をスキャンするときは、「スキャンモード」を［白黒］または［グレースケール］にすることをおすすめします。
- カラー原稿（「読み取り解像度」が［300dpi］）でマルチページPDFを作成する場合、１つのPDFファイルは20ページ以下にすることをおすすめします。

PDFファイルの圧縮タイプを選ぶ

PDFファイルを作成するときの圧縮率を選択します。
画像（写真、イラストなど）が圧縮され、ファイルサイズが小さくなります。
［標準］または［高圧縮］を選択します。

閉じる

保存先

スキャンした画像の保存先を表示します。
保存するフォルダを変更する場合は、［参照］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、保存先のフォルダを選んで、［OK］ボタン（Macintoshの場合は［開く］ボタン）をクリックします。

・ 初期設定では、スキャンした画像の保存先に次のフォルダが指定されています。

Windows [マイ ドキュメント]フォルダ内の[マイ ピクチャ]フォルダ
Macintosh [CanoScan Toolbox]フォルダ内の[My Pictures]フォルダ

閉じる

画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

☑ 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

保存先で設定したフォルダの中に今日の日付のサブフォルダを作成して、ファイルを保存するか、しないかを設定します。
チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば「2002-04-04」など）を自動的に作成し、その中に画像を保存します。

閉じる

初期設定に戻す　［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

閉じる

適 用　［適用］ボタン

設定した内容を保存します。
次回、この画面を起動したときに、現在の設定内容で表示されます。

- 次回、スキャナの前面にあるSCANボタン、COPYボタン、E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、この設定内容で実行されます。スキャナのボタンでスキャンする方法については、スキャナボタンでスキャンするをご覧ください。

閉じる

キャンセル ［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

閉じる

［スキャン］ボタン

設定した内容でスキャンを開始します。
スキャンが完了すると指定の保存先に画像ファイルが保存されます。

- 「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を選択した場合は、複数のファイルが保存されます。ただし、「ファイルの種類」が［PDF］でPDFの設定が「マルチページPDFを作成」になっているときは、１つのPDFファイルが保存されます。PDFの設定については、［PDF設定］ボタンをご覧ください。
- 画像を今日の日付のサブフォルダに入れるの項目にチェックマークをつけた場合は、指定の保存先に今日の日付のサブフォルダが作成され、保存されます。

閉じる

［ファイル］ボタン（ファイル画面）

原稿をスキャンした後、Acrobat Reader（PDFファイルを表示するアプリケーションソフト）を起動し、スキャンした画像ファイルを開きます。

Toolboxのメイン画面で （［ファイル］ボタン）ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

ファイル

［ファイル］
スキャン画像を指定フォルダに保存し、
指定のソフトで開きます。

スキャナの設定

スキャンモード： カラー（プリント写真）
読み取り解像度： 150 dpi
原稿サイズ： A4
スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャン画像の保存先

ファイル名： File
ファイルの種類： PDF
PDF設定...
C:¥Documents and Settings¥一郎¥My Documents¥My Pic
参照...
画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

スキャン画像の渡し先

リンクの削除
C:¥Program Files¥Adobe¥Acrobat 5.0¥Reader¥AcroRd32.e
設定...

初期設定に戻す　適 用　キャンセル　スキャン

・ 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

スキャンモード

スキャンモード：［カラー（プリント写真）▼］
白黒
グレースケール
カラー（雑誌、カタログ）
カラー（プリント写真）
カラー（マルチスキャン）
カラー（オートクロップ）

スキャンの方法を選択します。
次の6つのモードから選択できます。

- 白黒
  白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
- グレースケール
  グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
- カラー（雑誌、カタログ）
  モアレ低減機能をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。
- カラー（プリント写真）
  モアレ低減機能をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。
- カラー（マルチスキャン）
  カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿のサイズを自動的に読み取り、複数の画像ファイルを作成します。
- カラー（オートクロップ）
  原稿サイズを自動的に読み取り、カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれていても、作成される画像ファイルは1つです。

- 印刷物をスキャンすると、縞（しま）のような模様（モアレ）が発生することがあります。「モアレ低減機能」は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。モアレ低減機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。
- ［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンする方法については、「目的別スキャナ活用法」の複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）をご覧ください。
- ［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンした場合、次のように動作します。

［コピー］ボタン	スキャンした複数の原稿を印刷します。
［メール］ボタン	複数の画像の添付されたメール作成画面、または画像の添付された複数のメール作成画面が表示されます。
［保存］ボタン	スキャンした複数の原稿を保存します。
［ファイル］ボタン	スキャンした複数の原稿をPDFファイルとして保存します。
［スキャン-1］ボタン ［スキャン-2］ボタン	スキャンした複数の原稿をリンクされているアプリケーションソフトに別々のファイルとしてわたします。ただし、アプリケーションソフトによっては、複数の画像を受け取れないものもあります。

- ［メール］ボタン（メール画面）、［保存］ボタン（保存画面）、［ファイル］ボタン（ファイル画面）の場合、「ファイルの種類」が［PDF］で、PDFの設定が「マルチページPDFを作成」になっているときは、［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンしても、作成されるPDFファイルは1つです。PDFの設定については、［PDF設定］ボタンをご覧ください。

閉じる

読み取り解像度

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
75dpi、100dpi、150dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi、1200dpiの中から選択できます。

- 「スキャンモード」が［カラー（オートクロップ）］、［カラー（マルチスキャン）］の場合、読み取り解像度は75dpi、150dpi、300dpiから選択できます。
- 「スキャンモード」が［カラー（雑誌・カタログ）］の場合、読み取り解像度は最大600dpiになります。
- 「ファイルの種類」が［PDF］の場合、読み取り解像度は最大400dpi（Macintoshの場合は、最大300dpi）になります。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の解像度の決めかたおよび解像度とデータ容量をご覧ください。

閉じる

原稿サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。
次のサイズを選択できます。

A4、A5縦、A5横、B5、レター、名刺、L判縦、L判横、LL判縦、LL判横、はがき縦、はがき横、カスタム。

［カスタム］を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。「単位」を選んでから、「幅」と「高さ」を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- 「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］の場合、「原稿サイズ」は選択できません（OCR画面の場合を除く）。

閉じる

スキャナドライバで詳細な設定を行う

☐ スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャンの設定をスキャナドライバ「ScanGear CS」で設定するか、しないかを選択します。

この項目にチェックマークを付けた場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、ScanGear CSの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定できます。「スキャンモード」「原稿サイズ」などの「スキャナの設定」はできなくなります。（ScanGear CSの画面で設定することになります）

この項目にチェックマークを付けない場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、すぐにスキャンが実行されます。

- Windowsの場合、「ファイルの種類」が［PDF］のとき、ScanGear CSでカラー／A4サイズ／600dpi以上の画像サイズでスキャンすると、警告メッセージが表示されスキャンできません。原稿サイズや解像度を低くしてスキャンしてください。
- Macintoshの場合、「ファイルの種類」が［PDF］のとき、この設定は選択できません。
- ScanGear CSの画面で「白黒」でスキャンしても、保存する「ファイルの種類」が［JPEG］の場合、グレースケールのJPEGで保存されます。

- ScanGear CSの画面で「マルチスキャン」を行った場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルがアプリケーションソフトにわたされます。ただし、「ファイルの種類」が［PDF］で、PDFの設定が「マルチページPDFを作成」になっているときは、複数の原稿をスキャンしても、作成されるPDFファイルは1つです。PDFの設定については、［PDF設定］ボタンをご覧ください。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGear CSのことが知りたい」の基本モードの機能または拡張モードの機能をご覧ください。

閉じる

ファイル名

ファイル名：	Mail

スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

- 同じ名前のファイルが存在する場合には、ファイル名の後ろに「0001」のような4桁の番号が付けられます。
- 「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を選択し、複数の原稿をスキャンした場合、2枚目以降のファイルには、ファイル名の後ろに「0001」のような4桁の番号が付けられます（OCR画面の場合を除く）。
- 拡張子は自動的に付けられます。

閉じる

ファイルの種類

Windows

ファイルの種類： BMP PDF設定...
BMP
JPEG
TIFF
PDF

（上記の画面例は保存画面の場合の例です。）

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。
各機能で保存できるファイルの種類は以下のとおりです。

	BMP	JPEG	PNG	TIFF	PDF
［コピー］ボタン	-	-	-	-	-
［メール］ボタン	-	○	○	-	○
［OCR］ボタン	○	-	-	○	-
［保存］ボタン	○	○	○	○	○
［ファイル］ボタン	-	-	-	-	○
［スキャン-1］ボタン ［スキャン-2］ボタン	○	○	○	○	-

Macintosh

（上記の画面例は保存画面の場合の例です。）

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。
各機能で保存できるファイルの種類は以下のとおりです。

	PICT	JPEG	PNG	TIFF	PDF
［コピー］ボタン	-	-	-	-	-
［メール］ボタン	-	○	○	-	○
［OCR］ボタン	○	-	-	○	-
［保存］ボタン	○	○	○	○	○
［ファイル］ボタン	-	-	-	-	○
［スキャン-1］ボタン ［スキャン-2］ボタン	○	○	○	○	-

- BMP
  Windowsの場合のみ選択できます。

- PICT
  PICT形式で保存します。
  Macintoshの場合のみ選択できます。

- JPEG

JPEG形式で保存します。
グレースケールおよびカラー画像の場合のみ選択できます。

- PNG
  PNG形式で保存します。
  白黒画像の場合のみ選択できます。

- TIFF
  TIFF形式で保存します。

- PDF
  PDF形式で保存します。
  PDFファイルを作成するときの設定を変更する場合は、［PDF設定］ボタンをクリックします。

- 画像ファイルのファイル形式については、「もっと上手にスキャンする」のスキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）をご覧ください。

閉じる

［PDF設定］ボタン

PDFファイルを作成するときの設定を行います。
保存する「ファイルの種類」で［PDF］を選択したときに、［PDF設定］ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。
各項目を設定し、［OK］ボタンをクリックします。

検索可能なPDFを作成する

「検索可能PDFを作成」にチェックマークを付けると、原稿中の文字を認識し、テキストデータとして変換します。簡単なキーワード検索などに利用できます。
この項目にチェックマークを付けたときは、検索可能なPDFファイルを作成するときの言語を「テキスト言語」から［日本語］または［英語］を選択します。

- 原稿中のすべての文字を正しく認識できる訳ではありません。
- 検索可能なPDFファイルを作成するには、「読み取り解像度」の設定を300dpi以上にしてください。

- 原稿中の文字をテキストデータに変換し、編集作業などを行いたい場合は、［OCR］ボタンで原稿をスキャンしてください。

マルチページPDFを作成する

「マルチページPDFを作成」にチェックマークを付けると、複数の原稿を1つのPDFファイルにします。
原稿台の原稿をスキャンするごとに次のような画面が表示されます。

スキャンを続けるときは、次の原稿をセットしてから[次へ]をクリックしてください。
スキャンを終了するときは、[完了]をクリックします。

- 「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］の場合は、原稿台にある複数の原稿を1つのPDFファイルにします。ただし、［カラー（マルチスキャン）］で続けて複数の原稿をスキャンしても、すでに作成されたPDFファイルに原稿を追加することはできません。

- 文字原稿や白黒原稿をスキャンするときは、「スキャンモード」を［白黒］または［グレースケール］にすることをおすすめします。
- カラー原稿（「読み取り解像度」が［300dpi］）でマルチページPDFを作成する場合、１つのPDFファイルは20ページ以下にすることをおすすめします。

PDFファイルの圧縮タイプを選ぶ

PDFファイルを作成するときの圧縮率を選択します。
画像（写真、イラストなど）が圧縮され、ファイルサイズが小さくなります。
［標準］または［高圧縮］を選択します。

閉じる

保存先

スキャンした画像の保存先を表示します。
保存するフォルダを変更する場合は、［参照］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、保存先のフォルダを選んで、［OK］ボタン（Macintoshの場合は［開く］ボタン）をクリックします。

・ 初期設定では、スキャンした画像の保存先に次のフォルダが指定されています。

Windows [マイ ドキュメント]フォルダ内の[マイ ピクチャ]フォルダ
Macintosh [CanoScan Toolbox]フォルダ内の[My Pictures]フォルダ

閉じる

画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

☑ 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

保存先で設定したフォルダの中に今日の日付のサブフォルダを作成して、ファイルを保存するか、しないかを設定します。
チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば「2002-04-04」など）を自動的に作成し、その中に画像を保存します。

閉じる

スキャン画像の渡し先

スキャンした画像の渡し先のアプリケーションソフトを設定します。枠内には現在リンク（登録）されているアプリケーションソフト名が表示されています。 キヤノスキャンセットアップCD-ROMからインストールした直後には、次のようなアプリケーションソフト名が表示されます。

機能ボタン名（画面名）	アプリケーションソフト名
［OCR］ボタン（OCR画面）	e.Typist エントリー
［ファイル］ボタン（ファイル画面）	Acrobat Reader
［スキャン-1］ボタン（スキャン画面）	PhotoBase
［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）	PhotoStudio

他のアプリケーションソフトを使用したい場合
［設定］ボタン（Macintoshの場合は［選択］）をクリックし、目的のアプリケーションソフトを選んで、［開く］ボタンをクリックします 。

Windows

Macintosh

設定されているアプリケーションソフトのリンクを削除したい場合
［リンクの削除］ボタンをクリックします。リンクの削除を確認する画面が表示されたら、［はい］ボタン（Macintoshの場合は［OK］ボタン）をクリックします。

- ［ファイル］ボタン（ファイル画面）の場合、PDFファイルを開けないアプリケーションソフトを登録すると、画像を表示できないことがあります。また、リンクを削除すると、「スキャン画像の渡し先」には「保存のみ」と表示され、スキャンした画像ファイルの保存だけが行われます。
- ［OCR］ボタン（OCR画面）、および［スキャン-1］ボタン、［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）の場合、設定されているアプリケーションソフトがないと、アプリケーションソフトの設定を要求するメッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックし、アプリケーションの選択画面でアプリケーションを選択してください。
- ［OCR］ボタン（OCR画面）にリンクできるアプリケーションソフトは、e.Typist エントリーのようなOCRソフトだけです。

- ［スキャン-1］ボタン、および［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）にToolboxで画像を受け取ることのできないアプリケーションソフトをリンクすることはできません。

- Toolbox からアプリケーションソフトに渡すことのできる画像は、カラー24ビット、グレースケール8ビット、白黒1ビット のいずれかとなります。これ以外のビット数で構成される画像をアプリケーションソフトに渡すことはできません。

閉じる

初期設定に戻す ［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

閉じる

適 用 ［適用］ボタン

設定した内容を保存します。
次回、この画面を起動したときに、現在の設定内容で表示されます。

- 次回、スキャナの前面にあるSCANボタン、COPYボタン、E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、この設定内容で実行されます。スキャナのボタンでスキャンする方法については、スキャナボタンでスキャンするをご覧ください。

閉じる

キャンセル ［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

閉じる

［スキャン］ボタン

設定した内容でスキャンを開始します。
スキャンが完了すると自動的にPDFファイルを表示するアプリケーションソフトが起動し、スキャンした画像が開かれます。

- 「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を選択した場合は、複数のファイルが開かれます。ただし、PDFの設定が「マルチページPDFを作成」になっているときは、１つのPDFファイルが開かれます。PDFの設定については、［PDF設定］ボタンをご覧ください。
- 初期設定では、Acrobat Readerが起動します。Acrobat Readerについては、Acrobat Readerのことが知りたいをご覧ください。

閉じる

［スキャン-1］ ［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）

原稿をスキャンした後、リンク（登録）されているアプリケーションソフトを起動して、そのアプリケーションソフトに画像ファイルを渡します。
初期設定では、［スキャン-1］ボタンはPhotoBase が、［スキャン-2］ボタンはPhotoStudioが起動します。

Toolboxの（［スキャン-1］ボタン）または、（［スキャン-2］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。（下の画面は、［スキャン-1］ボタンをクリックしたときの画面例です。）

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

スキャン

［スキャン］
スキャン画像を指定フォルダに保存し、
指定のソフトで開きます。

スキャナの設定

スキャンモード： カラー（マルチスキャン）

読み取り解像度： 300 dpi

原稿サイズ： A4

スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャン画像の保存先

ファイル名： Scan1

ファイルの種類： BMP

C:¥Documents and Settings¥一郎¥My Documents¥My Pic 参照...

画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

スキャン画像の渡し先

リンクの削除

C:¥Program Files¥ArcSoft¥PhotoBase¥PhBase.exe 設定...

初期設定に戻す 適 用 キャンセル スキャン

初期設定に戻す　適　用　キャンセル　スキャン

- 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

スキャンモード

スキャンモード：　カラー（プリント写真）
白黒
グレースケール
カラー（雑誌、カタログ）
カラー（プリント写真）
カラー（マルチスキャン）
カラー（オートクロップ）

スキャンの方法を選択します。
次の6つのモードから選択できます。

- 白黒
  白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
- グレースケール
  グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
- カラー（雑誌、カタログ）
  モアレ低減機能をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。
- カラー（プリント写真）
  モアレ低減機能をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。
- カラー（マルチスキャン）
  カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿のサイズを自動的に読み取り、複数の画像ファイルを作成します。
- カラー（オートクロップ）
  原稿サイズを自動的に読み取り、カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれていても、作成される画像ファイルは1つです。

- 印刷物をスキャンすると、縞（しま）のような模様（モアレ）が発生することがあります。「モアレ低減機能」は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。モアレ低減機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。
- ［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンする方法については、「目的別スキャナ活用法」の複数の原稿を一度にスキャンしたい（マルチスキャン）をご覧ください。
- ［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンした場合、次のように動作します。

［コピー］ボタン	スキャンした複数の原稿を印刷します。
［メール］ボタン	複数の画像の添付されたメール作成画面、または画像の添付された複数のメール作成画面が表示されます。
［保存］ボタン	スキャンした複数の原稿を保存します。
［ファイル］ボタン	スキャンした複数の原稿をPDFファイルとして保存します。
［スキャン-1］ボタン ［スキャン-2］ボタン	スキャンした複数の原稿をリンクされているアプリケーションソフトに別々のファイルとしてわたします。ただし、アプリケーションソフトによっては、複数の画像を受け取れないものもあります。

- ［メール］ボタン（メール画面）、［保存］ボタン（保存画面）、［ファイル］ボタン（ファイル画面）の場合、「ファイルの種類」が［PDF］で、PDFの設定が「マルチページPDFを作成」になっているときは、［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンしても、作成されるPDFファイルは1つです。PDFの設定については、［PDF設定］ボタンをご覧ください。

閉じる

読み取り解像度

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
75dpi、100dpi、150dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi、1200dpiの中から選択できます。

- 「スキャンモード」が［カラー（オートクロップ）］、［カラー（マルチスキャン）］の場合、読み取り解像度は75dpi、150dpi、300dpiから選択できます。
- 「スキャンモード」が［カラー（雑誌・カタログ）］の場合、読み取り解像度は最大600dpiになります。
- 「ファイルの種類」が［PDF］の場合、読み取り解像度は最大400dpi（Macintoshの場合は、最大300dpi）になります。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の解像度の決めかたおよび解像度とデータ容量をご覧ください。

閉じる

原稿サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。
次のサイズを選択できます。

A4、A5縦、A5横、B5、レター、名刺、L判縦、L判横、LL判縦、LL判横、はがき縦、はがき横、カスタム。

［カスタム］を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。「単位」を選んでから、「幅」と「高さ」を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- 「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］の場合、「原稿サイズ」は選択できません（OCR画面の場合を除く）。

閉じる

スキャナドライバで詳細な設定を行う

☐ スキャナドライバで詳細な設定を行う

スキャンの設定をスキャナドライバ「ScanGear CS」で設定するか、しないかを選択します。

この項目にチェックマークを付けた場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、ScanGear CSの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定できます。「スキャンモード」「読み取り解像度」「原稿サイズ」などの「スキャナの設定」はできなくなります。（ScanGear CSの画面で設定することになります）

この項目にチェックマークを付けない場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、すぐにスキャンが実行されます。

- ［スキャン-1］ボタン、および［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）の場合、ScanGear CSの画面で「白黒」でスキャンしても、保存する「ファイルの種類」が［JPEG］の場合、グレースケールのJPEGで保存されます。

- ScanGear CSの画面で「マルチスキャン」を行った場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルがアプリケーションソフトにわたされます。［コピー］ボタン（コピー画面）の場合は、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルが印刷されます。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGear CSのことが知りたい」の基本モードの機能または拡張モードの機能をご覧ください。

閉じる

ファイル名

ファイル名： Mail

スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

- 同じ名前のファイルが存在する場合には、ファイル名の後ろに「0001」のような4桁の番号が付けられます。
- 「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を選択し、複数の原稿をスキャンした場合、2枚目以降のファイルには、ファイル名の後ろに「0001」のような4桁の番号が付けられます（OCR画面の場合を除く）。
- 拡張子は自動的に付けられます。

閉じる

ファイルの種類

Windows

ファイルの種類： BMP PDF設定...
BMP
JPEG
TIFF
PDF

（上記の画面例は保存画面の場合の例です。）

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。
各機能で保存できるファイルの種類は以下のとおりです。

	BMP	JPEG	PNG	TIFF	PDF
［コピー］ボタン	-	-	-	-	-
［メール］ボタン	-	○	○	-	○
［OCR］ボタン	○	-	-	○	-
［保存］ボタン	○	○	○	○	○
［ファイル］ボタン	-	-	-	-	○
［スキャン-1］ボタン ［スキャン-2］ボタン	○	○	○	○	-

Macintosh

（上記の画面例は保存画面の場合の例です。）

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。
各機能で保存できるファイルの種類は以下のとおりです。

	PICT	JPEG	PNG	TIFF	PDF
［コピー］ボタン	-	-	-	-	-
［メール］ボタン	-	○	○	-	○
［OCR］ボタン	○	-	-	○	-
［保存］ボタン	○	○	○	○	○
［ファイル］ボタン	-	-	-	-	○
［スキャン-1］ボタン ［スキャン-2］ボタン	○	○	○	○	-

・BMP
Windowsの場合のみ選択できます。

・PICT
PICT形式で保存します。
Macintoshの場合のみ選択できます。

・JPEG

JPEG形式で保存します。
グレースケールおよびカラー画像の場合のみ選択できます。

- PNG
  PNG形式で保存します。
  白黒画像の場合のみ選択できます。

- TIFF
  TIFF形式で保存します。

- PDF
  PDF形式で保存します。
  PDFファイルを作成するときの設定を変更する場合は、［PDF設定］ボタンをクリックします。

- 画像ファイルのファイル形式については、「もっと上手にスキャンする」のスキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）をご覧ください。

閉じる

保存先

スキャンした画像の保存先を表示します。
保存するフォルダを変更する場合は、［参照］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、保存先のフォルダを選んで、［OK］ボタン（Macintoshの場合は［開く］ボタン）をクリックします。

Windows

Macintosh

・ 初期設定では、スキャンした画像の保存先に次のフォルダが指定されています。

Windows [マイ ドキュメント]フォルダ内の[マイ ピクチャ]フォルダ
Macintosh [CanoScan Toolbox]フォルダ内の[My Pictures]フォルダ

閉じる

画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

保存先で設定したフォルダの中に今日の日付のサブフォルダを作成して、ファイルを保存するか、しないかを設定します。
チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば「2002-04-04」など）を自動的に作成し、その中に画像を保存します。

閉じる

スキャン画像の渡し先

スキャンした画像の渡し先のアプリケーションソフトを設定します。枠内には現在リンク（登録）されているアプリケーションソフト名が表示されています。 キヤノスキャンセットアップCD-ROMからインストールした直後には、次のようなアプリケーションソフト名が表示されます。

機能ボタン名（画面名）	アプリケーションソフト名
［OCR］ボタン（OCR画面）	e.Typist エントリー
［ファイル］ボタン（ファイル画面）	Acrobat Reader
［スキャン-1］ボタン（スキャン画面）	PhotoBase
［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）	PhotoStudio

他のアプリケーションソフトを使用したい場合
［設定］ボタン（Macintoshの場合は［選択］）をクリックし、目的のアプリケーションソフトを選んで、［開く］ボタンをクリックします 。

Windows

Macintosh

設定されているアプリケーションソフトのリンクを削除したい場合
［リンクの削除］ボタンをクリックします。リンクの削除を確認する画面が表示されたら、［はい］ボタン（Macintoshの場合は［OK］ボタン）をクリックします。

- ［ファイル］ボタン（ファイル画面）の場合、PDFファイルを開けないアプリケーションソフトを登録すると、画像を表示できないことがあります。また、リンクを削除すると、「スキャン画像の渡し先」には「保存のみ」と表示され、スキャンした画像ファイルの保存だけが行われます。
- ［OCR］ボタン（OCR画面）、および［スキャン-1］ボタン、［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）の場合、設定されているアプリケーションソフトがないと、アプリケーションソフトの設定を要求するメッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックし、アプリケーションの選択画面でアプリケーションを選択してください。
- ［OCR］ボタン（OCR画面）にリンクできるアプリケーションソフトは、e.Typist エントリーのようなOCRソフトだけです。

- ［スキャン-1］ボタン、および［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）にToolboxで画像を受け取ることのできないアプリケーションソフトをリンクすることはできません。

- Toolbox からアプリケーションソフトに渡すことのできる画像は、カラー24ビット、グレースケール8ビット、白黒1ビット のいずれかとなります。これ以外のビット数で構成される画像をアプリケーションソフトに渡すことはできません。

閉じる

初期設定に戻す ［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

閉じる

適 用　［適用］ボタン

設定した内容を保存します。
次回、この画面を起動したときに、現在の設定内容で表示されます。

- 次回、スキャナの前面にあるSCANボタン、COPYボタン、E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、この設定内容で実行されます。スキャナのボタンでスキャンする方法については、スキャナボタンでスキャンするをご覧ください。

閉じる

キャンセル ［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

閉じる

［スキャン］ボタン

設定した内容でスキャンを開始します。
スキャンが完了すると自動的にアプリケーションソフトが起動し、スキャンした画像が開かれます。

- 「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を選択した場合は、複数の画像ファイルがアプリケーションソフトに渡されます。
- ［スキャン-1］ボタンの場合、初期設定ではPhotoBaseが起動します。PhotoBaseについては、PhotoBaseのことが知りたいをご覧ください。
- ［スキャン-2］ボタンの場合、初期設定ではPhotoStudioが起動します。PhotoStudioについては、PhotoStudioのことが知りたいをご覧ください。

閉じる

［設定］ボタン（設定画面）

スキャナ前面のスキャナボタンに割り当てる機能を設定します。また、複数台のスキャナを接続している場合に、使用するスキャナを選択します。

Toolboxの（［設定］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

各項目をクリックすると詳細説明を表示します。

設定

［設定］
スキャナの選択：使用するスキャナを選択します。
ボタンのリンク：スキャナにあるボタンの機能を設定します。

スキャナの選択

スキャナ： CanoScan LiDE 30/N1240U

ボタンのリンク

スキャナのボタンを押した時の動作を選択してください

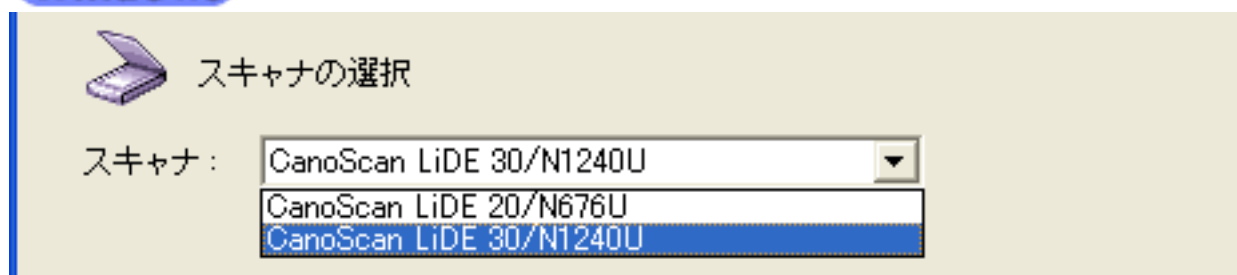
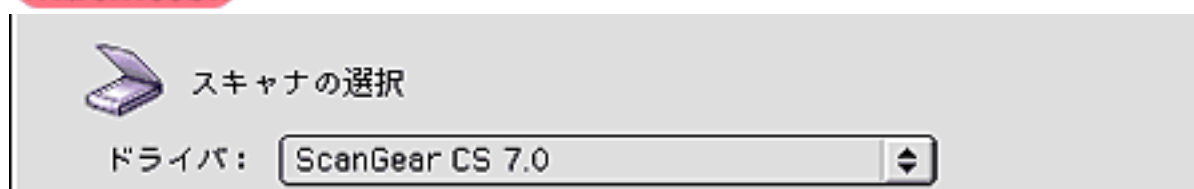
SCANボタン： スキャン－1
COPYボタン： コピー
E-MAILボタン： メール

初期設定に戻す　OK　キャンセル

・ 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

スキャナの選択

Windows

Macintosh

Toolboxに対応したスキャナを2台以上接続している場合に、使用するスキャナを選択します。
Macintoshの場合は、スキャナドライバを選択します。

閉じる

ボタンのリンク

スキャナの前面のボタンSCANボタン、COPYボタン、E-MAILボタンに割り当てるToolboxの機能を設定します。
各ボタンに［コピー］［メール］［OCR］［保存］［ファイル］［スキャン-1］［スキャン-2］［メイン画面表示］のボタンの機能を設定できます。

- 2つ以上のボタンに同じ機能を割り当てることはできません。（たとえば、SCANボタンに［コピー］ボタンの機能、COPYボタンにも［コピー］ボタンの機能を割り当てることはできません。）

- 初期設定では、SCANボタンに［スキャン-1］ボタンの機能が、COPYボタンに［コピー］ボタンの機能が、E-MAILボタンに［メール］ボタンの機能が割り当てられています。
- ［メイン画面表示］を選択した場合、割り当てたスキャナのボタンを押すとToolboxのメイン画面が表示されます。

  スキャナのボタンに割り当てる機能を設定するには、Toolboxのメイン画面で、スキャナボタンアイコンを割り当てたい機能ボタンの上にドラッグしても簡単に変更できます。操作の詳細については、「スキャナのボタンを使う」のスキャナのボタンの機能を変更するをご覧ください。
- スキャナのボタンの使い方については、「スキャナのボタンを使う」のスキャナのボタンを使うをご覧ください。

閉じる

初期設定に戻す ［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

閉じる

OK ［OK］ボタン

設定した内容を保存し、現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

閉じる

キャンセル ［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

閉じる

スキャナのボタンを使う

スキャナのボタンの機能を確認する

Toolboxのメイン画面でスキャナのボタンに割り当てられているToolboxの機能を確認できます。

Windows

Macintosh

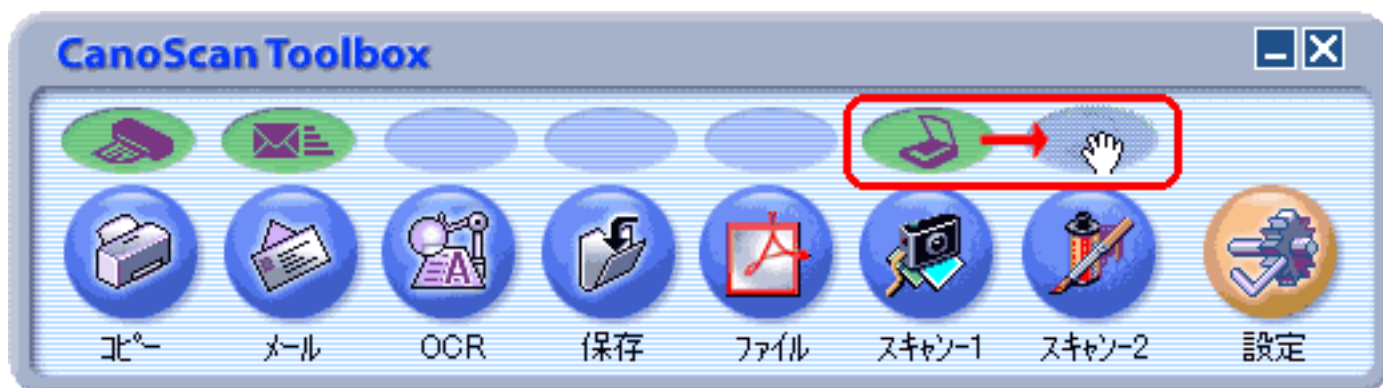
割り当てられている機能ボタンの上にスキャナのボタンのアイコンが表示されます。初期設定では、次の機能が割り当てられています。

 SCANボタンに［スキャン-1］ボタンの機能

 COPYボタンに［コピー］ボタンの機能

 E-MAILボタンに［メール］ボタンの機能

スキャナのボタンの機能を変更する

スキャナのボタンをToolboxの他の機能に変更することができます。
割り当てる機能を変更するには、メイン画面のスキャナボタンアイコンを別の機能ボタンの上にドラッグします。

上の例では、［スキャン-1］ボタンの上のSCANボタンアイコンを［スキャン-2］ボタンの上に移動することで、スキャナのSCANボタンが［スキャン-2］の機能（この場合は、PhotoStudio）となります。

- ［設定］ボタンのボタンのリンクでもスキャナのボタンをToolboxの他の機能に変更できます。

スキャナのボタンを使う

スキャナ前面のいずれかのボタンを押すと、Toolboxが起動していなくても、ボタンに割り当てられている一連の作業が自動的に実行されます。
すでにToolboxが起動している場合には、押したボタンに割り当てられている機能の設定画面が表示され、スキャンがはじまります。

スキャナのボタンを使ったスキャンの方法については、「スキャンの手順」のスキャナボタンでスキャンするをご覧ください。

- スキャナのボタンで実行されるスキャンは、その機能の設定画面で、最後に指定した設定で行われます。
- スキャナのボタンで実行されるスキャンの設定をあらかじめ設定しておきたい場合は、スキャンを実行したい機能の設定画面で各設定を行い、［適用］ボタンで設定を保存しておきます。
- スキャナのボタンを押したあとで、スキャンの設定を変更するには、スキャン中に［キャンセル］ボタンをクリックします。スキャンが中止され、設定画面が表示されます。設定画面で設定を変更してからスキャンを実行してください。

先頭へ戻る▲

PhotoStudioのことが知りたい

マニュアルを見る

キヤノスキャンセットアップCD-ROM内に電子マニュアル「PhotoStudio ユーザーズガイド」が用意されています。電子マニュアル（PDF）の読みかた

お問い合わせ先：　アークソフトジャパン
電話03-3834-5254
http://www.arcsoft.jp/　「サポート」

PhotoStudioって何?

PhotoStudioは、画像を編集、加工する画像編集ソフトウェアです。BMPファイル、JPGファイル、TIFファイルなど、さまざまな形式の画像ファイルに対応し、TWAIN対応のスキャナやデジタルカメラなどの入力機器から直接画像を取り込むこともできます。色調補正や特殊加工の機能も備えた本格的な画像編集ができます。

画像をスキャンする

画像を加工する

・ この画面は、Windows版PhotoStudioの画面です。

スキャンの方法

「スキャンの手順」のPhotoStudioでスキャンするをご覧ください。

先頭へ戻る▲

付属のソフトウェアの使いかた

ScanGear CSのことが知りたい
- ScanGear CSって何？
- ScanGear CSの起動
- ScanGear CSの終了
- スキャンの手順
- 基本モードの機能
- 拡張モードの機能

CanoScan Toolboxのことが知りたい
- CanoScan Toolboxって何？
- Toolboxの起動
- Toolboxの終了
- ボタンの機能
- スキャナのボタンを使う

PhotoStudioのことが知りたい

PhotoBaseのことが知りたい

e.Typistエントリーのことが知りたい

Acrobat Readerのことが知りたい

電子マニュアル(PDF)の読みかた

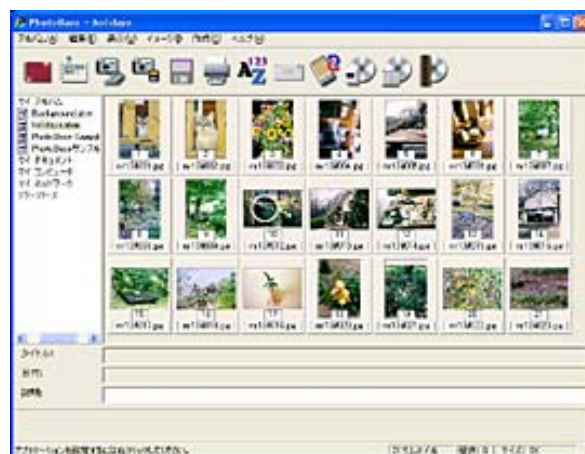
PhotoBaseのことが知りたい

マニュアルを見る

キヤノスキャンセットアップCD-ROM内に電子マニュアル「PhotoBase ユーザーズガイド」が用意されています。電子マニュアル（PDF）の読みかた

お問い合わせ先：　アークソフトジャパン
電話03-3834-5254
http://www.arcsoft.jp/　「サポート」

PhotoBaseって何?

「PhotoBase」は、アルバムの作成や編集、画像の検索やスライドショーができる画像データベースソフトです。サウンドファイルやビデオファイルも扱うことができます。Windows版では、ウェブページへの画像貼り込みや画像を添付したメールの送信などもできます。

アルバムを作る

ウェブアルバムを作る

- この画面は、Windows版PhotoBaseの画面です。

スキャンの方法

「スキャンの手順」のPhotoBaseでスキャンするをご覧ください。

先頭へ戻る▲

付属のソフトウェアの使いかた

- ScanGear CSのことが知りたい
  - ScanGear CSって何？
  - ScanGear CSの起動
  - ScanGear CSの終了
  - スキャンの手順
  - 基本モードの機能
  - 拡張モードの機能
- CanoScan Toolboxのことが知りたい
  - CanoScan Toolboxって何？
  - Toolboxの起動
  - Toolboxの終了
  - ボタンの機能
  - スキャナのボタンを使う
- PhotoStudioのことが知りたい
- PhotoBaseのことが知りたい
- e.Typistエントリーのことが知りたい
- Acrobat Readerのことが知りたい
- 電子マニュアル(PDF)の読みかた

e.Typistエントリーのことが知りたい

マニュアルを見る

キヤノスキャンセットアップCD-ROM内に電子マニュアル「e.Typistエントリー ユーザーズガイド」が用意されています。電子マニュアル（PDF）の読みかた

お問い合わせ先：　メディアドライブ（株）
電話03-5724-5381
http://www.mediadrive.co.jp/　「よくある質問（FAQ）」

e.Typistエントリーって何?

「e.Typistエントリー」は、スキャンした本や新聞の活字（画像データ）をテキストデータに変換する「OCR（オーシーアール）」と呼ばれるソフトウェアです。変換後のテキストデータは、ワープロソフトなどで編集することができます。日本語と英語の文字認識ができます。

文字原稿を読み取る

e.Typistエントリー

- この画面は、Windows版e.Typistエントリーの画面です。

スキャンの方法

スキャンの手順の詳しくは以下をご覧ください。

- Windows e.Typistエントリーでスキャンする
- Macintosh e.Typistエントリーでスキャンする

先頭へ戻る▲

付属のソフトウェアの使いかた

ScanGear CSのことが知りたい
- ScanGear CSって何？
- ScanGear CSの起動
- ScanGear CSの終了
- スキャンの手順
- 基本モードの機能
- 拡張モードの機能

CanoScan Toolboxのことが知りたい
- CanoScan Toolboxって何？
- Toolboxの起動
- Toolboxの終了
- ボタンの機能
- スキャナのボタンを使う

PhotoStudioのことが知りたい

PhotoBaseのことが知りたい

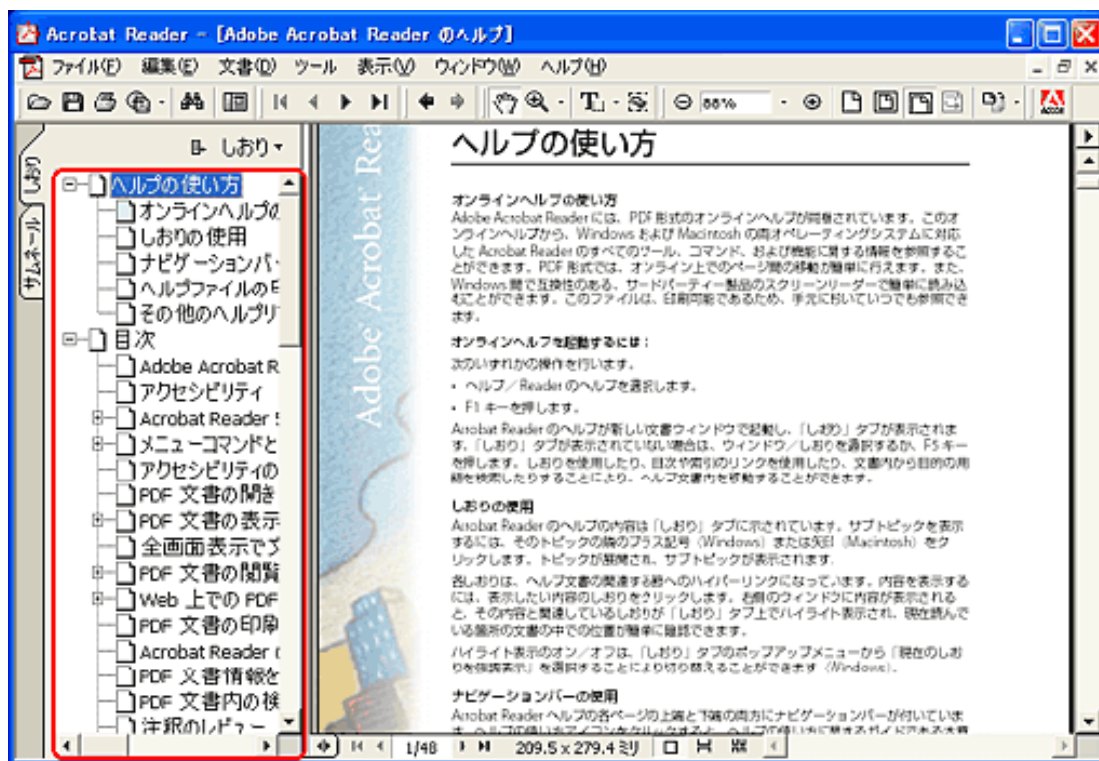
e.Typistエントリーのことが知りたい

Acrobat Readerのことが知りたい

電子マニュアル(PDF)の読みかた

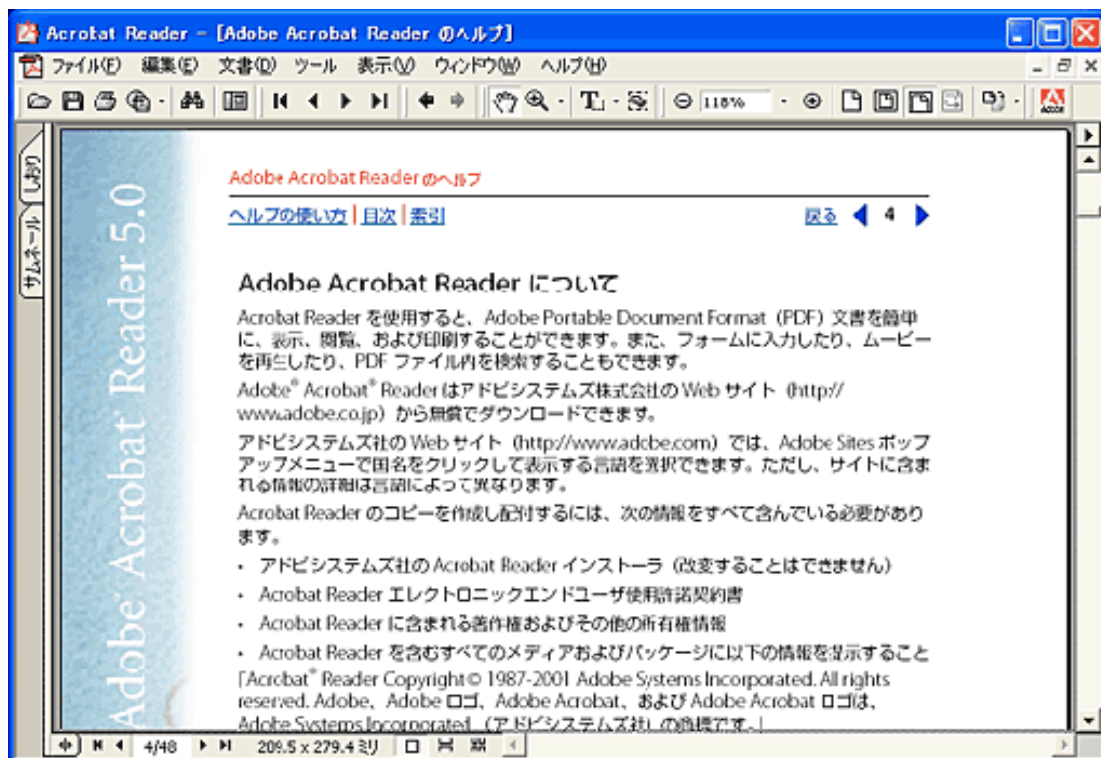
Acrobat Readerのことが知りたい

マニュアルを見る

Acrobat Readerの［ヘルプ］メニューから［Readerのヘルプ］を選択します。
Acrobat Readerのヘルプ（PDF）が表示されます。

Acrobat Readerのヘルプには、必要なページを検索しやすいように「しおり」が付いています。画面の左側にWindowsのエクスプローラのように階層状に並んでいるのが「しおり」です。目的の項目をクリックすると、該当のページが直接表示されます。

お問い合わせ先： アドビシステムズ（株）
http://www.adobe.co.jp/
「テクニカルソリューションデータベース」

Acrobat Readerって何?

Acrobat Readerは、PDF（Portable Ducument Format）を表示、印刷するためのソフトウェアです。アドビシステムズのサイトから、いつでも最新版を無償でダウンロードすることができます。

Acrobat Reader 5.0

 ・ この画面は、Windows版Acrobat Reader 5.0の画面です。

Acrobat Readerの起動

Windows PDFファイルをダブルクリックするか、またはWindowsの［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Acrobat Reader］を選択します。
Acrobat Readerが起動します。

Macintosh ［Acrobat Reader］フォルダをダブルクリックし、［Acrobat Reader］アイコンをダブルクリックします。
Acrobat Readerが起動します。

先頭へ戻る▲

付属のソフトウェアの使いかた

ScanGear CSのことが知りたい

- ScanGear CSって何？
- ScanGear CSの起動
- ScanGear CSの終了
- スキャンの手順
- 基本モードの機能
- 拡張モードの機能

CanoScan Toolboxのことが知りたい

- CanoScan Toolboxって何？
- Toolboxの起動
- Toolboxの終了
- ボタンの機能
- スキャナのボタンを使う

PhotoStudioのことが知りたい

PhotoBaseのことが知りたい

e.Typistエントリーのことが知りたい

Acrobat Readerのことが知りたい

電子マニュアル(PDF)の読みかた

電子マニュアル（PDF）の読みかた

電子マニュアルは、コンピュータの画面に表示して読むマニュアルです。付属のソフトウェアの電子マニュアル（PDF）を読むときは「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」でインストールした「Adobe Acrobat Reader」を使います。
別冊の「まず使えるようにしよう」の「電子マニュアルの見かた」をご覧ください。

Adobe Acrobat Readerの主な機能
表示された電子マニュアルを読むときに最低限必要となる基本操作をWindowsの例で説明します。操作は、Windowsの場合でもMacintoshの場合でも、一部を除いてほとんど同じです。

表示を拡大するときは、このボタンをクリックした後、ページ内をクリックします。
表示を縮小するには、［Ctrl］キーを押しながらクリックします。Macintoshの場合は［option］キーを押しながらクリックします。

前ページに戻るときにクリックします。

次のページを表示するときにクリックします。

先頭ページを表示するときにクリックします。

最終ページを表示するときにクリックします。

前の画面に戻るときにクリックします。

次の画面に進むときにクリックします。

先頭へ戻る▲

もっと上手にスキャンする

もっと美しくスキャンしたい、もっと思いどおりにスキャンしたいと考えている人のために、ScanGear CSを使ったスキャンのヒントや、ノウハウなどを集めました。

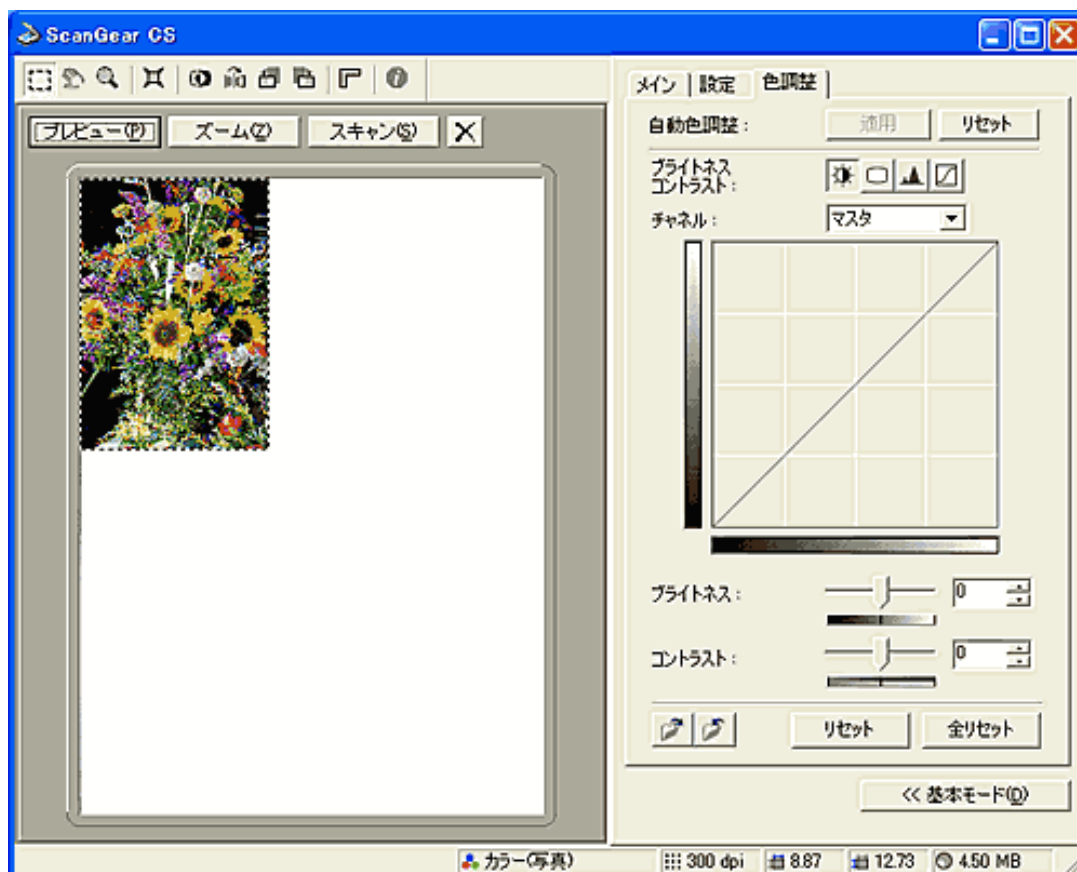
- Windows
  本スキャナをWindowsでご使用の場合、スキャナをさらに活用していただくために、各種体験版ソフトウェアをダウンロードしたり、スキャナの活用に有効な情報が入手できる各社のホームページなどを紹介しているリンク集「お楽しみリンク」が用意されています。
  デスクトップの「お楽しみリンク」アイコンをダブルクリックするか、キヤノスキャンセットアップCD-ROMのメニュー画面で「お楽しみリンク」を選択するとご覧いただけます。（本スキャナをMacintoshでご使用の場合はご覧いただけません。）

- ここでの操作を行うには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMから、すべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。
- プリンタで印刷するには、コンピュータにプリンタドライバがインストールされ、プリンタが接続されて、コンピュータ、スキャナ、プリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。
- Eメール機能を使うには、Eメールソフトがコンピュータにインストールされ、使用できる状態になっていることが必要です。
- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、WindowsではOutlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger、MacintoshではOutlook Express、EUDORAです。また、Windowsの場合メールソフトによって、メールソフト側で「MAPI」を有効に設定する必要があります。
- ここでの説明にはWindows XPの画面を使用しています。他のWindowsやMacintoshでも、特に記載がない限り操作方法は同じです。

スキャン画像を好みの色合いに調整するには

スキャンした画像の色合いが、どうも自分のイメージと違う、あるいは原稿より鮮やかな色合いでスキャンしたいときなど、次のような方法でスキャンします。

ScanGear CSの画面を表示し、拡張モードで「ブライトネス／コントラスト」、「ガンマ値」、「ヒストグラム」、「トーンカーブ」などを調整してスキャンします。

ScanGear CSの呼び出しかた

ブライトネスとコントラストの調整方法
ガンマ値の設定方法
ヒストグラムの見かたと調整
トーンカーブの見かたと調整

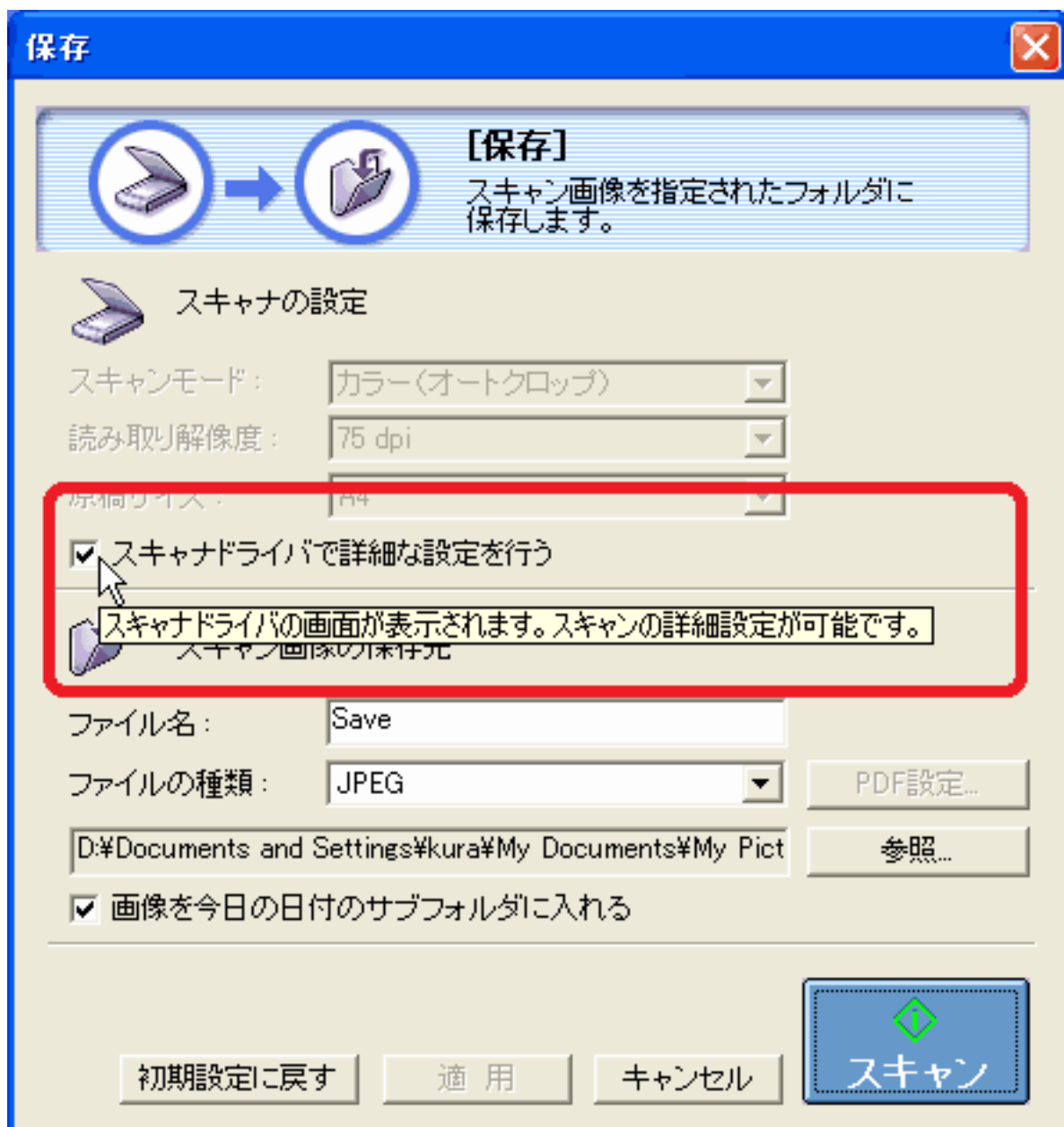
先頭へ戻る▲

ScanGear CSの呼び出しかた

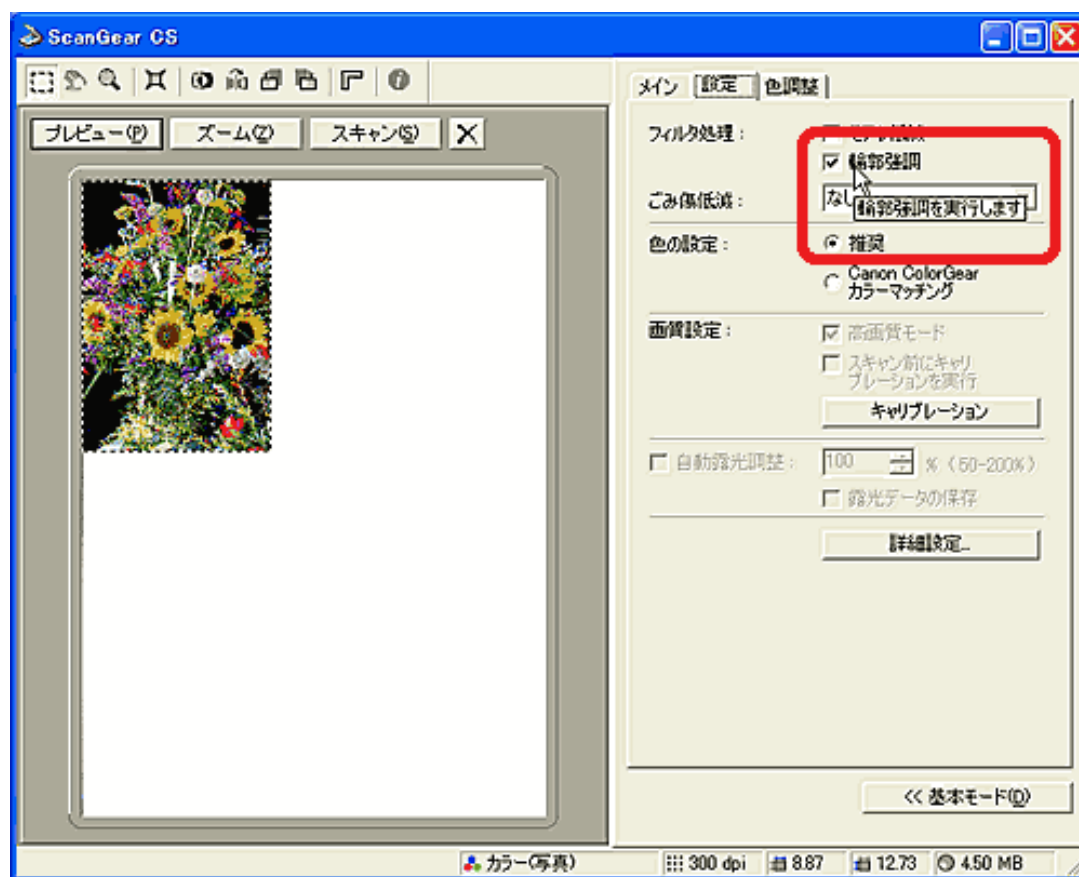
ScanGear CSの画面を表示するには、以下の2つの方法があります。

1 アプリケーションソフトから呼び出してスキャンします。

PhotoStudioでスキャンする
PhotoBaseでスキャンする
Windows e.Typistエントリーでスキャンする
Macintosh e.Typistエントリーでスキャンする

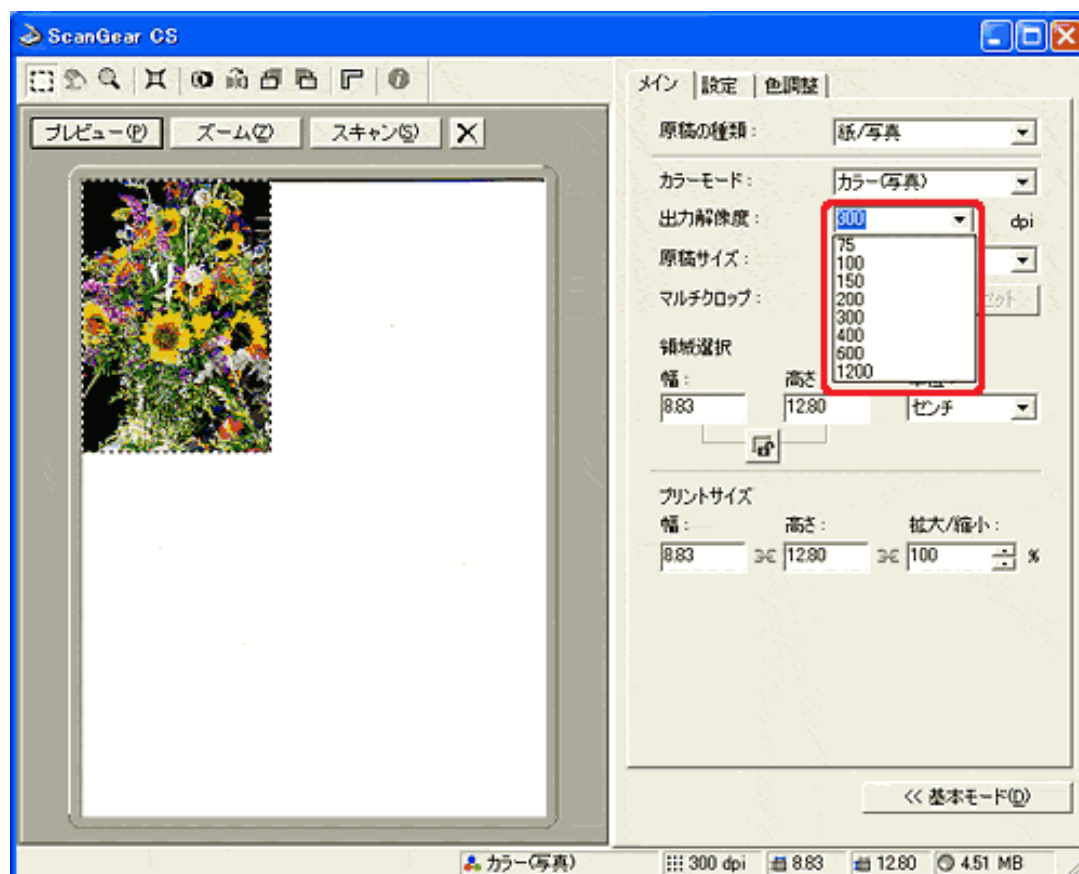
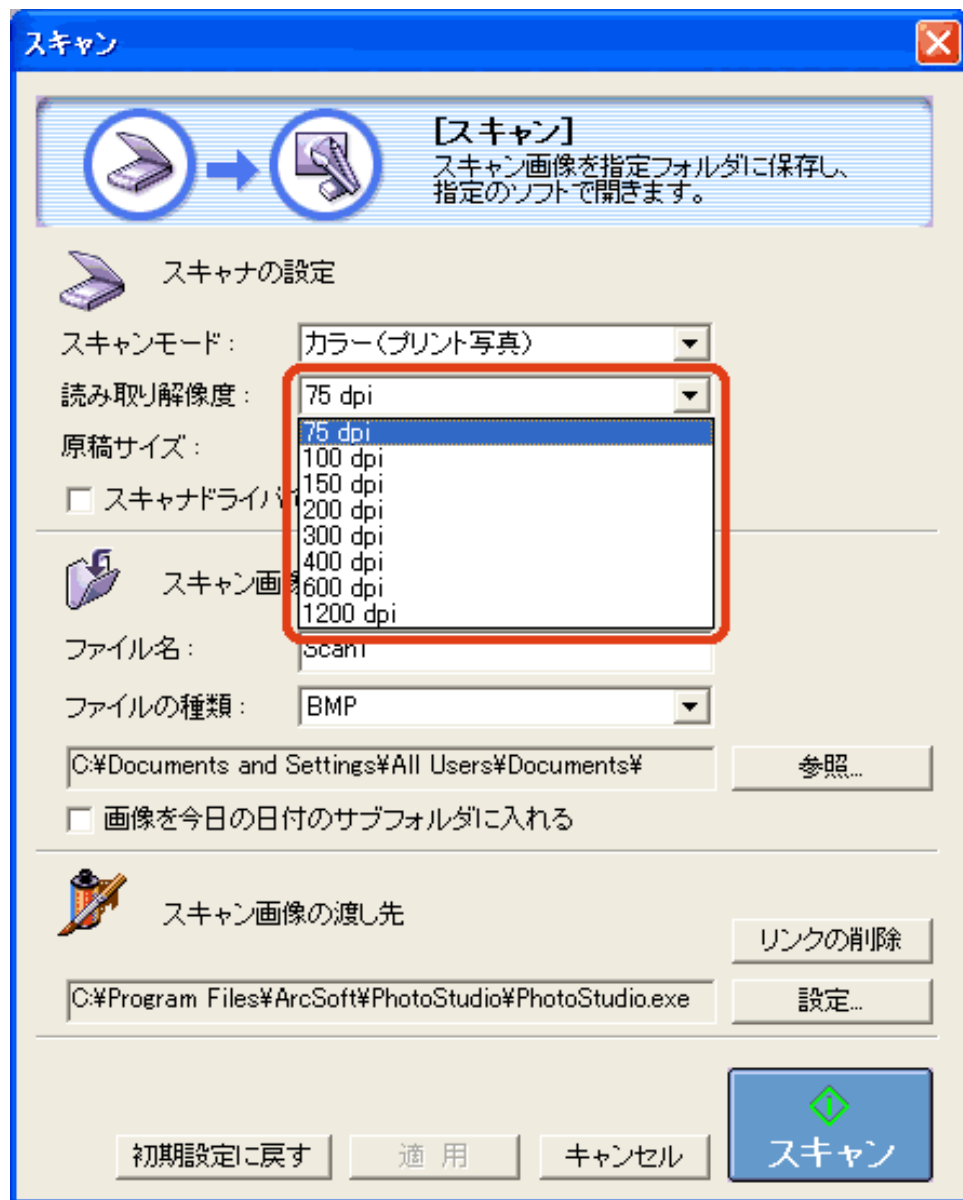
2 CanoScan Toolboxのボタンを押したときに表示される画面で、「スキャナドライバで詳細な設定を行う」にチェックマークを付けて［スキャン］ボタンをクリックします。

先頭へ戻る▲

もっとくっきりした画質でスキャンするには

ぼやけ気味の写真などをくっきりした画質にしたいときは、ScanGear CSの拡張モードで、輪郭強調（アンシャープマスク）をオンにしてスキャンします。

輪郭強調

解像度の決めかた

スキャナで読み取られた画像は、明るさや色の情報を持った点の集まりから成り立っています。この点の密度を「解像度」といい、画像のきめ細かさや粗さは、この解像度によって決まります。解像度の数字を大きくすると、きめ細かく、数字を小さくすると粗い画像になります。
スキャナで原稿をスキャンするときの解像度は、スキャンした画像を最終的に出力する機器（たとえばディスプレイやプリンタなど）の解像度に合わせるのが原則です。
解像度は、ScanGear CS、またはCanoScan Toolboxの各ボタンの画面で設定します。

ScanGear CS／拡張モード

CanoScan Toolbox／スキャン画面

・この画面はスキャン画面の例です。コピー画面、メール画面、OCR画面、保存画面、ファイル画面の場合も同じように「読み取り解像度」で設定します。

ディスプレイに表示するとき

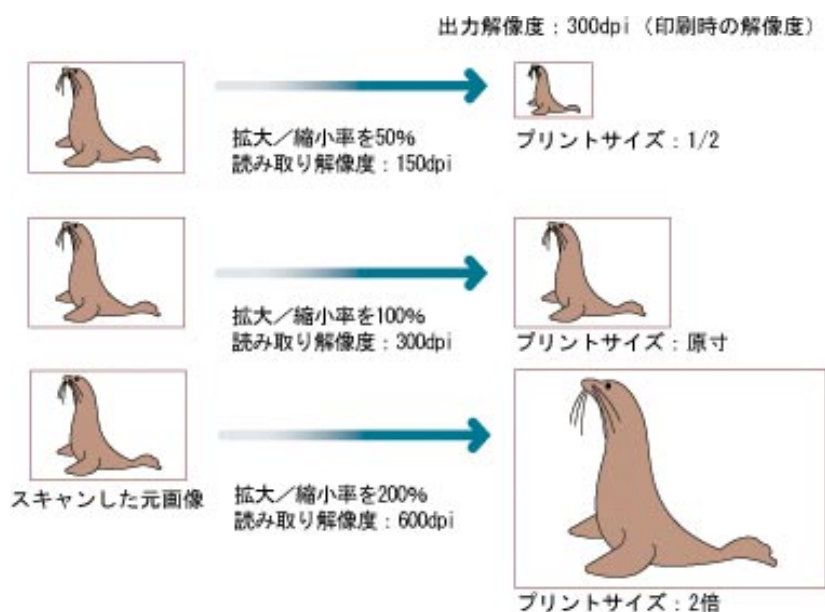
スキャンした画像を、ディスプレイに表示する場合には、一般的なディスプレイの解像度である［75dpi］を選択します。

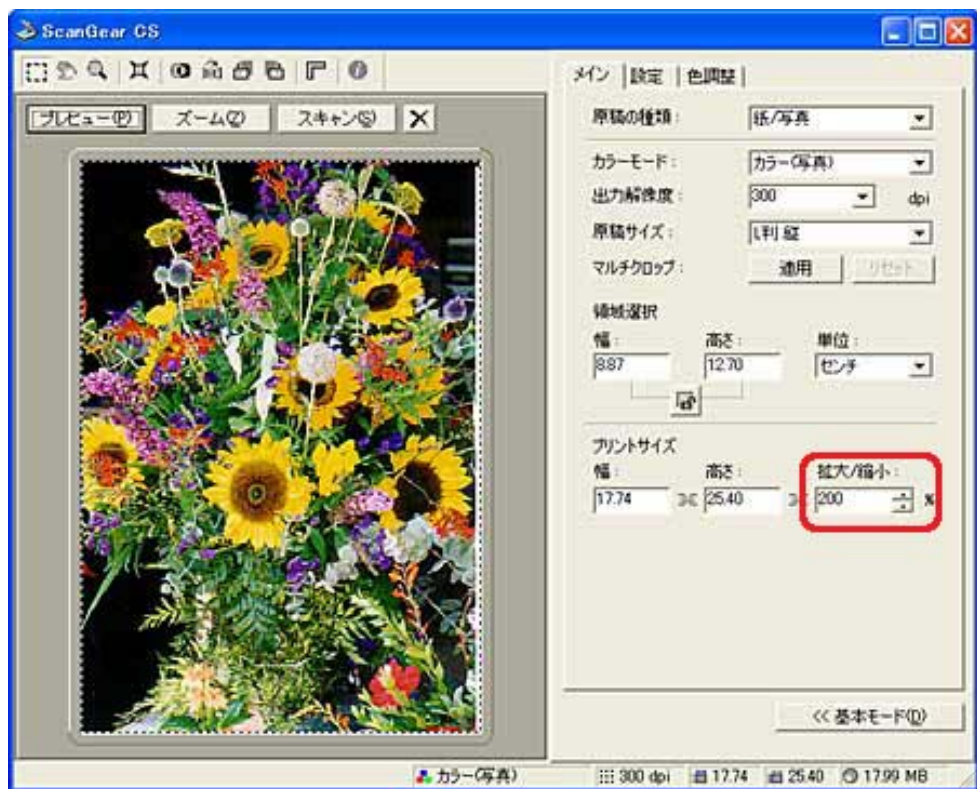
プリンタで印刷するとき

スキャンした画像をプリンタで印刷する場合、使用するプリンタの解像度に合わせて解像度を選択します。
たとえば、スキャンした画像を、600dpiのモノクロプリンタで印刷する場合には［600dpi］を選択します。カラープリンタの場合、色を何色かのインクのかけ合わせで表現するため、プリンタの解像度の半分ぐらいの解像度を選択すればよいでしょう。
たとえば、600dpiのカラープリンタの場合、［300dpi］を選択します。

拡大／縮小して印刷するとき

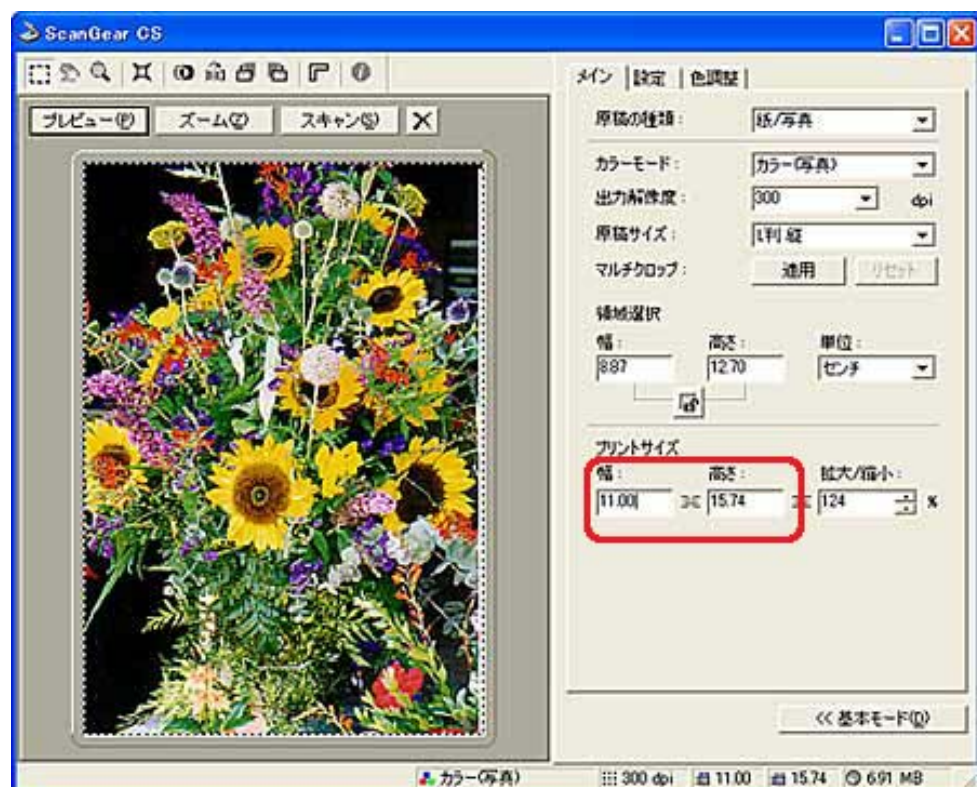
たとえば、300dpiでスキャンした画像を、アプリケーションソフトを使って縦横の長

さを2倍に拡大して印刷すると、実質上の解像度は、元の解像度の半分になってしまいます。元の画像の解像度が300dpiだとすると、拡大後の画像の解像度は150dpiになってしまいます。このまま、600dpiのカラープリンタで印刷すると、粗さが目だってしまう可能性があります。
たとえば、最初のスキャンの時点で［600dpi］を選択しておけば、2倍に拡大しても300dpiになり、印刷に十分な品質が維持できます。
このように、最初から「拡大して利用する」ということが分かっている場合には、スキャン時に解像度を高く設定しておきます。
逆に、アプリケーションソフトを使って縦横の長さを半分に縮小して印刷すると、実質上の解像度は、元の解像度の2倍になります。元の画像の解像度が300dpiだとすると、縮小後の画像の解像度は600dpiになります。600dpiのカラープリンタで印刷する場合、これは必要以上の解像度です。
最初のスキャンの時点で、［150dpi］を選択しておけば、半分に縮小して300dpiで、印刷に十分な品質です。このように、最初から「縮小して利用する」ということが分かっている場合には、スキャン時に解像度を低く設定しておいても大丈夫です。

・ScanGear CSでの設定方法

元の原稿を拡大／縮小して印刷する場合は、[拡張モード]の「プリントサイズ」で「拡大／縮小」に拡大率を設定します。
たとえば、元の原稿を縦横2倍の大きさで印刷する場合は、「拡大／縮小」に200%を設定します。逆に、1/2に縮小する場合は、「拡大／縮小」に50%を設定します。
スキャナは、ScanGear CSの「拡大／縮小」のパーセンテージに比例してスキャン時の解像度（読み取り解像度といいます）を変えてスキャンします。

「拡大／縮小」の数値を指定すると、その値に連動して「幅」と「高さ」が変わり、印刷したときのサイズを確認することができます。

・ 通常、「拡大／縮小」は100%になっています。このとき、元の原稿と印刷した原稿は同じサイズになります。

決まったプリントサイズで印刷するには

印刷するときのプリントサイズが決まっている場合は、「幅」または「高さ」に数値を入力します。

入力した数値に連動して「拡大／縮小」の数値が変わります。たとえば、幅10cm高

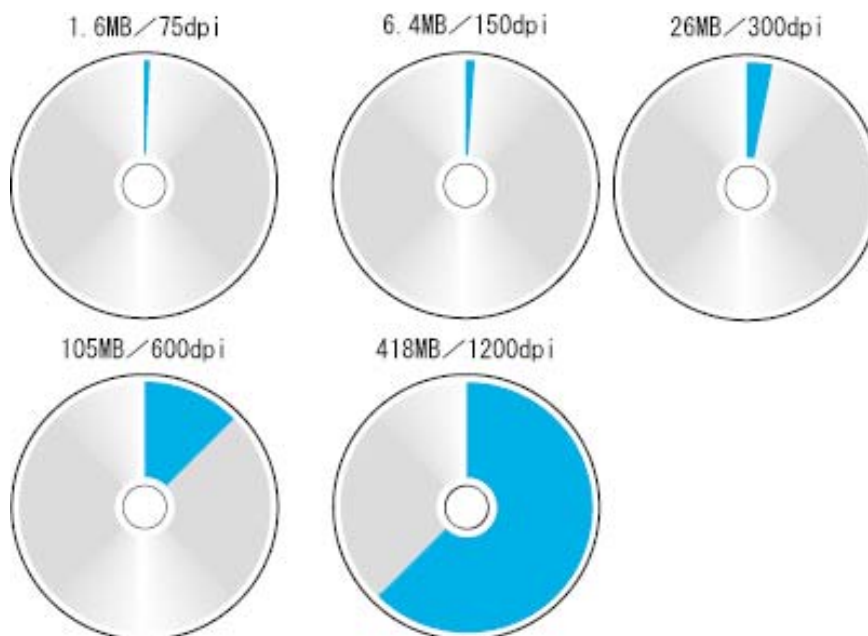
さ5cmの画像を、幅15cm高さ7.5cmで印刷する場合、「拡大／縮小」は150%に変わります。
スキャナは、この拡大／縮小率に比例して読み取り解像度を変えてスキャンします。

先頭へ戻る▲

解像度とデータ容量

解像度は、スキャンした画像の使用目的に合わせ、必要最小限に設定します。解像度を2倍にすると、データ容量は4倍になります。データ容量があまり増えると、処理速度が極端に遅くなったり、メモリが不足するなどの不都合が生じます。必要以上に解像度を高く設定することは避けてください。

【例】
A4サイズ（21×29.7cm）の原稿を、カラーモード［カラー（写真）］に設定してスキャンした場合、データ容量は解像度によって次のように変化します。

下の図は、データ容量をわかりやすくしたイメージ図です。
円は1枚のCD-ROM（640MB）を表現しています。

※ この値はあくまで目安であり、実際のデータ容量は画像によって異なります。

もっと上手にスキャンする

スキャン画像を好みの色合いに調整するには

もっとくっきりした画質でスキャンするには

解像度の決めかた

解像度とデータ容量

ブライトネスとコントラストの調整方法

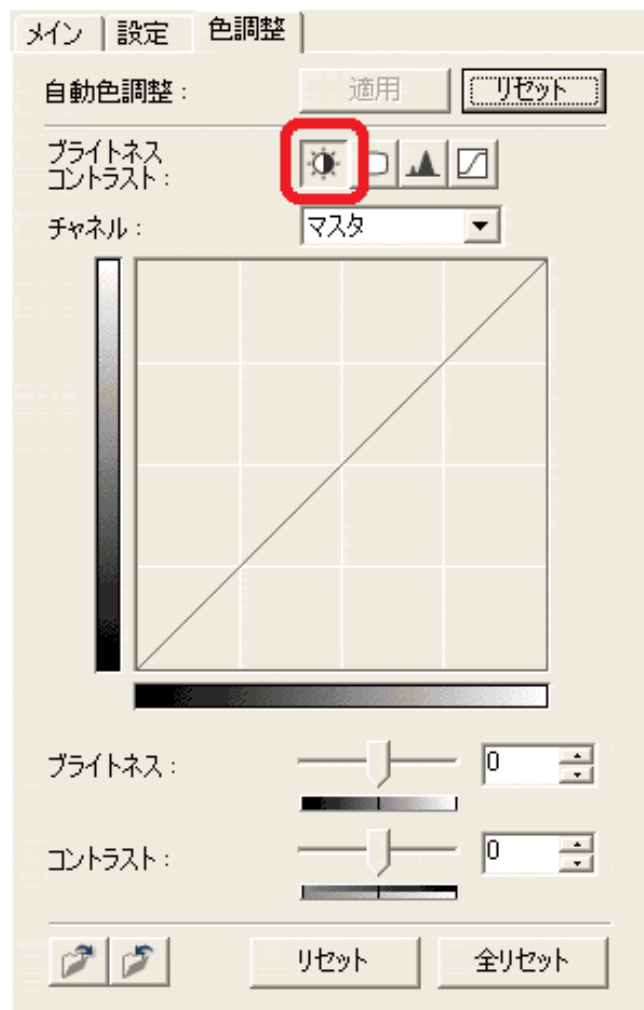
ガンマ値の設定方法

ヒストグラムの見かたと調整

トーンカーブの見かたと調整

スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）

ブライトネスとコントラストの調整方法

ScanGear CSの「拡張モード」で「ブライトネス／コントラスト」を選びます。

ブライトネスの調整

画像の明るさを調整します。
画像が全体的に暗かったり、明るすぎたりするときに調整すると効果的です（［チャネル］には［マスタ］を指定）。ただし、ブライトネスの値を大きくしすぎるとハイライト部分が飛んでしまい、ブライトネスの値を小さくしすぎるとシャドウ部分がつぶれてしまうことがあります。

ブライトネス=標準	ブライトネス＞標準	ブライトネス＜標準

コントラストの調整

コントラストとは、画像の明暗の差のことです。
コントラストの値を大きくすると、画像の明暗の差が大きくなり、暗い部分と明るい部分の違いがはっきりします。コントラストの値を小さくすると、画像の明暗の差が小さくなり、暗い部分と明るい部分の違いがぼんやりします。

コントラスト=標準　　コントラスト＞標準　　コントラスト＜標準

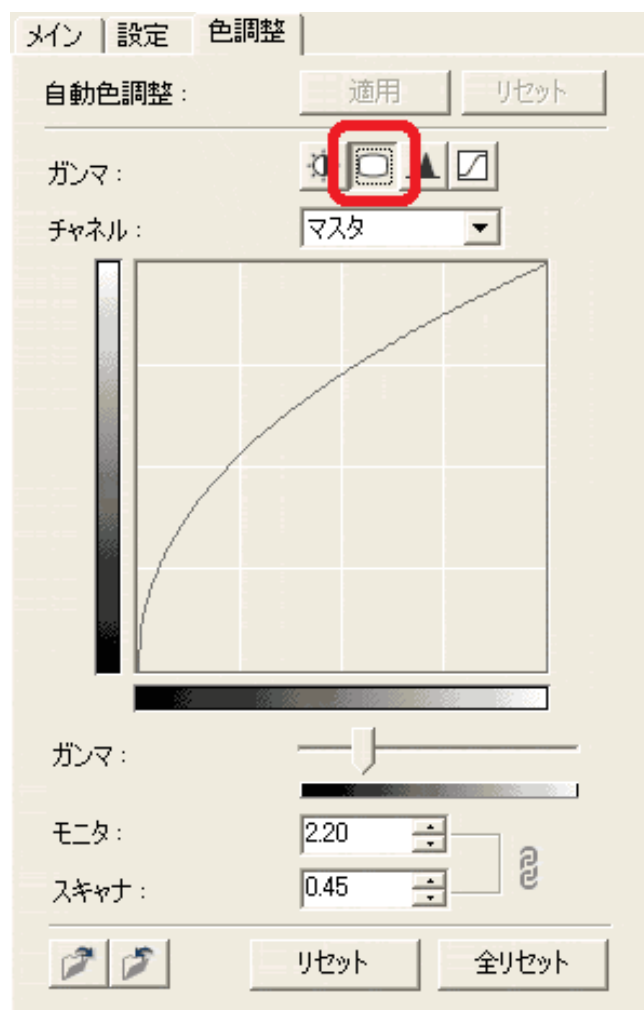
写真画像のピントがぼけているようなときにコントラストの値を大きくすると、画像にメリハリが出て効果的です。ただし、コントラストの値を大きくしすぎると、シャドウ部分がつぶれてしまったり、ハイライトの部分が飛んでしまったりします。

先頭へ戻る▲

もっと上手にスキャンする

- スキャン画像を好みの色合いに調整するには
- もっとくっきりした画質でスキャンするには
- 解像度の決めかた
- 解像度とデータ容量
- ブライトネスとコントラストの調整方法
- ガンマ値の設定方法
- ヒストグラムの見かたと調整
- トーンカーブの見かたと調整
- スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）

ガンマ値の設定方法

ScanGear CSの「拡張モード」の「色調整シート」の「ガンマ」 を選びます。

ガンマ補正の目的は、「元となる原稿の明るさとコンピュータのディスプレイ（モニタ）で見る画像の明るさを一致させる」ことです。
ディスプレイは色を再現するときの特性をそれぞれ持っており、その特性は「ガンマ値」で示されます。一般的なディスプレイのガンマ値は1.4 から2.2で、もともとの画像を多少暗めに再現します。これを避けて元の原稿に忠実な画像をディスプレイに再現するには、ガンマ値を補正する必要があります。
ScanGear CSでは、あらかじめ一般的なディスプレイのガンマ値（Windows：2.2、Macintosh：1.8）に合わせて設定されていますが、ガンマ値がScanGear CSの初期設定値でないディスプレイを使用する場合は、そのディスプレイのガンマ値をここで設定します。
ディスプレイのガンマ値を設定すると、次の計算式（ディスプレイのガンマ値の逆数）でスキャナのガンマ値が自動的に表示されます。

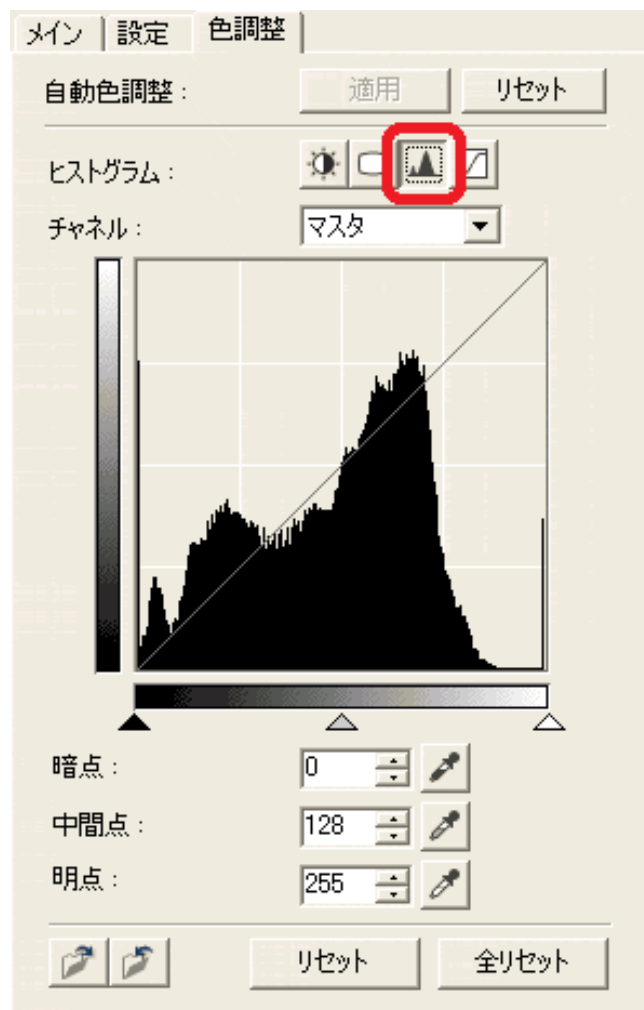
1/ディスプレイのガンマ値　=　スキャナのガンマ値
1/2.2 = 0.45
（ディスプレイのガンマ値が2.2の場合、スキャナのガンマ値は0.45）

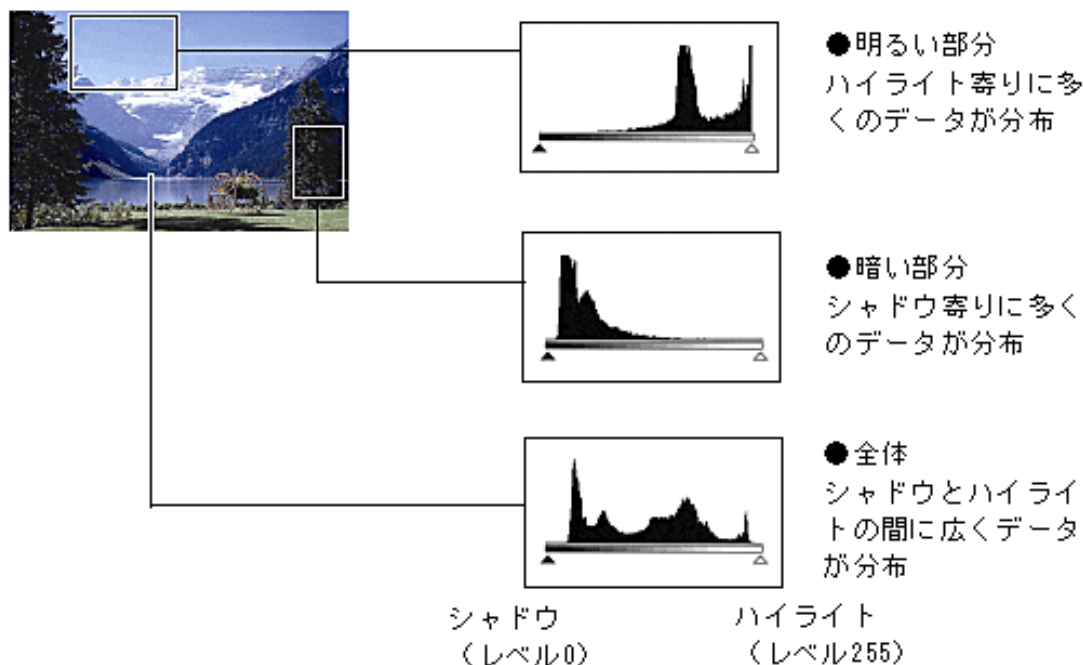
- ご使用のディスプレイのガンマ値については、ディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。記載されていない場合は、製造メーカーの相談窓口などにお問い合わせください。

先頭へ戻る▲

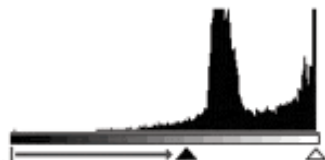
ヒストグラムの見かたと調整

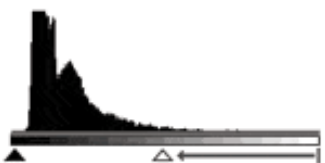
ヒストグラムは、画像の明るさの分布を示すグラフです。

ScanGear CSの「拡張モード」の「色調整シート」の「ヒストグラム」 を選びます。

ヒストグラムの見かた

指定した範囲のヒストグラムを見ることができます。ヒストグラムの山が高いほど、そのレベルにデータがたくさん分布しています。

ヒストグラムの調整

暗点スライダと明点スライダの位置を移動し、どのレベルをシャドウまたはハイライトにするかを調整します。暗点スライダより左にあるデータはすべてレベル0(黒)になり、明点スライダより右にあるデータはすべてレベル255(白)のデータになります。
初期設定では「自動色調整」がオンになっています。下図のような調整が自動的に行われます。

【例1】ハイライト寄りにデータがかたよっている画像

暗点スライダの位置をハイライト寄りに移動

【例2】シャドウ寄りにデータがかたよっている画像

明点スライダの位置をシャドウ寄りに移動

【例3】広くデータが分布している画像

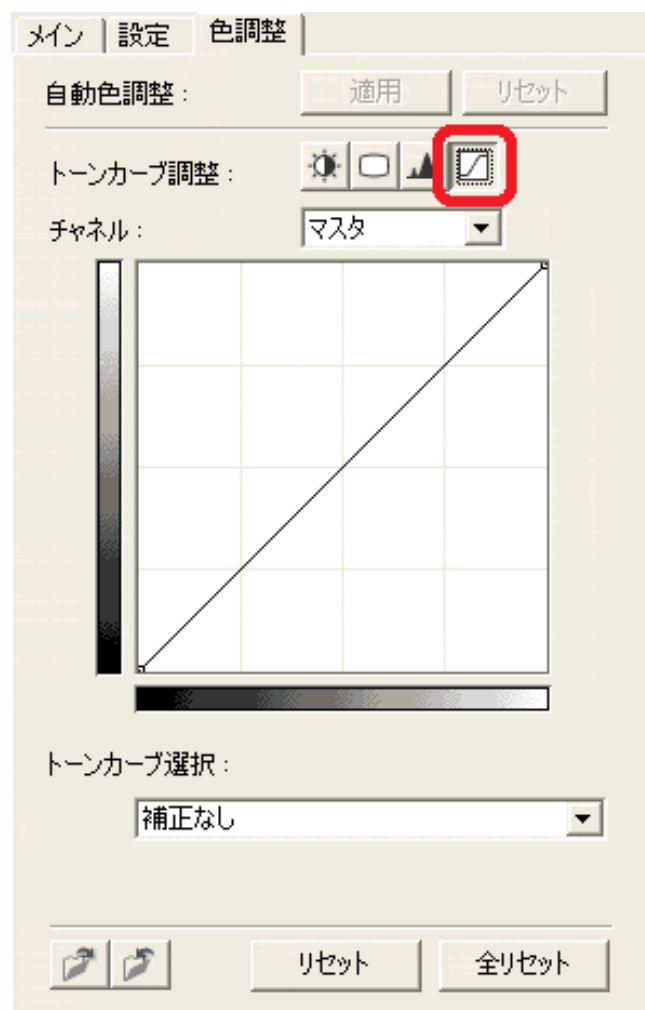
暗点スライダの位置をハイライト寄りに、明点スライダの位置をシャドウ寄りに移動

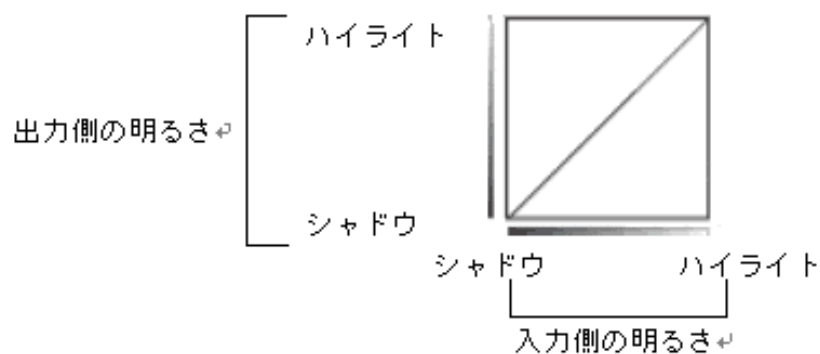
先頭へ戻る▲

もっと上手にスキャンする

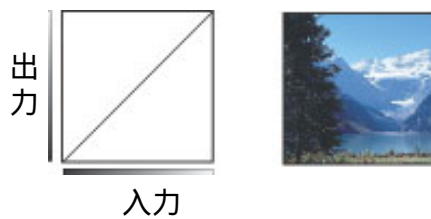
- スキャン画像を好みの色合いに調整するには
- もっとくっきりした画質でスキャンするには
- 解像度の決めかた
- 解像度とデータ容量
- ブライトネスとコントラストの調整方法
- ガンマ値の設定方法
- ヒストグラムの見かたと調整
- トーンカーブの見かたと調整
- スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）

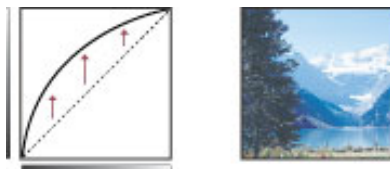
トーンカーブの見かたと調整

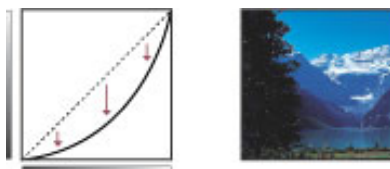
ScanGear CSの「拡張モード」の「色調整シート」の「トーンカーブ」 を選びます。

トーンカーブの見かた

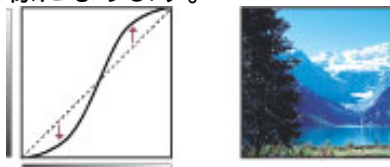
ScanGear CSでは、スキャナからの画像の読み取りが「入力」、ディスプレイへの表示が「出力」となります。この入力と出力の明暗のバランスを示したものがトーンカーブです。

トーンカーブの調整

トーンカーブの形によって、画像の色調は次のように調整されます。

未調整の状態

【例1】上膨らみの曲線の場合

入力側の中間調のデータが出力側のハイライトよりの形になるので、ディスプレイの表示は明るい感じの色調に調整されます。

【例2】下膨らみの曲線の場合

入力側の中間調のデータが出力側のシャドウよりの形になるので、ディスプレイの表示は暗い感じの色調に調整されます。

【例3】S 字形の曲線の場合

入力側のハイライトとシャドウが強調されるためコントラストが強調された画像になります。

先頭へ戻る▲

スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）

スキャンした画像を保存するとき、画像ファイルのファイル形式を選択することができます。スキャンした画像を何に使うのか、どのアプリケーションで扱うのかによってなど、条件に適したファイル形式を指定する必要があります。
アプリケーションや使用するコンピュータ（Windows、Macintosh）によっても、扱うことのできるファイル形式が異なります。
ここでは、各ファイル形式の特徴を紹介します。

BMPファイル

Windows の標準的なビットマップファイル形式です。
Windows のほとんどのアプリケーションソフトが、この形式に対応しています。Windows 上だけで画像ファイルを活用する場合には、よく用いる形式です。
一般に「.bmp 」という拡張子が使われます。
なお、Macintosh のToolbox の場合、このファイル形式は選択できません。

PICTファイル

Macintoshの標準的なグラフィックファイル形式です。
Macintoshのほとんどのアプリケーションソフトが、この形式に対応しています。Macintosh上だけで画像ファイルを活用する場合には、この形式にしておけば、まず間違いありません。
なお、WindowsのToolboxの場合、このファイル形式は選択できません。

JPEGファイル

ISOの団体「Joint Photographic Experts Group 」が提唱した画像フォーマットです。
WEB（ホームページ）上や、デジタルカメラの画像でよく使われるファイル形式です。
この形式は圧縮率が高いのが特徴です。もともとのデータサイズの1/10〜1/50 の圧縮が可能です。ただし、この形式の圧縮は非可逆圧縮と呼ばれる圧縮のため、圧縮時に一部のデータを消失します。これは最初の状態には戻らない、つまり「画像が少しだけ劣化する」ということです。このため、何度も「ファイルを開いて加工して保存」という作業を繰り返すと、だんだん劣化が目立つようになってきます。
一般に「.jpg 」という拡張子が使われます。
画像タイプが白黒のときには選択できません。

PNGファイル

PNG（Portable Network Graphics）形式は、WEB（ホームページ）上での利用を中心に広まりつつある画像フォーマットです。画像は圧縮された状態で保存されますが、可逆圧縮であるため、何度「ファイルを開いて加工して保存」という作業を繰り返しても画像の劣化はありません。
一般に「.png 」という拡張子が使われます。
画像タイプがカラー、グレースケールのときには選択できません。

TIFFファイル

「Tagged Image File Format」の略称です。さまざまなコンピュータ上、アプリケーション上で、比較的互換性の高いファイル形式です。ただし、ファイルの先頭にタグと呼ばれるデータを付加することでファイル形式を拡張できる特徴を持つため、場合によっては互換性のないデータも存在します。

一般に「.tif」という拡張子が使われます。

PDFファイル

「Portable Document format」の略称です。PostScript（ページ記述言語）を元にアドビシステムズ社が開発したファイル形式で、Acrobat Readerという閲覧用のソフトウェアを使用して、表示、印刷することができます。
Acrobat Readerは無償で配布され、さまざまなコンピュータやOSで使用することができるため、OSやフォントなどの使用環境の異なる人同士でも、違いを意識することなくPDF文書をやり取りできます。また、比較的データ容量も小さくなるため、ネットワーク環境での使用に適しています。

先頭へ戻る▲

困ったときには

Windows Macintosh

スキャナを使っていて動かない、エラーメッセージが表示されるなどのトラブルに対処する方法を紹介します。

Windows

症状２０：	いろいろ試してもスキャナが動かない

先頭へ戻る▲

Macintosh

▶ インストール時のトラブル	
症状　１：	キヤノスキャンセットアップCD-ROMをセットしてもメニュー画面が表示されない
症状　２：	インストールの途中で「ハードディスク容量不足」のメッセージが出てインストールできなくなった
症状　３：	「メモリ不足」のメッセージが出てインストールできない
▶ スキャナ接続時のトラブル	
症状　４：	Mac OS 9で「USB装置（デバイス）に必要なドライバが使用できません。インターネット経由でドライバをダウンロードしますか」と表示される
▶ スキャナ使用時のトラブル	
症状　５：	ScanGear CSがアプリケーションのソース選択画面に表示されない
症状　６：	「スキャナ本体にエラーが発生しました。」などのエラーメッセージが表示されてScanGear CSの画面が表示できない
症状　７：	プレビューしようとしたらスキャナから異音がしてエラーメッセージが表示され、プレビューできない
症状　８：	スキャンの途中でコンピュータが動かなくなった
症状　９：	スキャナのボタンが使えない
▶ きれいにスキャンできないトラブル	
症状１０：	スキャンした画像がきたない（ディスプレイに表示された画像）
症状１１：	スキャンした画像の周囲に余白ができる
症状１２：	「マルチスキャン」、「マルチクロップ」でうまくスキャンできない
▶ CanoScan Toolboxが使えない	
症状１３：	使用しているメールソフトが「Eメールソフトの選択」画面に表示されない
▶ アプリケーションソフトがうまく使えない	
症状１４：	スキャンした画像が大きく（小さく）印刷される
症状１５：	スキャンした画像が、コンピュータの画面で大きく（小さく）表示される
症状１６：	スキャンした画像が開けない
▶ スキャナが認識されないトラブル	
症状１７：	いろいろ試してもスキャナが動かない

Windows Macintosh　ScanGear CSメッセージ/エラーメッセージ一覧

先頭へ戻る▲

インストール時のトラブル

前頁へ戻る

症状 1： キヤノスキャンセットアップCD-ROMをセットしてもメニュー画面が表示されない

原因 1： CD-ROMが正しくセットされていない

対処 ： 「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」をセットし直してみてください。

原因 2： キヤノスキャンセットアップCD-ROMやCD-ROMドライブに、ごみやほこりがついてる。または、CD-ROMが手あかなどでよごれている

対処 1： CD-ROMのごみやほこりは、やわらかい布で軽くはたくか、かるくぬぐって取り除いてください。

対処 2： CD-ROMの手あかなどの汚れは、やわらかい布やめがねクリーナーなどで、CD-ROMに傷を付けないようにかるくぬぐって取り除いてください。

対処 3： ドライブのごみやほこりは、カメラレンズ用のブロアブラシなどで吹き飛ばして取り除いてください。

- 絶対にCD-ROMドライブのセンサー部を直接布で拭いたりしないでください。CD-ROMを読み取れなくなることがあります。

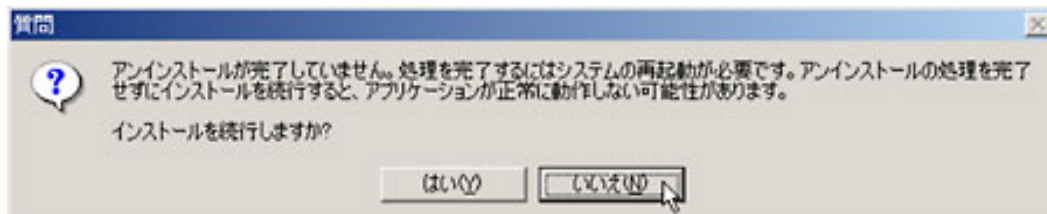
原因 3： CD-ROMの自動起動の設定がオフになっているか、何らかの理由で自動起動しない

対処 ： 以下の手順で「キヤノスキャンセットアップ」を直接起動してください。

1. 「スタート」メニューの「マイコンピュータ」をクリック（Windows XPの場合）、または、デスクトップの「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリック（Windows XP以外の場合）
2. 「Canoscan」（CD-ROMドライブ）アイコンをダブルクリック
3. 「Setup」アイコンをダブルクリック

- 「Canoscan」（CD-ROMドライブ）アイコンやCD-ROMアイコン、「Setup」アイコンが表示されない場合は、CD-ROMドライブが正常に動作していない可能性があります。コンピュータの製造元にお問い合わせください。
- 「Canoscan」（CD-ROMドライブ）アイコンをダブルクリックして開いても「Setup」アイコンが見あたらない場合は、キヤノスキャンセットアップCD-ROMが壊れている可能性があります。お客様相談センターまでお問い合わせください。

先頭へ戻る
前頁へ戻る

症状 2： Adobe Acrobat Readerのインストール時に、「アンインストールが完了していません。・・・」のメッセージが表示された

原因　：　古いバージョンのAdobe Acrobat Readerがハードディスク内に残っている

対処　：　以下の手順で古いバージョンのAdobe Acrobat Readerを削除してから、インストールします。

1. ［いいえ］をクリックしてインストールを中止します。
2. メインメニュー画面に戻り、「ソフトウェアの削除」の「アプリケーションソフトの削除」を選択して古いバージョンのAdobe Acrobat Readerを削除します。
3. メインメニュー画面に戻り、「ソフトウェアのインストール」を選び、メッセージにしたがってインストールします。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状 3：　インストールの途中で「ハードディスク容量不足」のメッセージが出てインストールできなくなった

原因　：　インストール先のハードディスクドライブが一杯になり、インストールができなくなった

対処　：　次の操作で十分なハードディスクの空き容量を確保した後、インストールをし直してください。

- ハードディスクドライブ（C:）内の不要なファイルやアプリケーションソフトを削除します。かならず「ごみ箱」を右クリックして、「ごみ箱を空にする」を実行します。
- 「スタート」メニューの「（すべての）プログラム」から「アクセサリ」の「システムツール」で「ディスククリーンアップ」を選択し、ハードディスクドライブ（C:）の不要なファイルを削除します。
- ハードディスクドライブ（C:）の「Windows」フォルダ（Windows 2000ではWinnt）内の「Temp」フォルダを開き、その中のファイルを削除します。
- Windows 2000/XPでは、ハードディスクドライブ（C:）の「Documents and Settings」フォルダ→「ログインユーザ名」フォルダを表示させ、［ツール］メニューの［フォルダオプション］→［表示］で「すべてのファイルとフォルダを表示する」をチェックし、［OK］をクリックします。その後、「Local Settings」フォルダ→「Temp」フォルダ内のファイルを削除します。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状 4：　「メモリ不足」のメッセージが出てインストールできない

原因	：	作業中のアプリケーションソフトなどでメモリを使用していて、インストールに必要なメモリ容量が確保できない
対処	：	開いているアプリケーションをすべて閉じるか、コンピュータを再起動して、その直後にインストールし直してみてください。

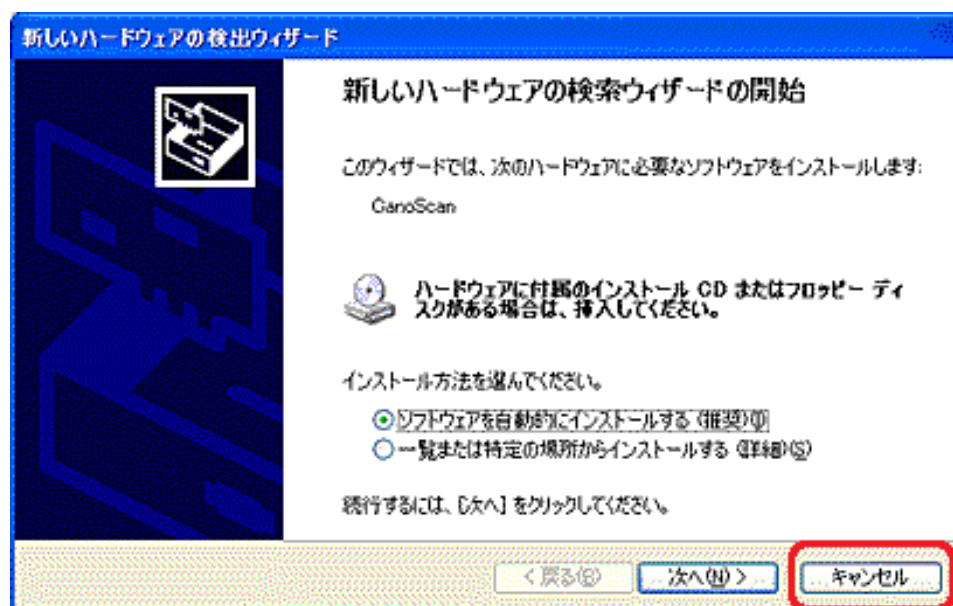
先頭へ戻る▲

前頁へ戻る

Windows スキャナ接続時のトラブル

前頁へ戻る

症状 5 ：「新しいハードウェアの検出ウィザード」または「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示された

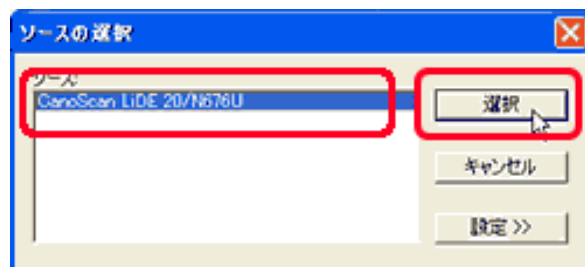
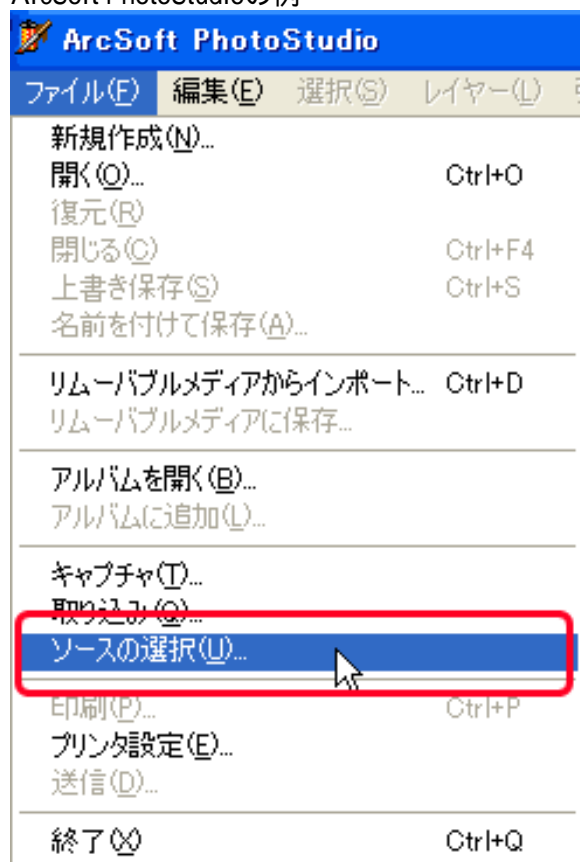
原因	：	「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」でソフトウェアをインストールせずにスキャナを接続した
対処	：	「新しいハードウェアの検出ウィザード」または「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面の［キャンセル］ボタンをクリックして終了し、「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」でソフトウェアのインストールをしてください。

Windows スキャナ使用時のトラブル

前頁へ戻る

症状 6： ScanGear CSがアプリケーションソフトから呼び出せない

原因	1：	スキャナドライバScanGear CSがインストールされていない
対処	：	再度「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」をセットし、ソフトウェアをインストールしてください。

原因	2：	アプリケーションソフトで本スキャナが選択されていない
対処	：	アプリケーションソフトの「ファイル」メニューの「ソースの選択」や「読み込み」などで本スキャナを選択してください。

ArcSoft PhotoStudioの例

先頭へ戻る
前頁へ戻る

症状 7： 「スキャナ本体にエラーが発生しました。」などのエラーメッセージが表示されてScanGear CSの画面が表示できない

原因　1：	USBケーブルの接続不良
対処　：	USBケーブルを接続し直してみてください。 かならず、スキャナに同梱されているケーブルをお使いください。

原因　2：	USBポートの接続位置がわるい
対処　：	コンピュータ本体前面のUSBポートに接続しているときは背面へ、コンピュータ本体背面に接続しているときは、コンピュータ本体背面の他のUSBポートに差し替えてみてください。

原因　3：	USBハブを使用している
対処　：	コンピュータ本体のUSBポートに直接差し込んでみてください。

- USBポートの数が不足してUSBハブが必要な場合は、500mAの電源を供給することの可能な自己電源型（コンセントから電源を取るタイプ）をご使用ください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状８：　プレビューしようとしたらスキャナから異音がしてエラーメッセージが表示され、プレビューできない

原因　：	スキャナのロックが解除されていない
対処　：	スキャナのロックを解除してプレビューし直してください。マニュアル「まず使えるようにしよう　スキャナ基本ガイド」を参照してください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状９：　スキャンの途中でコンピュータが動かなくなった

原因　1：	読み取り解像度の設定が高すぎる
対処　：	コンピュータを再起動し、読み取り解像度を下げてスキャンし直してください。

原因　2：	ハードディスクの空き容量が少ない
対処　：	コンピュータを再起動し、不要なファイルやアプリケーションソフトを削除してからスキャンし直してください。不要なファイルの削除方法は、症状３の対処をご参照ください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状１０：　スキャナのボタンが使えない

原因　1：	必要なソフトウェアがインストールされていない
対処　1：	キヤノスキャンセットアップCD-ROMを使用して、すべてのソフトウェアを再インストールしてください。

対処　２：	COPY（コピー）ボタンを使用するには、ご使用のプリンタのプリンタドライバをインストールします。プリンタが正常に動作するかチェックしてください。
対処　３：	E-MAIL（Eメール）ボタンを使用するには、Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messengerのいずれかかをインストールします。また、必要であればMAPI対応に設定します。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

症状１１：　スキャナのボタンを押すと別のアプリケーションが起動する

原因　：	Canoscan Toolboxでの設定が変更されている
対処　：	Canoscan Toolboxの設定を変えてください。 スキャナのボタンに連動しているソフトウェアはCanoscan Toolboxで管理しています。はじめてお使いになるときは、SCANボタンにはPhotoBase、COPYボタンにはプリンタで印刷、E-MAILボタンにはメールの機能が割り当てられていますが、Canoscan Toolboxの設定を変えると、別のソフトウェアをリンク(登録)させることができます。 スキャナのボタンの設定を変えたりお買い上げ時の設定に戻す場合は、Canoscan Toolboxの「設定」ボタンから行います。詳しい操作方法は、「Canoscan Toolboxのことが知りたい」のスキャナのボタンを使うをお読みください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

Windows きれいにスキャンできないトラブル

前頁へ戻る

症状１２：　スキャンした画像がきたない（ディスプレイに表示された画像）

原因　1：	スキャン解像度が低い
対処　：	画像が粗い場合は、スキャン解像度を上げてください。 くわしくは、「もっと上手にスキャンするには」の解像度の決めかたを参照してください。

原因　2：	アプリケーションソフトの仕様
対処　：	アプリケーションソフトによっては、画面表示が小さいと画像がきれいに表示されないものがあります。画面表示を等倍（100%）に設定してみてください。

原因　3：	モアレが発生しているため
対処　：	印刷物をスキャンしたとき縞模様が出る場合は、ScanGear CSの拡張モードで「モアレ低減」をオンにしてみてください。 設定方法は、「ScanGear CSのことが知りたい」の「拡張モードの機能」の設定シートの機能を参照してください。

原因　4：	ディスプレイの表示色数が低い
対処　：	ディスプレイの表示色を16ビット以上に設定してください。 [コントロールパネル]-[画面]-[設定]で画面のプロパティを表示してディスプレイの表示色を「中（16ビット）」または「High Color（16 ビット）」以上に設定してください。

原因　5：	原稿台ガラスや原稿台カバーが汚れている
対処　：	「インフォーメーションガイド」の「日常のお手入れ」の手順にしたがって、清掃してください。

原因　6：	キャリブレーションデータの更新が必要になった
対処　：	ScanGearCS「拡張モード」-「設定シート」で手動キャリブレーションをおこなってください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

症状１３：　スキャンした画像の周囲に余白ができる

原因　：	原稿より広くスキャン範囲を指定した
対処　１：	スキャンする範囲を指定してください。 ScanGear CSのオートクロップボタンをクリックすると、原稿サイズを自動的に範囲指定します。写真などで原稿の周囲に白い縁がある場合やトリミングしたい場合は、手動で範囲指定してください。手動の範囲指定の方法は、プレビューエリアをお読みください。
対処　２：	スキャナのボタンからスキャンするときは、Canoscan Toolboxの原稿サイズの設定を変えてください。 スキャナのボタンを押し、スキャン進行ダイアログが表示されているときに［キャンセル］ボタンを押します。Canoscan Toolbox の設定ダイアログが表示されますので、[原稿サイズ]を選択し直します。規定サイズ以外の原稿の場合は、［カスタム］を選択し縦横のサイズを指定します。その後、［スキャン］ボタンをクリックし、スキャンします。 詳細は、原稿サイズをお読みください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

症状１４：　「マルチスキャン」、「マルチクロップ」でうまくスキャンできない

原因　１：	写真を置く位置がサポート外の場所である

対処　：　スキャナの原稿台に写真を置く位置を確認してください。
「マルチスキャン」、「マルチクロップ」を行うときは、次のことにご注意ください。

- 原稿台の奥から2cm 以上離して置く
- 原稿台の左右と手前から1cm 以上離して置く
- 写真と写真の間は、1cm 以上離して置く
- 上記の方法で原稿台に置ける写真は10 枚まで
- 写真をまっすぐに置く（傾きは10 度以内）

マルチスキャンについての詳細は、こちらをお読みください。
マルチクロップについての詳細は、こちらをお読みください。

原因　2：　アプリケーションソフトの仕様

対処　：　アプリケーションソフトによっては、複数の画像を連続して受け取れないものがあります。
1枚ずつスキャンしてください。

原因　3：　原稿台ガラスや原稿台カバーが汚れている

対処　：　「インフォメーションガイド」の「日常のお手入れ」の手順にしたがって、清掃してください。

先頭へ戻る▲

前頁へ戻る

Canoscan Toolboxが使えない

前頁へ戻る

症状１５：　使用しているメールソフトが「Eメールソフトの選択」画面に表示されない

原因	：	そのメールソフトが、Canoscan Toolboxで標準的には使用できないソフトである
対処	：	送信メールに画像ファイルを自動で添付する機能は、以下のメールソフトのみに対応しています。メールソフトによっては、「MAPI」設定を有効にする必要があります。 ・EUDORA ・Outlook Express ・Microsoft Outlook ・Netscape Messenger 上記以外のメールソフトをお使いの場合、「Eメールソフトの選択」画面で「なし(手動で添付)」を選択し、画像ファイルを送信メールに手動で添付してください。

先頭へ戻る▲

前頁へ戻る

Windows アプリケーションソフトがうまく使えない

前頁へ戻る

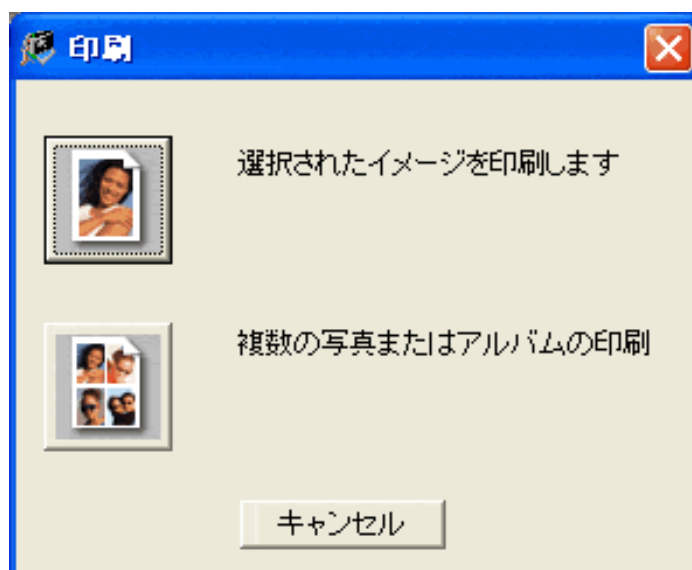
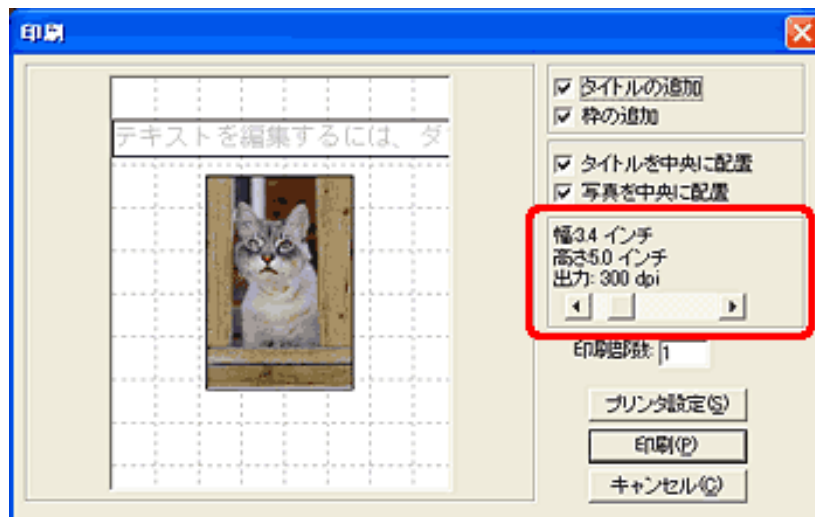
症状１６：　スキャンした画像が大きく（小さく）印刷される

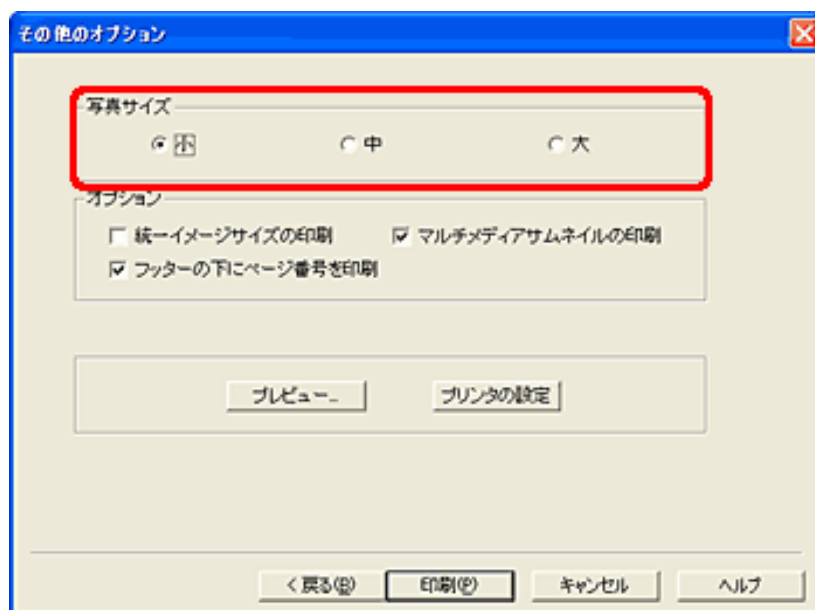
対処　：　アプリケーションソフトで印刷する大きさを設定してください。

■ArcSoft PhotoStudioの場合

1. 印刷したい画像を選択した状態で、[ファイル]-[印刷]を選択します。
2. [印刷]のダイアログで、印刷サイズのスライダを左右に動かして、印刷サイズを調整します。左側のプレビュー表示が連動して拡大／縮小します。

■ArcSoft PhotoBaseの場合

・写真の場合
1. 印刷したい写真を選択した状態で、[アルバム]-[印刷]を選択します。
2. [印刷]のダイアログで、「選択されたイメージを印刷します」を選びます。

3. 次に表示される[印刷]のダイアログで、印刷サイズのスライダを左右に動かして、印刷サイズを調整します。左側のプレビュー表示が連動して拡大／縮小します。

- アルバムの場合

1. 印刷したいアルバムを表示した状態で、[アルバム]-[印刷]を選択します。
2. [印刷]のダイアログで、「複数の写真またはアルバムの印刷」を選びます。
3. いくつかの設定ダイアログで[次へ]をクリックし、[その他のオプション]のダイアログで、[写真サイズ]を[大]、[中]、[小]から選択します。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状１７：　スキャンした画像が、コンピュータの画面で大きく（小さく）表示される

対処　１：　アプリケーションソフトで、画像表示を拡大（縮小）編集してください。ただし、「ペイント」、「Imaging」で画像を開くと、大きく表示されるときがあり、縮小できません。この場合は、付属のアプリケーションソフトで開いてください。
詳しい操作方法については、各アプリケーションソフトの電子マニュアルをご参照ください。ご不明な点は、各アプリケーションソフトの製造元へお問い合わせください。

対処　２：　スキャナドライバで、解像度を変更してスキャンし直してみてください。解像度が高いと大きく表示され、低いと小さく表示されます。
詳しい設定方法については、この電子マニュアルの「もっと上手にスキャンするには」の解像度の決めかたをご覧ください。

対処　３：　アプリケーションソフトによっては、画面表示が小さいと画像がきれいに表示されないものがあります。画面表示を等倍（100%）に設定してみてください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

症状１８：　スキャンした画像が開けない

対処　　：　ファイルの拡張子が、アプリケーションソフトに対応していません。ArcSoft PhotoStudioなどのアプリケーションソフトで再スキャンし、拡張子を変更して保存し直してください。
詳しい操作方法については、各アプリケーションソフトの電子マニュアルをご参照ください。ご不明な点は、各アプリケーションソフトの製造元へお問い合わせください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

Windows XPへのアップグレードでのトラブル

前頁へ戻る

症状１９：　これまで使っていたWindowsをWindows XPにアップグレードしたらスキャナが動かなくなった

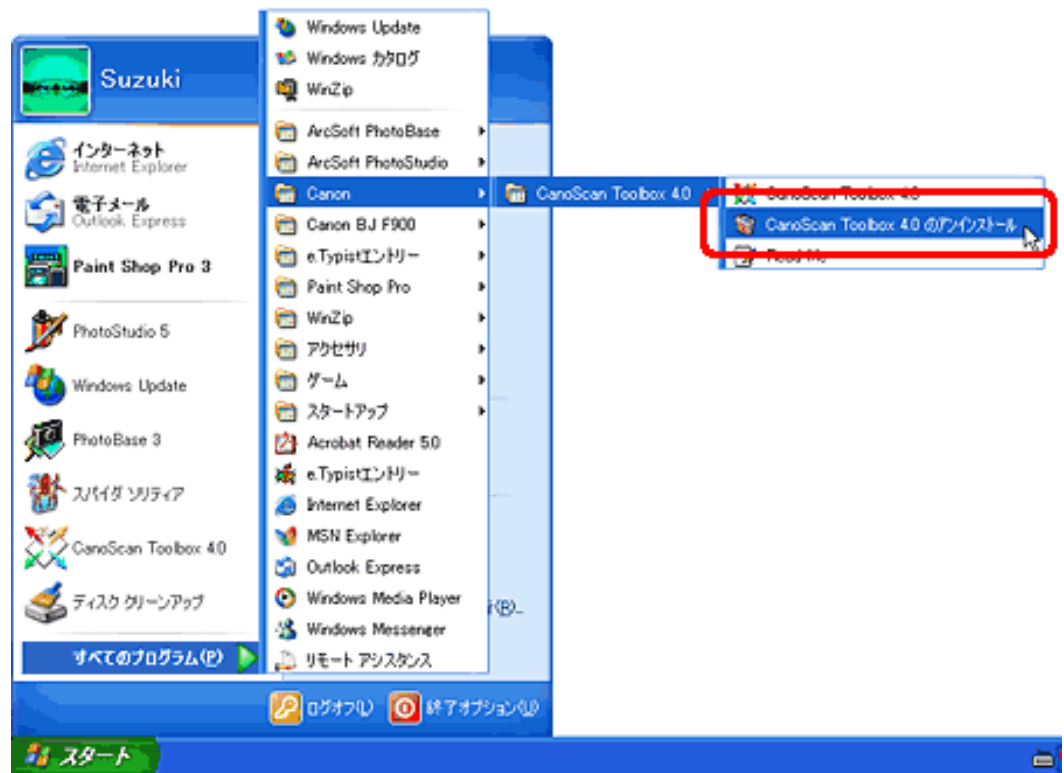
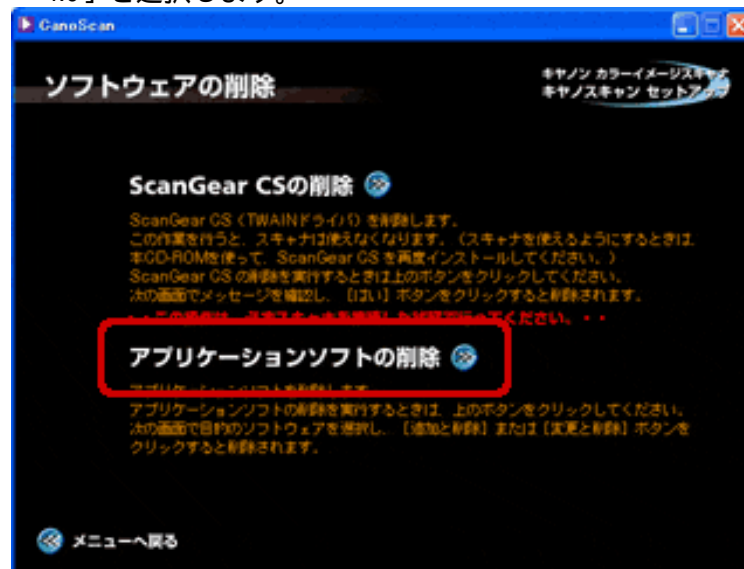
原因	：	スキャナのドライバがインストールしてある場所がこれまでのWindows 98/Me/2000とWindows XPとでは異なる
対処	：	ScanGear CSとCanoScan Toolboxをいったんアンインストール（削除）してから、もういちどインストールします。

[手順　ScanGear CSの削除]

「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」のメインメニュー画面で、「ソフトウェアの削除」から「ScanGear CSの削除」を選び、Scan Gear CSを削除します。

[手順　CanoScan Toolboxの削除]

次のどちらかの方法で削除します。

・スタートボタンからの削除
　［スタート］-［（すべての）プログラム］-［Canon］-［CanoScan Toolbox 4.0］から［CanoScan Toolbox 4.0のアンインストール］を選びます。

・セットアップCD-ROMからの削除
「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」のメインメニュー画面から「ソフトウェアの削除」-「アプリケーションソフトの削除」を選び、「CanoScan Toolbox 4.0」を選択します。

[手順　ScanGear CS、CanoScan Toolboxの再インストール]

「まず使えるようにしよう-スキャナ基本ガイド」のP.4～5の手順でソフトウェアを再インストールしてください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

Windows スキャナが認識されないトラブル

前頁へ戻る

症状２０ ： いろいろ試してもスキャナが動かない

原因 ：	スキャナがコンピュータから認識されていない可能性がある
対処 1：	コンピュータを再起動してみてください。 これだけでスキャナが認識され、動作するようになることがあります。
対処 2：	スキャナが認識されているかどうかを確認して、対処します。以下の手順をおこなってください。

[手順A　確認]

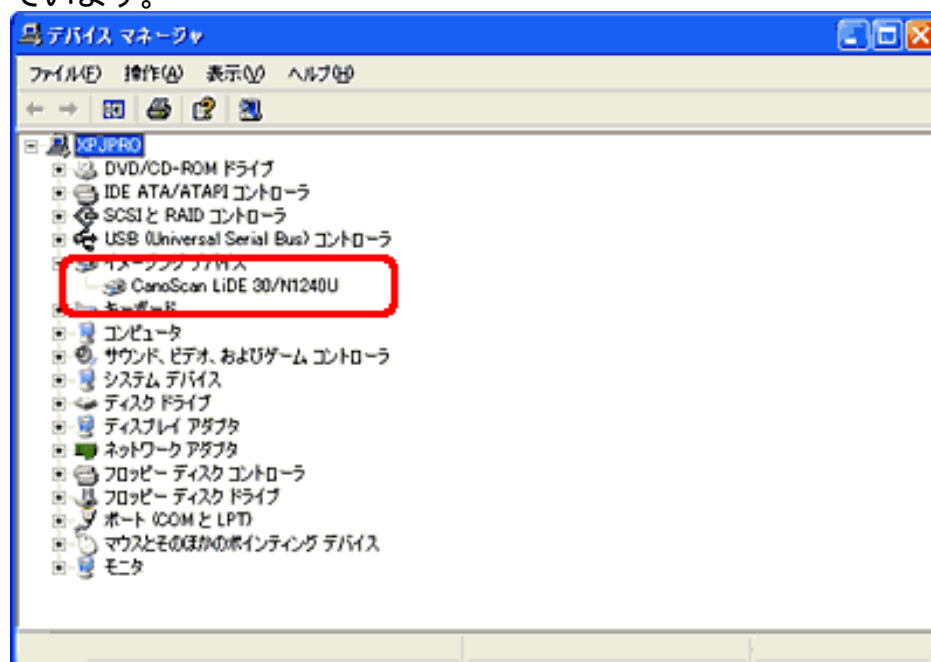
・Windows XPの場合

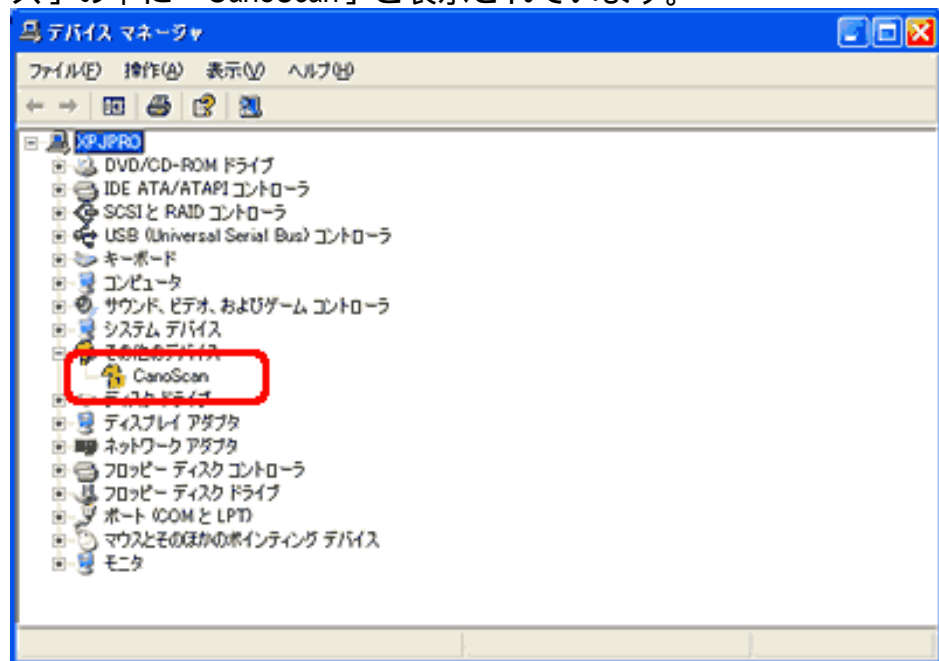
1. 「スタート」メニューで「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
2. 「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」ボタンを選択します。

・Windows 98/Me/2000の場合

1. 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、プルダウンメニューから「プロパティ」を選択します。
2. 「デバイスマネージャ」タブ（Windows 98/Meの場合）/「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」ボタン（Windows 2000の場合）を選択します。

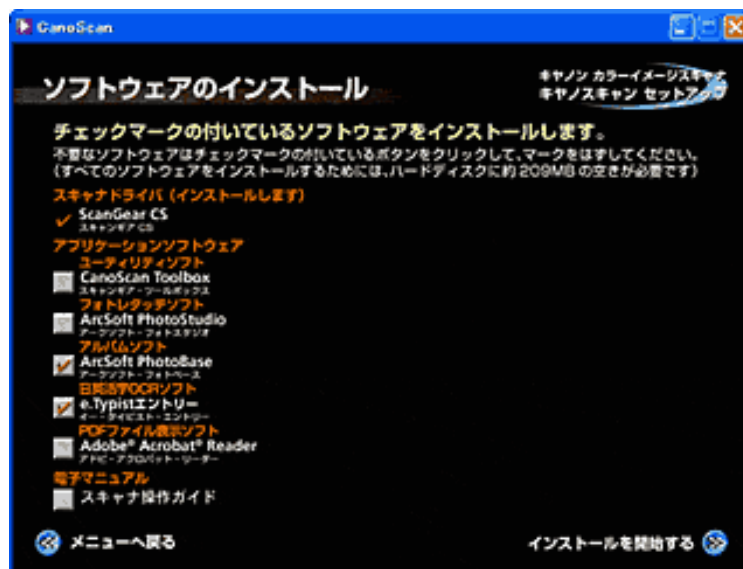
● スキャナが認識されているとき

「イメージングデバイス」の下に、お使いのスキャナの機種名が表示されています。

● スキャナが認識されていないとき

お使いのスキャナの機種名が表示されません。または、「その他のデバイス」の下に「CanoScan」と表示されています。

[手順B　ScanGear CSの削除]

「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」のメインメニュー画面で、「ソフトウェアの削除」から「ScanGear CSの削除」を選び、ScanGear CSを削除します。

[手順C　ScanGear CSの再インストール]

ScanGear CSをもういちどインストールして、コンピュータを再起動します。

※インストール済みのアプリケーションは、左側のチェックをはずしておきます。

先頭へ戻る▲

前頁へ戻る

Macintosh インストール時のトラブル

前頁へ戻る

症状 1： キヤノスキャンセットアップCD-ROMをセットしてもメニュー画面が表示されない

原因 1： CD-ROMが正しくセットされていない

対処 ： 「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」をセットし直してみてください。

原因 2： キヤノスキャンセットアップCD-ROMやCD-ROMドライブに、ごみやほこりがついてる。または、CD-ROMが手あかなどでよごれている

対処 1： CD-ROMのごみやほこりは、やわらかい布で軽くはたくか、かるくぬぐって取り除いてください。

対処 2： CD-ROMの手あかなどの汚れは、やわらかい布やめがねクリーナーなどで、CD-ROMに傷を付けないようにかるくぬぐって取り除いてください。

対処 3： ドライブのごみやほこりは、カメラレンズ用のブロアブラシなどで吹き飛ばして取り除いてください。

- 絶対にCD-ROMドライブのセンサー部を直接布で拭いたりしないでください。CD-ROMを読み取れなくなることがあります。

原因 3： CD-ROMの自動起動の設定がオフになっているか、何らかの理由で自動起動しない

対処 ： 以下の手順で「キヤノスキャンセットアップ」を直接起動してください。

1. デスクトップのCD-ROMアイコンをダブルクリック
2. 「Setup」アイコンをダブルクリック

※ Mac OS Xをお使いの場合は、かならずこの操作を行なってください。

- 「CanoScan」（CD-ROMドライブ）アイコンやCD-ROMアイコン、「Setup」アイコンが表示されない場合は、CD-ROMドライブが正常に動作していない可能性があります。コンピュータの製造元にお問い合わせください。
- 「CanoScan」（CD-ROMドライブ）アイコンをダブルクリックして開いても「Setup」アイコンが見あたらない場合は、キヤノスキャンセットアップCD-ROMが壊れている可能性があります。お客様相談センターまでお問い合わせください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

症状 2： インストールの途中で「ハードディスク容量不足」のメッセージが出てインストールできなくなった

原因 ： インストール先のハードディスクドライブが一杯になった

対処　：　次の操作で十分なハードディスクの空き容量を確保した後、インストールをし直してください。
その後、かならず「特別」メニューから「ゴミ箱を空にする」を選択します。

- MacOS 9.Xの場合、ハードディスク（Macintosh HD）内の不要なファイルやアプリケーションソフトをゴミ箱へ入れて消去します。
- MacOS Xの場合、不要なファイルを選択し、「ファイル」メニューから「ゴミ箱に入れる」を選択し、[Finder]メニューから[ゴミ箱を空にする]を選択します。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

症状 ３：　「メモリ不足」のメッセージが出てインストールできない

原因　：　作業中のアプリケーションソフトなどでメモリを使用していて、インストールに必要なメモリ容量が確保できない

対処　：　開いているアプリケーションをすべて閉じるか、コンピュータを再起動した後にインストールし直してみてください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

Macintosh スキャナ接続時のトラブル

前頁へ戻る

症状４：　スキャナを接続すると、「装置が動作するために必要なソフトウェアがない」または「USB装置（デバイス）に必要なドライバが使用できません。インターネット経由でドライバを探しますか？」と表示される

原因	：	「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」でソフトウェアをインストールせずにスキャナを接続した
対処	：	［キャンセル］ボタンでメッセージを消し、「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」をセットしてソフトウェアをインストールしてください。

先頭へ戻る▲

前頁へ戻る

Macintosh スキャナ使用時のトラブル

前頁へ戻る

症状 5：　ScanGear CSがアプリケーションのソース選択画面に表示されない

原因 1	：	「ScanGear CS」のインストール先として、アプリケーションソフトのプラグインフォルダを指定しなかった
対処	：	「ScanGear CS」だけを再インストールしてください。インストール先を指定するウインドウで、PhotoStudio、PhotoBase、e.Typistエントリー、CanoScan Toolboxなどのプラグイン対応のアプリケーションソフトが表示されていることを確認して、インストールし直してください。 このウィンドウで、もしそのアプリケーションが表示されていないときは、「インストール先を追加」でアプリケーションを表示させ、インストールを実行してください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

症状 6：　「スキャナ本体にエラーが発生しました。」などのエラーメッセージが表示されてScanGear CSの画面が表示できない

原因 1	：	USBケーブルの接続不良
対処	：	USBケーブルを接続し直してみてください。 かならず、スキャナに同梱されているケーブルをお使いください。

原因 2	：	USBポートの接続位置がわるい
対処	：	コンピュータ本体前面のUSBポートに接続しているときは背面へ、コンピュータ本体背面に接続しているときは、コンピュータ本体背面の他のUSBポートに差し替えてみてください。

原因 3	：	USBハブを使用している
対処	：	コンピュータ本体のUSBポートに直接差し込んでみてください。

- USBポートの数が不足してUSBハブが必要な場合は、500mAの電源を供給することの可能な自己電源型（コンセントから電源を取るタイプ）をご使用ください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

症状 7：　プレビューしようとしたらスキャナから異音がしてエラーメッセージが表示され、プレビューできない

原因	：	スキャナのロックが解除されていない
対処	：	スキャナのロックを解除してプレビューし直してください。マニュアル「まず使えるようにしよう-スキャナ基本ガイド」を参照してください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

症状 8：　スキャンの途中でコンピュータが動かなくなった

原因　1：		読み取り解像度の設定が高すぎる
対処　　：		コンピュータを再起動し、読み取り解像度を下げてスキャンし直してください。

原因　2：		ハードディスクの空き容量が少ない
対処　　：		コンピュータを再起動し、不要なファイルやアプリケーションソフトを削除してからスキャンし直してください。不要なファイルの削除方法は、症状2の対処をご参照ください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

症状 9：　スキャナのボタンが使えない

原因　　：	必要なソフトウェアがインストールされていない
対処　1：	キヤノスキャンセットアップCD-ROMを使用して、すべてのソフトウェアをインストールしてください。
対処　2：	COPY（コピー）ボタンを使用するには、ご使用のプリンタのプリンタドライバをインストールします。プリンタが正常に動作するかチェックしてください。
対処　3：	E-MAIL（Eメール）ボタンを使用するには、Outlook Express、EUDORAのいずれかをインストールします。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

Macintosh きれいにスキャンできないトラブル

前頁へ戻る

症状１０：　スキャンした画像がきたない（ディスプレイに表示された画像）

原因　１：　スキャン解像度が低い

対処　　：　画像が粗い場合は、スキャン解像度を上げてください。
設定方法は、「まず使えるようにしよう スキャナ基本ガイド」または電子マニュアルの「もっと上手にスキャンするには」の解像度の決めかたを参照してください。

原因　２：　アプリケーションソフトの仕様

対処　　：　アプリケーションソフトによっては、画面表示が小さいと画像がきれいに表示されないものがあります。画面表示を等倍（100%）に設定してみてください。

原因　３：　モアレが発生しているため

対処　　：　印刷物をスキャンしたとき縞模様が出る場合は、ScanGear CSの拡張モードで「モアレ低減」をオンにしてみてください。
設定方法は、「まず使えるようにしよう スキャナ基本ガイド」またはこの電子マニュアルの「ScanGear CSのことが知りたい」の「拡張モードの機能」の設定シートの機能を参照してください。

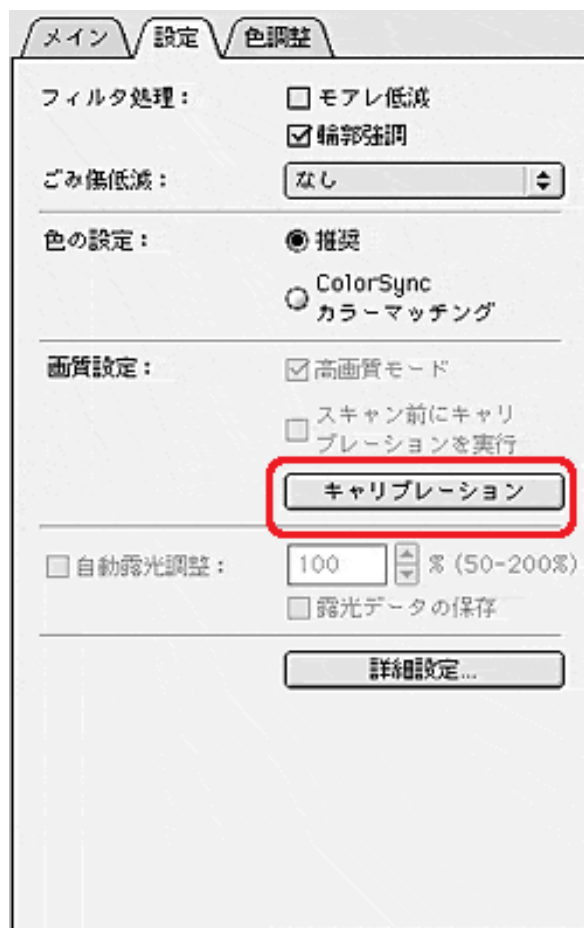
原因　４：　ディスプレイの表示色数が低い

対処　　：　ディスプレイの表示色を「約32000」以上に設定してください。
「コントロールパネル」の「モニタ」で、ディスプレイの「カラー階調」を「約32000」以上に設定してください。

原因　５：　原稿台ガラスや原稿台カバーが汚れている

対処　　：　「インフォメーションガイド」の「日常のお手入れ」の手順にしたがって、清掃してください。

原因　６：　キャリブレーションデータの更新が必要になった

対処　　：　ScanGear CSの「拡張モード」-「設定シート」で手動キャリブレーションをおこなってください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状１１：　スキャンした画像の周囲に余白ができる

原因　：	原稿より広くスキャン範囲を指定した
対処　１：	スキャンする範囲を指定してください。 ScanGear CSのオートクロップボタンをクリックすると、原稿サイズを自動的に範囲指定します。写真などで原稿の周囲に白い縁がある場合やトリミングしたい場合は、手動で範囲指定してください。手動の範囲指定の方法は、プレビューエリアをお読みください。
対処　２：	スキャナのボタンからスキャンするときは、CanoScan Toolboxの原稿サイズの設定を変えてください。 スキャナのボタンを押し、スキャン進行ダイアログが表示されているときに［キャンセル］ボタンを押します。CanoScan Toolbox の設定ダイアログが表示されますので、[原稿サイズ]を選択し直します。規定サイズ以外の原稿の場合は、［カスタム］を選択し縦横のサイズを指定します。その後、［スキャン］ボタンをクリックし、スキャンします。 詳細は、原稿サイズをお読みください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状１２：　「マルチスキャン」、「マルチクロップ」でうまくスキャンできない

原因　１：	写真を置く位置がサポート外の場所である
対処　　：	スキャナの原稿台に写真を置く位置を確認してください。 「マルチスキャン」、「マルチクロップ」を行うときは、次のことにご注意ください。 ・原稿台の奥から2cm 以上離して置く ・原稿台の左右と手前から1cm 以上離して置く ・写真と写真の間は、1cm 以上離して置く ・上記の方法で原稿台に置ける写真は10 枚まで ・写真をまっすぐに置く（傾きは10 度以内） マルチスキャンについての詳細は、こちらをお読みください。 マルチクロップについての詳細は、こちらをお読みください。
原因　２：	アプリケーションソフトの仕様
対処　　：	アプリケーションソフトによっては、複数の画像を連続して受け取れないものがあります。 1枚ずつスキャンしてください。
原因　３：	原稿台ガラスや原稿台カバーが汚れている
対処　　：	「インフォメーションガイド」の「日常のお手入れ」の手順にしたがって、清掃してください。

先頭へ戻る▲

前頁へ戻る

Macintosh CanoScan Toolboxが使えない

前頁へ戻る

症状１３：　使用しているメールソフトが「Eメールソフトの選択」画面に表示されない

原因	：	そのメールソフトが、CanoScan Toolboxで標準的には使用できないソフトである
対処	：	送信メールに画像ファイルを自動で添付する機能は、以下のメールソフトのみに対応しています。

- EUDORA
- Outlook Express

上記以外のメールソフトをお使いの場合、「Eメールソフトの選択」画面で「なし(手動で添付)」を選択し、画像ファイルを送信メールに手動で添付してください。

Macintosh アプリケーションソフトがうまく使えない

前頁へ戻る

症状１４： スキャンした画像が大きく（小さく）印刷される

対処 ： アプリケーションソフトで印刷する大きさを設定してください。

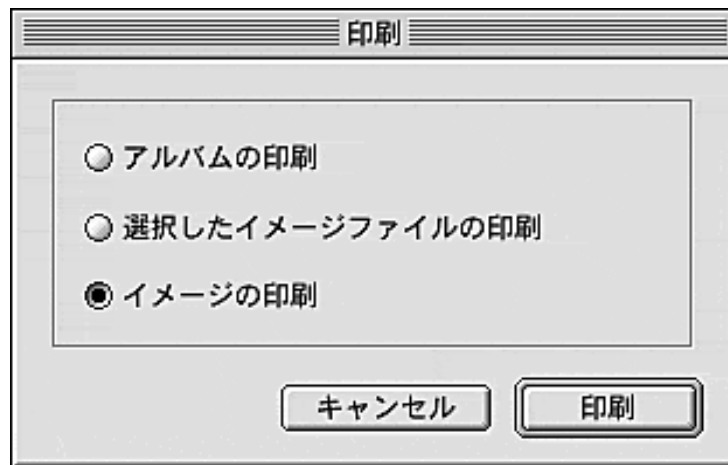
■ArcSoft PhotoStudioの場合

1. 印刷したい画像を選択した状態で、[ファイル]-[印刷]を選択します。
2. [印刷]のダイアログで、印刷サイズのスライダを左右に動かして、印刷サイズを調整します。左側のプレビュー表示が連動して拡大／縮小します。

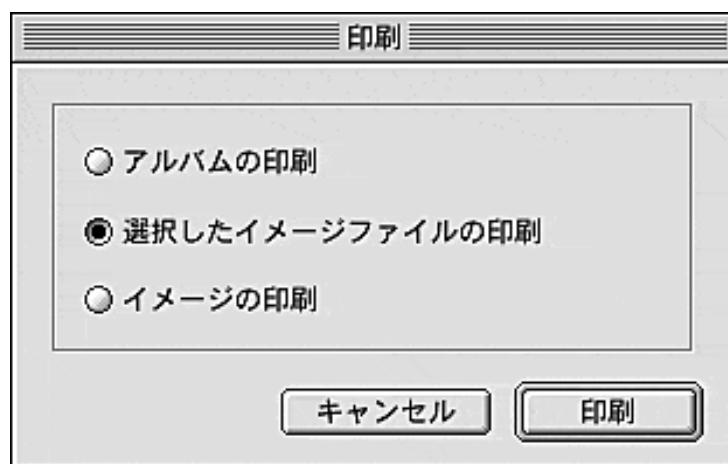
■ArcSoft PhotoBaseの場合

・アルバムの場合
Macintosh版PhotoBaseでは、アルバム印刷時に写真の大きさを変更する機能はありません。

・1枚の写真の場合

1. 印刷したい写真を[Shift]キーを押しながらクリックして選択し、[ファイル]-[印刷]を選択します。
2. [印刷]のダイアログで[イメージの印刷]をチェックし、[印刷]をクリックします。

3. 次に表示される[印刷]のダイアログで、印刷サイズのスライダを左右に動かして、印刷サイズを調整します。左側のプレビュー表示が連動して拡大／縮小します。

- 複数の写真の場合

1. 印刷したい写真を選択し、[ファイル]-[印刷]を選択します。
2. [印刷]のダイアログで[選択したイメージファイルの印刷]をチェックし、[印刷]をクリックします。

3. [印刷の選択]のダイアログで、[印刷サイズ]を変更します。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状１５ ：　スキャンした画像が、コンピュータの画面で大きく（小さく）表示される

対処　１：　アプリケーションソフトで、画像表示を拡大（縮小）編集してください。
詳しい操作方法については、各アプリケーションソフトの電子マニュアルをご参照ください。ご不明な点は、各アプリケーションソフトの製造元へお問い合わせください。

対処　２：　スキャナドライバで、解像度を変更してスキャンし直してみてください。解像度が高いと大きく表示され、低いと小さく表示されます。
詳しい設定方法については、この電子マニュアルの「もっと上手にスキャンするには」の解像度の決めかたをご覧ください。

対処　３：　アプリケーションソフトによっては、画面表示が小さいと画像がきれいに表示されないものがあります。画面表示を等倍（100%）に設定してみてください。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

症状１６ ：　スキャンした画像が開けない

対処　：　ファイル形式が、アプリケーションソフトに対応していません。ArcSoft PhotoStudioなどのアプリケーションソフトで再スキャンし、ファイル形式を変更して保存し直してください。
詳しい操作方法については、各アプリケーションソフトの電子マニュアルをご参照ください。ご不明な点は、各アプリケーションソフトの製造元へお問い合わせください。

先頭へ戻る▲

前頁へ戻る

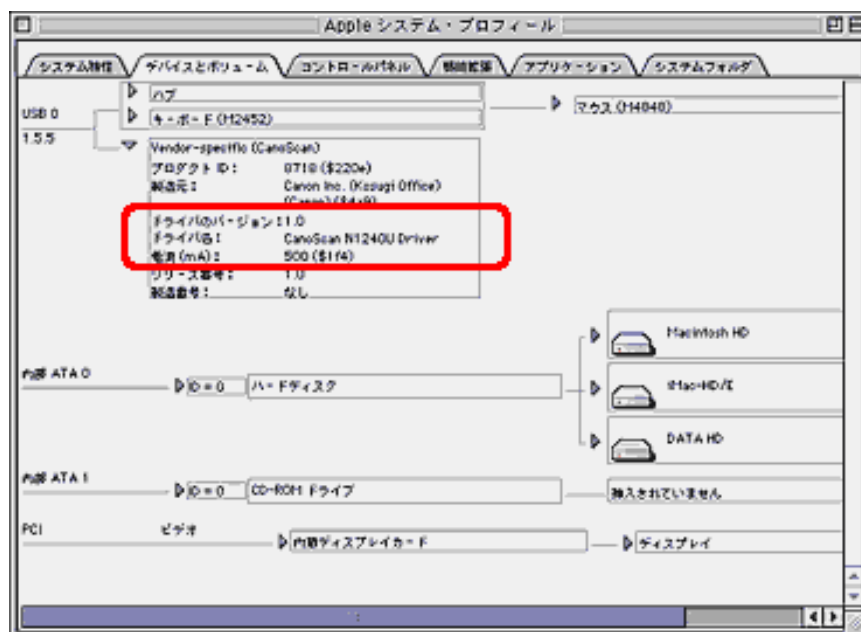
Macintosh スキャナが認識されないトラブル

前頁へ戻る

症状１７：　いろいろ試してもスキャナが動かない

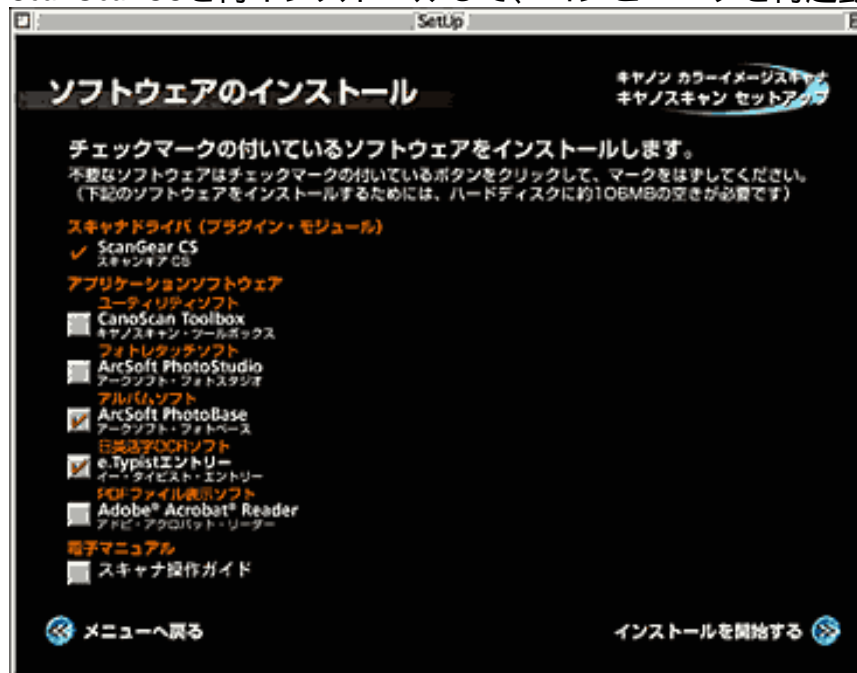
原因	：	スキャナがコンピュータから認識されていない可能性がある
対処	１：	コンピュータを再起動してみてください。 これだけでスキャナが認識され、動作するようになることがあります。
対処	２：	スキャナが認識されているかどうかを確認して、対処します。以下の手順をおこなってください。

[手順A　確認]

「アップル」メニューの「Appleシステム・プロフィール」の「デバイスとボリューム」のタブを選択してお使いの機種名が表示されていることを確認してください。

[手順B　ScanGear CSの削除]

「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」のメインメニュー画面で、「ソフトウェアの削除」から「ScanGear CSの削除」を選び、ScanGear CSを削除します。

[手順C　ScanGear CSの再インストール]

ScanGear CSを再インストールして、コンピュータを再起動します。

※インストール済みのアプリケーションは、左側のチェックをはずしておきます。

先頭へ戻る▲

前頁へ戻る

ScanGear CSメッセージ/エラーメッセージ一覧

メッセージ 1

100Mバイトを超える大きな画像をスキャンしようとしています。この容量の画像をスキャンすると、PCに大きな負担をかけたり、アプリケーションによっては、画像を受け取れない場合があります。
続行しますか？

原因　　：スキャンした画像の容量が100MB を超える。
対処　　：解像度あるいは選択範囲を小さくしてスキャンし直します。

メッセージ 2

スキャナ本体にエラーが発生しました。
操作説明書に従った処理を実行してください。
スキャナドライバを終了します。(Code : XX)

原因　1：スキャナが接続されていない。
対処　　：スキャナとコンピュータが正しく接続されているか確認してください。

原因　2：ScanGear CSが正常にインストールされていない。
対処　　：ScanGear CSを削除し、再インストールしてください。
ScanGear CSの削除の方法はWindowsはこちら、Macintoshはこちらをお読みください。

原因　3：スキャナ本体が故障している。
対処　　：コンピュータを再起動し、スキャナを接続し直してください。それでも同じエラーメッセージが表示される場合は、お客様相談センターまでご連絡ください。

メッセージ 3

スキャナとの通信ができません。ケーブルが外れている可能性があります。
スキャナの状態を確認してください。
スキャナドライバを終了します。

原因　1：ScanGear CS の起動時に、スキャナが認識できなかった。
対処　1：USB ケーブルの接続をチェックしてください。
対処　2：USB ケーブルを接続し直します。

原因　2：ScanGear CSが正常にインストールされていない。
対処　　：ScanGear CSを削除し、再インストールしてください。

メッセージ 4

メモリを確保できません。
使用可能なメモリ領域を増やしてください。
スキャナドライバを終了します。

原因　：ScanGear CSの起動に必要なメモリが確保できなかった。
対処　：他のアプリケーションを終了させます。

メッセージ 5

必要なファイルがないか壊れている、または設定が正しくありません。
再インストールしてください。
スキャナドライバを終了します。

原因　：ScanGear CSの起動に必要なファイルが見あたらないか壊れている。
対処　：ScanGear CSを削除し、再インストールします。

メッセージ 6

ロックスイッチを解除し、USBケーブルを抜いて、接続し直してください。
スキャナドライバを終了します。

原因　：スキャナのロックスイッチがロックされた状態で使おうとした。
対処　：スキャナのロックスイッチを解除します。スキャナのロックスイッチを解除してもメッセージが表示される場合は、スキャナが故障している可能性があります。お客様相談センターまでご連絡ください。

メッセージ 7

読み取りを完了するために必要なディスクの空き容量がありません。
スキャナドライバを終了します。

原因　：スキャンに必要な空きディスク容量がハードディスク内にない。
対処　：ハードディスク内の不要なファイルを削除してスキャンし直します。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

マニュアルの使いかた

Webブラウザの準備

このマニュアルは、Webブラウザでご覧いただくように作られています。
ただし、ご使用になるWebブラウザによっては、文章や画像の表示が異なることがあります。次にあげるような条件でご覧になることをおすすめします。

Windows

- Microsoft(R) Internet Explorer 5.0以上、Netscape Navigator(R) またはNetscape(R) Communicator 6.2以上
- ディスプレイの表示解像度は800×600ピクセル以上
- ディスプレイの色数はHigh Color以上
- 等幅フォント、欧文フォントは使用しない

Macintosh

- Microsoft(R) Internet Explorer 5.0以上、Netscape Navigator(R) またはNetscape(R) Communicator 6.2以上
- ディスプレイの表示解像度は800×600ピクセル以上
- ディスプレイの色数は32,000以上
- 等幅フォント、欧文フォントは使用しない

読みかた

このマニュアルには、必要なページを検索するためのメニュー、関連情報を参照するためのリンク（下線で示されるテキスト）など、マニュアルから適切な情報を得られるようにさまざまな手段が用意されています。

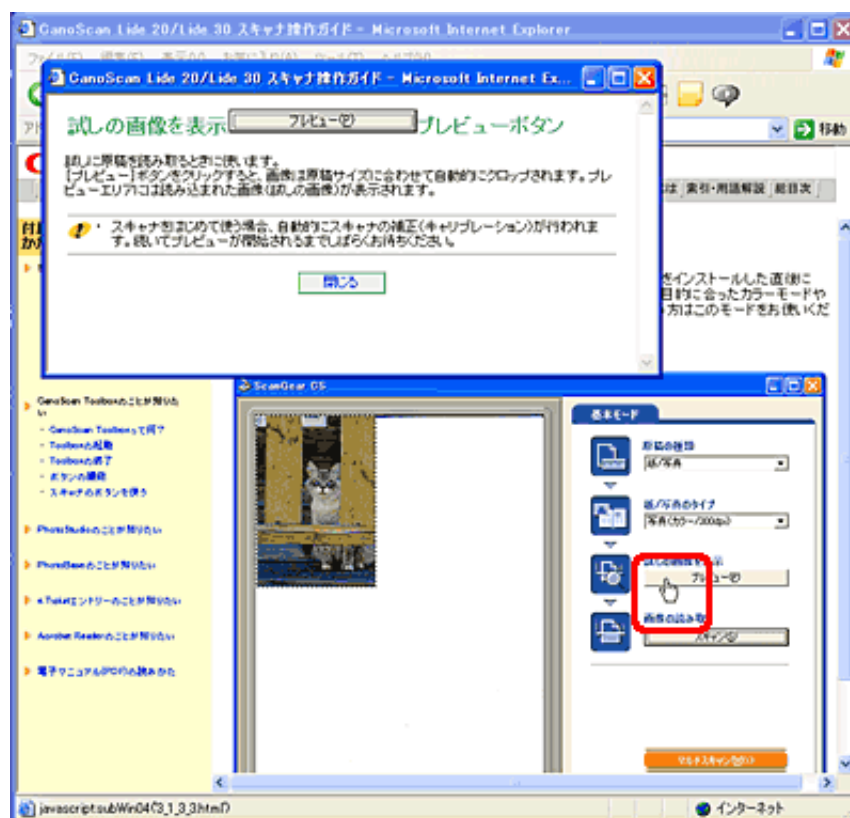
トップページからメニューを選ぶ

最初に表示されるのが「トップページ」です。このページには5つのメニューがあり、使用目的に合わせて必要な項目を選ぶと、さらに詳細な目次ページが表示されます。目次ページの項目を選ぶと、解説ページが表示されます。

CanoScan LiDE 20/LiDE 30
スキャナ操作ガイド
スキャナをもっと活用しよう!
スキャンの手順
目的別スキャナ活用法
付属のソフトウェアの使いかた
もっと上手にスキャンする
困ったときには
マニュアルの使いかた
総目次
索引・用語解説
お問い合わせ先
CanoScan
Canon Service & Support
付属のソフトウェアの使いかた
スキャナに付属するソフトウェア「ScanGear CS」と「CanoScan Toolbox」の使いかたと、その他付属のソフトウェアの機能について紹介します。
ScanGear CSのことが知りたい
ScanGear CSって何？
ScanGear CSの起動
ScanGear CSの終了
基本モードの機能
CanoScan Toolboxのことが知りたい
CanoScan Toolboxって何？
Toolboxの起動
Toolboxの終了
ボタンの機能
スキャナのボタンを使う
PhotoStudioのことが知りたい
PhotoBaseのことが知りたい
e.Typistエントリーのことが知りたい
Acrobat Readerのことが知りたい
電子マニュアル(PDF)の読みかた

2 画面の中から解説ページを表示する

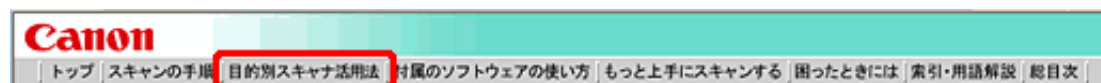
付属のソフトウェア「ScanGear CS」「CanoScan Toolbox」の解説ページでは、次のような操作で解説ページを表示します。

画面上の知りたい項目をクリックします。
その項目の解説ページが別のウィンドウに表示され、ソフトウェアの画面を表示したまま、解説を読むことができます。

解説ページを閉じるには、別ウィンドウ内の［閉じる］ボタンをクリックします。

3 ナビゲーションから別のページに移動する

解説ページが表示されると、画面左側には現在選ばれているメニューがわかるように「ナビゲーション」が表示されます。ナビゲーションの項目をクリックすることで、他の項目を表示することができます。

4 ヘッダーメニューや総目次から解説ページを表示する

画面上端には「ヘッダーメニュー」があります。ヘッダーメニューには、常にトップページとほぼ同じ項目が表示されています。どのページを表示していても、トップページまで戻ることなく、他のメニューを選ぶことができます。

トップページ画面下端のフッターメニューから［総目次］をクリックすると、本マニュアルの総目次が表示されます。

総目次の各項目は、それぞれの解説ページにリンクされています。

マニュアルで使われているマーク

マニュアル中のマークは、次のような意味で使われています。

 操作上の注意事項や重要な点が記述されています。かならずお読みください。

 操作の説明内容についての補足が記述されています。参考までにお読みください。

マニュアルの印刷

本マニュアルは、基本的に画面に表示して使うように作られています。印刷して使用するときには、次のような点にご注意ください。

- 本マニュアルを印刷した場合、表示どおり印刷されないことがあります。
- 表示中の本文が長く、複数ページにわたって印刷される場合、ページの上下で画像、文章が切れることがあります。

- ブラウザの印刷設定で背景色とイメージを印刷する設定にしてください。
- 本マニュアルでは、フレーム機能を使用して表示しています。印刷するときは、必ず本文の表示されている部分を１度クリックし、ブラウザまたはプリンタドライバで「フレームを印刷」（Windowsの場合）を指定して印刷してください。

- 別ウィンドウを印刷したいときは、別ウィンドウが一番手前に表示されている状態で印刷してください。

Windows

Internet Explorer	右クリックして表示されるメニューから[印刷]を選ぶ。
Netscape	[Ctrl]キーを押しながら[P]キーを押す。

Macintosh

Internet Explorer	[ファイル]-[プリント]を選ぶ。
Netscape	[ファイル]-[印刷]を選ぶ。

- MacintoshでInternet Explorerをお使いの場合、印刷プレビューの機能を使うと、印刷イメージを確認したうえで印刷することができます。
- ページの右側が印刷されずに切れてしまう場合は、ブラウザのファイルメニューのページ設定（Windowsの場合）で、用紙の左右の余白をできるだけ少なく設定してください。
- 文字が正しく表示されない、または文字が小さいなど、文字の表示に関する不具合が生じたときは、表示メニューから文字の大きさや文字コードなどを変更してください。
- その他ブラウザの機能に関する疑問は、ヘルプメニューからヘルプを表示してご確認ください。

先頭へ戻る▲

総目次

先頭へ戻る▲

▶索引

A C E O P
S W
ア行 カ行 サ行 タ行 ハ行
マ行

▶用語解説

索引

用語解説

Canon ColorGear カラーマッチング（Windows）

キヤノン独自の色処理技術を採用し、高速かつ高精度な処理を実現するカラーマネジメントシステムです。
Canon ColorGearは、業界標準フォーマットである「ICCプロファイル」に対応し、ICCプロファイルに記述されたカラー機器の特性を使った高度な色管理を実現し、キヤノン製のスキャナ、レーザービームプリンタ、カラーレーザーコピア等、多くのキヤノン製品に採用されています。
ディスプレイに表示したカラー画像をプリンタに印刷した場合、微妙に異なる色で印刷されることがあります。この問題を改善するのがカラーマッチングです。

ColorSync カラーマッチング（Macintosh）

米アップルコンピュータ社がMac OSの拡張機能として開発したカラーマネージメントシステムです。入力デバイス（スキャナ）と出力デバイス（ディスプレイやプリンタ）間のカラープロファイルを一致させ、スキャナとカラー画像の色を合わせる機能です。
たとえば、ディスプレイに表示したカラー画像をプリンタに印刷した場合、微妙に異なる色で印刷されることがあります。この問題を改善するのがカラーマッチングです。

dpi（ディー・ピー・アイ）

dots per inch（1インチあたりのドット数）の頭文字をとったものです。ディスプレイやプリンタの解像度は、水平方向の1インチあたりに表示または印刷できるドット数で表します。「ピクセル」、「光学解像度」、「解像度」もご覧ください。

MAPI

パソコン間で電子メールなどのメッセージをやり取りするための仕様です。この機能を提供するソフトウェアが組み込まれていればMAPI対応のアプリケーションは、具体的な転送方法を意識せずに電子メールを送信することができます。

OCR (光学式文字認識)

OCR（光学式文字認識）ソフトは、テキスト画像をテキスト文字に変換してワープロソフトなどのアプリケーションソフトで読み取りができるようにするアプリケーションソフトです。ScanGear CSのカラーモードで［テキスト（OCR）］（Windowsの場合のみ）を選択すると、OCRソフトが文字を正確に認識できるように、白と黒のコントラストがシャープになった画像がスキャンされます。

OCRソフト

画像データを文字データに変換するソフトウェアです。CanoScan ToolboxのOCRボタンには、初期設定では、e.Typistエントリーというソフトがリンク（登録）されています。

PDF（ピー・ディー・エフ）

Portable Document Formatの略。Adobe Acrobatで扱うファイル形式。
CanoScan Toolboxでは、スキャンした原稿をPDF形式で保存することができます。原稿中の文字を認識し、テキストデータとして変換します。変換したテキストデータは、

簡単なキーワード検索などに利用できます。

RGB（アール・ジー・ビー）
色を表す「光の3原色」、Red（赤）、Green（緑）、Blue（青）の頭文字をとったものです。スキャナは、原稿で反射した光を赤、緑、青のセンサーで検出しています。一方、カラープリンタは、赤、緑、青の補色関係となるシアン、マゼンタ、イエローとブラック（CMYK）で色を表現しています。シアン、マゼンタ、イエローを「色の3原色」と呼びます。

TWAIN（トウェイン）
TWAINとは、スキャナやデジタルカメラなどのデバイスからコンピュータに情報を転送するための業界標準規格です。TWAINは、Technology Without An Interesting Nameの頭文字をとったものであるともいわれています。イメージスキャナなどの入力装置のアプリケーション・プログラミング・インターフェース（API）の標準規格で、装置とアプリケーションソフトの両方がこの規格に対応していれば、メーカーやモデルの違いに関係なく互換性を持つことができます。
たとえば、TWAIN対応の画像処理ソフトを使えば、このソフトのメニューからスキャナのTWAINドライバ（ScanGear CS for Windows）を起動してスキャンし、スキャン画像を元の画像処理ソフトに渡すことができます。（参考：プラグイン）

VIVIDフォト
キヤノンの特定のバブルジェットプリンタでサポートされている機能です。これを使うと各画像における最適な色を判断し、独自の方法で補正して高彩度なシアンやグリーンまで、広範囲な色域を表現する機能です。この機能を使ってプリントすると、空や海の青さや、新緑のみずみずしいグリーンなどを従来にない鮮やかな色彩でプリントできます。

暗点
カラーまたはグレースケールでスキャンした画像のもっとも暗い部分です。「暗点ピッカー」で画像をクリックすると、サンプリングした色合いよりも暗い色合いは黒に調整されます。
「中間点ピッカー」や「明点ピッカー」もご覧ください。

暗点ピッカー
プレビューエリアのもっとも暗い部分を選択できる「ヒストグラム」のツールです。

色合い
カラー画像の色のバランスのことです。スキャナの場合は赤、緑、青を微調整することで、画像の色合いを調整します。

解像度
画像をドットの集まりで表現するときのドット密度のことです。1インチあたり何ドットで表現されているか（dpi:dots per inch）を単位にして画像の細かさ／粗さを表します。

拡大プレビュー
プレビューエリア内で範囲を指定し［ズーム］ボタンをクリックすると、指定した範

囲の画像だけが再度プレビューされ、拡大表示されます。
ディスプレイの解像度に応じて、拡大したい範囲を高解像度で再プレビューするため、きめ細かな画質のプレビュー画像が表示されます。

画像ファイル

画像を色や明るさの情報を持つドットの集まりで表現し、コンピュータで扱えるフォーマットでデータ化したものです。
基本的には縦横に並ぶ各ドットの色情報を集めたビットマップ情報で構成され、フォーマットの違いでTIFF形式やJPEG形式、BMP形式などさまざまな種類があります。

カラーマッチング

スキャナで読み取った色の範囲が、ディスプレイで表現できる色の範囲と一致しないことがあります。また、ディスプレイに表示したカラー画像をプリンタに印刷した場合、微妙に色が異なることがあります。このような問題を改善して、ディスプレイやプリンタの色を、スキャンした色と一致させるようにするのがカラーマッチングです。
「Canon ColorGear カラーマッチング」や「ColorSyncカラーマッチング」もご覧ください。

カラーモード

ScanGear CSで画像をスキャンするときに設定する項目です。
【カラー（写真）】
カラー画像になるように原稿をスキャンします。ひとつの画素（ピクセル）がR（Red：赤）、G（Green：緑）、B（Blue：青）の3色で表され、それぞれが8ビットの階調を持つ、24ビットカラーのデータになります。
【カラー（文書, 表）】
カラー画像になるように原稿をスキャンします。［カラー（写真）］と同様に、24ビットカラーのデータになります。
読み取り階調は［カラー（写真）］と同じですが、時間をかけて原稿をスキャンすることで、細かな文字や細い線などのつぶれや色の飛びが少ない画像になります。
【グレースケール】
白～灰色～黒の無彩色で表現される画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。ひとつの画素が8 ビットのデータを持ちます。
【白黒】
白と黒の2 色で表現される画像になるように原稿をスキャンします。ひとつの画素は1ビットデータを持ちます。
【テキスト（OCR）】（Windows の場合のみ）
白と黒の2色で表現される画像で、OCRソフトがより効果的にスキャンを行えるように原稿をスキャンします。スキャンしたグレースケール画像（1ピクセルあたり8ビットのデータ）を1ピクセルあたり1ビットのデータに変換します。

ガンマ、ガンマカーブ

元の原稿の明るさ（入力側）、画面上で見る明るさ（出力側）、さらには印刷仕上がりの明るさ（出力側）を一致させるために明るさを調整する設定です。ガンマ値という数値で表され、1を基準に、1 より小さい数値では暗く、1より大きい数値では明るく変化します。また、その調整を行うグラフ上の曲線をガンマカーブ（またはトーン

カーブ）と呼びます。

キャリブレーション
自動的に基準の白が正しい白色になるように調整するスキャナの機能です。

クロップ
画像の一部分を選択する動作のことです。ScanGear CSのツールバーにあるクロップボタンを使用し、プレビュー画像の一部分を選択して、その部分だけを再度プレビューしたり、スキャンできます。

光学解像度
スキャナの解像度の能力です。1インチあたり何ドットを読み取ることができるかをdpi という単位で表わします。スキャナの機種によって、光学解像度は異なります。「dpi」、「解像度」もご覧ください。

ごみ傷低減
写真原稿をスキャンしたときに、主にゴミや傷が原因でできた白い点状のノイズが現れることがあります。このゴミや傷をできるだけ少なくしてスキャンを行う機能です。

コントラスト
原稿を読み取るときの、明暗差のことです。コントラストを上げると全体にはっきりした画像に、コントラストを下げると全体にぼやけた画像になります。

自動補正／自動色調整
画像を自動的に解析して、ハイライトやシャドウを最適な状態に調整する機能です。

[スキャナテスト] ボタン
ScanGear CSの「設定シート」の「詳細設定」にある［スキャナテスト］ボタンをクリックすると、自己診断テストが実行されます。スキャナに問題がある場合は、その内容が表示されます。

スキャナドライバ
スキャナを制御するためのソフトウェアです。本機用のスキャナドライバは「ScanGear CS」です。詳しい使いかたは、「付属のソフトウェアの使いかた」の「ScanGear CSが知りたい」をお読みください。

スキャンモード
CanoScan Toolboxで原稿をスキャンするときに設定する項目です。
【白黒】
白と黒の2 色で表現される画像になるように原稿をスキャンします。
【グレースケール】
白～灰色～黒の無彩色で表現される画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
【カラー（雑誌、カタログ）】
モアレ低減機能をオンにして、カラー画像になるように原稿をスキャンします。
【カラー（プリント写真）】
モアレ低減機能をオフにして、カラー画像になるように原稿をスキャンします。

【カラー（マルチスキャン）】
カラー画像になるように原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿のサイズを自動的に読み取り、複数の画像ファイルを作成します
【カラー（オートクロップ）】
原稿サイズを自動的に読み取り、カラー画像になるように原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれていても、作成する画像ファイルは１つです。

ステータスエリア
ScanGear CSのメインウィンドウ下部にある情報領域で、プレビューエリアに表示されている画像の解像度や画像の寸法、ファイルサイズなどを表示します。

ズーム
ScanGear CSのプレビューエリア内や、画像処理アプリケーションソフト内の画像の一部分、または画像全体を拡大することです。

スライダ
トーンタブのいくつかの機能を設定するときに、スライダを使って値を変更します。スライダをドラッグして左または右に移動します。

スレッショルド
画像を白と黒に2分して表現するとき、元の画像を白と黒に分ける分割点のことをスレッショルドといいます。値を大きくすると暗くなり、小さくすると明るくなります。

チャネル
カラー画像の赤、緑、青の要素です。カラー画像は、赤、緑、青の各チャネルで1ピクセルあたり8ビットのデータを持っているため、各ピクセルは24ビットのデータを持っていることになります。カラー画像をスキャンする場合は、画像の赤、緑、青の色合いをブライトネスとコントラストを個別に変更できます。マスターチャネルは、この3色を統合したものです。

中間調
中間調は、画像内の色合いの中間範囲、つまり明るい領域（ハイライト）と暗い領域（シャドウ）の間を表わします。

中間点ピッカー
プレビューエリアで画像の中間調部分を選択できる「ヒストグラム」のツールです。中間点ピッカーで画像をクリックすると、黒点と白点の間のすべての色合いは中間点の設定に従って調整されます。

ツールバー
ScanGear CSのプレビューエリア上部にあるツールボタンのセットです。各ボタンを使うことで、画像の選択、画像回転、反転などができます。

テキスト（OCR）（Windows の場合のみ）
OCRソフトでスキャン画像を文字に変換したいときに使うカラーモードです。［テキスト（OCR）］を選択すると、CanonImageTrustTM Technologyが使われ、スキャンし

たグレースケール画像（1ピクセルあたり8ビットのデータ）が1ピクセルあたり1ビットのデータに変換されます。

テキストボックス
スキャンした画像を印刷するときにいっしょに出力するテキストを入力するボックスです。印刷する用紙の任意の位置に置いて、最大10個まで追加することができます。テキストボックスに入力したテキストには、フォントの種類やサイズ、色などの書式を設定できます。

ドット
画像は縦横に並ぶ点の集まりでできています。この点をドットと呼びます。スキャナで原稿を読み取るとき、1インチあたり何ドットの細かさで読み取るかという設定値を解像度といい、dpi（dots per inch= ドット・パー・インチ）という単位で表わします。

トーンカーブ
「ガンマ、ガンマカーブ」をご覧ください。

ピクセル
画素（picture element）のことで、画像イメージを作り上げる最小単位です。

ヒストグラム
ひとつの画像にはさまざまな明るさを持つデータが集まっています。明るさのレベルは、もっとも暗い領域（シャドウ）からもっとも明るい領域（ハイライト）まで、0～255の数値で表わされます。どのレベルにどれだけのデータが分布しているかを示すグラフがヒストグラムです。

ピッカー
プレビュー画像で、暗点、中間点、明点の領域をサンプリングするのに使用する「ヒストグラム」のツールです。

ビット、ビット数
1ビットの画像は、画像の明暗をあるレベル（スレッショルド値）で白と黒に分割し、白と黒の2色だけで表現します。
8ビットのグレースケール画像は、画像を白黒256段階で表現します。
24ビットのカラー画像は、赤、緑、青各色を256段階（8ビット）、1ドットを約1670万色で表現します。

フチなし全面印刷
スキャンした画像を印刷するときに設定する項目です。印刷用紙の全面にフチなしで印刷します。ただし、キヤノンバブルジェットプリンタでフチなし全面印刷に対応しているモデルのみ選択できます。

ブライトネス
スキャン時に原稿を読み取る明るさのことです。ブライトネスを上げると全体に明るい画像に、ブライトネスを下げると暗い画像になります。

プラグイン
プラグインとは、アプリケーションソフトに組み込んで、機能を追加できるソフト

ウェアです。
たとえば、ScanGear CS for Macintoshはプラグイン・ソフト（プラグイン・ドライバ）で、画像処理ソフトに組み込むことができます。この画像処理ソフトのメニューからScanGear CS for Macintoshを起動してスキャンし、スキャン画像を元の画像処理ソフトに渡すことができます。（参考：TWAIN）

プレビュー
スキャナにセットした原稿を、低解像度でスキャンし、プレビューエリアに表示します。プレビューエリアに表示された画像を確認しながらスキャン範囲の設定、明るさや色合いの調整、画像処理などを行います。

プレビューエリア
ScanGear CSのメインウィンドウの左側の領域です。［プレビュー］ボタンがクリックされると、スキャナ上の画像をスキャンし、このエリアにプレビュー画像を表示します。この段階ではまだアプリケーションソフトにスキャン画像は渡されていません。

マルチクロップ
複数の写真をスキャナにセットして、プレビューを行った後、各写真を別々に連続してスキャンするためのクロップ枠を作り出す機能です。このとき、写真がやや斜めになっていても、スキャンボタンを押すと、傾斜が10度以内であれば自動的に補正された画像が得られます。

マルチスキャン
スキャナにセットした複数の原稿を、一度の操作で別々の画像として連続スキャンできる機能です。このとき、原稿がやや斜めになっていても、傾斜が10度以内であれば自動的に補正されます。

マルチページPDF
スキャンした複数の原稿を1つのPDFファイルに保存します。

明点ピッカー
プレビューエリア内の画像のもっとも明るい部分を選択できる「ヒストグラム」のツールです。明点ピッカーで画像をクリックすると、選択したサンプルの色合いよりも明るい色合いは白に調整されます。

モアレ低減
点と点が干渉を起こし、画像に濃淡のむらや縞模様があらわれる現象を「モアレ」といいます。本や雑誌に印刷されている写真や絵を低解像度でスキャンするときに起こることがあります。このモアレを低減する機能が「モアレ低減」です。

読み取り解像度
原稿をスキャンするときに設定する項目です。原稿を読み取るときの細かさを、dpi（1インチあたり何ドットを読み取ることができるか）という単位で指定します。数値が大きいほど、画像を精細に読み取ることができます。
「解像度」「dpi」もご覧ください。

輪郭強調
画像の輪郭を強調する機能（アンシャープマスク）です。画像の明るさやコントラス

ト、色合いはそのままに、自然な感じで画像をシャープにします。

お問い合わせ先

| お問い合わせ窓口 | 修理受付窓口について | 各種情報の入手方法 |

お問い合わせ窓口

ホームページには、製品情報、Q&A 検索、ドライバダウンロードなどの情報が掲載されています。ぜひご利用ください。
●キヤノンホームページ　http://canon.jp/　「サポート／ダウンロードサービス」

■付属のソフトウェアに関するお問い合わせ窓口とホームページ

各ソフトウェアの製造元へお問い合わせください。
ソフトウェアについては、「キヤノスキャンセットアップCD-ROM」の電子マニュアル、またはソフトウェアのREAD ME ファイル、HELP などを合わせてご覧ください。

ソフトウェア名	お問い合わせ先	電話番号	ホームページおよび選択する項目名
■Adobe Acrobat Reader（アドビ・アクロバット・リーダー）	アドビシステムズ（株）	—	http://www.adobe.co.jp/「サポート／テクニカルソリューションデータベース」
■ArcSoft PhotoStudio（アークソフト・フォトスタジオ） ■ArcSoft PhotoBase（アークソフト・フォトベース）	アークソフトジャパン	03-3834-5254	http://www.arcsoft.jp/「サポート」
■e.Typist エントリー（イー・タイピスト・エントリー）	メディアドライブ（株）	03-5724-5381	http://www.mediadrive.co.jp/「よくある質問（FAQ）」
■ScanGear CS（スキャンギアCS） ■CanoScan Toolbox（キヤノスキャン・ツールボックス）	キヤノン販売（株）お客様相談センター	0570-01-9000	http://canon.jp/「サポート/ダウンロードサービス」

■スキャナの電話ご相談窓口（２００２年６月１日現在）

お客様相談センター全国共通電話番号
キヤノンお客様サポートネット　0570-01-9000

【受付時間】
＜平日＞９：00～20：00
＜土／日／祝日＞10：00～17：00（1/1～1/3を除く）

お電話がつながりましたら、音声メッセージにしたがって、購入前（１）、購入後（０）の番号をダイヤルボタンで押してください。
続いて、商品該当番号をお話しいただくか、プッシュ回線の場合はダイヤルボタンを押してください。
お電話は自動音声応答で受け、音声認識を用いて商品別のオペレータにおつなぎします。認識するための商品の読みかたは、「キャノスキャン」とお話しください。

注）周りの音や騒音により認識されない場合は案内窓口につながります。（尚、商品によっては、機種名をお聞きしますので、機種名をお応えください）
※ 携帯電話等をご使用の場合は、Windows 043-211-9555、 Macintosh 043-211-9635 をご利用ください。
また、受付時間及び、音声応答システムの内容を変更する場合がございますのでご了承ください。

全国64ヶ所の最寄りアクセスポイントまでの通話料金のみで製品に関するご質問に お電話でお答えします。
東京・大阪・札幌・旭川・帯広・函館・青森・秋田・盛岡・山形・庄内・仙台・福島・郡山・新潟・長岡・長野・松本・前橋・宇都宮・水戸・つくば・千葉・さいたま・甲府・立川・横浜・厚木・静岡・沼津・浜松・豊橋・名古屋・岡崎・岐阜・津・和歌山・福井・金沢・富山・京都・大津・神戸・姫路・岡山・高松・徳島・高知・松山・広島・福山・山口・鳥取・松江・北九州・福岡・久留米・大分・長崎・佐賀・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

先頭へ戻る▲

修理受付窓口について

本スキャナの修理サービスのご相談は、お買い上げ販売店または、下記のサービス窓口へお問い合わせください。
■修理受付窓口

下記、修理受付窓口の受付時間は9:00AM ～ 5:30PM です。土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。（ただし、東京ＱＲセンターおよび新宿サービスセンターの営業時間は10:00AM ～ 6:00PM、休業日は日曜・祝祭日です。）
また、※印のサービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。
お願い：本スキャナのお取り扱い方法のお問い合わせは、かならず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

北海道地区	※札幌サービスセンター　TEL 011(728)0665 〒060-8522 北海道札幌市北区北７条西１－１－２　ＳＥ山京ビル１Ｆ　札幌支店内
東北地区	※仙台サービスセンター　TEL 022(217)3210 〒980-8560 宮城県仙台市青葉区国分町３－６－１　仙台パークビルヂング１Ｆ　仙台支店内
関東・信越地区	※大宮サービスセンター　TEL 048(649)1450 〒331-8544 埼玉県さいたま市桜木町４－２４７　ＯＳビル１Ｆ　大宮営業所内
東京・神奈川・山梨地区	東京ＱＲセンター（持ち込みのみ）　TEL 03(3837)2961 〒110-0005 東京都台東区上野１－１－１２　信井ビル１Ｆ 新宿サービスセンター（持ち込みのみ）　TEL 03(3348)4725 〒163-0401 東京都新宿区西新宿２－１－１　新宿三井ビル１Ｆ ※キヤノンテクニカルセンター（郵送・宅配のみ）　TEL 0297(35)5000 〒306-0605 茨城県岩井市大字馬立１２３４　Ｆ７棟３Ｆ 関東地区・東京地区で、郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、 上記テクニカルセンターにお送りください。 ※横浜サービスセンター　TEL 045(312)0211 〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸２－６－２６　ＨＩ横浜ビル２Ｆ　横浜営業所内
中部・北陸地区	※名古屋QRセンター　TEL 052(939)1830 〒461-8511 愛知県名古屋市東区東桜２－２－１　高岳パークビル１Ｆ　名古屋支店内
近畿地区	※大阪QR センター　TEL 06(6942)7418 〒540-0003 大阪府大阪市中央区森ノ宮中央２－５－３

中国・四国地区　※広島サービスセンター　TEL 082(240)6712
〒730-0051 広島県広島市中区大手町３－７－５　広島パークビルヂング１Ｆ　広島支店内
※高松サービスセンター　TEL 087(823)4681
〒760-0027 香川県高松市紺屋町４－１０　鹿島紺屋町ビル１Ｆ　高松支店内
九州地区　※福岡サービスセンター　TEL 092(411)4173
〒812-0017 福岡県福岡市博多区美野島１－２－１　キヤノン販売福岡ビル１Ｆ　福岡支店内

２００２年７月１日現在

記載内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

先頭へ戻る▲

各種情報の入手方法

本スキャナに付属のキヤノン製ソフトウェアは、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップの情報およびバージョンアップしたファイルは、次の方法でご入手ください。（2002 年5 月現在）

【最新のドライバ、ユーティリティの入手方法】

- インターネット：キヤノンホームページ　http://canon.jp/
  「サポート／ダウンロードサービス」の「ドライバーダウンロード」を選択、「キヤノスキャン」を選択し、目的のソフトウェアをダウンロードしてください。
  ※ インターネットの通信料はお客様のご負担になります。
  ※ ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。
- 郵送サービス
  インターネット、FAX情報サービスなどで、製品に関する情報をご確認ください。有料でドライバのCD-ROMをお送りいたします。
  ※ 提供中のドライバの種類や内容、料金については、インターネットやFAX 情報サービスなどでご確認ください。

【その他の情報の入手方法】

- キヤノンFAX情報サービス
  ご使用のFAX（G3モード対応）から、最寄りのキヤノンFAX 情報サービスに電話をかけ、音声メッセージにしたがって操作してください。
  ※ プッシュ回線でご利用ください。ダイヤル回線の場合は、トーン切換えが必要になります。

札幌 011-728-0485	秋田 018-826-0441	仙台 022-211-5730
東京 03-3455-5962	名古屋 052-936-0758	大阪 06-4795-9011
広島 082-240-6729	高松 087-826-1621	福岡 092-411-9510

先頭へ戻る▲

商標について

- Adobe(R)、Acrobat(R)はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Microsoft(R)およびWindows(R)は、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、MacおよびColorSyncは、米国および他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標または商標です。
- Netscape(R)、Netscape Navigator(R)は、Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。Netscape(R) Communicatorは、Netscape Communications Corporationの商標です。
- CanoScan、ScanGearは、キヤノン株式会社の商標です。
- その他、記載されている社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
- このマニュアルでは、Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edititon／Professional、Microsoft(R) Windows(R) Millennium Edition、Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional、Microsoft(R) Windows(R) 98をそれぞれWindows XP、Windows Me、Windows 2000、Windows 98と表記しています。

閉じる